

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
1	1031	・渋滞時間帯の車での移動は避ける ・買い物等の近隣への外出に車の使用を控える
2	1031	休日のドライブのために、車の利用が増えた。しかし、通常はできるだけ歩くようにしており、上記のデータは実態にあっていないようだ。
3	1031	自家用車を使わずバスを利用する。
4	1031	自動車の他に移動手段が無いので、100点とりたいが、今後何らかの改善手段を期待して90点
5	1031	平日の通勤は、これまで通り徒歩と電車の組み合わせる。休日は地方では公共交通機関が発達していないため、車での移動はある程度止むを得ないが、近所への移動は徒歩を中心としたい。
6	1031	電車を使えばよかったですというのが、時間もコストです(人件費)。致し方ないところです。
7	1031	公共交通機関
8	1031	カロリー消費量が低いが、非常に優秀な結果であると思われま。
9	1031	公共交通機関がある部分については、それを利用するのが良いと思う。 ただ、時間的な制約があるので、自家用車、タクシー等の利用も必要である。
10	1031	公共交通機関+徒歩・自転車
11	1031	仕事の都合で車を使用せざるを得ない状況はあるものの、休日はなるべくマイカーを利用しない方法が望ましい。
12	1031	自宅近くに公共交通機関がないため、出来るだけ家族で乗り合わせるよう通勤している。
13	1031	自分は遠距離通勤で、公共交通機関では不便なため かなり難しい 休日は極力車を使わないように努力する
14	1031	自宅からの交通手段の利便性が良くないため 自家用車を使用するケースが多いが、 時間的には多くないと認識している
15	1031	通勤手段の変更⇒気候の良い時期の自転車通勤 家族の自家用車使用⇒買物時の自家用車使用の削減
16	1031	歩けるところは歩く。電車を活用する。
17	1031	環境のことを考えれば、歩きまたは自転車で移動したほうが望ましいと考えています。
18	1031	休日の買い物は、遠方のショッピングモールに行きがちである。 なるべく日常必需品は一度の買い物で、徒歩で行ける近所のスーパーで済ませるようにする。また、休日の遠方へのショッピングは、公共の交通機関で行くようにする。
19	1031	現時点では体調面での制約があり、マイカー通勤を余儀なくされている。その誓約が解除され次第公共交通機関(従来通りJR+市内電車)とすることが望ましい。
20	1031	自動車による移動距離は少なく、CO2排出量も少ないが、自動車の利用割合が高い。
21	1031	良く頑張ってます
22	1031	平均よりもCO2排出量は少ないものの、自動車への依存が大きい。
23	1031	車検のため、検査場への往復で自家用車を利用した事が主要因
24	1031	現在も自宅付近は可能な限り徒歩または自転車で移動している。 今後も続けていきたい。
25	1031	私本人が通勤で使用している以外は、基本的に自転車、公共交通機関を利用しているから。
26	1031	可能な限り以下の優先順位で手段を選択する。 1. 徒歩(健康のためにも) 2. 公共交通機関(自宅が利用できる環境に恵まれているため) 3. 自家用車
27	1031	通勤が主で、一人ではなく同乗者がいるので効率はいいと思いますが CO2排出量他、平均よりも高いので車に依存すぎかと感じるため、休日は、できるだけ交通機関を利用するように心がけたい。
28	1031	電車、地下鉄などのエネルギーソースは電気などで環境に良さそうではあるが発電所で排出されるCO2を考えると最適とはいえないと思う。望ましい交通機関としては水素自動車ではないかと思う。
29	1031	自転車で移動出来る範囲は自転車利用が望ましい。
30	1031	クルマ利用率が100%となっていることについて、業務都合や移動距離、所要時間を考慮すると仕方がない部分もあるが、極力公共交通機関を利用するように心掛ける。
31	1031	近距離は自転車などCO2を発生しない乗り物を利用する
32	1031	通勤に車を使っています。通勤以外は余り使用してなく、 近所は出来るだけ、歩くようにしています。
33	1031	車のほかに交通手段があるが、費用が高つくので車を利用した。
34	1031	基本的には、公共交通機関の利用が望ましいと思う。 自分で移動距離を決めて、例えば5km以上ならバス・5km未満なら自転車といった使い分けをする考え方もある。 自家用車を使うのは、交通の便が悪い場所への移動であるため、ある程度公共交通機関との使い分けはできるものとする。
35	1031	公共の交通機関、徒歩の機会を増やす必要がある
36	1031	プライベートに関しては、極力公共の交通機関を利用することが望ましいと思う
37	1031	自身で出来る限りの内容と判断
38	1031	JRとか電車を日常的に活用できればいいんですが・・・ 住居と職場の所在地の関係で短時間で異動するにはやはり、車を活用してしまいます(家族全員)。バスについても便数や最終便の時間の関係で利用しにくいです。公共交通機関の整備が待たれます。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
39	1031	膝が悪いので、他の人たちと比較すると、移動時間短めクルマ利用率などが高めとなるのは、ごく自然と思われれます。住居も山手なので、足はどうしても車になります。相対的には100点近いかな。ちなみにガソリンでなく軽油なので、努力目標として、CO2を5%減らすことを考えたいと思います。
40	1031	自動車使用率を抑える
41	1031	自転車と公共交通機関の利用を最大限努力する
42	1031	現在の私の住んでいるところの交通事情を考慮してして今の方法しかないから
43	1031	近距離の移動は、健康面にも配慮して徒歩。
44	1031	出来るだけ公共交通機関を使用した方が良いのは分かる。しかし行き先の立地や物件によっては必ずしも交通機関を利用できないことがある。その辺りも考慮できるような緻密なアンケートを行って頂きたい。
45	1031	歩く、自転車にのる、公共交通機関を利用する。
46	1031	交通手段が車を主としているので、徒歩を主体として、公共交通手段をもっと利用する必要がある。
47	1031	現在は、通勤は公共交通機関のみを使用しており、車は休日しか使用していない為、自己評価は高かった。しかし、へき地に住んでいると、公共交通機関を使おうと思っても運行時間もまばらでしかも運賃が高い。現在は公共交通機関を使うと会社から通勤費が全額支給されるので、多少便利が悪くても公共交通機関を使用しているが、通勤費が支給されなくなった場合は、やはり車通勤になると思う。ガソリン代や駐車場代がかかっても利便性など総合的に考えたら車の方が優位性がある為である。ノーマイカー運動を続ける為には人が移動する為にかかる費用を軽減する措置が必要である。
48	1031	移動手段に自動車を使い過ぎかなと気づいた。だが、自宅が郊外の住宅団地にあり、団地内に路線バスが無いので、仕方がないと思う。望ましい交通手段は現在の形態が望ましいと考える。
49	1031	車を使用しなくても行けるところであれば歩くことにします。
50	1031	電車・地下鉄が一番望ましいと思うが、路線が整っていないので、こう仕事で車を使わないのは現実的には考えられない。私生活の部分でどれだけ考えるかだと思う。
51	1031	現状の交通手段と状況を考えて現在の手段が最も自分にとっては最良な状況と考えております。
52	1031	排出ガスを考慮すると公共交通機関と言う事になるが、当日は家電、衣類等購入に走ったため(二人で大型5個口荷物)、現実的にはなかなかそうはならない。⇒諸店舗による、即日無料配送サービス等の環境が整わないと現実的には誰しも困難と考える。
53	1031	遠隔地に行った場合、単独で自家用車移動したので、今後は乗り合いでいきたい。
54	1031	車利用が多いので公共交通機関を利用する
55	1031	できる限り公共交通機関を利用する
56	1031	公共の電車はCO2削減に最適な移動手段だと思う。それを利用しての移動のみだから。
57	1031	自宅と会社及び街中が近いので自転車を主に使えばよいと思われる
58	1031	不便ではあるが、公共交通機関の利用を考える必要がある。
59	1031	車の利用は休日外出のみ、マイカー通勤もしていないので自己評価を90点とした。
60	1031	市内電車をもっと活用するのが望ましい。
61	1031	自動車以外の交通手段がないため、使用しなければならない。
62	1031	自家用車の占める割合が多く、公共手段(電車、バス)を利用するのが望ましい
63	1031	近場は徒歩・自転車を利用し、遠出はJR・市内電車を利用する。
64	1031	排気量の小さい自家用車です。
65	1031	選んだ日にち以外でも、実践していきたい
66	1031	結果マイカーの利用が少なかったが、偶然性が強いので市内は可能な限り公共交通機関を使うべきと感じる
67	1031	平均値より半分の数値でできた。
68	1031	自家用車が通例化している現状で、全く乗らない状況を作ることはまず無理だと思う。出来ることは、友人同士で遊びに行くときは、車の乗り合いするであるとか、できるところから少しでも努力していくことであろう。
69	1031	通勤には利用していないが、自動車に頼るところが多い
70	1031	遠方へは極力公共交通機関を利用し、近くへは徒歩・自転車で移動するように心掛ける。
71	1031	電車で行動できるのが望ましい
72	1031	徒歩で行動できる範囲では歩き、なるべくマイカーを使用しない。
73	1031	業務での移動が車に100%依存しており、移動先によっては移動手段を変更するよう取り組みたい。
74	1031	通勤での使用は控える。公共交通機関を利用していく。
75	1031	近場は自転車を利用する。
76	1031	レジャー等に関わる交通手段は、原則として公共交通機関を活用する。
77	1031	公共交通機関を利用する方が環境面を考える上では望ましいと思いますが、現在の社会環境では日常である程度のマイカー利用はしょうがないと考えます。(例えば、買い物について考えた場合、昔は近所に商店があり、徒歩や自転車で買いに行っていました。近年は大型店の出展と価格競争によって身近にスーパー等が少なくなっていることや、共働き等による生活スタイルの変化に伴い買い物日が休日に特化しているなど、自動車を利用しなければ対応できない環境が増えていることなど)
78	1031	自転車で行ける範囲は自転車を利用し、徒歩で行ける範囲は徒歩でいくようにする。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
79	1031	私は、実際ほとんど車には乗っていません。通勤にも使っていないし、近場はほとんどバイクのみです。遠距離への用件や重量物のなる場合、公共交通機関では行けない過疎地へ行くときには使用しています。昨今、広島県の中間山地の過疎地のバス路線は、廃止路線が多く、残っていても、過疎バスとして代替業者のバスになっています。ダイヤがインターネットなどを通じて広く公表されていないので、都会地の人間が利用できる環境にはありません。実際、広島県においてこのような活動を実施する意義は理解できますが、沿岸部の一部地域のみが、マイカー利用を控えることができる可能性を持っていますが、中間山地では、全く不可能といえる状態です。
80	1031	通勤などでの自家用車利用についてはなるべく乗り合いなどにより、利用回数を減らす努力をする。また、レジャーなどでの車利用についても、近所ならば徒歩や自転車などを利用する。
81	1031	CO2排出量が平均値より多い。
82	1031	できる限り公共交通機関を利用するようにしています
83	1031	ほぼ全部の移動が自動車ですが、一般交通機関が不便ですので自動車からこれに変えると時間が5倍ぐらいかかることもあります。そういう意味ではしょうがないと思えるところもあるので70点です。
84	1031	全体平均からみると、CO2 排出量は非常に低くよい結果に思われる
85	1031	自動車での移動距離が短いことが結果の要因だと思われるが、やはり移動は自動車に頼っているのが現状である
86	1031	車の運転はしませんでした。
87	1031	時間の制約がなく、目的地に対して利便性があれば公共の交通機関を使用する。
88	1031	自分自身は業務上車を使用することがほとんどであり、これを減らすことは難しいが、行き先が同じ場合にはなるべく乗り合わせていくようにすることはできる。 また、家族においても子供が1歳未満である為、車を使うのはやむを得ないがもう少し大きくなれば買い物程度であれば歩いていくことはできる。
89	1031	極力公共交通機関を利用するが、子供が小さいため自家用車を利用する機会が多くなる。最低限の自家用車利用と考える。
90	1031	自動車通勤をバス通勤に切り替える(今週から切り替えました)
91	1031	すべて一般交通機関
92	1031	娘の通学で、妻の送り迎えを控えるべき、自転車通学割合アップ
93	1031	近所への買い物は車の利用を控える 遠方への外出時には電車等の利用も考える
94	1031	外出する際は交通手段に車をあまり使用せず、自転車、バス、電車等を多く利用することが望ましい。
95	1031	近場に一人で異動するときは、できるだけ徒歩あるいは自転車で異動する方が体にもいい環境にもいい。
96	1031	自動車での排出が平均より少なかったのが良かった。
97	1031	車に慣れすぎだなー
98	1031	もう少し改善点があるかもしれません。
99	1031	できるだけ自転車等を利用するように心がけているためか、結果によく出ているので満足である。
100	1031	今回の休日では、車以外の交通手段で外出する機会がなかった。 平均以下のCO2排出量だったので、また続けていきたい。
101	1031	妻の車活用においては、子供の送迎がありこれはしょうがないと考えたい。私のバイクの活用においては、自転車に変更できると思う、
102	1031	できるだけ、車の代わりに電車バスを利用、電車バスの代わりに徒歩。
103	1031	公共交通機関をなるべく利用する。
104	1031	バイク通勤の為、現状と変わらないが、休日にでかけるときはできるだけ電車、バスを利用する。
105	1031	平日は自動車にのる事がほとんど無いのだが、休日になると出かける事が多くなるが、近場は自転車とか公共機関を利用して行動する必要がある。
106	1031	業種が現場作業中心なので自動車の使用が多くなるのは仕方なく思います。そのぶん休日のプライベートでの使用を少なくし自分及び家族の健康を考え自転車等の使用を考えていきたい。
107	1031	仕事では車が必要不可欠でありどうしても削減できないし今回は妻の実家に帰省する日と重なった為、自家用車の使用時間も増えが通勤などではバス及び電車、徒歩することにより通勤ではCO2削減には貢献できていると思う。今回はたまたま外出する予定もなかったので少なくともすんだが普段家族で出かける場合はほとんどが車を使用することが多い
108	1031	公共交通機関の運賃や最寄の駅等に安い駐車場があれば車の使用も減らせるのではないかと考える
109	1031	勤務中は仕方ないと考えます。休日については買い物等をのぞいては家族のことを考慮して自転車を利用する
110	1031	車にまったく乗らないと言うことは、無理だが、なるべく使用しないという事は、意識すれば可能だと思う。
111	1031	通勤手段をできるだけバス、電車にする。
112	1031	現行の交通事情を考慮すれば、しかたないと思う。
113	1031	畑仕事は休日中の最大イベントであり交通手段は徒歩では不可。 約1時間の上り坂を徒歩で行ったら作業体力の消耗で畑仕事が十分にできなくなる。
114	1031	自宅(廿日市市)から職場(南区皆実町)の通勤手段として自家用車から公共交通を使用する方法が最も望ましいと思われれます。
115	1031	なるべく徒歩、自転車を利用する
116	1031	通常はできるだけ公共交通機関を利用している。
117	1031	公共交通の利用機会を増やす
118	1031	自動車は必要最小限の交通手段と考え、休日には徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、自動車はできるだけ使わないようにしています。しかし、仕事では、時間に制約がありますので、交通の不便な地区へ行く場合には、自動車をかわざるをえず、よって、ガソリン車から環境にやさしい車(天然ガス車など)に取り替えるのが、最良の方法ではないかと現在のところ思っています。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
119	1031	車しかない。 複数人が乗車するためバイクの利用は不可。 また、自宅が郊外(高所)のため、自転車の利用は不可であり、目的地行きのバスが無い。
120	1031	公共交通機関および自転車の利用率を高める。
121	1031	自動車:できるかぎり乗り合いをする。
122	1032	平均より低いので、基本的には使い方は良いと思うが、 クルマ利用率を下げる方策が必要と思う。
123	1032	通常帰宅時には既に最寄バス停までのバス運行は終了しており、マイカー以外での通勤は現実的ではない。 時間に余裕がある休日の買い物などは公共交通機関を利用したいと思う。 公共交通機関の利便性向上を進めていただけると、利用しやすくなる。
124	1032	・公共交通機関の利用が、最も望ましいとは思いますが…。
125	1032	よくわからない
126	1032	コメントは難しい
127	1032	公共交通機関の便が少ないためどうしても自家用車に頼ってしまう。 乗り合わせや、途中から公共交通機関に乗り換えるようする。
128	1032	個人の自動車でなく、公共の乗り物でバスのように大きいものでなく、気軽に乗れる乗り物が定期的に周遊すればよいと思う
129	1032	近くへ外出の際は自転車、歩き等なるべく車、原付を控える
130	1032	頭の中で考えることと実際の行動との差が出てくる。
131	1032	現在、必要最低限しか車は使用していないと思うが、これ以上車を使用しないとなると、ある程度の不便さを我慢しなくてはいけなくなりそう。
132	1032	自分では車を所有・運転しないので、これ以上は改善できない。 他の人が運転する車に乗せてもらうときは、バスなど公共機関が使えるときは、公共機関を使うことを勧めたい。
133	1032	今回は、車を使う用事が重なり平均よりも悪い結果になった。ただ遠方へ行く場合、時間的なこともあり、車を使わざるを得ない場合もある。近場はなるべく自転車か徒歩にするようにはしている。
134	1032	なるべく車を使わないようよりよくする
135	1032	私が考える望ましい交通手段の使い方は、必要に応じて交通機関を最大限利用すること。 しかし、通勤時間等(拘束時間)を考慮すると、是が非でも公共交通機関を利用することが個人レベル、あるいは家族レベルの範囲で得策とはいえない。 マイカーと公共機関の使い分けが今のところの望ましいかたちと思う。
136	1032	公共機関使用
137	1032	移動距離・時間・荷物で使い分け
138	1032	近くに出かけるときは徒歩または自転車を使用する
139	1032	移動手段として、車でないと便利が悪い
140	1032	徒歩
141	1032	仕事上帰宅が深夜になる事もあり、また日によって突然出かけたりする事があるため勤務日に車を使う事は不可欠。
142	1032	公共の交通機関を使用する。仕事ではどうしても車がいるので…
143	1032	現状の家庭環境及び他の交通機関事情を考えるとまずまずと思われる。
144	1032	地下鉄とか電車がもう少し細かい路線があると利用し易いのでは？ 例えば、アストラムラインが現在は一路線の往復ですが、この路線を延長し巡回する(山手線のように)とともっと利便性は良くなるのでは と思います。
145	1032	出来るだけ、公共交通機関を利用する。
146	1032	広島市郊外から中心部近辺のアクセスを考えるとマイカーに頼らなければならない部分が多く有る。例えば安佐南区から安佐北区三次向原線沿いにはストリートで行くのが難しい。又、観音・光南方面も同様。 乗合いで行くにも仕事の終了時間がまちまちで難しい基本的に広島の交通アクセスの不便さに起因していると思う。よって、80点
147	1032	通勤は諸事情で車でないといけないので、仕方ないし、近くは徒歩で行ってるから、まあまあではと思います。ただ、運転時に、信号待ちの時、エンジンを切っていないのが、改善すべきだと思っています。
149	1032	通勤のみ
150	1033	自動車又は電車
151	1033	必要最低限で車を使用しています。 これ以上削減できないかも…
152	1033	極力、公共交通機関を利用し、移動距離が短い又は、急がない時は徒歩にするようにする。
153	1033	休日の日こそ 買い物・レジャーなどで乗用車は不可欠です。 公共の交通機関で大きな手荷物を運ぶことは不可能です。
154	1033	どうしても車でなければいけない外出と、そうでないものの区別をつける
155	1033	家計を考慮に入れた、最適な交通手段の選択
156	1033	私が車を使用する利点は目的地に早く行ける事です。でも環境に配慮して自分なりに利用していこうと考えます。
157	1033	通勤は、公共交通機関を利用し、やむおえない場合以外は車を利用しないようにしているが、家族に障害者がいるため、移動はほとんど車に頼ることになる。クルマ利用率が高いわりには移動時間は少ないと思う。今後は、自分ひとりで移動の場合は、バス・電車を必ず利用するようにしたい。
158	1033	平日は○祭日は50点
159	1033	仕事から、自動車使用は欠かせないものですが、家族の自動車使用に関しては、改善の余地があります。団地が住所のため、買い物など自動車使用が身近なため、公共交通機関使用が億劫になっているのも事実です。
160	1033	自動車依存度 大
161	1033	出来る限り公共交通機関を利用する事が望ましいと思いますが、仕事の関係上改善が難しい、少しでも削減出来る努力をする。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
162	1033	嫁は、子供の保育園への送り迎えの事と、会社への通勤が交通機関では不便な位置にあるためやむをえないと思う。 自分は徒歩ができる範囲は徒歩を、と考えているのでベターな方法と判断している。
163	1033	できるだけ、電車を利用する。 マイカーの利用は控える。
164	1033	休日にずっと家の中に居るのであれば、車を使わずに済むかもしれないが、用事があるのでムリです。公共交通機関では不可能な用事でしたので・・・。
165	1033	極力自転車使用
166	1033	自動車中心の生活なので、もう少し公共交通、徒歩も取り入れたい。
167	1033	外出時(通勤・レジャーともに)、公共の交通の便がいいところであれば、自家用車での外出は控えるべき。
169	1033	マイカー使用抑制が更に可能であれば、より好ましいが緊急事態に即応せねばならない、職務内容から許容範囲内と思考する。
170	1033	自動車使用は仕事の休みの日だけになり、通勤に関してはJR通勤に変えたのでCO2削減に大きく貢献していると自負しています。
171	1033	先週は業務における自動車での移動が多かったように思います。 特に山間部への移動は自動車でなければ時間的な制約が多すぎるため、仕方ありません。近距離の移動も効率を考えると自動車に頼らざるを得ないような気がします。
172	1033	私のような遠距離通勤者には、通勤の手段を選ぶことができずどうしても車に頼ってしまいます。もっと多くのアクセスが選択できればノーマイカーも増えるのでは？又、企業も休日のとり方など色々工夫できると思います。
173	1033	仕事上で必要なため
174	1033	通勤するにしても、バスの停留所まで徒歩 バスに乗り広島駅でJRに乗り換え横川駅より会社まで、徒歩になり、公共機関を、使うと時間的ロスが大きく、通勤時間を一日に3～4時間使うことは出来ないと思う。買い物に、してもスーパーも、自宅から車で10分くらいかかり、バスに、乗って行きたくない。
175	1033	電車の時刻に制限がある為、現状の通勤方法はやむをえないと思います。また自宅が田舎のため、平日の移動方法も車に頼るのが現状です。今の手段がベストと考えます。
176	1034	徒歩または電車、バスを利用する
177	1034	必要時以外はできるだけ車は使用しない。公共交通機関のあるルートではできるだけ公共交通機関を利用する
178	1034	近くに行くときは自転車、遠くに行くときはなるべく公共交通機関を利用する。
179	1034	必要最小限度使用しております。
180	1034	公共交通機関の利用
181	1034	できるだけ車に乗らないようにする
182	1034	私が乗っている車は会社サービスカーで、経理部全員が毎日使用します。 また、私の場合は通勤手当が有りませんので、従ってこのサービスカーで通勤をしています。
183	1034	なるべく公共交通機関を使用する
184	1034	坂道が多いため、徒歩は大変だが、極力原付を利用している
186	1034	自動車業界、関係者の為限界がある。
187	1034	出来るだけバイク利用を心がける
189	1034	自宅付近の公共交通機関の便利が悪いためマイカーは必需品です
190	1034	居住している場所から勤務先までは、公共交通機関を利用すると、乗り換えねばならず、非常に不便である。
191	1034	軽自動車
192	1034	車は私にとっては日常生活において必要不可欠なものですが、休日は極力公共交通機関を利用するよう心がけたいと思います。
193	1034	もう少し公共機関、徒歩、自転車の利用を考えたい。
194	1034	通勤では、市内への直通バスが廃止になり、4回も乗り継ぎしなければなりません。アストラムができたのですが、マイカーの方が安くつくので利用を考えますね。公共交通整備がかなり遅れてると思う。
195	1034	汽車で通勤
196	1034	出来るだけ公共交通機関を利用する。
197	1034	住居が呉市焼山なので、自分の勤務先等への一番容易にアクセス出来る手段が車となっているのが実情で、公共交通機関がもっと整備されることを望みます。家族も同様です。
198	1034	最低限のマイカー使用状況で致し方ない。
199	1034	電車・バス等、公共交通機関を使って移動できる所は、できるだけ利用する。
200	1034	できるだけ公共交通機関を使用した方が良い。
201	1034	通勤距離が短いので、現在より自転車及び徒歩の度合いを多くする必要があると思います
202	1034	休日の自動車の使用をおさえて、公共交通機関を使用するようにしなければいけない。
203	1034	公共交通網が発達していれば、電車等を使用すればよい
204	1035	住居から、車で15分くらいの最寄の駅に、パーク・アンド・ライドの駐車場ができれば、現状が幾分改善する。
205	1035	なるべく徒歩、自転車。車はできるだけ相乗り
206	1035	これ以上、車使用を減らすことはなかなか難しいですが、平日の家族の車使用量を減らすなど、を検討したいと思えます。
207	1035	住居が郊外のため、汽車やバスの運行が少なく自家用車の使用が多くなる。時間に余裕のある時は、汽車やバスをもっと利用することが必要だと思う。
208	1035	通勤は毎日マイカーというわけではないが、大半がマイカーであり、今後はバス通勤の回数を増やす必要があると感じている。
209	1035	車に乗るなどいっても、広島公共交通網では無理。地下鉄なんてばかな考えはやめ、既存の電車網を充実させるなど、できることから始めるべき。戦前の電車網で100万都市の足を充足させることはできない。精神論ではなく、行動力を期待する。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
210	1035	長距離の外出に自家用車を利用しました。公共交通機関の利用が困難なために利用しました。日頃から公共交通機関の利用を図りたいと思いますが、その不便さが少しでも解消できればと思います。
211	1035	排気量の少ない車を極力利用するよう努める。
212	1035	公共交通機関を利用できないケースもあるが、自動車を自転車に乗り換えるなどの努力が必要
213	1035	明らかにマイカーを使い過ぎていると思います。 できる限り公共交通機関に切り替えるとともに、少しの距離なら歩く習慣も身につけるべきでしょう。
214	1035	内勤なので移動が少ない。もっと、歩く移動が必要
215	1035	第一回のアンケートの回答の仕方が不十分だった。車の使用頻度のみのアンケートと理解して、他の交通機関の電車、バスなどを記入しなかったように思う。当然、通勤には電車、JR、バスも使っている。 使用時間は、比較的少ないと思っている。 また、交通手段の設定が全国一律のようで、広島のように路面電車が発達している地域では、選択肢の中に加える必要がある。
216	1035	できるだけ公共交通機関を利用するのが望ましい。 が、帰宅が遅くなり電車、バスがなくなる日も多く、外回りで会社の車を使えないケースもままあり、自家用車を放せない。
217	1035	今回は移動にマイカーを利用したが、自転車または徒歩が望ましい
218	1035	平日は忙しく動き回る日だったり、休日でも車を利用しないといけない予定が入っていたりして、環境に優しい交通機関や交通手段を意識的に利用することができませんでした
219	1035	車依存の生活になっている
220	1035	上記のCO2だとすると「不合格」でしょう。多くの人が公共交通を利用すればいいわけですが、街中の人はできても農村部は現実に無理。なかなかいい案が浮かびません。マイカー通勤はしない、街中の移動は自転車を使う。個人として実践していますが、それも健康で、都市生活者という利便性があるからです。
221	1035	評価値を空白にすると送信できないということなので、適当に80点とつけたが、これは単に平均と比べてのこと。これが絶対の評価基準になるわけでもなく、実際にはどう自己評価を付けていいのかわからない。こういう設問の立て方は疑問だ。答えようがないというのが正直な感想だ。
222	1035	もっと徒歩通勤の時間を確保すべきかもしれない
223	1035	少し車利用を減らしましょう。
224	1035	マイカーの利用は、必要最小限に抑えているつもりなので、今後も続けたい。
225	1036	休日(水曜日)はクルマ(マイカー)を使わずに、バス・電車・自転車等を使うことも考えたい。
226	1036	地方自治体がしっかりと環境整備することが第一。
227	1036	CO2の削減の検討でバス等での手段を増やす。
229	1036	自宅の公共交通機関の交通の便が悪いので、自家用乗用車にたよってしまいます。
230	1036	自分の移動手段は住んでいる環境で自動車の他は考えられない。近くへは徒歩で行く事もあるがほとんどが自動車を使用します。妻は休日以外は徒歩 バス 自転車を使用しています。自分も見習う必要があるとは思いますが現実には難しい。
231	1036	現在の通勤時間帯はできるだけ、停滞のない時間帯にて通勤しているのですが、朝早い時間及び夜遅い時間帯であれば、エアコンを使用せず。走行することを心がけると、燃料消費を少しでも少なく出来る、けれど、なかなか、エアコンを使用しないで通勤するのは、難しい。野で90点です
232	1036	CO2の排出量の少ない車での通勤。
233	1036	通勤に公共交通機関を使用すると何度も乗り換えしなくてはならない上に終電に間に合わない時もある 通勤時間も倍以上かかる その上交通費が返って高くなる
234	1036	出来るだけ、公共機関を利用する事が、大切だと思います。自分の家族を、数値に表すとよくわかります。
235	1036	時間の制約のないときはできる限り公共交通手段を使用する
236	1036	勤務上帰宅時間遅い為公共の交通を利用する事が無理
237	1036	取り組み不足
238	1036	近距離でも車に乗っている、交通機関があまり整備されてない状況も少しあるが、公共交通機関の利用をもっとしないといけない。
239	1036	通勤は電車等を使用する方が良いと思いますが仕事上時間が一定ではありませんのでやむを得ず車を使用しています。又休日の移動手段ですが、田舎への移動が主となり移動手段がなかなかとれなく車に頼っています。
240	1036	住宅環境(最寄のコンビニ及びスーパーまでは徒歩で40分、最寄の駅まではバスで30分)を考えると、毎日の生活にクルマは欠かすことができない。 通勤においては、バス・電車通勤に変更したとしても、通勤費が会社の規定枠を越えてしまい、万単位の金額が自腹出費となるうえに、時間も倍はかかる(クルマでの通勤時間は40分)ため変更は不可能。また、原付バイクでは通勤時間が1時間以上かかってしまう為、非現実的である。よって交通手段の変更は難しい。 ただ、外出の回数を減らす、無駄なアイドリングはしない等のCO2削減は心掛けたいと思う。
241	1036	晴れの日であまり暑くない日は自転車通勤し、雨の日や暑い日は自家用車を使う
242	1036	車の販売会社に勤務しており、交通手段としての車は手放せない。
243	1036	休日の日くらいは(雨の日を除いて)徒歩や公共交通機関を利用しなければと思います。本来ならばよほど遠方へ行かない限りは自動車を使わないようにするのが理想なのでしょうけれど…。
244	1036	車をメインで使うようになって、歩くことをあまりしなくなりました。 近くに買い物に行くのでも「荷物がかさばるから」と車に乗ってしまう、 健康の為にも地球温暖化の為にも歩くことは大事ですよね。 あとは、車を利用するなら出来るだけエコカーを選ぶことです。 現在は旧年式の車両を利用しているので次はエコカーを購入したいです。
245	1036	出勤は徒歩、またはバスが望ましい。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
246	1036	近距離は歩く。
247	1036	今は、ガソリン代も値上がりしてるし、節約も兼ねて環境のためにもできるだけ車など使わずに、公共の交通機関を使うように心がけていきたいと思いました。
248	1037	出来る限り公共交通機関を利用する
249	1037	観光で遠方へ自家用車でいったので、やむを得ないかと思う。観光地へも公共交通機関がある場所へは、公共交通機関を検討したい。
251	1037	3. 2倍もCO2を排出しているとは思いませんでした。
252	1037	自家用車で旅行に行った。
253	1037	カロリー消費省があまりにも少なすぎる。一方、CO2排出量は評価できる。
254	1037	子供(0歳)がいるので、他の交通機関が使用できない状況である。しかし、バスを使用するように努力する。
255	1037	徒歩、自転車を使う。
256	1037	徒歩
257	1037	広島市内(特に中心部)であれば公共交通機関を利用するが、市外に出る場合は、不便な面が多い。できるだけ自動車ではなくバイクを利用する様にしている。
258	1037	広島市内中心地に行く場合は、JR、バス等の公共交通機関を活用する。
259	1037	新幹線等の公共交通機関を利用する。
260	1038	公共交通機関が十分に整備されていれば、もう少し自家用車の利用を控えることも可能であるが、自宅周辺において公共交通機関が十分でないため、どうしても自家用車に頼らざるを得ない。
261	1038	①自宅、②下の子供の保育所、③勤務場所、④小学校から帰った上の子供を預かってもらっている実家、の位置関係と、①～④の公共交通機関での移動の不便さを考えると、妻は少な下の子が卒園するまでは自家用車で送り・通勤を余儀なくされると考えます。私は、それに同乗しているだけであり、バスに乗り換えてもメリットはありません。休日の移動については、改善する(出歩かない)という余地はあると思います。
262	1038	交通の便がよいところに行く時、荷物が多くない時などは、なるべく公共交通機関を利用する。
263	1038	極力 徒歩
264	1038	他に取らうる交通手段がなく、自動車を使うことが最も妥当と思われる。
265	1038	CO2排出量は少ないが、クルマ利用率が高い。もっち、公共交通機関や自転車や徒歩での移動を考えることが望ましい。
266	1038	自動車への依存が高い。公共交通機関の活用が不十分。
267	1038	健康のためにも、自転車や徒歩で行けるところへは車を使わないで行く。
268	1038	意外に排出しているものですね。
269	1038	近隣への交通手段を車から自転車に切り替えることが望ましいと考える。
270	1038	近距離ではなるべく自動車は使用しない。移動可能な距離は自転車を利用する。
271	1038	公共交通機関で移動できる場合には、なるべく車の利用を控える。
272	1038	自宅は、田舎にあり、通勤(交通)手段は車しかありません。車の使用は、できるだけ控えるよう心がけています。
273	1038	どこへ行くにも自家用車を利用しており、もっと徒歩なり、公共交通機関を利用すべきであると思う。
274	1038	koukyou koutuukikan¥
275	1038	緊急を要することがあったため、やむなく、車で遠出をしました。本プログラムの趣旨には反していると思いますが、公共交通機関整備されていない場所に緊急で移動するには、車は大変便利だと思います。
276	1038	私自身は子供が小さいこともあり、家族での移動はほとんど車を利用する。(せざるを得ないのが現状。)外出等の交通手段は、公共交通機関や自転車等、地球環境に配慮した移動手段が望ましいと思うが、便利さからつい車を利用してしまふ。
277	1038	日用品等の買い物には自転車を利用する。
278	1038	今回3連休での回答であったので、泊まりがけで、遠方へ出かけたため平均よりも結果が悪くなり、環境にやさしくないと感じました。平日は自動車に乗ることはなく、休日家族で出かけるときはどうしても車に頼ってしまっております。公共交通機関を利用すればよいとは思いますが、目的地まで直通のものがなかったり、荷物が多い場合はどうしても自家用車に乗ってしまいます。
279	1038	・少人数の自動車の利用をなるべく控える。 ・公共交通機関を利用する。 ・電気自動車等の利用促進を考える。
280	1038	使用はなるべく抑えたほうではないだろうか。
281	1038	必要なときにしか乗っていない。
282	1038	基本的に利用できる公共交通機関があるなら極力利用すべきで、それが不可能または著しく不便な場合にのみ自家用車の利用を考えるべき。そのために、環境税等で燃料代を上げるのも良いのでは。
283	1038	不必要な状況ではマイカーは利用しない
284	1038	特別な取り組みを行ったわけではないが、必要最低限しか自家用車を使っていないので、これ以上CO2排出量をカットすることは難しい。健康者が都心部で生活するのであれば自家用車は不要かもしれないが、郊外で乳幼児を抱えている世帯には自家用車は不可欠である。もし自家用車の利用を控えよというのであれば、もっと公共交通機関を充実させなくては実現性が低い。しかし、可部線の廃止など、公共交通機関は充実する方向に必ずしも向かっていないのが実態である。
285	1038	自家用車は交通の便が悪いところや、荷物が多いなどの必要最低限の場合のみ使用することが望ましいと思う。近距離の場合は、徒歩又は自転車等を利用する。



5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
286	1038	出来るだけ、バス等の公共交通機関を利用する。
287	1038	車の使用をほとんどしないため。
288	1038	公共交通機関が整っていない地域においては、車が主な移動手段になるのは、やむを得ない。
289	1038	家族(1)は、業務上、常時、車運転が必要である。外出時は公共交通機関利用に努めるようにする。
290	1038	できるだけ歩くことを心がけていますが、買物や天候の悪い日等は近くても車を利用してしまいます。出張の帰りなどはついタクシーを利用してしまいますので、電車を利用するよう心がけたいと思います。
291	1038	本日バイクで来てしまいました。
292	1038	近所への用事では、なるべく車を使わない。 特別な理由がない場合は、公共交通機関を使う。
293	1038	近所は徒歩。遠くは公共交通機関。止むを得ない場合に自家用車。
294	1038	電車
295	1038	公共交通機関の利用が原則だと思いますが、そこまで整備がされていない。
296	1038	公共交通機関が利用できるルートでは、できるだけ車を使わず公共交通機関を利用するようにしたい。
297	1038	できるだけ、公共交通機関を利用するよう心がけたい。
298	1038	もっと歩く時間を増やすべき
299	1038	食料、日用品などの買い物には 自家用車が必要なので まとめ買いなどして、自家用車の利用回数を減らしていくようにできたらいい。 郊外へ買い物やレジャーに出るときは、公共交通機関をなるべく利用すると思う。
300	1038	・通勤・通学、日常の買い物等の定期的な行動に際しては、自家用車ではなく、公共交通機関を利用すべきと考えます。
301	1038	環境負荷に少ない生活を実践している。
302	1038	家族と買物に行くため、自家用車利用しているが、近所に徒歩で出向くことも可能。 十分な買物ができない不便さはあるが、環境に配慮するのであれば、多少、我慢すべきか。
303	1038	市内への買物は、アストラムを利用する
304	1038	買い物等自宅周辺への移動については、徒歩・自転車を利用する。 一定程度利便性のある公共交通機関(電車、路線バス等)があれば、可能な限りこれを利用する。
305	1038	車を利用した外出行動を行っていないので、自己評価もコメントも特にない。
306	1038	自家用車の利用は必要最低限にし、近距離の移動には、徒歩や自転車利用とする。
307	1038	現在、通勤にはマイカーを利用してないことから、主として車利用は、子供の送迎であり、必要最小限の利用にとどめている。 車利用をどこまで制限すればいいのか、到達点がはっきりとは分からないので自己評価は90点程度と考えました。(自転車、徒歩圏内をどの程度に設定するのか)
308	1038	利便性の高い組み合わせで交通手段を選択していくことが基本である。 環境への観点からでは、短トリップにおいては公共交通機関に比べ任意のある自転車の利用が増えるのが望ましい。(駐輪場や自転車道の整備は必要となる。)
309	1038	自宅が郊外にあり、ある程度、自家用車に頼る生活となっているがいたしかたないと思う。利用度を考えると公共交通網の充実にも限度がある。補助的な手段としての自家用車の効率的な利用と省エネルギータイプの普及に努めるべき。
310	1038	近くの店に買い物に行く場合には、車ではなく、自転車や徒歩で行く。 車での用事はなるべくまとめて行き、混雑しているときは避けるようにする。
311	1039	自宅の立地条件から車に頼らざるを得ないが、計画的な移動を行えば無駄なガソリン消費を押さえること可能。
312	1039	公共交通機関を利用できる移動は極力利用するよう心がける。
313	1039	思ったほどCO2を排出していない。
314	1039	できる限り公共交通機関を使う。また徒歩や自転車で移動できる場合はそれを使う。
315	1039	思った以上に、平均以下でビックリしました。
316	1039	休日の外出はほとんど自動車なのでこの結果は意外
317	1039	近くへの移動はできるだけ徒歩か自転車で済ませる。 遠方への移動も、可能な限り公共交通機関を利用する。
318	1039	特に今回は、用事が市中心部への買い物だったので、目的地までの移動をバスにすれば良かったのではないかと思います。
319	1039	平均よりかなり高くなっているが父親の通勤の場所を考えるとある程度やむを得ない。
320	1039	市内はバス利用が可能な状況にあったので、極力利用すべきであった。
321	1039	自家用車の使用を控え公共交通機関を使用すること、健康のためにも徒歩・自転車で可能な範囲は出かけるよう心がけています。
322	1039	近所への買い物などにも車の利用をしているが、長距離の移動などを除き、徒歩で移動するよう心がける。
323	1039	通勤、買い物にはバスを利用したことから、満点に近いと思っている。
324	1039	もっと自転車や公共交通機関を利用すべき。
325	1039	自動車での移動は、1人乗車ではなく、家族全員の移動で使用するなど効率的な使用方法が望ましい。
326	1039	行動プランを決定する際にCO2排出量削減のことを念頭においているわけではないため。
327	1040	遅れて申し訳ございません アイドリングストップを行いたいと思います
328	1040	天候にもよるが、自転車で動ける範囲は自転車を使う。
329	1040	車の使用頻度も低く、今後も維持したい



5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
330	1040	【我が家の取り組み】 私:深夜の帰宅があること、公共交通機関より短時間で通勤できることから、50CCバイクで通勤している。暑さ寒さ雨の日等の辛さは我慢が必要。 家族(1):安全性を考えて公共交通機関しか乗らない。 家族(2):バイクで通勤していたが、自転車でも通える距離なので、自転車に変更した。少し早めの出発を努力している。
331	1040	未就学児が2名いることもあり、車を利用することは必要不可欠です。また、コンビニやスーパーも徒歩圏には無く、山の団地なのでどうしても車を利用してしまいます。今のところ、環境への影響を考えると、低排出ガス車、小排気量車の利用ぐらいしか思い当たりません。
332	1040	電車等公共機関がある場所へは出来る限り公共機関を利用した方が良いと思います。家の近所への買い物も荷物が大きくなる場合以外は、自転車や徒歩で行く等、使い分けした方が良いと思います。
333	1040	JR
334	1040	このままで良い。
335	1040	電車の利用を増やし、車の利用率を下げるが必要と思われる。最低でも車の利用率と電車の利用率が同率となるのが望ましいと思う。
336	1040	車メインで移動しています。もう少し、アストラム、バス、タクシーを使うように努力します。
337	1040	老人世帯を抱えています。休日の空き時間を使い、軽車両での、日常雑貨の買出しをやっていきます。老人世帯の地域環境は、交通手段が適さなく2時間に1回の巡回バスしかなく、通院通いも乗り替えなどで時間の制約があり、たいへんな地域です。
338	1040	せめて、バスなどの交通機関を使うと良いかも。その他、電車など。
339	1040	住んでいる地域の公共交通機関の便が悪いので、クルマに頼らざるを得ない。極力、徒歩や自転車で移動する努力をしている。
340	1040	ok
341	1040	・近場の移動はできるだけ車を使用しない。 ・公共交通機関が利用できる場合はなるべく利用し車の利用を抑える。
342	1040	通勤では公共機関を使用し公共機関での移動がムリなものについてはマイカーを使用している。ごく一般的で標準的な使用方法であると思う。
343	1040	必要なので仕方ない
344	1040	私自身は主に交通機関を利用して移動していますが、私の家族は車を利用する機会がまだまだ多いと思うので、環境のためになるべく交通機関を利用するよう働きかけていきたいと思っています。
345	1040	車利用時間は少ないが、車依存の傾向にある。しかし、公共交通機関による料金が、車を使用しないと世帯当り料金が高つく(かなり)。
346	1040	交通機関で難しいところで、家族と行動するときは自動車、一人の時はバイク
347	1040	通勤の際はマイカーを使用せずにバス・電車を使用する
348	1040	必要最低限のマイカー利用です。単独での短距離移動は、自転車の使用を心掛けています。遠方地への移動は、JRなどの料金と、高速道路やガソリン代と比較してマイカー使用を判断しています。行政や多方面との連携した取り組みで、公共料金の値下げを期待しています。
349	1040	住居がJR駅迄2Kmかつバスの便もほとんどない為、どうしても車を利用せざるを得ない状況である。現状一人一台計4台保有している。出勤時間、出勤場所もまちまちで、同乗もできない。
350	1040	個人で動く場合は、公共交通機関の利用が望ましい。家族・団体の場合は実際の出費額で判断せざるを得ない。
351	1040	意味が分かりません。
352	1040	自宅は公共の交通機関が充実していないため、家から出る時は車がなくては不便です。ただ、外出先から他の場所へ移動する時などには公共の交通機関が使える。
353	1040	休日のみ使用する。
354	1040	自動車については、燃費向上の為、不必要なものを載せない。 電車(路面電車含む)⇒バス・タクシー⇒自転車⇒マイカーの順で 使用手段を考慮し、常に二酸化炭素による環境負荷が少ない手段を心がける。 都市郊外に住んでいる場合は、パークアンドライドを積極的に活用する。また、都市効内は、自転車の利用を促進する。
355	1040	相乗りを検討する
356	1040	妻が通勤で乗用車を使用し、私は休日に使用するというパターンです。公共交通機関を考えるとしょうがないのかなと思っております。
357	1040	通勤にJRなどの公共交通機関をしようし、健康の為、それ以外は歩くなるべく近場には車、バイクを使用しない。
358	1041	自動車の利用時間を極力少なくした
359	1041	バイクを使用したため
360	1041	近距離であればできる限り徒歩
361	1041	CO2軽減への取り組み不足
362	1041	カロリー消費量が少ない
363	1041	公共交通機関の便が少ない上、料金が高額になる為に自家用車の利用となっている。もう少し利用しやすくなければ無利です。
364	1041	平均以下であり、出掛ける際も絶対車に乗る、といった訳でもないのに特に問題視していない。
365	1041	0.7倍ですと平均よりは少なく、よい結果ではないでしょうか？ バス・電車の路線拡大、一律料金化、環状路線バス
366	1041	今回はたまたま出かけなかっただけで移動があれば後は交通機関を使っていく必要があると思います。
367	1041	平均よりは下回っており、良いと思います

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
368	1041	公共交通機関
369	1041	平均点に比べ、非常に排出量が多い。 家族での車使用にも考慮が必要。 ただし、郊外では、バス等の路線整備が悪く、乗り換えまたは、最寄のバス停なしが多いのも、問題点である。
370	1041	子供を抱えているので公共交通機関を利用するのは困難です。 公共交通機関を利用するにあたって次の要望をお願いします。 ・ベビーカーを持ち込みやすいバス作り (片手に子供、片手にベビーカー) バスカードを通すのも困難です。
371	1041	できる限りクルマを使わず、歩いたり、自転車で رفتったり、遠ければ電車やバスを使えばよいと思います。
372	1041	家の近くにJRが通っていないので、車がないととても不便です。 車を出来るだけ使わないようにしたら、バイクとバスとJRで移動出来ますが、乗り換えや時間を考えるとやはり、車が一番便利です。
373	1041	平均より下回っていたので良かったです。
374	1041	通勤で車を使用することがなくバスやJRを利用しているので平均より少ない結果になった。でも、車を毎日乗っても飽きず、逆に毎日乗りたい!!と思うので車で通勤したい☆☆
375	1041	非常によい結果だと思います
376	1042	今回は外出する機会が少なかったが、外出時には極力意識して公共の交通機関を利用するように努める。
377	1042	家族に乳児がいるため、買い物等で、自動車を使用するのは、しょうがない。しかし、買い物の頻度を減らすことで、自動車の使用を減らすことは可能だと思う。 私は、バス等の交通機関をなるべく利用するように心がけることが、CO2削減につながれると思う。
378	1042	近くへの移動は、自転車を利用する。 大きな荷物がない場合は、公共交通機関を利用する。
379	1042	子供が怪我をして、学校への送り迎えが必要な現状では、家族1(妻)のクルマ利用率100%はやむを得ないと考えている。
380	1042	帰省のために利用したものでありやむおえないと考える。
381	1042	記入日は、イベント等により、通常より外出する頻度は多かったが、それでも、平均程度であった。通常であると、かなり低いものと想定される。
382	1042	CO2排出量は少ないが、自動車の利用率が高いため、特に必要がなければ公共交通機関や自転車を使用したい。
383	1042	公共交通機関が使える場所では、極力それを利用する。 徒歩10分程度の場所への移動は、徒歩または自転車を利用する。 自家用車利用の場合、家族で極力乗り合わせるようにする。
384	1042	市内へでるときは、電車やバスを利用する。
385	1042	近年の社会情勢の中で、田舎への移動手段は代変え手段の有無、時間制限、利便性等総合判断すると車がベスト。
386	1042	平日の車の利用が多すぎる。(実態に比べて)
387	1042	運搬する荷物がなく、片道5km程度以内の移動は、自動車ではなく、燃料を消費しない自転車または徒歩が望ましい。 食材、日用品など多少の荷物であれば、より燃料消費の少ないバイクや軽自動車の利用が望ましい。
388	1042	主人は勤務の関係(場所、時間等)で、公共交通機関を利用するのが難しいが、できるだけ相乗りを心がけマイカー通勤2台を1台にしていきたい。私は近所にスーパーがないため、つつい帰りの買い物のことを考えて車を利用しているが、できるだけ休日にまとめて買いをしておき、毎日の買い物を減らせれば、その分バス通勤に切り替えることができる。
389	1042	1才の子どもといっしょなので、重い荷物にならない限りは、買い物には歩いて行くのが望ましいと思います。
390	1042	車使用の頻度が多いため、近場は自転車等を利用する
391	1042	公共交通機関が発達していない場所などにおいては、自動車は重要な移動手段であるが、都市部に移動する際には、パークアンドライドなどを活用し、環境負荷を低減する必要がある。
392	1042	公共交通機関が利用できる場合は乗用車は使わないのが一番ですが、交通網が発達していない農村部では不可能です。 クルマを使わないようにするだけではなく、環境にやさしいクルマに買い換えるように働きかける政策も引き続き必要だと思います。
393	1042	家庭では特に問題ないと考えるが、仕事で地方に行く機会が多く、時間都合、公共交通機関少によりタクシー等を使用せざるを得ず、地方での公共交通機関の整備を期待しつつ、公共交通機関へシフトしたいと考える。
394	1042	自転車利用が多く、好ましい
395	1042	郊外に居住しているうえ、子供も小さいので、家族の移動は車が中心とならざるを得ない。 また、通勤は公共交通機関を利用しているが、退社が遅くなると、ついタクシーを利用してしまおうので、これをバスに変えるなど工夫の余地はあると思う。
396	1042	近くの商店街で買物をするなど車の移動を控える
397	1042	自動車に頼りすぎていると実感
398	1042	徒歩若しくは自転車
399	1042	休日の移動は全て車を使用している。公共交通機関などCO2排出量の少ない移動手段への切り替えが必要
400	1042	公共機関を利用すべき
401	1042	出来るかぎり公共交通機関を利用することが望ましい。 私自身の場合は、不必要な車の走行はしないように心がけている。
402	1043	平日はすべて公共交通機関で移動しているが、休日は自宅から最寄の駅まで車でないと移動できないので、家族で出かける場合、そのまま目的地まで車で行ってしまおう。 休日も遠距離の場合は出来るだけ、公共交通機関を使用して行きたい。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
403	1043	今回の自動車の使用目的が、以下の内容であるため、他に代わる交通手段もタクシーとなるので、ある程度しかたがないものと思われる。 ・動物病院へ診察のための動物の運搬 ・ゴルフ練習場へは、時間帯(早朝5時)、ゴルフクラブの運搬
404	1043	車利用を公共の交通機関に変更する。
405	1043	休日の移動には車を多用しているため、車を使用しないで済む移動手段を考え行動する。
406	1043	近隣へは徒歩か自転車を利用する。
407	1043	出来れば公共交通機関で行動したいが、小さい子供がいるので車を使用せざるおえない。
408	1043	近隣への移動は、徒歩もしくは自転車としたい。
409	1043	公共交通機関を使用する。 車を使用する時は、乗り合いとする。 近くは自転車などを使用する。
410	1043	私のCO2排出量は平均の1.2倍と多いというのが今回のデータで確認することができました。 車を使用しないというのは無理なので、公共交通機関を使用したり、車で出かける時はこまめにアイドリングストップを実施しCO2削減していきたい。
411	1043	公共交通機関が少なく、不便なところは車を使わざるを得ないがそれ以外ではなるべくバス・電車などを利用することが望ましいと思う。また、友達と行き先が同じ時はなるべく同乗にするなどを心がける。
412	1043	近場の移動は自転車を使用し、自動車の使用は出来るだけ控えるようにする。
413	1043	近くでは、徒歩であったが30km離れた福山へは自動車を使用した
414	1043	公共交通機関を使用する
415	1044	今回のケースでは車の使用が大きいですが、お彼岸の墓参りを実施した為だと思います。バスと電車を使う方法もありますがバスは日に3便しかなく時間の有効利用を考え車を使用しています。主に通勤に使っているバイクですがバス利用は乗り換えがあることと勤務の関係でバイクでなければ通勤できません。
416	1044	正直無駄にCO2を排出していることが判った。なるべく自家用車を使用せず、公共交通機関を使用するように努める。
417	1044	近場に行くときは徒歩で行き、なるべく公共機関を使用する。
418	1044	できるだけ自転車か徒歩で行動するように心がける。特に通勤は、30分以内の移動ならば、徒歩か自転車で移動する。家族は、幼稚園に行くとき等は、近所の人と誘い合っ同乗させてもらうようにする。
419	1045	公共交通機関で行ける所は、必ず公共機関を使用する。また、短い距離を移動する場合は、徒歩で移動する。
420	1045	できるかぎり公共の交通機関を活用する。
421	1045	電車・JRを使用する
422	1045	通勤は公共交通機関を使用する
423	1046	ゴルフに行くには車の利用しかないと思います。
424	1046	可能な範囲内で、徒歩、自転車等の人力による移動を心掛け、目的地が公共交通機関で行ける場所であれば、公共交通機関を積極的に使う。 しかし、同乗者が多い移動(家族そろっての移動)等では、車を使う方を選択する。
425	1046	自家用車を通勤に使用しているのので、二酸化炭素の排出量が多くなっている。
426	1046	自宅から会社及び買物をするスーパー等の施設までの距離が比較的大きい(会社6km、最も近いスーパー2km)こと、また、それら施設への公共交通機関のアクセスの悪さから、自家用車に依存する傾向が強い。 今後は、自転車など地球環境に対する影響が少ない交通手段の活用、買物に出かける回数を減らすなど、少しでもCO2排出量を抑制するよう心掛けたい。
427	1046	うちは駅に近いのに交通手段は車が主である。できるだけJRを利用するようにしたい。
428	1046	交通の便のよいところはなるべく公共交通機関を利用する。近くへの移動の場合は徒歩あるいは自転車を利用する。
429	1046	先週は海外出張が入ったため、第1回ダイアリー調査が記入できませんでした。申しわけございません。日頃、マイカー通勤していますが、上記の理由のため、1週間マイカーを使用しておりません。
430	1046	特に平日については、自宅⇒(自転車)⇒JR駅⇒(JR)⇒JR広島駅⇒(路線バス)⇒(徒歩)⇒勤務先といった自動車を全く使用しない 通勤が可能な環境にはあり、これができればBESTかと思えます。 が、JR呉線は通勤ライナーを逃した場合は、所要時間が長くなり自動車通勤と比べ自宅⇒勤務先間で30分も増加します。 また、帰宅する場合、JRは遅くまでありますが、勤務先⇒JR広島駅間の路線バスはなくなるため、徒歩となり、徒歩ではこの間 30分要するため、マイカー通勤とは比較にならない状況です。 結論として、現時点における環境への配慮としては、自動車購入時に少しでも燃費がよく、環境にやさしい車を選択するくらいしか対応できそうにありません。
431	1046	休日の場合、子供の送り迎えなど、家族それぞれとの予定時間調整が欠かせないため、ノーマイカー推進が難しいと感じた。自分だけの行動については、自転車に乗り換えるなどが可能である。
432	1046	日常の買い物については、近場です。交通手段としては、徒歩または自転車での移動とする。
433	1046	通勤通学はやはり公共交通もしくは自転車等の利用が重要。 買い物については、子供が小さいうちはやはり自動車で移動することになる。(公共交通が子供達に優しい乗り物ではないので。また、騒いだときに周囲に迷惑がかかるので)
434	1046	休日とはともかく平日についてはできるだけ公共交通機関を利用するほうが望ましい。
435	1046	公共交通機関を利用するのが望ましい。健康のためには、少し徒歩の時間をいれる。
436	1046	?何するもマイカーに頼りすぎ!! ?健康を視野に入れ、もっともっと歩こう!! ?バスが運行されない箇所に宅地造成認可されることにも問題がある。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
437	1046	公共交通機関を利用することが望ましいのはわかるが、費用面(自動車の所持費は除く)を考えると、車を利用することが多い。 1人でなく、数人であれば、車を利用することもよいと考える。
438	1046	鉄道などの公共交通機関がほしい。 現状はバスだけで渋滞で時間が読めない。最終便が早いなどの問題で公共交通機関が利用しにくい地区に住んでいる。
439	1046	家族の車依存率が平均より高い。
440	1047	たまたま、休日に外出がなかったため平均値を大幅に下回る結果となった。通勤は公共交通機関を利用しているが、休日の外出は、目的地への交通機関が不便なため、車の使用が多くなる。車に変えての交通手段は、徒歩・自転車の利用増が望ましい。
441	1047	車の利用絶対時間が少ないのでCO2排出量は少ないが、車利用率をもっと下げる工夫のできる余地はある。
442	1047	近所の買い物は徒歩。郊外大型店でのもめ買いは自動車。 行楽は場所と内容により自動車か電車の選択とする。 家族(2)は1.5才で、車移動が中心となっているが、家族全員、今は家族(2)と行動を共にする機会が多いため、そろそろ電車移動を試してみたい。
443	1048	徒歩、自転車の利用率を増やす。
444	1048	近距離はなるべく徒歩で、それ以外は公共交通機関を使うことが望ましいと思いますが、最近の量販店、飲食店は郊外型が多く、自家用車で無いといけなくて多く、そのような場合は、乗合利用しかないと考えます。 (外出行動で妻と同上でも2回カウントされてしまうので本当はもっとCO2少ないと思うのですが。 また、普通車、軽自動車、大型車でかなり違いが出るはずなのに入力項目も無く平均値で計算することには疑問を感じます。)
445	1048	平均の10%程度のため。
446	1048	自宅周辺の公共交通機関が少ないこと、また勤務時間帯都合でこれら交通機関を使いにくいのでやむを得ない最低限の自家用車利用だと思ふ。
447	1048	時間に縛りのある計画的な行動には、電車等の公共交通機関を利用し、それ以外のときは、マイカーを利用する。
448	1048	せめて平均値を目指したい 本人:休日抑制(通勤利用なし) 妻:平日抑制(休日は同伴) 息子:勤務地(僻地)への交通手段が乏しいが・・
449	1049	車での移動を他の交通機関にすればCO2の排出量が減らせる。
450	1049	バス通勤したいが、目的地へ朝1本、夕方0本では利用出来ない
451	1049	公共交通機関を利用しての移動
452	1049	公共交通機関と自動車との併用
453	1049	通勤では、カロリーを消費していないが、仕事でエネルギーを使いバランスの取れた形となっている
454	1049	自分の健康のためにも自動車の利用を控えた方がよいと思う。
455	1049	私は休日以外車を使用することがなく、このぐらいかと思ふ。
456	1049	現況の調査へ回答をただけで、何ら取り組みをしていませんので評価できないのでは？ ただし、現況を平均と比較すると車の使用を半分程度に控えたいと思っています。
457	1049	通勤、買い物等日々の生活において可能な限り自転車、徒歩等での移動をしていきたい。 今回の取り組みについては、まだ何も努力していなかった。
458	1049	通勤等では自家用車は利用していないが、どうしても気楽で便利な自家用車を使用してしまう。家族を含めて、意識改革が必要だと感じた。
459	1049	公共交通機関
460	1049	電車、自転車、徒歩
461	1049	公共交通機関を利用できる場所が自宅もしくは移動開始場所から300m付近にあれば公共交通機関を利用すべき
462	1049	地方都市の田舎に住まいしていると、必然的に自家用車の利用頻度が高まってくる、公共交通機関の衰退、利便性への慣れ、自己空間の必要性等、個人により目的は違うと考えられるが、車の重要度は避けて通れない、よって、エコカーの開発を多種多様に増産すべきだ
463	1049	自動車の利用を控えたほうがよいと思う。
464	1049	田布施駅から約5kmの田舎に自宅があり、バスも電車もなく公共交通機関を利用することができない。 買い物に行くにも片道最低5kmはあり、回数を減らす以外に手段がないことが認識できた。
465	1049	努めて徒歩、公共交通機関を利用することが、望ましい。
466	1049	一週間の中で、半分をバス通勤等に変えることでも大分違ってくる気がする。
467	1049	仕事での移動交通手段は極力公共交通機関利用を考えているが、休みの日買物等の移動が多い。自分が住んでいる地区は公共交通機関が発達しているにもかかわらず、どうしても移動はマイカー利用の傾向にある。これから休みの日の移動こそ、公共交通機関を利用するよう心がけたい。
468	1049	公共交通機関で移動。車はサブ的な利用。
469	1049	ok
470	1049	自宅近辺に公共交通機関がない為に、最寄の駅までは自動車通勤するしかないのしかたがないと思う。
471	1049	通勤では、徒歩電車ですべてまかなえた。
472	1049	私自身、通勤に徒歩と電車を利用していますので、地球環境には影響ないと考えます。その反面、妻は自家用車利用が大変多くなっています。が、しかし、親の介護・買い物等でいたしかたないと考えています。 (田舎のため、他に交通手段がありません。)

## 5.参加者コメント集

## (ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
473	1050	ボランティアで荷物運びなどを行った週でした、なるべく自転車を使うようにしていますが、家族は、老人がいるのでどうしても自動車による移動となります。平均より大分シェアが高いことがわかりました。
474	1050	公共インフラの整備と市民の意識向上とのバランスが大切だと思います。どちらかが欠けると、単なる理想主義の実現不可能な夢物語に終わるのではないのでしょうか。
475	1051	通勤は、バスを利用しているのでこれ以上改善の余地はないと思う。休日は、自動車を利用視せざるを得ないケースが多いがバスの利用が可能であれば努力したい、
476	1051	通常の通勤は、電車を利用しているが、休日出勤や買物の場合は、クルマを利用することが多いので、出来るだけ電車を利用するようにしたい。
477	1051	住環境上、自動車利用はある程度必要である。
478	1051	クルマの利用率を平均以下に低下させたい。
479	1051	通勤はJRか自転車なので、問題ないと思っていたが、CO2排出量が平均の1.2倍とは意外で驚いています。
480	1051	近い場所への移動は自転車を利用すること
481	1051	要するに、車使用の絶対量が非常に少ないということ。したがって、ノーマイカーデーを効果あらしめるものとするためには、車使用の絶対量の多い人に、焦点を当てて、施策を打っていく必要があるものと考えます。
482	1051	交通不便地域への外出、緊急時、手荷物が重い等のマイカー使用の必然性がある場合を除き、できる限り公共交通機関を使用することを心がける。
483	1051	通勤はバスで自動車を使っていないが、休日が自動車のみというのはよくないと思う
484	1051	マイカーでの通勤は、しておりません。休日においての買い物等でも可能な限り、徒歩・自転車を利用しています。
486	1051	もう少しバイク、自転車を利用することを考えたほうがよかった。
487	1051	dokonimodekakezuniedejittositeirukoto
488	1051	がんばりました。
489	1051	公共交通を増やすことが必要
490	1051	自宅と繁華街が比較的近いので、平均値よりCO2の排出量は少ない数値となっているが、移動のほとんどが自動車なので、もっと環境に配慮した行動を考える余地があるのではと思う。
491	1051	荷物が無い場合には、公共交通を利用
492	1051	実感はなく啓発につながっていない
493	1051	平均値より低いが、車の割合が多いのでまだ改善の余地があると思う
494	1051	郊外や遠方は別にして、中心市街地には、なるべく公共交通や徒歩などで行くようにしたい。ただし、現在は妻が妊娠9ヶ月の状態、どうしても便利な車に頼ってしまいがちである。
495	1051	公共交通機関や自転車など、環境にやさしい交通手段をできるだけ利用する。
496	1051	近い所は徒歩で、遠い所は公共交通で移動する。
497	1051	一人での車利用は控えるべき。
499	1051	徒歩の時間を増やす
500	1051	近距離で荷物のない場合は、自転車で移動
501	1051	近場の買い物に車を使用した、自転車でもよかったかも
502	1051	交通手段のないところ以外は公共交通機関を利用した。
503	1051	自転車の活用
504	1051	車で外出はしたが、思ったよりCO2は排出しておらず、他の人と比べて環境にやさしい行動？をしていたのが分かった。
505	1051	今回の休日では、たまたま外出に車を使わなかっただけで、今後の休日すべてがそのように過ごせるとは言いがたい。公共交通機関を利用するのは、自分一人の移動なら可能であるが、子供を連れて家族全員で出かける時などは、やはり車を使ったほうが時間的、金銭的、体力的にも便利である。ただ、この機会に改めて交通手段の使い方について考えることができたので、今後に生かしたい。
506	1051	パークアンドライドを行っており、これ以上の平日の望ましい交通手段はないと考えている。
507	1051	田舎に帰省したり、田舎で買物(店が遠い)したり、また、大型の荷物を運んだりした為、やむなく車を使用した。時間短縮になり有効に時間が使える。
508	1051	公共交通機関の整備されていない田舎に住んでいるので自動車の使用となる。
509	1051	できるだけ自動車の利用を避けるよう今後努力する。
510	1051	必要最低限の自動車利用を念頭に取り組みをした。しかし、結構、郊外のスポーツ施設など公共施設、店舗などが、公共交通機関が利用できる箇所から遠く、便数が少ない場所や行き返りの勾配がきつい道路を利用しなければ行けないことに気づきました。このような場合、どうしても自家用自動車などに頼らざるを得ません。これからの社会では、中高年の外出などを促す上では、誰でも簡単に利用できる電動カーの貸出しステーションなどを設置していくなどの取り組みが必要ではないでしょうか。また、電動カーが安全に通行できる歩道や車両との分離通行を可能にする道路整備が必要と感じています。
511	1051	家族は、車で移動が仕事になっているので仕方がないが、私は極力バイクでの移動を心がけている
512	1051	近距離の移動にも車を利用して、今後自転車の利用頻度を増やすようにしたい。
513	1051	公共交通路線まで自家用車で移動せざるを得ないので、どうしてもマイカー利用が必要となる。
514	1051	今後は、できるだけ、公共交通機関を利用する。
515	1051	一般的に緊急の場合とか日帰り観光とかにマイカーを使うことが多いと思うが、緊急の場合はタクシー、日帰り観光には公共交通機関を使うよう心がければ、次第にマイカーの使用度も減り公共交通機関も潤うようになるのではないだろうか。
516	1051	公共交通機関による移動が可能であれば利用する。
517	1051	通勤にバイクを使用しているが、バスへの変更が望ましい。
518	1051	家族の通勤方法を考えると、車利用も止む無しと思う。広島は地形的な制約が多いが、軌道系交通の充実を望む。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
519	1051	CO2排出量が平均の2倍となっているので、自己評価は半分の50点としました。近距離移動や1人での移動は、できるだけ徒歩や自転車、また公共交通を利用することが望ましいと考えます。
520	1051	本来環境のためにも公共交通機関を使用するのが望ましいと思いますが、公共交通機関の利便性があまりよくないので、やむを得ず車を使用しています。
522	1051	公共交通機関が整っているところへの移動には、荷物の運搬を伴う等、必要な時以外自家用車を使用しない
523	1051	クルマを使うのは、乗車2人以上で、荷物が多い場合とすることが望ましい。
524	1051	家族全員が対応できなかったため。
526	1051	1日目は車を利用していないが、2日目は遠出のため長時間車を利用したが、ドライブなので移動そのものを楽しんでいるため、やむをえないと考える。
527	1051	車利用率が100%ではあるが、移動時間は短く、また、公共交通機関での移動は困難な箇所への移動であるため、やむを得ないと考えている。
528	1051	バス、バイク、自転車での交通が望ましいと考える
529	1051	送迎目的で車を使用したためやむを得ないものとする。JRを使って帰るには、荷物等の問題もあり困難だった。
530	1051	近傍の移動について、自動車の利用を控える。
531	1051	必要最小限しか使っていないつもりではある。どうしても車でしかいけないところもある。
532	1051	最低限の車利用と考えており、これ以上の削減は無理である。
533	1051	まだ、自動車の利用割合が多い。
534	1051	平均と比較してガソリン消費量、CO2排出量、カロリー消費量等は低い値であるが、移動に際して車に依存している割合が高すぎると思う。住居地が交通機関の便が悪いためつい車を利用してしまうのが現状である。今後は少しずつ公共交通機関を利用するよう努力したい。
535	1051	通勤に公共交通機関を利用すれば、環境への影響が少なくなると思います。
536	1051	車での外出を控えることについて、意識し、家族で協力していくことが必要。しかし、買い物等で荷物が多くなる場合は、車に頼らざるを得ないのが現状です。
537	1051	自転車、徒歩の利用の増
538	1051	可能な限り、環境面でやさしく、交通渋滞及び事故等が防げるので、公共交通機関を利用したほうが良いと思う。
539	1051	現況では環境への影響は全く意識せずに行動しているので取り組みの評価としては0点
540	1051	家族で移動するときは、子供が小さいため、車を利用するが、近距離の買い物等には、自転車を利用する。
541	1051	co2削減のためにハイブリッドカーによる通勤をする。
542	1051	自動車からバイク、バイクから自転車へ交通手段を変えることが望ましいと考える。
543	1051	・通勤、通学は公共交通を利用。 ・郊外型マーケットの利用など、日常の買い物やレジャーはマイカーを利用。 ・高速性、定時制の確保のために自動車専用道や広域幹線道路を整備し、物流や業務は道路交通を利用して都市内の渋滞緩和を図る。
544	1051	週末の車の利用をもう少し控える。
545	1051	公共交通機関利用
546	1051	都心部への移動等、近場への移動は、公共交通機関もしくは徒歩での移動を実施することを心掛ける。
547	1051	主に買い物目的であり、荷物運搬を考慮すると自動車利用はやむを得ないと考える。 市中心部へ映画や食事に行く際は、自動車利用を控えるべきと考えている。
548	1051	パーク&ライドによる運転時間の軽減
549	1051	マイカーを乗り合いでレジャー目的地向かったのはいいことと考える。マイカーであちこち買い物にいったのは直すべき点があるかもしれない。
550	1051	やはり、徒歩と自転車及び電車（JR含む）での移動がベスト！ 自分としては、自動車の利用は必要最小限に心がけています。
551	1051	通勤などには、交通渋滞の抑制のため、マイカーは避け、可能な限り徒歩で移動する。
552	1051	近距離(2km程度まで)の場合は、時間に余裕があれば徒歩か自転車での移動を選択。中長距離の場合には、基本的にはバスや電車による移動を選択すべき。マイカーを単独での移動手段として選択すべきでない。
553	1051	自転車のみかアストラムラインを利用する。
554	1051	今回とった交通行動は、環境への影響は比較的大きかったかも知れないが、時間的・経済的に他の交通手段をもって代替することは不可能であるのでやむをえないものと考えている。
555	1051	公共交通機関を積極的に利用する
556	1051	積極的に公共機関を活用する
557	1051	日常は車利用は少ないが、週末での実家への車旅行が長いため、ガソリン消費、CO2排出量が多くなっている。バスでの帰省が環境面からは望ましいと考えられるが、料金が車より格段に高くなる。
558	1051	目的を考えると、自動車の使いすぎとは思わないが、結構影響を与えていると思う。
559	1051	公共交通機関が利用できる環境にあれば、できるだけ公共交通機関を利用したいと思います。 その場合、運行事業者による運行便数や運行時間(始発・終発時刻)などの充実も必要かと思えます。
560	1051	休日に公共交通機関を利用するにはお金がかかるので、つい車を利用してしまいました
561	1051	全体的な移動時間は短いものの、外出するときは、クルマ、バイク等に乗っているため、できるところは自転車等、排気ガスを出さないものに替えたほうがよい。
562	1051	交通弱者との同行動時には、やむを得ず車を使うことになる。従って、単独行動することが多い通勤時や帰宅時のマイカー自粛が重要であると思います。
563	1051	用務先、同行人数、荷物の多少により、自家用車、自転車、公共交通機関を使い分ける。
564	1051	家族まとめでの移動は時間的にも経済的にも車に頼らざるをえないケースもある 単独の移動時はできるだけ公共交通機関を利用する。(車の利用は一人での利用を避ける。)
565	1051	目的と状況に応じて最も利便性の高いものを選択
566	1051	今回の数値結果では、平均値より車利用が低いことがよく判った。 この結果でよしとせず、努力してみようと思う。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
567	1051	公共交通機関での移動を第一に考え、やむを得ないと思った場合のみ自動車での移動とするよう心がける。自動車の利用に関しては、相乗り、最寄の駅等への停車など心がける。
568	1051	休日の行き先は、車でしかいけない場所が多いのですが、買物などは公共交通機関を使いたいと思います。
569	1051	通勤には、公共交通機関を利用している。休日も近所の買い物等については、歩いてするようにしている。
570	1051	なるべく公共交通機関を活用しているから
571	1051	郊外部の住民には公共交通機関利用の限界がある。
572	1051	公共交通が利用できる場合は、なるべく利用する。
573	1051	大きな荷物を持っての中・長距離移動には自動車は欠かせません。可能な限り乗り合わせをして、一人当たりの負荷を軽減するよう努める。
574	1051	保育園の送り迎えがある人や、営業でクルマを使う人など、公共交通機関の利便性以外の条件によってやむなくクルマを利用している人も多いのではないのでしょうか。電気自動車や、通勤用の小型車輛のカーシェアなど、クルマの利用方法の進化が必要だと感じました。
575	1051	映画の後、食事をしたり買い物したりや、また、釣りには車でないと行けないことから車主体もやむなし。ただ、サッカーや野球観戦は出来るだけ公共利用に心がけており、休日の行動としては80点かな！
576	1051	水素自動車の普及
578	1051	外出時には、できるだけ交通機関か交通用具を使うように心がけている結果だと思います。
579	1051	まあ少しは減らさないといけないかも知れません。
580	1051	自宅から近傍への用事は、徒歩・自転車の利用を心掛けたい。
581	1051	近くへの移動は極力歩く。
582	1051	通勤には車は使わず、休日にわずかに使っている。
583	1051	買い物は、近くの店を利用するか、車で行く場合は効率的に行い回数を減らすことを考える。
584	1051	最低限のマイカー利用にしている。
585	1051	地球環境のためだけでなく、自己の健康のためにも可能な範囲で、徒歩・自転車を使用する。
586	1051	家の場所が山の上の団地で公共交通機関がバスのみである。バスも市内行きしかないのもその他の方面に行くには車も移動するしか手段がない。平均値よりかなり排出量が多いがやむを得ないと思う。とはいいいながら、休日等は時間に余裕があるときもあるので、公共交通機関を利用することを心がけたいと思う。
587	1051	外出距離が短い(近い)場所へ行くときは、自転車又は徒歩で行くのが望ましい。
588	1051	予想外に高い数字で、反省しました。
589	1051	非常に少ない排出量で驚いています。
590	1051	公共乗物を利用し取組んでいる。
591	1051	自宅近郊には店舗が少なく、毎週の買物は10 <sup>km</sup> 離れた店舗に行く。また、公共交通機関は広島バスしかないため、行動範囲が限定されるため、自動車に依存する頻度が高い。もう少し、公共交通機関の種類が増えと利便性が高まれば、公共交通機関の使用頻度も増えると考えます。
592	1051	買い物による荷物の運搬などには車の使用はやむをえない。人の移動だけであれば、徒歩や公共交通機関の利用にすべき。
593	1051	原付での移動を自転車に改める
594	1051	休日でも自家用車の利用を控える。
595	1051	できるだけ、公共交通機関をしようするようにしたい。
596	1051	必要最小限の自動車の利用
597	1051	近くへはバイク、自転車、徒歩
598	1051	可能な限りクルマを使用しないようにし、公共交通機関を利用するようにする。
599	1051	住居が山の手にあるので、買い物等では自動車を利用することが多いが、近場であれば、できるだけ徒歩あるいは自転車を利用することも考えたい。
601	1051	自家用車を利用せず、公共交通機関を利用した。
602	1051	・ 時間と体力に余裕があれば電車、バスの利用が望ましい。 ・ バスの待ち時間が長すぎることが利用をためらわせる。(特に、江波/牛田線の帰宅時間帯の待ち時間はひどい) ・ 公共交通機関の定時運行少なくとも10分以上待たさないようになればもっと利用したい気持ちがでてる。
603	1051	車は、休日のみの必要最小限の限定使用だと思います。
604	1051	車でいく必要があったため、車利用率としては平均を上回ってしまった。ガソリン消費量、CO2排出量から見れば、平均の50%前後となっており、必要最小限の利用にとどめることができたと思う
605	1051	公共交通機関を使用することを基本とするが、足が不自由な家族がいる場合、車の使用は仕方がないと考える。
606	1051	徒歩→バス→山陽本線→徒歩での移動も可能だった。
607	1051	公共交通機関(バス等)の係が悪いので、妻は車を、その他はバイクを使用しています。団地から最寄のJR駅までのバスの便数が増えれば、公共交通機関を使用する通勤・通学が望ましいと考えます。
608	1051	最大限、公共交通機関を利用する。
609	1051	娘をJR駅まで車で送っているが、早起きして徒歩で通学して欲しい
610	1051	自転車や徒歩による手段が必要
611	1051	第1回目のアンケートがうまく入力できていないためか、「あなた(A)」の数値が不明なので、評価不能と言うのが正しいと思います。
612	1051	近場への移動は車を使用を控える
613	1051	目的地までの公共交通機関がないため、時間的な余裕がなく、車を使用した。自家用車までとはいわないが、公共的な交通手段があればいいのだが。
614	1051	できる限りの自動車使用は行っていないが、家族全員で移動する場合、近い場所でも自動車を使用することがあった。
615	1051	公共交通機関が利用できない時間帯の車利用は、必要最小限になるよう努める。



5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
616	1051	私の場合、職場や商店に近い所に住んでいるため、得に努力しなくてもエネルギー消費量が少ないだけでしょ。CO2削減のためには、自分が行動する地域内に住むのが一番である。郊外に住む人が増えれば、それだけ人の行動範囲は広がり、自動車等を利用する機会が増えるので、人口を街中に集中させるような施策が必要ではないでしょうか。(旧市内の住宅地の容積率緩和等によりマンション建設を促す等)
617	1051	移動手段を考える際、徒歩→自転車→公共交通機関→自家用車という順で選択するよう心がけたい。
618	1051	極力、交通機関を利用する
619	1051	通勤距離が長いので、移動時間が多い。 自動車に依存していることが多い。
620	1051	荷物が少なければ公共交通機関も利用する。
621	1051	できる限り徒歩若しくは自転車で移動
622	1051	自転車等を積極的に使用している。
623	1051	アストラムなどの交通機関との併用
624	1051	第1回調査の回答は、日常より自動車を使用するケースを回答しました。 日常的には、もっと使用は控えています。さらに徒歩、自転車による移動としなければならぬと考えました。
625	1051	通勤に車を使わないようになれば、家族全体の評価は上がると思うが、現在の公共交通機関の状況ではよく頑張っていると思う。 移動時間が同じようでも車利用率が上がればCO2排出量が飛躍的に上がるのがよく判った。
626	1051	公共交通機関の利便性の向上を図る必要がある
627	1051	今回は台風14号により床上浸水するとともに自家用車が浸水し廃車となったため、外出もできず、かたづけにあげられており、お役に立てるような回答ができませんでした。 広島市の地理、交通網を考えると自家用車が大変便利であり、今後、ハイブリッドカーなど地球にやさしい車の供給に期待したいです。
628	1051	妻が、自動車通勤している。通勤先が公共交通機関から少し、離れていること、退勤時刻が遅くなりがちで、通勤荷物が多いため、それは仕方ないと考えています。 私は、公共交通機関を利用することがほとんどではあるが、休日などの買物などは、荷物もあるし、自動車を使いこなすことになりがちです。 仕方ないと思う反面、改善の余地有りというところではあります。
629	1051	休日に都市を離れる私にとって(田舎での農作業も含む)最低限の必要は、やむを得ないと考えます。(需要のほとんどない路線に公共交通機関を設置すれば別ですが)むしろ、普段、広島市の中で移動する際の交通手段を充実させることが必要と考えます。但し、休日であっても市内中心部の移動は公共交通機関を使用します。
630	1051	望ましい交通手段は、自転車であると、前から考えています。 そのためには、自転車専用道路を整備して、通勤・通学等、自転車を奨励すべきではないでしょうか。
631	1051	子どもの保育園の送り迎えに自動車が欠かせなくなっています。小学生になると家族で公共交通機関を使用していると思います。
632	1051	・公共交通機関では間に合わない、公共交通機関では買い物の荷物等の運搬に支障があるなどの理由がない場合、極力公共交通機関を利用する。 公共交通機関では時間が間に合わない、公共交通機関では買い物の荷物が運べない等特別の事情がない場合、基本的に公共交通機関を利用する。
633	1051	近くは自転車、街中は電車、電車が通っていないところは自家用車という使い分け
634	1051	自動車の利用はミニマムにした。
635	1051	便利であるため、自動車に頼りがちである。近いところは、自動車以外の交通手段を利用したい。
636	1051	JRと自転車の併用
637	1051	言い訳ととられるが、現在住んでいる場所は都心と違い公共交通が発展してなく、仕方ない部分も多く作用している。しかしながら、地球環境を考えれば全員が意識し取組む必要があると考える。 今後は、健康の面からも自転車等の利用に切替えて行きたい。
638	1051	大きな荷物がある場合、大勢運ぶ場合を除き、一人での移動はバイクを使うようにしたい。今まであまり利用していない自転車や徒歩を多用したい。
639	1051	早朝勤務があるため電車やバスの利用が難しい。年齢の関係からバイクは危険なため自動車の利用がベスト。現在、通勤用の車のガソリン使用量は16リットル/週程度です。
640	1051	軌道系交通機関による輸送
641	1051	天候や荷物の運搬などを考えて、車での通勤となったが、距離的には近いので自転車での通勤も可能である。他の公共交通機関を利用するのは3倍の時間を要するので困難である。
642	1051	他の交通手段の利用が困難であるため、自動車の使用はやむを得ないと考えているが、評価としては、低い評価とすべきと考えた。
643	1051	必要最低限の利用をしているつもりであるが思いのほか消費していたので、エネルギー消費の少ない乗り物に変える
645	1051	自家用車の利用頻度が多すぎると改めて感じる。
646	1051	期間中で可能な限り、外出時に乗り合わせをし、市内中心部では徒歩移動に努めたが、公共交通機関のない地域に住む者にとって、これ以上の節約方法がなかった。 また、自家用車に燃費節約のためのパーツを取り付けて、省エネにも努めた。
647	1051	近距離移動の車使用自粛 交通至便な市内中心部へ行く際の公共交通機関使用
648	1051	町内の移動は自転車などが良いでしょう
649	1051	休日に身の回りのことを済ませようとすると、待ち時間などのロスを少なくするため自家用車の利用が多くなります もっと積極的に公共交通機関を利用すべきだと思う。
650	1051	家族の数だけ、車があることは便利さと裏腹に、環境破壊の元凶であることをみんな認識する必要あり。乗合わせとか、話し合っ工夫出来るのでは？
651	1051	極力、自宅周辺への車での外出は避けるようになっているが、夜間に外出する時は、車に頼った行動をしている。今後は、徒歩や自転車の活用により、車での外出を控えようと思う。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
652	1051	交通指標について総じて平均を下回っており、CO2排出抑制の面で寄与していると思われるが、なんらかの工夫によりクルマ利用率を下げることであれば、望ましい。
653	1051	電者や地下鉄の積極的利用を図りたい。
654	1051	可能な限り公共交通機関を利用するよう心がけているが、現時点では、CO2排出量が平均よりも多いようであるため、より一層心がける必要があると感じた。
655	1051	更に電車・バス等の公共交通機関をより活用した移動を行う。
656	1051	可能な限り公共交通機関
657	1051	電車
658	1051	車の使用は必要最小限にしています。
659	1051	郊外に住んでいるので、マイカー以外で対応できない外出が多い。せめて近隣への外出は自転車等のできるようにしたい。また、娘は幼稚園の通園バスを利用しており、代替しようが無い。
660	1051	つつい自家用車に頼りがちになっているため、公共交通機関を使っていける所には意識して使うようにしたい。
661	1051	自転車や徒歩を利用しようと思えばできる場所について、自家用車に頼ることが多いのは事実。ただし、小さい子供がいる等の制限のある家庭もあり、どこまで公共交通機関に頼って生活できるかは、平均値との比較だけでは言えないと思う。
662	1051	公共交通機関の利用に関しては、強制するのではなく、実態(勤務形態、交通至便性等)を配慮し、個人の自主性に委ねるべきと考える。
663	1051	自分にとっての費用対効果に、環境のよさについての効果を加えて手段を考えることが望ましいと思います。
664	1051	休日など近場への買い物でも自動車を使うなど、移動手段として自動車が当然の状況となっているため、まずは徒歩や交通機関の利用ができないかを考えて、やむを得ないときに自動車を使うよう意識する必要がある。子どもたちもたまにバスや電車に乗るとはしゃいだりしてうれしいようである。
665	1051	平均に比べ1.9倍と大分大きいのでびっくりしました。しかしながら、私の住む街では他の都市に比べ、公共交通機関の整備が劣っているという状況を考えると、この値から大幅な削減も難しいかなと思います。出来るだけ公共交通機関に切り替えられるものについては、切り替えたいと思います。
666	1051	時間的余裕があれば公共交通機関を利用することが望ましい。
667	1051	1キロメートル四方の範囲であれば、徒歩又は自転車が適当であり、現実には私は実行しているが、荷物等を運ぶ必要がある家族(配偶者)はどうしても車での移動とならざるを得ない。 遠方に行く場合も、鉄道等の交通手段があれば、可能な限り鉄道や路面電車を使用するようにしているが、家族と一緒に移動する場合は、経費面等から近い場所でも車に頼ることが多い。今後は、自転車等をもっと活用したい。
668	1051	公共交通機関が十分整備され、車利用と比較した場合にあまり差がないようなときにはなるべく公共交通機関を利用する。
669	1051	子供の保育園の送迎があること等から、現状はやむを得ないと考える。
670	1051	必要最低限の、自家用車使用状況とはなっていないように思われるので、今後は更に使用を控えるよう努力したい。
671	1051	今回通勤でアストラムナインを使用したけど、いつもより20分程度多く時間がかかった。わたしの家は、駅に割と近いが、本通駅から職場まで徒歩で来たので時間がかかったと思われる。本通駅からバスでくればもう少し短縮できたとおもわれる。できれば、公共交通機関が一部の通勤区間は自転車を利用するしかないかもしれない。
672	1051	平日の車の利用を控え、必要な場合は公共交通機関等により移動する
673	1051	平均に比べてCO2排出量のシェアが少ないが、自動車への依存が高い。家が郊外に立地しており、公共交通機関がないため、やむをえない面があると思う。
674	1051	妻の職場は、車でしか通勤できない場所にあり、そこへ出勤する途中の駅まで私が同乗しているため、余分な車の運転は控える結果となっている。
675	1051	歩いて移動できない距離の場合、今、2歳の子どもと妊娠中の妻がいるので、自動車の使用はどうしても必要となります。ですが、近くのスーパー等に行く際は、歩いて移動するようしています。
676	1051	近距離の移動には、徒歩、自転車によるようきをつける。 また、ある程度距離のある移動の場合は、極力公共交通機関を利用し、マイカーの使用は、必要最小限度にとどめる。
677	1051	できるだけ公共交通機関を使用する。
678	1051	市内の移動はできるだけ公共交通機関を利用する。
679	1051	通勤等では、徒歩や公共交通機関の利用を心がけたいが、車の運転が好きであり、余暇や趣味では、大いに車を利用したい。
680	1051	遠方の場所に行く場合は、できるだけ公共交通機関を利用することが望ましいと考えます。また、徒歩圏内での移動については、徒歩あるいは自転車等での移動を心がけるようにすることが大事だと考えます。
681	1051	居住地の公共交通機関が不便なので、自家用車ばかりを利用しているため、自家用車の利用を減らすのむづかしい。
682	1051	小さい子供2人がおり、休日の外出はマイカーを使わざるを得ないが、日常では公共交通機関や徒歩、自転車が望ましい。
683	1051	まず休日に車でなく公共交通機関を利用することからはじめる
684	1051	健康のためにも自転車がよいと思うが、家が団地なのでつい億劫になってしまう。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
685	1051	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤・通学をはじめ、日常生活においては、公共交通機関、自転車、徒歩の併用による移動・交通手段が望ましいと考えます。</li> <li>・しかし、現在の居住環境(高台の団地、最寄のJR駅まで徒歩約15分、近所にスーパーなし)、勤務実態(時間外勤務が比較的多く、公共交通機関の運行時間上の制約)及びその他の事情(親の介護等)を考慮すると、必ずしも理想どおりの交通手段が使えないのが実情です。</li> <li>・エネルギー消費や環境への影響を極力少なくしたい思いは当然ありますが、解決すべき直面する課題を優先せざるを得ないのも事実であり、バランスの取れた交通手段の選択に苦慮しています。</li> </ul>
686	1051	<p>車があとで近所への買い物でもすぐに利用してしまおうが、健康面からみても、徒歩、自転車を利用するように心がけたい。</p> <p>公共交通機関も利用するようにしたいと思う</p>
687	1051	自家用車の使用割合が高く、環境への配慮が不足している。
688	1051	近くの買い物などは、徒歩で行くようにしたほうがいい。
689	1051	休日に買い物等のために外出するときは、安易に車を使わず交通機関を使用することができるため、なるべく交通機関を用いるようにすることが二酸化炭素排出量の削減につながると思います。また、マイカー使用者の意識改革も必要ですが、交通機関をより便利に使用できるようにすること(便数、路線の拡大等)や、その結果を広報することにより、マイカーを使用する人が交通機関を使用するように働きかける運動も、同様に大切だと思います。
690	1051	自宅が交通の便の悪い地域のため、車の利用機会が多いこともあるが、徒歩や自転車の利用を増やす等の取り組みの必要性も感じられた。
691	1051	外に出る仕事であるので、よく車で出ていたが、これからは他の交通手段も考慮したい。
692	1051	自宅から公共交通機関の利用できる場所までの交通手段が非常に難易なため、車を利用せざるおえない状況ですが、春夏秋冬の交通手段を考えると職場までの交通手段はやはり車しかありません。やむおえない場合は、自転車と電車で徒歩で対応するしかありません。緊急時のことを考えれば車での通勤がベストです。
693	1051	近所のスーパー等への買物程度は、徒歩・自転車にする。
694	1051	現在の公共交通機関のダイヤは不便で、クルマ利用率が高いのも致し方ないと思う。
695	1051	歩くことや自転車を利用することが、健康管理上でも良いとは考えているが、時間や荷物の関係で自動車を使用することが多くなっている。
696	1051	<p>時間に余裕があるときは、歩いているので生活習慣を見直し、時間に余裕が持てるようにしていきたい。</p> <p>なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を利用することを心掛けようとは思いますが、次男が障害者で車椅子を利用しているため、通院、通学(通信制高等学校のため週1回)には自動車での移動が必要である。</p> <p>自分自身通勤でバイク(125cc)を利用しているが、週2回地域の体育協会で指導を行っており、公共交通機関では所要時間がかかりすぎ、早く帰るためバイク通勤は必要である。</p> <p>消費エネルギーのことだけを突き詰めて考えれば、職住近接の生活が望ましいのであろうが、それが不可能である以上、より利便性の高い公共交通体系の整備が不可欠だと思う。</p>
697	1051	買い物などは、自転車、徒歩でも可能であるが、ゴルフになると公共交通機関を利用することは、困難なため、できる限り乗り合わせていくことが望ましいと思われる。
698	1051	<p>家族(2)については、勤務体系が公共交通機関態にあわないため、車通勤に切り替えたものです。</p> <p>家族(1)については、今回の取り組みから近場には自転車等に切り替え予定にしたい。</p>
699	1051	車通勤を控えたい。
700	1051	公共交通機関の利用及びやむを得ない場合のみの自家用車の利用
701	1051	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルマ利用率以外は平均よりは低い数値となっており、クルマ利用率については、必要最低限でのクルマ利用を実施した結果であるため、総合的には高い評価とした。</li> <li>・現在でも、クルマ利用に関しては、必要最低限としているため、今以上の削減は難しいと考える。</li> </ul>
702	1051	<p>所有する車が環境にやさしい(CO2排出量が少ない?)と思っていたが、少なからずCO2の排出について、外出行動の交通指標を見て少しビックリしました。</p> <p>今後は、①不要なアイドリングを止める、②不要な高速運転(スピードの出し過ぎ)をしない、③近いところは公共交通機関を利用する 等の取り組みを行いたいと思います。</p>
703	1051	公共交通機関のないところに住んでいるため、自動車利用しか方法がない。
704	1051	<p>通常は、短距離での移動が、数回組み合わせる場合がほとんどであるため、自動車での移動がほとんどを占めている。</p> <p>子供を2人連れての移動は、車を頼らざるを得ない。(料金や移動時間のため。)</p> <p>また、私は平日の移動はほとんど自転車であるのに、クルマ利用率が78%もあるのはなぜでしょうか。理解できません。</p>
705	1051	アンケート未回答のため評価できませんでした。
706	1051	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相乗りできる場合は、そうすること</li> <li>・歩きや自転車で行ける場合は、利用する</li> <li>・通勤等毎日のことには、特に公共交通機関を利用する</li> </ul>
707	1051	移動人数に対する費用の点を考慮すると、自動車利用にならざるを得ないと考えます。
708	1051	自分達の都合を第1に考え、交通手段を選んでいるが、周りの人と一緒に行動することも考えれば、2台の車移動が1台でできる。
709	1051	<p>自分はバイクから自転車に変更したが、家族は車を使用した。</p> <p>バス等公共交通機関が利用しやすければいいが、現在のバスの排気ガスの状況を見るとバスが環境に良いとも思えない。</p> <p>CO2がでない車の開発・普及を急ぐほうが現実的かもしれない。</p> <p>自転車が安全に走れる道造りを進めて欲しい。</p>
710	1051	<p>クルマ利用は、自宅からは公共交通網の無いホームセンター等への利用であり、時間的な損失を考えるとやむを得ない。</p> <p>しかし、利用率が100%であることから、反省の意味を込めて、80点とした。</p>
711	1051	<p>自転車の利用を増やすことができればよいと思う。</p> <p>ただ、剣道の送迎が、防具が大きいので車に頼らざるを得ない。</p>

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
712	1051	保育園への子供の送迎など、車に頼らざるを得ないが、可能な限り自転車を手段とするよう心掛けた。
713	1051	車利用率が高いので、バスなどの公共交通をできるだけ利用することが望ましい。
714	1051	エネルギー消費のこののみを考えると極論すれば、徒歩を含め移動そのものが悪といえる。
715	1051	外出の目的が、釣りであり自動車使用はやむを得なかった。出来れば仲間を集めて相乗りが望まれる。
716	1051	一人で行動する場合は自転車、公共交通機関等を使うことを優先するが、家族を含む移動には完全に車に頼っている。車に頼らざるを得ない環境(公共交通機関が不便、自転車利用が不便等)にあるのが大きな理由であるが。
717	1051	本来ならば、公共交通機関(バス及び電車)で通勤すべきであると思うが、自宅及び職場の位置関係等から自動車通勤せざるを得ない。
719	1051	がんばります。
720	1051	近距離の移動は、原付自転車か自転車を用いる。
721	1051	通勤距離が長いので朝の時間有効活用のためバイク通勤としている。 自動車通勤での渋滞によるアイドリングがない分環境に貢献していると思う。
722	1051	今回の休日の車の使用は、食料品の購入と私用での利用で、食料品の購入は、最寄の公共交通機関の駅等から離れていること、購入量を考えて車を使わず終えないと思う。私用については、時間は大幅に増えるものの公共交通機関の利用は可能で改善の余地があると思う
723	1051	1日目は原付での移動も可能だった。 しかし、市役所から五日市までの移動となると、原付では西広島バイパスが通行不可で、労力・時間が倍かかってしまう。帰宅も深夜帯に石内バイパスを通るので、おっくうになった。
724	1051	どうしても必要な場合以外は、車を使わず、公共交通機関や自転車を 使うことが望ましい。
725	1051	近場は徒歩か自転車の利用
726	1051	目的地が近隣の場合は徒歩で、目的地が遠方の場合は極力、公共交通機関を利用するのが望ましい。 ただ、子ども連れや家族での移動、また目的地までの交通手段が乗り換えなど煩雑になる場合や、駅、バス停から目的地が遠い場合はどおしても車に頼ってしまう。
727	1051	公共交通機関の便数が少なく、かつ、コストが高いことからやむを得ず自動車を利用した。独りの利用で荷物の運搬がない場合は、バイクを利用した。 これ以上の自動車利用を控える場合、かなりの不便とコストを覚悟しなければならず、これ以上の節減は非常に困難である。
728	1051	自動車は、自動車以外(バイク、自転車、徒歩)の方法が考えられる場合には使用しないようにする。
729	1051	団地のため、自宅近くに交通機関が少なく、どうしても車に頼りがちである。特に休日は趣味で音楽活動をしているので、荷物などもあり、なかなか交通機関利用することが難しい現状である。
730	1051	公共交通機関の利用
731	1051	身体上の都合もあり、マイカー通勤しているが、アイドリング・ストップを心がけたい。また、休日の外出は必要最小限に抑える。
732	1051	CO2を削減するには、公共交通機関の利用もバスから電車又はJRをできる限り利用すること。
733	1051	外出の内容、緊急度によるが公共交通機関を利用できる場合はできるだけ公共交通機関を利用する。
734	1051	たまたま自動車の利用がなかったためであるが、一人で移動の場合は、原動機月自転車の利用を基本としている。
735	1051	近隣地への移動についても車を使用したため、もう少し車の使用を自粛したほうがよいと思ったため。
736	1051	自動車での移動も考えたが、他の方法もあり時間の余裕もあつたので自動車は使わなかった。 5人家族で出かけると公共交通機関では経費が高く時間もかかる場合が多く自動車の利用はやむ終えないと思う。せめて経費、時間のどちらかでも節約できれば公共交通機関を選択する余地はある。
737	1051	通勤程度は、マイカーを控える。
738	1051	自分は、基本的に自動車を交通手段として使用しないので、高得点にしました。 人によって、通勤に交通手段がない場合は自動車を利用せざるえないと思うので、公共交通機関の整備が大事なのではないのでしょうか。
739	1051	近距離の場合は、自転車・徒歩での外出に心がける。
740	1051	週に2回はバス通勤とする。
741	1051	自分がもう少し休日に、公共の交通機関を利用するべきであると反省する。
742	1051	公共の交通機関が利用できる場合は、自家用車は利用しないようにする。
743	1051	可能な限り、公共交通機関を利用し、ガソリンの消費、CO2の排出を抑える。
744	1051	車を所有していないので、CO2排出量が平均より少ない。
745	1051	平日・休日とも公共交通機関を利用するのが環境面からはベストだと思う。ただ、家族で移動する場合は、経費・時間の面で車に頼らざるを得ない。この部分をクリアする必要があるのではないか。
746	1051	旅行の際にJRを使用するという方法はあつた。
747	1051	平均を大幅に下回ったから
748	1051	近い距離や交通機関を使用できる場所にも車やバイクを使用しているため。通勤や子どもをつれての買い物等はやはり車などを頼ってしまう。
749	1051	公共交通機関を利用
750	1051	外出は、公共交通機関を利用して行くこと。
751	1051	安易に車に頼らず、目的に合った交通手段を使う。
752	1051	広島交通事情を考えると、自動車利用はやむ得ないと思う。
753	1051	これ以上削減できないぎりぎりの線です。
754	1051	仕事での現場周りは車でしか対応できないが、通勤は電車バス等を利用できるので、できるかぎりそうする事が望ましい
755	1051	パークアンドライドの推進が一番現実的で効果的と思われるので、これに係るハード、ソフト両面からの推進をするべきである。
756	1051	自動車の利用する割合が高い。 近くへの移動などは極力、自転車や徒歩などででの移動を心がける必要がある。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
757	1051	子供の送迎のために車を使用しており、やむを得ない部分があるが、その他については、改善の余地はある。
758	1051	身体に障害があるため、バスなどの公共交通機関は利用しにくい。 今後、ハイブリットカーなどの低排出ガス車にしたい。
759	1051	特になし
760	1051	徒歩、または自転車での移動可能距離を自家用車を使用した。カロリー消費量があまりにも少ないので、もう少し頑張ろうと思った。
761	1051	通勤だけを考えると自宅からバス停までが15分以上かかり1時間の便数が2本程度であり、車の利用はしかたないところ。休日の利用にしても買い物程度であり環境への配慮はしておるところである。
762	1051	他に事情があるものの、数年前に自動車を手放し、地の利の良い場所に住んでいることから、移動手段は極力徒歩を心掛けています。しかしながら、徒歩では厳しい距離の異動には、路面電車あるいはバスを利用していますが、自分の所有ではなく公共交通機関であるバスを利用してもガソリンの消費やCO2の排出に荷担しているのですね。 ということで、やはり、望ましい交通手段は、時間的な制約や目的地への交通網などの条件を除けば、徒歩、自転車、電車(アストラム含む)、バス、バイク、タクシー、自家用車(可能な場合は乗合により最小台数にする)の順ででしょうか。
763	1051	電車・地下鉄は日常生活では利用できません。バスについては、利用条件が限られますので、不便です。タクシーでは経費がかかりすぎます。バイクの利用を考えることは、あります。
764	1051	可能な限り公共交通機関を利用し、自家用車の利用を避けるのが望ましいと思います。また、近い距離ならば徒歩や自転車の活用を考えることが大切だと思います。
765	1051	できる限りバスなどの公共交通機関を利用し、排気ガスなどの利用を抑えるのが望ましいと思う。
766	1051	交通の集中する市街地への移動は公共交通機関を利用する。
767	1051	〇〇へ行くには、自動車でないと移動できない という、固定観念を捨てなければいけない。
768	1051	乗用車を使用しなくても良い箇所に行くことは排気ガスも少量で済むし渋滞対策にも良いので極力2輪車か自転車を扱うようにしたい。
769	1051	私の通勤手段は徒歩とJRだが、調査日は、JRが、事故のためタイヤが大幅に乱れた。よって遅刻を防ぐため自動車を利用したため、平均値を大幅に超える二酸化炭素量となってしまった。これからは通勤はJRを利用したい。そうすれば、平均値を下回る。
770	1051	郊外に住宅があり、公共交通が複数選べない、一日数便しかバスもない過疎地からの通勤はマイカ
771	1051	自動車を利用する頻度が高いので、徒歩など自動車以外の交通手段が活用できる場合は、それらの移動方法を活用する。
772	1051	近距離は徒歩で、市内へは公共交通機関で、郊外・遠隔地へは自家用車等で出かけるよう努力が必要。
773	1051	子供がまだ小さいので、つい車の利用をしている。 健康のためにも自転車等多く利用したい。
774	1051	近くへは自転車等を利用する。
775	1051	実家に行くときに車ではなくJR等公共交通機関を利用すればよかった。
776	1051	公共交通機関を使用することは重要なことだと思いますが、公共交通機関が十分でない地域に住んでいる私としては、やはり自家用車に頼ってしまいます。買い物も学校も自家用車で行かないととても無理です。通勤に関しては、パーク&ライドの施設がもっと増えれば利用しやすいと思います。
777	1051	市内は可能であれば、バスや電車等の交通手段を利用する。
778	1051	移動について、車への依存度が高い。
779	1051	時間があまりないのでバイクを利用すれば時間の問題も二酸化炭素排出量も減るのではないかと考えています。家が団地にあり自転車では帰りの時間がかかりすぎて代用できかねます。バイクをすぐに購入する事はできないのでこの方法は理想という事で、次回の交通手段は公共交通機関だけを利用することにします。9月22日は、団地を降りるまで自家用車を利用し、JRに乗り継ぎましたが、次回はすべて公共交通機関に切り替えてみます。
780	1051	地球環境のためには良くない結果というのわかっているのですが、交通機関を利用しようにも駅は遠くバスも便がないような状態で、車に依存せざるを得ない環境です。もうすぐ住んでいる町が合併で市になるので、交通機関の便が少しでも良くなることを期待したいと思います。
781	1051	バスと電車を使って通勤する。
782	1051	自宅から駅までは距離があり、通勤に電車は利用しにくい。また、正直いまだ車を使わない生活は考えられません。そのため、将来的にはハイブリットカー等の使用を考えています。
783	1051	高速道を使用しているため、渋滞等による地球温暖化防止には貢献していると思う。 なお、週に一回程度はノーマイカーデーにしたいと思っている。
784	1051	通勤はいつも自転車にするのが望ましいと思うが、家が山の中腹にあるため、荷物などが多いときは、車を使用している。 自分では、結構がんばっていると思っている。
785	1051	バスや電車等の公共交通機関の利用を増やせれば、もっといいのかもしれませんが、本数が少なかったり、料金がやや高いなどの制約もあるので、なかなか、難しいかもしれません。
786	1051	とりあえず、通勤にバスを利用しました
787	1051	行き先や用途に合わせて交通手段を使い分ける。
788	1051	公共交通機関がある場合は、できるだけ利用するようにする。
789	1051	普段なら自動車で外出するが、自転車以外で外出したため。
790	1051	目的地まで乗換えがない場合もしくは一回程度までなら、公共交通機関を使用すべき。
791	1051	外出していないので評価が難しい。 家族等で移動する場合は自動車の使用は仕方ない。
792	1051	家族で移動するときは、やはり車に頼ってしまう。 とはいえ、車に乗る回数が減少している。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
793	1051	すみません、最初の入力が上手くいきませんでした。(ウインドウズ98で実施したため)今回は自宅のパソコンで実施しているため、入力はスムーズに出来るのですが、前回の入力が上手く出来ていないので、全てのデータが合っていません。(通勤を含む全ての外出が車によるものだったので)出来れば最初からやり直せばいいのですが・・・
794	1051	なるべく、車両を使わず移動をしようと思いますが、公共機関の待ち時間や利便性を考慮すると、マイカーでの利用になります。
795	1051	自己評価する基準値がわからないのでコメントに困ります。A/Bが1以下(平均値より下回った場合)が良好であるならば97点と入力できるのですが・・・。とりあえずそれで評価値を入れておきます。
796	1051	排出量が平均の1.5倍であり、平均以下と考えていたので健全な環境に貢献していない。残念である。よって、自己評価50点とした。
797	1051	燃費の改善には他人より強く意識し、かつ取り組んでいる。単に車通勤だから悪いと言うのは個性を捨て、人の生き方や考え方も否定し、近年人類が経験した強度な管理型社会突入へのプロローグとは言えないだろうか。現在軽自動車で14Km/lです。
798	1051	家族で複数のパートのため車を使用しているのは仕方ないとしても、他は、車をバイクに、同じ時間帯では、同乗する等の工夫が必要であると感じた。
799	1051	9月22日の通勤においては、交通機関(JR)を利用したが、毎日の通勤の利便性から考慮すると、やはり自家用車での通勤が都合がよいと考える。ただし、昨今のエネルギー特に石油については、高騰が著しく経済的、環境的側面から考えると、公共交通機関の促進を図るべきである。
800	1051	わかりません
801	1051	バス、電車等が気軽に利用できること。
802	1051	交通アクセスが不便なため自動車を使用するのはやむを得ない。
803	1051	できるだけ、徒歩・自転車を活用する。
804	1051	広島市の公共交通はバスに頼っており時間距離が大きい事、軌道交通へのアクセスも難で利用しがたい状況であるため、自家用自動車の依存度が高いと考えるが、同じ職場の人との相互便乗等を検討したい。
805	1051	公共交通機関をできるだけ利用する。
806	1051	今後は、なるべく車を使わないように努力したい
807	1051	今後も車を使わないようにしたい
808	1051	通勤手段としては他にバスもあるが、バス停まで20分歩く必要があり、非現実的である。また、買い物もスーパー等が遠く、自転車では困難である。このため、現状の使用方法はやむをえないと考えている。
809	1051	環境のことを考えると公共交通機関の利用が望ましい。
810	1051	公共交通機関の利用
811	1051	徒歩
812	1051	今回のこの取組みを契機とし、改めて環境について考えてみたい。
813	1051	環境への負荷について考えたい。
814	1051	常時省エネ運転に努めています
815	1051	居住地の交通事情等から自動車の利用とならざる事情があるが、今後は公共交通機関の利用促進を考えていきたい
816	1051	子供の送り迎えに、安易に車を使っている。近くは自転車ですいしょに行くなど、工夫が必要だと思います。
817	1051	必要に応じた経済的な利用
818	1051	必要最小限で車を利用しており、次第点は与えてもいいと思う。
819	1051	休日残業で職場に行かなくてはいけない状況の中で、不便な場所にあるため自家用車を使うことは、止むを得ない状況であった。
820	1051	勤務先と終業時間の不規則さから自動車による通勤にしているが、規則的な、勤務になると公共交通機関に変更が可能と思われます。現在は、不本意ながらマイカーとなっているが、燃費には配慮している。
821	1051	車の移動の際は、今後とも環境に配慮し、排気ガスの少ないハイブリッド車をできる限り活用していく。
822	1051	できるだけ、公共交通機関を利用したい。
823	1051	今後も継続して努力する。
824	1051	公共交通のない僻地に住んでおり、自動車を使わなくては生活できない実態があるため、やむを得ないと思う。
825	1051	クルマ利用率については、大きく向上させることは現時点では難しい。しかし、CO2排出量が、平均を上回っていることについては、考えさせられる。また、カロリー消費量が平均以下であったことが、悲しい。
826	1051	自転車
827	1051	通勤に車が必要なことから、平日は、これ以上改善を図ることは難しいが、休日は意識的に公共交通機関による移動を考えたい。
828	1051	自宅から職場までの交通事情を考えると、自動車通勤が望ましいが、時には、バス通勤をすることも大切であると考える。
829	1051	通勤は、保育園の送り迎えがあるため、交通手段として車は不可欠 休日については、なるべく自転車で対応しているのでこれが限界だと思います
830	1051	郊外の団地に居住しており、公共交通機関での移動は時間的にロスが多く、また経費的にも割高なため、このような結果となった。 市内にバスで往復すると家族3人で約4千円かかり、負担が大きいため利用できません。 割高な郊外路線のバス料金の引き下げがなければ、必要な時以外は利用しないと思います。
831	1051	経済が厳しい中ではありますが、本気でやるなら、公共交通機関を利用し易くする手段として、国、県、市町村が応分の負担をし、公共交通機関を安く利用させる。鉄道からバス利用は3分1以下にするとかバス・電車1か月5千円定額にするとすれば利用者も増え採算もとれるのでは。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
832	1051	家族で移動するときは自動車利用はかかせない。環状の鉄道網やバス路線の未整備、高いタクシー代を考えると現状はやむを得ない。
833	1051	手荷物のない買物などは公共手段を使う。 送り迎えはなるべくしない。複数家族の行事は乗合わせる。
834	1051	意外と車を利用していることに驚いた。 通勤用具として公共交通機関だと家から職場まで乗り継ぎが悪く1時間半はかかるが、車だと25分と便利である。バスの便は多くの人が利用するには組んであるが、山を越えるような便はきわめて不便である。もっと、自家用車で通勤できるようにしてほしい。
835	1051	健康面等を考えると、自転車、徒歩といった移動手段が望ましいが、徒歩ではその移動距離におのずから限界があり、となると自転車であるが、現状の道路事情の悪さ(歩道が整備されていないため交通事故の危険性が高い、交通量の多い道路を通る場合大量の排気ガスを浴びてしまい逆に不健康)を考えると利用可能であれば自家用車の利用が望ましい。インフラが整備されれば逆転すると思われる。
836	1051	もう少し自動車の利用をセーブし、徒歩に切り換えられたと思う。
837	1051	必要最低限での利用
838	1051	通勤を除き、公共交通機関を利用するよう心がける。
839	1051	もう少し自動車以外の交通手段を使えるようになればいいと思います。
840	1051	通勤に車を使わないので、いずれも平均値より低い値である。
841	1051	子供の塾送迎など夜間の移動は自家用車の利用が前提の生活となっているが、日中については、なるべく徒歩・自転車の利用を一層心がける必要があると思う。
842	1051	買い物などに一人ででかけるときは、極力自動車を使わずに、自転車や公共交通機関を使うよう心がけている。家族にも協力を呼びかけているが、まだ自動車を使う頻度を減らせると考えている。
843	1051	一般にマイカー利用の多さを認識するのは、1人しか乗車していない通勤自家用車があまにも多すぎることにあと思うが、広島市内を含め県内の公共機関の路線網の状況を考えると致し方ないところもある。私は、交通機関については、目的地の駐車場の状況、乗車人数、目的地までの利便性、購入物の量(買い物の場合)、時間的余裕、天候等を考えて選択しているし、そうすべきであると考えている。
844	1051	現状どおりバイクを中心とした交通手段
845	1051	用事がなかったので、外出しなかっただけです。
846	1051	でいるだけ車を使わないように努力している。
847	1051	都心部への買物等は、公共交通を利用する。 レジャーや友人の家に遊びに行くときは、荷物や利便性を考えると車での利用となる。
848	1051	自転車か公共交通機関の利用が望ましいのですが、荷物や坂道を考えると自動車利用になります。使い分けが必要かと。
849	1051	目的地への交通手段が複数ある場合は、公共交通機関をなるべく利用するべき。
850	1051	普段から、時間距離を考えて交通手段を選ぶよう心がけている。
851	1051	車に依存する生活を改める必要がある
852	1051	近場への移動は、自転車、徒歩により自動車を出来る限り使わないようにする。
853	1051	公共交通機関を主体に利用しながら、自家用車、自転車を併用するのが望ましい。
854	1051	状況に応じて使い分ける。
855	1051	目的地までの距離や時間に応じて、徒歩、自転車あるいは電車、バスなどの公共交通機関をできるだけ利用し、マイカーの使用を抑制する。
856	1051	私の妻もできるだけ自家用車を使用しないようにしています。自転車で行けるところは自転車を利用するなど。ただ、娘は事情があって自転車で行けるところでも自動車を利用することがあります。
857	1051	近距離は徒歩や自転車で、遠距離の場合は時間の短縮など利便性が高ければ車で、そうでなければ公共の交通機関の利用を考えている。
858	1051	荷物が多くどうしても車を利用しているため、今後は、できるだけ自転車等を利用するようにしたい。
859	1051	交通手段の選択肢が多いことが理想であるが、活動の基本線としては 1. 「人間だけが移動するとき」は公共交通機関を積極的に活用する。 2. 「人間と物が同時に異動する必要があるとき」は自動車の利用を考慮に入れる。人間だけの移動に自動車を利用することを規制すれば、項通の円滑化、渋滞の改善、環境の改善につながる。人間の移動の集約化を積極的に行うことがのぞまれる。
860	1052	・通勤については、目的地がはっきりしていることから、出来るだけ公共交通機関を利用することが望ましい。(但し、利用し易い交通体系【乗り継ぎ等】が整備されていることが必要。) ・休日の娯楽、買い物等については、目的地が色々であることから、自家用車の利用もやむを得ない。
861	1052	仕事が遅くならない、または天気が悪い日以外は公共交通をつかうようにする。
862	1052	もう少し自動車の使用を控えたいが、他に便利な交通手段がない。 いっそ歩くか。
864	1052	人間が、楽を知ると逃れることは出来ないため、車の利用は控えることは出来ない。 よって、公共交通機関の路線や本数充実し、低排出ガス、無排出ガスの乗り物を整備することにより、マイカーの利用率を減らし、環境汚染を少しでも押さえる事が大切だと思う。
865	1052	普段通り自転車を使用した
866	1052	自転車と公共交通機関の利用が望ましい。 自転車利用に関しては、放置自転車等の問題があり、駐輪場の整備や自転車通る歩道整備等の自転車が乗りやすい環境を整える必要があると思われる。
867	1052	移動する場合は、できうる限り車ではなく、公共交通機関を利用するよう心がける。
868	1052	公共交通機関を利用することはやぶさかではないが、自分の生活環境等を勘案すると難しい面が多い。
869	1052	公共交通機関が利用できるものは利用する。 徒歩、または自転車で済ませる範囲は自動車を使わない



5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業 所 コード	コメント
870	1052	中距離の移動なら自転車を利用する。 長距離の場合は駅まで自転車、そこからは電車やバス等を利用する。
871	1052	都市の集積規模等を考量して決定される政策によるものであって、画一的に何でも公共輸送へのシフトすることが善ではない。広島には適度なバランスが必要なものであって、乗用車といったモードが盲目的に否定されることは合理的ではない。考えるべきは、広島はマツダを擁しているのだから内燃機関に頼る動力源の改善こそ投資していくべきである
872	1052	車の利用率がかなり高い。短い距離でも車を多々利用しているのではないか。公共交通機関を利用すれば良いと思うが、なかなかうまくいかない。
873	1052	車を通勤で使用するのは、非常に非効率と思うが、職場がアクセスが悪く、電車の駅まで遠い上、便数が少ないため、結果的に車の方が通勤時間が早いため、車としている。 駅が近く、便数が増えれば、電車で切り替えられると思うし、近場であれば、自転車や徒歩で行動するのが望ましい。
875	1052	車の利用は休日のみだが、子供が小さいことと、目的地のほとんどは大型スーパーなので駐車場ありきの行動である。子供がもう少し大きくなって人ごみが大丈夫になれば、電車・地下鉄・バスなどの交通手段が全体の半分くらいにはしたい。
876	1053	移動には、できる限り公共交通機関を使用し、通勤にも使用している。 しかし、バスは便数に限りがあるなど、使い勝手が非常に悪く、不便を感じている。
877	1053	理想からすると、公共交通機関を使用すればよいが、時間的問題及び交通費を考慮すれば、現在の方法がベターと考える。
878	1053	公共交通機関、自転車等の使用を優先させる
879	1053	更に改善を狙う。
880	1053	自分は車に乗らない。移手段は徒歩または公共交通機関なので今以上改善することはない。
881	1053	公共の交通機関が稼働している間に帰宅するように心がける。
882	1053	近場へは、徒歩または自転車を利用する。 公共交通機関を使える場所へは、できるだけ列車、バス等を利用する。
883	1053	休日出勤の社用車の運転やゴルフの打ちっぱなし、大型スーパーへの食料・日用品の買出し(重量物の運搬)などに車を利用しており、必要にかられて使用しています。従って、公共交通機関を利用するのが望ましいと思いますが、限度があります。バスや電車など、路線で大量に人を運搬する交通機関は必要だと思いますが、もう少し、少人数で同じ方面に移動する人同士乗れるような小回りのきく交通手段があれば利用したいと思います。携帯電話など普及しておりますので、何とかIT技術を利用し、乗合タクシーなどできないものでしょうか。
884	1053	極力、徒歩もしくは自転車でもいい距離は車の使用を控えました。 気候もよくなるのでそのほうが健康にもいい気がします
885	1053	特にありません。
886	1053	電車やバスでいけるところへは自家用車では行かない。
887	1053	できるだけバスを使う
888	1053	平均以下とだけ残念である。
889	1053	近場は自転車を極力使用している。
890	1053	通勤など移動手段は公共交通機関をできるだけ利用し、近くの店舗での買い物は歩くことに努める。
891	1053	近場の用事には出来るだけ徒歩、自転車の利用に努めるほうが 環境と自分の健康のためには ベターであろうと思いつつも ついつい 車を使ってしまう。
892	1053	休日は、家族を連れて買い物に行くケースがほとんどなので車でないと行動できない。JRの駅まで歩いて20分かかる。
893	1053	出掛ける時は公共交通機関を出来るだけ利用するのが望ましい。
894	1053	今後ともマイカー利用を最小限に留める。
895	1053	必要などころしか外出していないので、絶対値は小さい。但し、車の利用率100%は問題なので改善の余地がある。
896	1053	実質、これ以上の改善は困難です。
897	1053	通勤には車は使わない。公共輸送機関を使う。
898	1053	もっと歩くことが必要
899	1053	マイカーの利用少なく、概ね妥当
900	1053	クルマ利用率は毎日使用してるから平均以上ではあるけど、カロリーが半分以下なので考えないといけないと思いました。
901	1053	車での移動の場合は乗り合わせてできるだけ台数を少なくする。
902	1053	基本的には公共機関を利用し、機関が無い場合には、自動車を利用する。
903	1053	住居事情が、クルマが無いと生活できない環境なので、やむを得ない面はあると考えています。
904	1053	市街に行くときや通勤など家の周囲での日常の用事はなるべく自転車や公共交通機関を使用する。ただ、郊外に出るときは、公共交通機関では不便なので自動車もやむを得ない。
905	1053	もう少し公共交通機関を使うようにしたい。
906	1054	通勤は原則として公共交通利用とすべき。
907	1054	あまりマイカーを使わない方だと思っておりましたが、平均を上回っているとは意外でした。
908	1054	基本的にクルマは利用しない生活をしているが、クルマ利用率が高くなっているのは、バイクの利用頻度が高いためと考えられる。 バイクでの移動範囲なら自転車でも移動できると考えられるため、バイク中心から自転車利用中心の生活に切り替える。
909	1054	自家用車利用をもう少しおさえるようにします。
910	1054	私自身は日常電車・バスを主に利用しているので良いと思うが、家族については、通勤や休日での買い物でマイカーを利用しているため、通勤ではバスへの転換が図れると良いと思う。
911	1054	公共交通手段を利用し、出来るだけ自動車等の使用を控える。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
912	1054	自分1人での移動手段はできるだけ環境負荷のかからない方法を選択する。 目的地、時間、環境を考えた交通手段を選択する。
913	1054	自動車の占めるCO2排出量の多さに驚いた。かと言って単純に公共交通機関に乗り換えるには金銭的な負担が多くなりすぎる。自転車、徒歩の併用が最も効果的であると思う。
914	1054	荷物の運搬がある場合は、どうしても車の利用が多くなってしまう。 車での外出の際には、一度に用件が済むようにしたい。
915	1054	職場と住居地が離れており、また、子供を保育園に送り迎えする時間の制約があるため、自動車を全く使わないというのとは不可能に近い。 仕事上での利用は極力自動車を使わないのが理想。
916	1054	9/23は、遠出した。9/24・25については、移動手段は主に自転車を用いた。 ノーマイカーを意識した生活を送る事が出来たと思う。
917	1054	移動距離および目的に応じて、交通手段を使い分けることが望ましい。
918	1054	平均より大分良い結果に満足している。
919	1054	近距離移動は徒歩・自転車・バイクを利用し、 中距離～遠距離移動は自動車や電車・バスを利用する
920	1054	すべての移動を公共交通に転換する事は難しいし、公共交通がすべての移動をカバーする事は無理。市内中心部でさえ駐車場が増設されている現状では、車の抑制＝強制的に規制する検討をしたほうがいい。
921	1054	余裕を持った行動をして、極力車を利用しないようにする。
922	1054	雨の日以外は自転車もしくは徒歩で移動する。
923	1054	時間に余裕をみて、できるだけ公共交通機関を利用するようにする。
924	1054	数値で自分の行動を評価されると、いかに車に依存した行動であるかよく分かりました。
925	1054	毎日の恒常的移動手段は自転車もしくは徒歩、代替手段としての公共交通機関であることが望ましいと思います。 通勤距離も短く、移動量そのものが多くなくCO2排出量は少なくできていると思う。
926	1054	分析方法として、手段別CO2排出量の「シェア」でみると自動車の割合が高くなるが、移動量の「ボリューム」からみた排出「量」という視点もあっては良いのではないかと。
927	1054	自分が自動車を中心に行動している事に、改めて気づきました。つい便利で車を利用していましたが、今後は車の利用を控えようと思います。
928	1054	CO2の排出が問題視される中、環境に優しい電車利用、または、自転車、徒歩といった健康面にも配慮した交通手段が望ましい。
929	1054	現行の使い方自体は問題ないが、できるだけ自動車の利用を控えるようにする。
930	1054	団地に住んでいるため、平日子供の保育園への送り迎えはどうしても車が必要だが、休日街中へ出るときはなるべく電車を使うようにする。
931	1054	できる限り自転車、公共交通機関を利用するようにする。
932	1054	休日での自家用車の利用は抑えた方だと思うが、子供や買い物の荷物等があり、交通機関を利用する事が難しかったと思う。 交通機関の路線整備等が進めば、自動車から交通機関に変わる事も出来ると思う。 通勤に関して言えば、駅・バス停まで自転車を利用する事が理想的だと思います。
933	1054	公共交通機関を利用出来ない環境の中で自家用車を利用するという、徹底した行動パターンとは成っていない。今までは、車での移動として交通手段の器具が整理されているので、例えば自転車等の取得がされていないので、急なパターン変更は難しい。常に所要時間との比較による行動となる。優先順位は何かで行動パターンが決まってくると思う。
934	1054	既存交通機関の利用を心掛けたい。
935	1054	現状の手段でよいと思う。
936	1055	広島市近郊の交通機関は、地域により公共交通機関が不十分。 車は今後、高齢化してくるとますます不可欠な乗り物になります。 車に、燃料消費モニターを取付け省エネ運転に努めている。 平日等の通勤時は、往復とも同乗者を乗せた使用をしている。 休日・祝日においても車使用時は、同乗者を乗せ買い物などしている。 日曜・祝日等は農作業用のトラック・トラクター等不要なアイドリングをしない。
937	1055	近くへの買い物は徒歩で行くのが環境にも健康にもいいと思います。ベビーカーを押しても歩きやすい道路を作ってほしいと思います。
938	1055	車に乗らないようにしてる
939	1055	車での移動が多かった
940	1055	仕事は営業職なので車は不可欠です。休日は、自転車などを使用するなどしています。
941	1055	会社の勤務時間が変則的なため、車の使用が減らせない。
942	1055	もう少し公共交通機関を利用します
943	1055	電車・バスを使うよう心がけるが、基本的に実家に帰るときはクルマは使用しない。
944	1055	休日には市内は自転車で、郊外は極力電車・バスを使うようにしているが、大きな買い物やゴルフ(練習)などはマイカーを使用せざるを得ない。勤務では1人で市内に行くときは駐車場に苦勞するので、電車・バスを使っている。複数人や荷物がある時は社用車を利用することが多い。今のところで良いのではないかと考えている。通勤については赴任なので、徒歩圏内のところに住所を定めた。
945	1055	車を極力利用しないようにしている。
946	1055	公共交通機関が不便な為、マイカーを使用するしか手段が無い人の状況も考慮して欲しい。ノーマイカーデーを設定する前に、行政として公共交通機関の整備等、することがあるのではないかと思います。
947	1055	普段、交通手段としては自動車しかないと思っていたが、電車、バスを利用すれば駐車料金もかからなく、出費も抑えられた。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
948	1055	マイカーだけではなく家庭で電気等の節約もやっています。特に家内がうるさいもんで「あんた!コンセント抜いた〜」
949	1055	交通インフラが整備されていない現状では一概に自動車自粛を唱えることは周囲の賛同を得られないと思う。また、公共の交通機関の中にバスとかタクシーがあるが、タクシーは非常に高額(割高)であり、しかも利用者と運転手のみを運ぶ為に存在するのであるから環境面から有効であるとは考えにくいのではないかと。自動車に乗りたいために働いている自分が環境のことを考えていないわけではないが自動車の利用を切り離して考えることは相当困難でもあります。ちなみに、上記の評価は理解しがたく面倒であったので考え検討した結果ではありません。
950	1055	軽油はCO2の排出が少ない
951	1055	出来るだけ車の使用を控えています、会社の勤務体制の都合上仕方が無い面が多い
952	1055	近距離の移動には自転車や徒歩を利用する。
953	1055	外出する事が少ない
954	1055	普段は自転車が多い。
955	1055	近距離は、自転車で行くように普段から心掛ける。
956	1055	平均よりはすくないが、できるだけ自動車を控えていかなければならない。
957	1055	公共機関との併用等を考えないといけないとは思いますが、公共機関まで距離があり利用するのにおっくうになっている。
958	1055	公共機関を使えるときは使おう
959	1055	パークアンドライド地点がふえたらいい
960	1055	必要な時に使用する
961	1055	車の代わりに自転車を使う
962	1055	通勤を自動車からバイクにかえてみようと思う
963	1056	電車、バス通勤可能であるものの、時間的や予定外の要件等でついマイカー通勤になります。
964	1056	自転車で移動すると95点。しかし「たいぎいのう〜」
965	1056	中心地に行く場合には、公共交通機関を利用する。
966	1056	出来るだけ公共機関を利用する。
967	1056	妻の車の利用が多いので徒歩、公共の乗り物を利用を併用していけば良いと思う。また、私自身も休日に車をほとんど利用しているので、車のみでなく、徒歩、自転車等も利用するようにする。
968	1056	公共機関があるところは公共機関を利用し、近場においては自転車、徒歩、公共機関がないところは自動車を利用してきたい。
969	1056	通勤につきましては、路線バスやJRを利用することが望ましいでしょう。時差出勤を会社自体が取り入れたり公共交通機関で出勤をされる場合のみ交通費を払うなど様々な事を取り入れるべきであると思います。また、家庭では一家に一台のみ車を使用することや軽自動車を使用するなどガソリン消費量の少ない方法を取り入れることも大切である。ヨーロッパのように駅などにパーキングを多く作ることによって自動車の走行距離をある程度抑えることも一つの提案である。
970	1056	車社会にどっぷりつかっているため、これを是正することは非常に困難である。しかしながら、地球温暖化防止等環境を考えるとそれなりの対策は必要と思われる。国策として何らかの法的措置が求められるときが近づいているのではないかと考えられます。
971	1056	近場の移動は、自転車なり徒歩で行なうように努める。」
972	1056	買い物等荷物の多い移動に関しては、これまでどおり自動車を使用することになります。しかし、私の通勤に関しましては、天候の良い日には自転車又は公共交通機関の使用を検討する必要があると考えております。
973	1056	会社まで13kmありますが、ごく稀に運動を兼ねて自転車で通勤することがあります。これからは、もっと頻繁に自転車で通勤してみようかと思っております。
974	1056	自転車、もしくは徒歩の機会を多くすればよいのではないかと。思う。
975	1056	アルパーク等近くでの買い物は、自転車・徒歩に努める。
976	1056	公共交通機関による通勤は可能であるが、所要時間が約2倍となる。
977	1056	勤務時間等が早い日には、もう少しバス・電車を利用できればと思います。
978	1056	我家には2台の自動車があります。1台は1800cc(低公害低燃費車)、もう一台は軽自動車です。通勤は、公共交通機関の発達していない田舎ですので、車は欠かせません。少しでも、CO2削減のために軽自動車(平均燃費15km/L)を使用しています。また、通勤ルートも上り下りの少ないルートを選んで省燃費に努めています。
979	1056	自宅が辺鄙なので車を利用するしかない。
980	1056	車に依存する率が高いので、できる限り他の方法(徒歩、自転車、相乗りなど)に変えていくようにすべきと思う。
981	1056	できれば乗り合わせをして通勤する。
982	1056	公共の交通機関の無い所への移動はやむを得ないとして、できる限りの自家用車移動は控えるべきと感じます。通勤など単身での車利用は非効率的そのものですね。また、家族での移動も、バス・電車利用が色々な面で必要かと思われまます。
983	1056	行けるところは、公共の交通機関を利用して行くのが望ましいと思う。時間的な問題、場所を考えると不便なので、どうしても車になる。
984	1056	利用率が高いが平均以下だったので 高評価。
985	1057	代替の交通機関は遠く、複数の目的地では時間ロスが多い。また、坂道がきつく自転車は無理がある。
986	1057	広島市内では公共交通機関が発達しているので、マイカー通勤を禁止する等の思い切ったことをやってもよいのではないかと。
987	1057	カーシェア等を利用することにより自家用車の所有を減らし、公共交通機関が利用できる場合は、極力公共交通機関を利用する。
988	1057	なるべく公共機関・自転車等を利用したい。
989	1057	ダイエットと地球環境のためには、歩く方が望ましいが、実際は自転車
990	1057	特になし

## 5.参加者コメント集

## (ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
991	1057	一人で行動する場合は車は使わない。(ただし、田舎に行けば行く程公共交通機関が発達していないので難しいが・・・) 家族で出かける場合は、行き先に駐車場が無い場合以外は絶対車を使う事になるが、その場合、最短の距離で往き来出来るよう整理してから行動をする。 なお、カーナビのビクス情報をしようすれば、渋滞を避けられCO2の削減にも繋がるのでは・・・?
992	1057	出来るだけ車を使用しない事は望ましいが、住居の立地環境を考慮するとやむをえない。生活環境を考慮せず一概に「あなたは車利用率が高い」と言うのもいかなものか。
993	1057	自動車は必要最小限に使用する。 バス・電車の利用を優先する。
994	1057	必要最小限の使用であった。
995	1057	特に考えていなかった。近くの移動は徒歩・自転車の利用を考えたい。
996	1057	近場の買い物等の場合で天気が良ければ、荷物が少ないときは、徒歩を活用したら良いと思う。
997	1057	できるだけ自転車を使う。
998	1057	居住区から移動する場合、公共交通機関を利用すると、時間が非常にかかるのでやむなくマイカーを利用することとなる。
999	1057	近くへの移動は、自転車や徒歩が望ましい。
1000	1057	ガソリンの高騰もありマイカーの使用は最小限としている
1001	1057	公共交通機関が使用することが望ましいが、小さな市町村は公共交通機関が発達していない。
1002	1057	広島市内のバス交通は中心部と郊外を結んでいるのが基本である。短時間で多数の用事を行う必要がある場合が多いので、郊外から郊外の横を結んでいる公共交通が頻繁にあれば移行することができると思う。 早い話が、生きたい場所へ行ける公共交通機関が頻繁にあれば利用度は上がるが、採算面ではむりですね。
1003	1057	電車等公共交通機関をうまく利用する
1004	1057	ガソリン消費量の計算(推定)方法が粗くて、実際と大きくかけ離れた数値になっています。実際は家族全体で週に4~5リットル程度だろうと思います。土日に遠乗りした場合はかなり大きい数字になりますが、 車を使うのが非常に合理的なとき以外は出かけるだけ車の使用は控えたいと思います。
1005	1057	広島を中心街では、各デパートや集合商店街で駐車場の無料サービス(買い物の額と時間制限あり)を実施しているが、無料駐輪サービスは一切聞いたことがなく、逆に歩道上の放置自転車撤去運動が盛んであり、市営の有料駐輪場を利用せざるを得ない状況である。公共交通の利用推進もいいが、歩道の拡充や自転車専用路などの増設により、運動の推進をしてほしい。
1006	1057	今回の調査は、車を所有していなくても免許保持者を対象ということであったが、アンケートの内容は車を所有している者を対象としているのではなかろうか。
1007	1057	自家用車を持っていないので、移動は公共交通機関、自転車若しくは徒歩で極めて良好と思う。
1008	1057	出来れば徒歩が可能であればベスト、次に自転車、その次に電車・地下鉄などの直接排気ガスを発生させない公共交通機関が望ましい。
1009	1057	近郊への移動手段を公共交通機関に切り替えればより良いと思う
1010	1057	公共交通機関を第一に活用している
1011	1057	自動車使用を減らす
1012	1057	自転車の利用がよい。健康のため出来るだけ歩くことにしています。が、なかなかです。
1013	1057	自家用車
1014	1057	公共交通手段をできるだけ使用したいと考える。ただし、駅等の周辺に無料の駐車場を設けるなどの対策をするべき。また、国及び地方自治体等でマイカー通勤を規制する方法を検討すべき。(例 通勤時間帯には複数の乗車している車以外は通行不可にする。)
1015	1057	近くに出かける場合は徒歩、徒歩が無理ならバス等の公共交通機関をできるだけ利用するようにする。 重量物の運搬、家族全員での外出等については自家用車を利用する。
1016	1057	徒歩及び自転車を利用する。
1017	1057	クルマ利用率100パーセントは、良い結果ではないと思うので50点で。
1018	1057	近いコンビニでも少し距離がある。 週1回の買い物には、自転車に乗せるには量がある。
1019	1057	家内が遠方への通勤のためマイカーが必需となっていることから、数値が平均値を大幅に上回っているとおもいます。休日等のマイカーの使用を抑える必要があると思われます。ただ、交通機関はバスのみで特に休日等は減便されているため不自由です。このためマイカーを利用する際には、1人での外出をなるべく控え家族での外出をこころがけていきたい。
1020	1057	ほぼ必要最小限だと思う。
1021	1057	買い物は自転車でも良かったが、自動車利用は複数人での利用であり、問題はないと考える。
1022	1057	出来る限り公共交通を使うようすべきである。 また、家族(2)については、通勤時に乗り換えが3回あり、マイカー通勤はやむを得ないかと考えるが、乗り合わせ等の方法も考える必要がある。
1023	1057	通勤については、自分自身公共交通機関を利用しており、この部分はこのままの状況で良いと考える。 ただ、家族(妻)の日々の生活形態から、買い物などちょっとした用事でも外出にマイカーを使用することから、これまで用事がある毎にマイカーで日に何回も外出していたものを、あらかじめ外出の用事をまとめて回数を減らすなど、環境にやさしいマイカーの上手な使い方をすることが望ましいと考える。
1024	1057	CO2削減するには、自分たちの行動様式を整理して、ケース毎に交通手段を予め決めて行動する必要があると思つた。すべてをマイカーに依存するのではなく、距離や時間を考えて交通手段を選びたい。
1025	1057	CO2総量は少ないが、そもそもの移動時間が少ないだけで、マイカー利用は平均以上であるということが分かった。意識してマイカー利用を進める必要がある。
1026	1057	他の公共交通機関等の手段があれば、できるだけそれを使う。
1027	1057	近距離は、自転車・徒歩にする。
1028	1057	元々週1ドライバーなので、環境的には優等生クラス。 まちなかに行くのもできるだけバスを利用している。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
1029	1057	近場はできるだけ歩く。
1030	1057	3日間の内、現時点で考えられる休日、平日の移動のパターンについて、自分と家族1は最適の行動をとったつもりです。休日は年寄りの介護のため田舎にマイカー利用で往復、平日は徒歩中心の移動を心がけています。
1031	1057	できれば公共交通機関を使いたいのですが、接続・便数の関係で子供の送迎には自動車を使用せざるをえません。
1032	1057	平日は自転車・徒歩で移動しており、マイカー利用は週末の遠出の時のみ。まずまずかなと・・・。
1033	1057	とても良い
1034	1057	バスが走っているかどうか、時間が分からない所へ行くには自家用車も仕方ないかも。市町村バスの時間を調べることも困難。誰でも簡単に知り得る情報の提供についてのネットワーク化が必要。
1035	1057	徒歩、自転車の活用策を
1036	1057	休日に外出する際、可能な場合は、電車やバス等の公共交通機関を活用することにしたい。但し、小さな子供連れとなるため、ベビーカーでの移動が楽なよう、交通機関のバリアフリーは是非、進めて頂きたい。
1037	1057	なるべく車を使わない
1038	1057	移動に際しては、極力自転車を利用する。
1039	1057	そもそもバスに乗るという選択が発想にない
1040	1057	クルマを買い換えただけで、普段は乗らないことから休日に乗りたいと言う意識があり、クルマ利用率が増えたと思われますので、今後は、少し上手に利用したいと思います。
1041	1057	利用に応じた交通機関の活用
1042	1057	三次市の周辺部へ帰省して、作業して往復する手段として、50CCバイク以外に時間効率、消費エネルギーの代替え手段が思いつかない。
1043	1057	私自身は、マイカーを使用しないが、家族が公共交通機関の不便な場所への移動に使っている。家族全体の評価では違ったものになる。
1044	1057	公共交通機関を使用する。
1045	1057	割と近いところでも、安易に車を使用している。近いところは、徒歩か自転車などに転換する必要がある。
1046	1057	できるだけ徒歩、自転車を使用する。
1047	1057	家族のマイカー通勤を公共交通機関に替えるの事は可能と考えています。
1048	1057	もう少し自動車の使用頻度を減らすべきであると感じますが、いろいろな事情があって、一挙に自動車の使用を止めるわけもいきません。
1049	1057	自動車以外に考えられない
1050	1057	住居地付近に食料品等の店舗がなく、車による移動とならざるを得ない状況である。徒歩圏内の買い物については、徒歩を優先するようにしています。
1051	1057	自動車の使用をひかえて、公共交通機関の使用を増やしていく。
1052	1057	健康管理をかねて自転車を積極的に利用する。
1053	1057	特になし
1054	1057	自動車はドアツードアで便利です。
1055	1057	公共交通機関を使用しCO2を削減します。
1056	1057	電車を利用
1057	1057	よくできました。
1058	1057	近距離の移動については、もう少し環境に配慮できると自分でも思う。 長距離の移動については、車を所有する意味もあるので、目的地により移動手段を選択する基準が変わってくると思う。
1059	1057	電車やバスをもっと利用して自動車の使用比率を下げる。
1060	1057	良い
1061	1057	交通の便が悪いのと、買い物はどうしても重い荷物となるので、車に頼らなくてはいけない。しかし、町にでるときは、なるべくバスを利用したい。
1062	1057	ばす・電車
1063	1057	調査期間中の休日に家族旅行が入ったため、やむ終えないものと判断する。
1064	1057	距離的には近くでも荷物があるため車を利用しているが、極力自転車を利用するようにしたい。
1065	1057	不便な場所は仕方ないと思うが、市内は公共交通機関、近場は徒歩なり自転車等の使用を考えた方が良く思う。
1066	1057	自宅近くに便利な公共交通機関があれば、利用するのがベストであるが残念ながら現状ではないので、移動はマイカーに頼る以外ない。 休日のマイカー利用をもう少し抑えたい。
1067	1057	移動場所への交通手段(バス)がないため、また、大きい荷物があるため、どうしても自動車使用になった。 ドアツードアに近い方法があればと思います。
1068	1057	公共交通機関を利用するのが望ましいが、場所等によっては自動車を利用しなければならない場合がある。 自動車で移動する場合は、ひとりだけでなく、数人や相乗りで利用する取り組みが必要であると思う。
1069	1057	わりかし日頃から、公共交通機関を利用するよう心がけている。安全面もあり。
1070	1057	通勤目的以外の公共交通手段が不足気味、家族の自家用車使用を制限するも限界在り。
1071	1057	自動車、電車、バス等を乗り継いで行く。
1072	1057	近隣移動につき安易に自動車による移動による傾向にある。
1073	1057	近距離は徒歩又は自転車を利用すべき。 通学はすぐに自動車送迎を頼むのではなく自己完結すべき。
1074	1057	実家から自宅への帰宅のための自動車の使用なので仕方ない。 ただ、使用時間が長い。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
1075	1057	休日は、自宅から7km離れた所で、農作業を行うため車を使用する他、買い物に行く以外はほとんど車を使用しない。設問の中で、交通機関の利便性想定質問がされていないため、回答ににくい。平日はバス通勤と徒歩のみであり、極力車を使用しないようにしているため、車の利用率は少ない方だと思う。企業の従業員通勤形態の意識改革が求められる。
1076	1057	今回は自動車利用を控えることができた。
1077	1057	公共交通機関に頼りたいのですが、居住地が地方都市で公共交通機関が未発達のため、マイカー抜きには生活が成り立ちません。燃料電池車等のCO2を排出しない自家用車の早期普及以外にないと思います。
1078	1057	自動車以外は利用していない
1079	1057	可能な範囲での公共交通利用
1080	1057	週末の買い物は一度にまとめて購入する関係からどうしても車を使用しないと生活が回らないため仕方ないが、子供の送り迎えはもう少しすれば子供に自転車で行かせることも検討出来る。(ただ、街中なので危険回避を考えると難しいかも)
1081	1057	ダイヤを含めて公共輸送機関を使用できる場所への移動であれば、公共輸送機関を使用するが、そのような場所は少なくなっている。マイカー利用は減らすようには考えているが・・・
1082	1057	高速バスによる通勤を行っているために移動時間が長いのであり、この場合もバス停までマイカーを利用しているものの他に手段無し。休日のマイカー利用についても、田舎で買い物等の不便から利用せざるを得ない現状。数値結果に左右されるものではない。
1083	1057	車は、主に土、日の食品等の買い出しのために利用している。平日は妻が自転車(運転免許を持たない)により買い出しを行っているが、一週間のストック及び重量があるもの等は車を利用せざるを得ない。土曜日には東区のスポーツセンターで汗を流しているが、これの交通は極力車ではなく、公共交通機関(アストラムライン)を利用している。
1084	1057	自動車は必要な時しか乗らないよう心がけています。
1085	1057	できるだけ公共交通を利用する。
1086	1057	近場への移動等は、公共交通機関利用をする言う意識改革が必要。
1087	1057	この度の自動車の使用は、多くの荷物を運ぶために使用したものであり、外の方法では時間的なロス等が生じ、最善の方法であったと思う。
1088	1057	通常の通勤はバスを利用
1089	1057	タクシーも乗り合わせする方式が採用されるとよい
1090	1057	かなりの評価ができると思う。
1091	1057	家族(妻)へのマイカー自粛を要請していきたい。
1092	1057	市内移動は公共交通機関、特に広島市内の場合は市内電車を使用する。ただし、買い物場合は、マイカーを使用せざるを得ない。
1093	1057	郊外に住んでいる関係上、車が必要である。
1094	1057	歩けるところは歩き、公共交通機関が利用できるところは利用し、できるだけマイカーは使用しない。
1095	1057	公共交通機関の発達している都市に行くときは、公共交通機関を利用する。
1096	1057	現在単身赴任をしており、赴任地に自家用車をもってきていないためこのような評価となりました。理想としては、自家用車の使用は緊急やむを得ない場合に限定して行くことが、結果として環境対策になるとは思いますが、住んでいる地域ごとに利用可能な公共交通等に差があり、実際には自家用車に頼らざる終えないこともある。(私の出身地など)
1097	1057	出来るだけ、自動車から公共交通機関への転換を図るよう努力したい
1098	1057	幼い子供がいると公共交通機関を使つての移動は荷物等の問題から難しい
1099	1057	出来るだけ公共交通機関を使う。
1100	1057	公共交通機関の利用が可能な移動については、全て自家用車から公共交通機関の利用に転換していくことが必要と考えます。
1101	1057	市全体で月一回のノーマイカーデーの設定をして、一人ひとりをその気にさせ、都心部の渋滞緩和を図るのが、取り敢えず即座に実施できる施策では。まずは実行を・・・
1102	1057	休日の買い物に行く手段として自動車以外も考慮する
1103	1057	公共交通機関のサービスレベルの向上がなければ、これ以上の転換は不可能。
1104	1057	平日の車利用は、通勤のため仕方がないが、休日の車利用は控えることができると思われる。
1105	1057	田舎へ帰る手段としては高速バスが便利であるが、田舎での行動が年寄り二人を連れては、マイカー以外に考えられないため、やむを得ない。
1106	1057	通勤に自転車でも使えば、さらに環境にやさしいと思う。
1107	1057	団地に公共交通機関がないのでマイカーの使用はやむを得ない。
1108	1057	自家用車利用はドアツードアであり、公共機関のない地区及び乗り換えに要する時間の削減等あり、アイドリングストップ・坂路での加速制限、エンジンブレーキの活用等出来るだけの排出量の制限を行っている。また、平日は、徒歩・自転車等による移動にこころがけている。
1109	1057	自家用車に変わる交通手段はバスしか無いが、休日でもあり、便数も少なく、何倍も時間を要することになる。買い物もあり、代替え手段の利用はむずかしかったと考えている。
1110	1057	公共交通機関を利用するのが望ましいと考える。しかし、公共交通の便が非常に悪い地域も存在するので、その場合の対応としては車しかない。電車+レンタカーというものもある程度効果的かもしれない。
1111	1057	良く頑張っていると思う。
1112	1057	通勤はバスを利用しているが、休日には自動車を使用せざるを得ない状況にあり交通手段の変更は難しい。
1113	1057	自家用車から徒歩等転換できるところが、あったかも。
1114	1057	休日のみの取り組みのため限界があるが、もう少し自動車以外の交通手段を利用することとしたい。
1115	1057	公共交通手段を使いたいところだが、帰って不便になる。市内であれば自転車利用を考えたい。
1116	1057	自家用車の利用をできるかぎりなくし、他の交通機関を利用していきたい。

5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
1117	1057	電車が利用可能な場合は、極力、電車を利用したいと考える。
1118	1057	市街地中心部に転居するか、交通用具を変更するか、自転車への移動をするしかない。
1119	1057	小さな子供を連れての外出は、自家用車に頼ってしまいます。買い物も、郊外型が便利で自家用車を使用します。乗り換えなしで、座ることができる公共交通でない、自家用車から換えることは難しいです。
1120	1057	環境のために、公共交通機関の利用促進や徒歩での移動を心掛けなければ・・・。
1121	1057	少なくとも現状よりは、自家用車使用を控え、他の移動手段にシフトする必要がある。
1122	1057	できるだけ公共交通を利用することが望ましいが、朝夕の通勤時間にバス等がない場合はマイカー利用もやむを得ない。 都市周辺部の公共交通の充実が望まれる
1123	1057	妻は仕事で車を使用(大きな荷物を抱えて各酒販店舗を巡回)するため、交通手段を変更することは不可能である。
1124	1057	遠い距離を移動するには乗り物を利用するしかない、バス等をエコーにして欲しい。近距離は自転車や徒歩にする。
1125	1057	2回に1回は、公共交通機関等を使用したいとは思っているのですが、家から公共交通機関のバス停や駅が遠いので現状では車に頼りがちになっています。これから、少しでも車の使用頻度を減らしたいと思います。
1126	1057	自家用車はほぼ休日にしか乗らないが、回答の2日間は予定のせいもあり自家用車には乗らなかった、公共交通機関を利用することにより CO2削減取り組みには自家用車の利用を抑えることが必要だと思う。 また、近くへの用事等にはできるだけ車は使わないようにするのが環境の為に必要と思う。
1127	1057	休日は、どうしてもマイカーでの移動が多いが、極力、公共交通機関を利用するようにしたい。
1128	1057	休日において自家用車の利用が多かったのは自動車でしか利用できない実家に帰省したため。通勤をバスに変えたいが、帰りの便が利用しづらいのでバイク通勤している。バスを利用できる場合はバスで通勤したいが通勤手当はそのバス代は支給されない、自費負担となる片道660円は負担が大きい
1129	1057	家族が買い物で使用する頻度が多いので、まとめ買いをする、近くのスーパーでする等改善する余地はあると思いました。
1130	1057	前回、回答をした該当日はたまたま予定がすくないしゆうだったので高得点の評価としたが、いろいろと用事があるときも環境に配慮した行動がとれるよう努力したい。
1131	1057	近場はできるだけ自家用車から徒歩か自転車に切りかえて移動することが望ましいと思います。
1132	1057	出張にクルマを使用したため消費量がアップ。 長距離移動は基本的には鉄道を利用する。
1133	1057	通勤手段としては、バスがもっとも望ましいが、バス停が勤務先からもう少し近ければもっと良いと思う。
1134	1057	自転車(駅等に安全な駐輪場が必要)
1135	1057	自宅の近所への移動は、徒歩、自転車を使用し、遠方でも公共交通機関が利用できる場所への移動は、公共交通機関を利用しマイカーの使用を控える。
1136	1057	車を徒歩にする。
1137	1057	調査期間中は、比較的長距離でのマイカー使用があり、時間・ガソリンとも多かった。従って、CO2の排出量も平均値を大きく上回っていた。本調査に参加するにあたり、自分なりに近距離については徒歩・自転車等の手段で移動することを心がけ、環境への影響を低減させるようしていたつもりではあった。
1138	1057	適当と考える
1139	1057	個人的な自動車の使用に関する点から見ると、居住地域の交通利便が悪い(土日祝日は交通利便が極端に減少)事、生活関連店舗が居住地域に無い、必然的に自家用車を使うことしか選択肢がない。また、レジャー(ゴルフ)は、相乗りで使用しており特にこれ以上の望ましい交通手段があるとは思えない。
1140	1057	自家用自動車よりもバイク、バイクよりも公共交通機関。でも自転車か徒歩が地球と健康にいい。
1141	1057	自転車利用
1142	1057	車の利用は、必要最小限にしたい。
1143	1057	自動車を使用しない場合約100分所要時間が係る
1144	1057	近距離については、出来る限り公共交通機関を利用するよう心がける。
1145	1057	市内中心部への交通手段としては、公共交通機関や自転車が望ましいと考える。郊外方面への移動では、近回りは自転車、徒歩等により、比較的遠い場合のみ自動車利用にするのが環境等配慮した場合は望ましいのではないかと考える。
1146	1057	バス通勤のため、マイカー使用は休日のみの30分～1時間なので、CO2排出量の、これ以上の削減は難しいと思います。
1147	1057	平均に比べて、自動車の利用が多いので、移動の機会を減らして、バスの利用を進めるべきです。
1148	1057	平均以下であり適正な使用である
1149	1057	普段から乗り乗らないため
1150	1057	できるだけ二酸化炭素の排出量が少ない交通手段を使用したいが、路線網の整備状況が充分とは言えないため、理想的な使い方ができない。
1151	1057	問題として、CO2の排出のない交通環境を作っていく必要性あり。 行政機関並びに電力、自動車会社などの対応が期待される。
1152	1057	可能な限り、公共交通機関を使用する。
1153	1058	早朝出勤、夜間勤務を減らすなど、勤務形態を変えることが先決
1154	1058	自転車、電車、バス移動を増やし自動車の使用を減らす。そのためには、自転車、歩行者が移動しやすい道路環境にさせるように道路管理者、信号管理者に自転車利用者としての意見を伝える。
1155	1058	家族で移動するのは経済面から考えるとどうしてもマイカーになります。
1156	1058	公共交通機関・自転車に対応できない場所への移動があり、やむを得なかった。
1157	1058	公共交通機関への転換が必要と感じられるが、機動性を求められるところもある。
1158	1058	近場はなるべく自転車・公共交通機関を利用する。
1159	1058	通勤に自転車やバスを利用する



5.参加者コメント集  
(ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
1160	1058	9月に入ってから車を動かす必要がないので動かしていないだけ。努力をしていないので常に意識する必要がある。
1161	1058	通勤手段を10月からバスに変える
1162	1058	車を使用することが習慣になっているのでなかなか取り組めない・・・。
1163	1058	歩いてきているのでこれ以上二酸化炭素をだすことは不可能。
1164	1058	バス交通を使用して、通勤した場合はバスとバスの乗り次ぎ時間がかかるので非常に難しい。
1165	1058	通勤を可能な限り公共交通機関もしくは自転車に変更する。
1166	1058	排出量が多いため
1167	1058	公共交通機関が発達していない田舎では、自家用車に頼る以外方法がありません。利用できる魅力ある公共交通機関を整備することが特に必要です。
1168	1058	目的地までは、自転車で移動できる場所ではなく、自動車使用は止むを得ない。
1169	1058	元々自宅から勤務先までが遠いため、自動車通勤だと時間がかかりかかると思いパークアンドライドにした。しかし、自宅から最寄りのJR駅も遠いため、不意ながらクルマ利用率やガソリン消費量が平均をかなり上回ってしまっている。 自分では休日はほとんど自動車を利用していないつもりだが子供の用事などでそれもなかなかかなわない。
1170	1058	車利用については、乗車密度(複数)も問題にすべきであり、今回の休日利用は、同乗車(1名:81歳)の送迎が主体。また、バス路線もなくマイカー利用を余儀なくされたものです。
1171	1058	一応全て平均値を下回っており普通か？ 車は排気量が大きくなるほどCO2 排出規制をもっと厳しくすべき。
1172	1058	パークアンドライド
1173	1058	単独で行動する時はなるべく自転車等を利用し、家族で行動する場合は自動車利用もやむを得ない。
1174	1058	自転車
1175	1058	車の利用については、必要最小限をモットウとして使用しています。
1176	1058	休日には帰省のため自動車で長距離を移動するので、適当な交通手段がないのでやむを得ない。通勤、近距離は徒歩、自転車及び電車を利用する。
1177	1058	自転車通勤の日数を増やす。 公共交通機関を利用する。
1178	1058	外出時は極力徒歩、自転車を利用するよう心がける。
1179	1058	個人として、地球環境への配慮は取り組んでいると認識しています。 その理由として、平日の車利用は殆どなく、交通機関を活用している。休日は必要に応じて利用している。
1180	1058	望ましい交通手段の使い方・・・？
1181	1058	他県では、ノーマイカーデーに公共交通機関を利用した場合には、運賃を半額にしている県がある。広島県も同等の措置を講じる必要がある。
1182	1059	居住場所が公共交通機関の便が悪いところであり自動車に頼りすぎている。
1183	1059	通勤以外ではできるだけ公共交通機関及び徒歩等を心掛けている。
1184	1059	回答した3日間には無駄な行動はない。他の交通手段を使えば本人にとってはコスト高になり「かしこい車の使い方」とはいえない。 現状が望ましい交通手段である。
1185	1059	自宅から勤務先の交通の便があまり良くなく、車を使うのが時間的にも経済的にもよいので、現状から公共手段を使つての移動はむづかしい。ただ、自転車をもっと活用できるかもしれない。
1186	1059	行先はいずれも公共交通機関が無いところである。 途中まで公共交通機関使用すれば待ち合わせ時間等で時間がかかる。 公共交通機関ないところはタクシー使用すれば費用高となる。
1187	1059	他の面で省エネをしたい
1188	1059	会社への通勤についてはできれば、公共交通機関を使用するようになれば、更にCO2の排出量を減少させることができると考えます。
1189	1059	自動車の使用が多いですので、なるべく公共交通機関を使用するのが望ましいです。
1190	1059	結果的には、平均より少なかったが、特段の努力をしたわけではない。(一応、出張時には出来るだけ公共交通機関を利用するようにはしているが・・・)
1191	1059	できるだけバス等公共交通機関を利用すべき
1192	1059	公共交通機関の利用と徒歩による通勤可能な手段を構築する必要あり
1193	1059	特定の外出(ゴルフ、行楽など)以外は、原則として、自転車又は徒歩と軌道系交通機関を利用する。
1194	1059	バスや路面電車の利用を増やす
1195	1059	本人:仕事は営業職であり外出が多いが、出来る限り公共交通機関を使用している。通勤は片道1時間半かかるが電車とバスを利用している。旅行はマイカーでなくバスとした。東広島市に住んでいるため休日の外出はどうしてもマイカーを利用してしまう。 家族:現在は無職である。両親が広島市内に住んでいるが、年老いている上に障害もあるので週2~3回東広島からマイカーで通っている。 評価:自宅付近の公共交通機関の利便性が悪いがもう少し努力の余地があると思われる。
1196	1059	行楽や遠距離移動には自動車が不可欠だが、近場の買物等には極力自転車・徒歩等の工夫をすべき。
1197	1059	休日の動きは子供が車で大学へ帰る為同行し、ついでに墓参りを兼ねた。 但し、車1台で動き現地で子供と解散し、広島へは公共機関を利用する手もあり。但し、費用対効果の検討も必要。
1198	1059	近場は健康面も考慮して、自転車・徒歩にて移動を励行する。 遠方も出きるだけJRの利用等公的交通手段を活用する

5.参加者コメント集  
 (ア) 現況診断コメント

sq.	事業所コード	コメント
1199	1059	自宅と会社の所在地を考えると、時間、交通費とも 結局は自家用車で出かけないと無理があるとの現状もあり、たとえ体とCO2の問題を考え、公共機関を使うほうが良いと分かっている、公共機関の便の悪さと賃金の高さを考えると、利用する気にはなれない。
1200	1059	環境保護の必要性は理解しているが、現状の生活になれており、具体的なアクションが取れない。意思の弱さを痛感している。基本的には徒歩と公共の交通機関を利用すること。ただし、朝の通勤は乗り合わせも考えたい。
1201	1059	極力、公共交通機関等を利用しマイカーの利用を抑える
1202	1059	車の利用に関して、唯一心がけているのが、急アクセル・急ブレーキをしない、というものである。 しかしながら、根本的に車に頼る結果となっています。 私が考える望ましい交通手段というのは、基本的には公共交通機関を利用するというもの。しかし、それにはタイムリーな運行と、業務時間帯全域にわたる定期的な運行が必要である。 又、仕事でも毎日会社に出てする仕事ばかりではなく1日だけ程度は自宅のコンピュータのみでできる仕事もあり、それを行い、移動そのものを減らすという方法もあるが、それは会社としての仕組みづくりが大切と考えている。
1203	1059	CO2排出量は平均以下で環境保全に貢献できている。
1204	1059	自動車、自転車、電車、バスなどその時々で便利のよい交通手段を利用する。
1205	1059	バス又は自転車
1206	1059	バス電車などの公共交通機関がベスト
1207	1059	車利用率や、CO2排出量は平均以上だが、車を利用する事には変えがたい。 郊外に住んでいるため、早朝に出勤しているため車での移動時間は短い。公共交通機関がもっと発達して便利で安価であれば、利用したい。今のように交通費は高く、バスの便も少なく、乗り継ぎ4～5回となれば交通機関の利用は考えられない。
1208	1059	通勤に普通車を利用しているが、軽自動車でも十分ではないかと思う。 自転車やウォーキングも苦にならず、やってみたいという気はあるが、時間と就業(終了)時間を考えると、どうしても自動車通勤になってしまう。 因みに、自動車だと片道20分だが、公共交通機関だと60分かかる。
1209	1059	公共交通機関利用は、2区間利用となり乗車料金が高く難しいため、電車のみ利用し、自宅から電停、電停から会社まで徒歩で通勤することが、環境への対応と、自身の健康維持につながりベスト。 なお、公共交通機関とマイカー通勤では、会社負担の通勤費がマイカーの法が1/3の金額で済む。マイカー利用を自粛するためには公共交通機関の利便性と更なる割引料金の工夫が必要と思う。
1210	1059	私の、生活の現状からいえば、クルマ移動は、やむを得ず、ベストの選択です。近所のコンビニへ行くなどは、自転車ですが、それ以上の生活圏内の移動は、クルマです。広島では、バス交通などは、市内中心部には、便数が、多いが、周辺と周辺を結ぶバスは、30分間隔など少ない 。中心部だけオアシスという、「交通砂漠」です。公共交通機関利用とクルマでは、2倍以上の移動時間差が生じます。遠距離でも、大阪京都くらいまでは、クルマの方が新幹線より、早いのが実感です。(ドアツードア) 毎日残業で帰宅は、21時をまわります。クルマ通勤でなければ、今の仕事は成り立ちません。どこの業界でも、途上国の追い上げなどで厳しく、労働密度を上げていかないと、今の世界一の「高収入」は維持できません。20～30年前のピンボー生活OKと言う、みんなの合意が、あれば、クルマはやめられるでしょう。 公共交通機関も、クルマのドアツードアに対抗できるよう、バスを電車のホームに乗り入れる(アクセスの縮小)など、革新的アイデアを出す時期です。高速道路と鉄道の交差している地点で、高速バスに乗り換えできる(ネットワーク拡充)ようにするなど、既存のものも利用者本意で最大限協調できるように。 環境経済的にクローズな制度に変えて、行くべきです。CO2を、出す人はそれを、浄化する費用を、負担するべきです。環境を元に戻す費用を製品価格に織り込むべきです。企業努力によって環境コストの安いものへ、技術が発展していくでしょう。ひとつの発明は、世界中で使えるのです。個人レベルの努力も大事ですが、労力ばかりで、効率アップはできません。そういうマンパワーは、福祉などに使う方が「有効利用」と思っています。
1211	1059	車を使うことになれた生活を変えるには、非常に難しい。限りある資源を大切に使うことは、急務である。今回の取り組みは、テレビコマーシャル等で全国的に取り組む必要があると思う。一人一人の意識に環境保全が芽生えてこなければならない。
1212	1059	徒歩

## 5.参加者コメント集

## (イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
1	1031	公共交通機関がないから。 最寄り駅からタクシーで行くのは金銭的に現実的でない。 乗り合いで行くのも同じ方面からいく人がいない。
2	1031	代替手段(バス)をとると、行きは時間が倍以上かかる。 代替手段をとると、帰りは帰れない場合がある。
3	1031	他の公共交通機関の使用に比べ、利便性に優れている。
4	1031	利便性に優れ他の公共交通機関の使用は考えられない。
5	1031	ゴルフ道具の運搬がある。
6	1031	自宅からかなり距離があり、公共交通機関の便が悪い
7	1031	膝に支障が出る
8	1031	目的地への交通手段が他に無い
9	1031	・買い物した商品が、大量あるいは重量が多い場合、運搬手段として、車がないと難しい
10	1031	バス停まで2kmあり、子供の安全上徒歩にはできない。
11	1031	家内、子供(幼児)と一緒に職場、保育園の通勤の往復で、帰りが午後8時くらいなので、公共の交通機関を利用すると、そういったことに費やす時間が多くなり、ゆとりが無くなる。
12	1031	バスの便数が極めて少ない
13	1031	荷物が重い、軽装で移動できる為
14	1031	遠隔地
15	1031	交通の便が悪い
16	1031	車の維持費を考えると、利用しないと損である。 車社会を脱却する仕組みづくりが必要なのでは？
17	1031	現地へ行く交通手段が車しか無いため
18	1031	荷物が重い
19	1031	自宅が坂道なので歩く30分はかかる
20	1031	自宅が坂道、重い荷物を持って買い物は考えられない
21	1031	荷物が多すぎる。
22	1031	荷物がたくさんありまた、現地での移動に不便だから。
23	1031	交通の便が不便であるため時間がかかる。買い物の荷物が重いので公共交通機関では不便。運賃等費用がかかる
24	1031	作業用の工具等が乗っている為代替は無理
25	1031	勤務で工具等積んである車輛でない仕事にならない。
26	1031	買う荷物の量が多いため、自動車の方が運搬に便利。
27	1031	通勤所要時間の短縮・帰宅時に買い物などしたい。
28	1031	所要時間の短縮・荷物がよくある。
29	1032	退勤時には公共交通機関の運行が既に終了しており、現実的な交通手段が無い。
30	1032	・公共交通機関の方が、移動時間が多くなる。 ・使用ガソリン代より、公共交通機関運賃の方が高い。
31	1032	・移動時間が多くなる。
32	1032	しごと
33	1032	荷物があり、同じ地域での乗り合いも出来ない
34	1032	数箇所の店に行き、荷物が重い
35	1032	何度も乗換えがあり、時間がかかりすぎる
36	1032	徒歩では遠すぎる。(時間がかかる) 公共機関だと乗り継ぎが多く、時間もかかる。
37	1032	時間の余裕がない
38	1032	坂道なので買い物した品物を持って帰るのが大変
39	1032	通勤時間(拘束時間)と自由時間を考えると自家用車の利用は利便性に富む為。
40	1032	家族で動くと、費用面で考えると、電車、バスの方が高い
41	1032	朝早く、夜も早く帰らないといけなくなるので、仕事中最終を意識し、気が散る。
42	1032	深夜帰宅する事もあり、公共交通機関がなくなる。 その他突発的にいくつもの店舗へ行く事もあるためいちいち公共交通機関なんか使っていられない。
43	1032	通勤時間が増える、仕事が終わると公共の交通機関が無い。
44	1032	買い物荷物が持って帰れない。
45	1032	距離が長い
46	1032	明日車を使う予定あり
47	1032	食料品をまとめて買う為、荷物がたくさんあり全部持っただけは、困難であり、3往復くらい必要になり、バスだと待ち時間を入れると時間が倍以上かかる。
48	1032	バスは乗り換えがあり、朝は満員で通過する場合もあり、時間がはっきりしないので、早くでる必要があるのと、会社で車が必要な場合が、突発的にあるので、難しい。
49	1032	歩くにはとうすぎる
50	1032	遠い
51	1032	バスがない
52	1032	バスがない
53	1032	買ったものの持ち帰り
54	1033	夜8時以降の電車の時間が1時間間隔しかない
55	1033	目的地に3km余り公共交通が無い
56	1033	移動に時間がかかりすぎる

## 5.参加者コメント集

## (イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
57	1033	公共交通運賃が高額になる。 時間に制約が生じる。
58	1033	公共交通運賃 時間
59	1033	公共交通運賃 所要時間
60	1033	歩くには遠すぎる。公共交通機関を利用すると3～4倍の時間がかかる。買い物の荷物が多きので、公共交通機関を利用しても徒歩部分が辛い。
61	1033	目的地への交通手段が、無い。買い物しても、持って帰るのに苦労したくない。
62	1033	荷物等が多いと、公共機関では不便。
63	1033	家族で出かける場合は、子供が小さいので、自家用車使用。
64	1033	釣り、ゴルフ等のレジャーでは、荷物が大きい為自家用車が便利だが、乗り合わせを心がけている！
65	1033	約束時間を厳守しにくい為
66	1033	他に方法がない。
67	1034	会社所有の自動車通勤してるため
68	1034	公共交通機関のルートがない
69	1034	公共交通機関が近くにない
70	1034	公共交通機関だと時間がかかる
71	1034	時間がかからない
72	1034	乗換えが多すぎるため
73	1034	バス、電車に乗ると酔うから
74	1034	乗り物に酔うから
75	1034	乗り物に酔うから
76	1034	部の社員全員が使用する。 通勤手当の関係
77	1034	買い物帰りは、登りの勾配がきついのため。
78	1034	親の身体が不自由なので、実家で移動する場合必ず車が必要。
79	1034	仕事で使用する為
80	1034	仕事
81	1034	仕事
82	1034	自動車業界関係者の為
83	1034	買ったものを持ちかえる為
84	1034	会社の仕事用であり、変更は不可能である
85	1034	バスの便利が悪い、運賃が高い
86	1034	公共交通機関だと乗換えがあり、不便である。
87	1034	公共交通機関だと、時間がかかりすぎる。
88	1034	交通機関(バス)を利用すると、時間と費用が 3倍になる。 直通路線がないため 乗り換える必要があるため。
89	1034	営業活動において必要不可欠だから。
90	1034	営業活動に必要不可欠だから。
91	1034	通勤は車以外は無理だが、買い物は自転車でもよい
92	1034	通勤は無理だが買い物は徒歩、自転車でも
93	1034	通勤は無理だが買い物なら
94	1034	交通費の負担増。移動時間の増大。
95	1034	買い物荷物を持つての移動が困難
96	1034	先方での移動が困難
97	1034	親が高齢により、体力もなく足も悪く、電車やバスを利用することが出来ない。
98	1034	実家が最寄の駅・バス停からかなり離れている為。
99	1034	買い物の荷物が多く自動車でしか無理
100	1034	子供が小さく、自分ひとりの移動であれば変更可能であるが、家族と移動になると難しい。
101	1034	子供のライフサイクルに合わせるため
102	1034	何回か乗換えが必要になる。
103	1035	広島市白木町の市営農園に区画を借りていて、週に一度、夫婦で通っている。公共交通機関を使うのは難しいと思う。
104	1035	義父の7回忌法要のため、大朝町にある団体経営の墓園に行く。公共交通機関を使うのは難しい。仮に行くことができて、乗り継ぎ等で非常なロスが考えられる。現実的には難しい。
105	1035	公共交通機関を使えば、往復に時間がかかる上、持って行く資料が重い為。 相手の都合、当方の仕事の段取りを考えれば、選択肢はない。 残業料のつかない残業時間が増えるだけ。
106	1035	1週間分の食料・雑貨などを購入し、荷物が多いため。
107	1035	バスが通っていない。
108	1035	公共交通機関が近くにないため。
109	1035	旅行なので費用が高むし、行動範囲が制限される。
110	1036	自分の休日は送迎が習慣になっている。
111	1036	いつも荷物が多い。
112	1036	移動時間が想定できない。
113	1036	他に手段が無い。
114	1036	他に手段が無い

## 5.参加者コメント集

## (イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
115	1036	他に手段が無い。
116	1036	公共交通機関の便利が悪い、バス停まで30分歩く必要がある。
117	1036	バスでは乗り換えがあつたりして便利が悪い
118	1036	車で行くのが一番早くて楽
119	1036	他の方法では時間がかかる
120	1036	まとめて済ますようにはしている
121	1036	業務のため 変更できる人的余裕はこの会社にはない
122	1036	他に手段がないため
123	1036	帰宅時間に公共交通機関が不便
124	1036	移動手段が無い
125	1036	家からバス停まで徒歩で10分、1歳～2歳の子供がいる為、バスでは無理がある。
126	1036	公共交通機関が無い場所・時間が限られている
127	1036	帰る時間と距離の問題
128	1036	仕事上どうしても終了時間が一定でなく車の方が便利
129	1036	田舎での移動手段が限定されるので難しいと思います。
130	1036	荷物の運搬もあり無理です。
131	1036	1箇所だけ行くとは限らない(途中で他のところに寄る可能性がある)からあちこち行った場合そこに行くまでのお金と時間がかかるから。 荷物がある場合が多く、その荷物をもってあちこちに行くのは疲れるから。
132	1036	車の販売会社に勤務しており、車使用が前提に行動している。
133	1036	自動車の販売会社に勤務しており、車の保有、使用が前提で生活している。
134	1036	前から行きたかった温泉旅館。 山陰には電車等では時間もかかるし行動の自由も奪われるので、車以外は考えられません。
135	1036	公共機関を利用すると、通勤時間が倍以上になる為出来るだけ避けたい。
136	1036	交通機関を利用すれば3倍時間がかかる。
137	1036	通勤時間が長くなる
138	1036	時間がかかる
139	1036	三次市内までは、バスがあるけど、途中からは交通機関がないため。
140	1037	徒歩で行けないことはないが、交通量が多く小さな子供を連れて行くには危険。
141	1037	バスの停留所まで距離があり、乗り換えも必要であり、小さな子供を連れて行くには不便。
142	1037	バスの乗り換え等が不便。 小さな子供を連れて行くのは困難。
143	1038	車の運転を楽しむのが目的のため
144	1038	買物したものが重い、坂が多い。
145	1038	休日は大量の買物をするので、無理 平日は自転車か徒歩でも可能
146	1038	変更することにより移動時間は倍になることと、荷物もあるため。
147	1038	移動時間が長くなり、他の用事が出来にくくなる。
148	1038	遠い
149	1040	現在、通院中です。
150	1040	通院中のため
151	1040	荷物が多いため
152	1040	未就学児が2名いることもあり、車を利用することは必要不可欠です。また、コンビニやスーパーも徒歩圏には無く、山の団地なので経済性を考えるとどうしても車を利用してしまいます。
153	1040	バス停が遠い。
154	1040	未就学児が2名おり、乗り換えはきつい。
155	1040	公共交通機関がなく、荷物も多いため。
156	1040	公共交通機関では行けないから。
157	1040	自家用車じゃないと無理だから。
158	1040	仕事の時間が不規則。 早い時間に電車がなくなる
159	1040	交通機関をいくつも乗り継がなければならず、時間が数倍かかることが予想される。
160	1040	新幹線等を利用して移動することは可能ですが、家族で移動となった場合、自動車使用の方が圧倒的に安い 最寄りのJR駅まで2Kあり、約20分かけての自転車を利用する方法もあるが、朝の10分、20分が貴重な時間となり、どうしても車を利用して、そのまま会社近くまで通勤する。車で最寄りのJR駅までの手段をとる場合
161	1040	駐車料が、3～5千円必要。
162	1040	自転車での方法もあるが、道路幅も狭く危険である。 バスの便もほとんどない。
163	1040	車以外の交通手段がない。
164	1040	交通機関なし
165	1040	交通機関なし
166	1040	時間がない
167	1041	業務で車を使用する為
168	1041	荷物がある
169	1041	時間がかかる

## 5.参加者コメント集

## (イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
170	1041	ドライブが趣味
171	1041	最寄の駅やバス停が遠い
172	1041	最寄の交通機関が、判断しづらい。 必ず徒歩になるため、荷物を運べず 買い物できない
173	1041	通勤時間にしばられる
174	1041	小さい子供がいるため、電車やバスの移動はやや難しい。荷物も多いため。
175	1041	バス停が遠い
176	1041	バスも電車も通ってないので
177	1041	土日祝のバスが、少ない為帰宅する時間が遅くなってしまうから。
178	1041	車は大好きだし移動距離が長いと車の方が安い
179	1041	歩くのが嫌!!!!
180	1041	歩くのが嫌!!!!
181	1041	郊外の位置にあるため。
182	1042	目的の時間に到着できない。
183	1042	大量の買い物等を運ぶために車を利用している。 全員が環境問題を考える事は重要であると思いますが、質問の内容が 車を使用することが、如何にも悪いことであるように読み取れます。
184	1042	1.長距離である。 2.荷物の搬送
185	1042	荷物の搬送
186	1045	バスの運行時間が少ない
187	1045	時間がかかりすぎる
188	1045	時間がかかる
189	1045	公共交通機関があまりない為、買い物に時間がかかる。
190	1045	実家に帰省する際は荷物も多く、公共交通機関を利用すると時間もかかる
191	1046	帰宅時間の交通機関が不便のため。
192	1046	車以外に行く手段が存在しないため
193	1046	マイカー通勤でない場合、自宅 勤務先間の移動時間が片道30?60分増加します。 この余分に発生する往復の通勤時間(1h)の無駄は大きいと思いますし、これをペイ できるだけの魅力を他の交通手段に見出すことができません。
194	1046	子供が小さいので、公共交通での移動は騒いだときに周囲に迷惑がかかるため。
195	1046	子供が小さいから
196	1046	自家用車では自宅玄関 墓地直行で途中「花」を買っても片道100分 公共交通機関はバス 電車 新幹線 タクシ- 墓地で片道150~200分。時間制約で公共交通機関は不利。費 用面では車利用4000円、公共交通機関15000円。(3人)
197	1046	時間が倍以上かかる。帰宅時間が21時をすぎると帰りの公共機関(バス)がない。通常退社時刻は21時すぎ。
198	1046	公共交通機関はタクシー以外なし。もしくは片道60分歩く。(坂道のため自転車は困難)
199	1049	バス通勤のための便数がない
200	1049	1週間分の買い物をするため、荷物の運搬手段に必要
201	1049	遠回りのバスしかない
202	1049	夫婦共働きなので一週間分の食料品をまとめて購入するから、大きさ、重さがかさなるので車がないと無理。
203	1049	他の公共交通手段がない
204	1049	目的地までの時間ロスがある
205	1049	目的地までの時間ロスがある
206	1049	待ち時間とうの時間ロスがある
207	1049	部外への打ち合わせが発生した場合に必要な。
208	1049	自宅からのバス等の移動手段がない
209	1049	野球道具などを持ち込むため
210	1049	目的地までJR、バス等を利用すると乗り換えを3回もしなければならない。また、最終公共交通機関下車後、10分 以上歩く。他公共交通機関乗り換えなので、運賃割高になる。
211	1049	到着時間がかかりかかる。 乗換えが4回発生する。
212	1049	不便だから
213	1049	近いところのスーパーへ変えれば可能。しかし物が高い
214	1049	近いスーパーに変えれば可能。しかし物が高い
215	1051	食料品など日常の買い物なので、荷物がかさばり、もってかえりにくい。
216	1051	買い物の持ち帰りの量が多いうえ、帰路は上り坂
217	1051	外に外出手段がない。
218	1051	輸送機関の未整備
219	1051	自宅から公共交通機関を使う場合、乗換を2~3回行わないといけないことや、利用料金が高いため、不可能では ないが、できない。
220	1051	通勤自体は、バスへ変更できますが、仕事帰りに公共交通機関では行きにくい場所へよる事が多いため。
221	1051	荷物があることと、バス等の公共交通機関がないため。
222	1051	難しくはないがしたくない。 乗り継ぎにかかる時間や乗り継ぎ間の待ち時間がスムーズにいかないため
223	1051	目的地までの時間差が大きすぎて自家用車意外で行く気がしない
224	1051	自動車を運転することが主な目的だから

## 5.参加者コメント集

## (イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
225	1051	買い物有大量にある場合、坂道であり徒歩はしんどい。
226	1051	時間が余分にかかること、費用が余分にかかる
227	1051	テニスコートは郊外にあり、最寄の駅からも遠く、山の上であり公共交通機関が無い。
228	1051	バス亭までの距離、バスの時刻を考えると、30分は早く家をでなければなりません。子どもの小さいうちは、朝の準備に時間が掛かるため、30分は、とても必要な時間です。
229	1051	路線バスは便数がほとんど無く、タクシー - 利用は経済的でない。
230	1051	休暇の日数が足りなくなる。
231	1051	経費を浮かすため
232	1051	公共交通機関が少ない地域であるため
233	1051	公共交通機関の便数が少ない
234	1051	遠距離であるため、公共交通機関だと時間がかかり、効率が悪い
235	1051	勤務先が公共交通機関の最寄駅から離れている。(徒歩で山道を25分) 人家も少なく、夜間は徒歩の通勤は安全性に問題がある。
236	1051	公共の交通機関がない。
237	1051	アストラムラインでの通勤は可能であるが、通勤時間が20分程度多くかかるのと、通勤途中に用事があり、公共交通機関を使うと非常に時間がかかる。
238	1051	休日に家族で出かけるときに車を使用しており、これを公共交通機関等で行くことになると、とても時間がかかり、また、荷物が多くなると、子供がちいさいことから手がかかるため。
239	1051	公共交通機関(バス)の便数が少ない
240	1051	公共交通機関の便数が少ない
241	1051	公共交通機関の便数が少ない
242	1051	自宅、目的地ともバス停留所から遠いため。
243	1051	自宅がバス停から遠い他、家族で移動するため車が便利である。
244	1051	買い物した荷物の量が多い。
245	1051	公共交通機関はJRしかない。 JRは、時間がかかる、車両が少なく通勤時は混雑して座れない、通勤時間帯をはずすと極端に便数が少ない。
246	1051	他に交通手段がない。
247	1051	仕事が深夜に及び、公共交通機関がないため。
248	1051	自宅と職場の位置関係から難しい
249	1051	朝早く出かけるから
250	1051	荷物が多いから
251	1051	子供と一緒になので、難しいです。
252	1051	希望の温泉が、JR駅より遠い。
253	1051	夜で、ちょうどいい公共交通機関がない。
254	1051	身体が不自由なため(左半身麻痺)
255	1051	身体が不自由なため(左半身麻痺)
256	1051	天気が良い日、買い物の量が少ない時、時間がある日は、徒歩や自転車で行けるが、雨の日や買い物量が多い時や急いでいる時などには、やはり自動車で行くことになると思う。
257	1051	遠い(10キロメートル)ので、クルマ以外だとバス、電車、徒歩になるが時間がかかるので、時間的余裕がないと難しい。
258	1051	クルマでないと行けない場所なので、他の方法はないが、自分だけで行くことは極力避けて、お互いで連絡し合っ てなるべく1台のクルマで行くように努力したい。
259	1051	身体上の都合。
260	1051	身体上の都合。
261	1051	身体上の都合。
262	1051	荷物が多いため。時間がかかるため。
263	1051	深夜の送迎目的のため
264	1051	現場、若しくは地元との立会、協議等の目的であるため。
265	1051	ドライブをかねて、買い物をし、実家によって両親の顔をみるので、自分ひとりであれば、バスに変更できるが、家 族での目的にドライブが入っているので、変更すると目的のものがひとつなくなってしまうので。
266	1051	クルマの整備にいくので、クルマをもっていかないと無理。
267	1051	坂道が多く、公共交通機関がないため。
268	1051	徒歩する距離が長い。
269	1051	子どもが小さい
270	1051	通院のため
271	1051	荷物が多い 満員電車で幼児を乗せたくない
272	1051	妻が妊娠中のため
273	1051	代替する適当な交通機関がないため。
274	1051	家族のりばりに使っており、これを止めるわけにはいかない。
275	1051	公共交通機関への乗換が2回あり、費用・乗換時間のロスなど無駄が多くなる。
276	1051	行き先は、徒歩や自転車で行くには遠く、 子どもがまだ小さいので、公共交通機関での移動は難しいと思われた。
277	1051	子どもの送迎も兼ねての出勤なので、子どもの荷物がかさばり、自転車や徒歩では難しいと思われた。
278	1051	バス停まで行くのに3分要すし、バス停で待たねばならない。バス料金も210円かかるので結構出費になる。面倒臭 い。



## 5.参加者コメント集

## (イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
279	1051	妻を迎えに行くケースなので時間がかかり過ぎることは避けたい。家に帰って子供たちの食事の支度もあるので変更は難しい。
280	1051	妻の実家なので電車、バスなどは到底考えられない。荷物もあるし車以外は方法は見つからない。
281	1051	勤務先に定時に到着するには、公共交通機関に2時間弱乗らないといけません。途中で買い物等をすませることもできません。帰宅途中で子どもの迎えなどもあり、やはり自家用車でないと自由になりません。
282	1051	勤務先に定時に到着するには、公共交通機関に2時間弱乗らないといけません。途中で買い物等をすませることもできません。帰宅途中で子どもの迎えなどもあり、やはり自家用車でないと自由になりません。
283	1051	電車等に変更した場合、乗り換えを要し、時間がかかるため。
284	1051	目的に応じた代替交通機関が無い。
285	1051	時間がかかるため。
286	1051	帰りが団地のため荷物をさげて登ることになるため。しかし、行きは徒歩で帰りはバスで帰ることがきる。通勤用の定期があれば金額も問題がないが自家用車での通勤のため定期は持ってないし、子供を連れていくため、金額がかかる。
287	1051	料金と時間がかかる
288	1051	夜、8時頃に買い物に出かけるし、1週間分の食料を買うので荷物が多くなるので難しい。
289	1051	大島のバス回数が少なく、帰りには土産もあるので荷物が多くなる。
290	1051	荷物が大変多いので、持って移動するのは難しい。さらに、近くに公共交通機関がなく、最寄の駅から目的地までが遠すぎる。また、公共交通機関をつかうと自家用車に比べて二倍近く時間がかかるため。ただ、当然複数名で乗り合わせるようにはしています。
291	1051	家が山の中腹にあるため
292	1051	荷物が重い
293	1051	家からバス停まで20分くらい歩かないといけない
294	1051	居住地からの交通手段が限られており、バス等の運行時刻が少ない。
295	1051	今売ったとしても、車両購入に要した資金の回収は望めない。
296	1051	いつも持参する食料や物資が有り、途上で販売店でも物資を購入して訪問するので、家から家までの搬送手段は自家用車に勝るものは無い
297	1051	いつも利用する釣り場に向かう公共交通機関の乗り継ぎが遠回り、かつ時間が計り難い。
298	1051	女の子が夜遅く帰ってくるため、迎えが必要
299	1051	女の子が夜遅くバイトで帰宅するため、安全上むづかしい。
300	1051	公共交通機関が非常に少ない。買い物の荷物が多すぎる
301	1051	年寄の病院への送迎を行うため。
302	1051	娘が学校のクラブで遅く帰るため。
303	1051	買い物の荷物が多いため。
304	1051	勤務地への交通機関のアクセスが悪い。
305	1051	車でないと、店から店への移動が不便。
306	1051	車でないと便利が悪い。
307	1051	代替手段としてはバスがあるが、朝の時間帯で遅れる可能性があり、勤務時間に遅れる可能性がある。また、帰宅時には適当なバスの便がない。
308	1051	代替手段はバスがあるが、便数が少ない。
309	1051	代替手段としてはバスがあるが、便数が少ない。
310	1051	バスの便が少ないため。
311	1051	目的地への交通手段が自動車しかない。 荷物がある
312	1051	未就園児がいるため
313	1051	バス停から自宅や店までの距離が遠く、坂道であること(体調不調)、荷物が多いため持てないことなどによる。
314	1051	他の交通手段がない。
315	1051	バス停まで時間がかかり、疲れるため。
316	1051	時間的に非常に長時間かかる。
317	1051	住所地が僻地であり、公共交通機関がないため。 JR駅まで15キロ以上あり、駅周辺に適当な駐車場がない。
318	1051	同行者を近所の者とすれば、乗合は可能だが、近所の者ではないため。
319	1051	クルマでしか行かない。荷物が大きい。
320	1051	多くの人たちと前から計画していたため。
321	1051	バスの本数が少ない
322	1051	保育園に送迎後公共交通機関で通勤すると、勤務先に遅刻するため 荷物が重い
323	1051	交通の便が悪い 近頃の店は車で行くことを想定して作られている
324	1051	交通手段がない
325	1051	幼児がいることと、一週間分の食料品等をまとめて買うので車でないと難しい。
326	1052	・最寄りの駅(電車)がかなり遠い。(3km、高低差100m) ・最寄りのバス停が遠い(1.5km、高低差50m)とともに、便数が限られている。 ・夜遅くなるとバス便がない。 ・自家用車よりもかなり時間を要する。(バス利用で約+30分程度)

## 5.参加者コメント集

## (イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
327	1052	・行動プラン(1)と同様 ・休日の外出は、買い物や娯楽等を兼ねており、市内各所への移動手段の全てを公共交通機関に置き換えることは困難。(広島市内のバス網・バス停等を熟知していれば別ですが。)
328	1052	荷物が多い。
329	1052	ドライブ目的であるから。
330	1052	荷物の運搬を行う場合、公共交通では、持ち運びが出来ない。
331	1052	週末の買い物であり、食料品だけでなく日用雑貨等短い時間で様々な郊外型の店舗に纏めて買い物をしている状況。 米や飲料品など重いものが多いこともあり変更は極めて困難。
332	1052	ゴルフ場なので、車以外での交通手段がないため。
333	1052	公共交通機関がない。
334	1052	徒歩、自転車への変更を強いられるくらいであれば、予定する場所での買い物はしない
335	1052	買い物は近所のスーパーでも代替が可能だが、娯楽施設や大きな専門店などはここにしかなく、目的地は変更できない。交通手段を変更するとすれば電車かバスだが、調べてみないと行き方が分からない。
336	1052	バスに変更するしかないが、調べてみないと分からない。
337	1052	バス変更するしかないが、調べてみないと分からない。
338	1053	上り下りが多く、歩くと20分以上かかるため
339	1053	家族を迎えに行くため
340	1053	発着の時間が遅い為、利用すると目的時間に遅れてしまう為。
341	1053	常に道路事情により、20～30分遅れる為、時間がかかり過ぎて、疲れてしまう。
342	1053	移動に時間がかかる為、家族の身体的負担が大きくなる。
343	1053	帰りの時間に公共交通機関がない可能性がある。
344	1053	公共交通機関を使うと時間が倍以上かかる上に、荷物が邪魔になる。
345	1053	幼児同伴
346	1053	一山超えないといけなから
347	1053	公共交通期間を利用する場合、遠回りになる。交通費が多くなる。
348	1053	公共交通機関で移動しようとする、出発時間を早め、しかも多数回の乗り換えが必要となり、荷物もあるため。
349	1053	電車が通っているが、深夜近くなって出かけるため、電車を使うと電車がいないため帰宅することが困難になる。
350	1053	目的地が駅から離れている為、公共交通機関を使用すると時間が余計にかかる。
351	1054	荷物が沢山の山の場合
352	1054	しまなみ海道探訪が目的。健康弱者あり。
353	1054	1歳の子供がいるので、買物するときは車が必要
354	1054	所用時間が違いすぎる。
355	1054	電車の場合 所要時分が3倍から4倍となる バスの場合 便数が少なく最終便が早い 自転車の場合 荷物の運搬が困難
356	1054	電車・バスの場合 所要時分が倍増する、荷物の運搬が困難
357	1054	電車・バスの場合 所要時分が倍増 到着時刻が予測困難、荷物の運搬が困難、途中で別の目的地に立ち寄ることが困難(外出時は複数の目的地に順次立ち寄る場合が多いため) 自転車の場合 荷物の運搬が困難、複数の目的地を巡回することが体力的に厳しい(往復移動距離が10～15kmが限界の目安)
358	1054	バスの運行本数が非常に少ない。
359	1054	荷物の持ち運びが大変
360	1054	現地で移動方法(最寄バス停など)がわからない。
361	1054	他に交通手段がないから
362	1054	目的地への直通の公共交通機関がなく、乗り換えが必要となる。
363	1054	自宅から直通の公共交通機関がなく、乗り換えが最低2回必要となり、利便性が非常に悪く、時間的なロスと労力が大きい。
364	1054	他の交通手段のない所であり、自転車で行くには時間がかかり過ぎるため。
365	1054	他に交通手段のない地域であるため。
366	1054	荷物が大きすぎて車以外では運べない。
367	1054	荷物が多くなるため
368	1055	公共交通機関であると、勤務時間が不規則なため時間帯に使用する公共交通機関が無くなる場合が多い。 日曜日の場合は、近くのショッピングセンターに止め公共交通機関を使用するようにしている。但し、都心へは、出向かないようにしている。
369	1055	子供の送迎を兼ねているため。
370	1055	交通の便が悪く、4回以上乗り換えがある
371	1055	夜遅くなることもあり、交通機関では難しい。
372	1055	移動する時間が早朝のため、朝4時。
373	1055	通勤時間がまちまち
374	1055	公共交通機関が使用不可能
375	1055	公共交通機関の手段が無い
376	1055	朝はできるかも知れないが、深夜帰宅が大変。

## 5.参加者コメント集

## (イ) マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
377	1055	荷物が積んで帰れない
378	1055	仕事の勤務の都合
379	1055	会社に車で来ている
380	1055	交通手段が困難
381	1055	子供連れの徒歩は困難
382	1055	バスの本数が少ないので
383	1055	早朝の為公共機関が無い
384	1055	公共機関を利用すると時間がかかりかかり効率が悪い
385	1055	時間がかかりすぎる
386	1055	バスの本数が少ない
387	1056	家族の送迎がある。
388	1056	品物の搬送がどうもね それと 直通のバスがなく、乗り継ぎがね
389	1056	交通費がクルマの場合よりかかる。通勤時間が長くなる。
390	1056	交通費がかかる。 移動時間が長くなる。
391	1056	会社が広島市内ではあるが広電だと、最寄の停留所から歩いて30分かかるし、JRだと歩けるような距離ではない。バスだと、2回の乗り換えで交通費も大変高い。マイカーか自転車ということになるが、自転車で13kmはかなりの体力を消耗してしまいます。また、雨が降れば自転車も辛いし、どうしてもマイカーに頼ってしまう傾向があります。 マイカーを自粛してもっと公共輸送機関を利用するようにと指導するなら、その公共輸送機関の運賃について考えてみたことはありますか。今よりもっと下げるように指導していただきたい。そうすれば、公共輸送機関を利用する者が増えるのではないかと思う。強いてはCO2排出ガス削減へ繋がっていくのではないのでしょうか。 交通手段を変えることによる莫大な個人の支出については何も問い立たされていないのが不思議です。
392	1056	田舎で公共輸送機関が大変不便である
393	1056	バイクで行くことも可能ではあるが、荷物がつめないで難しいと思う。 バスだと、時間がかかるしお金もものすごく高い。、自転車だと場所が佐伯の峠なのであの坂は自転車だと無理です。
394	1056	通勤時間が約2倍となり、自宅出発時間が早く帰宅時間が遅くなる。
395	1056	公共交通機関の発達していない田舎のため、同乗し手が手がない。
396	1056	バスの本数が少ないため
397	1056	バス路線がないため乗り継ぎがめんどくさいため
398	1056	バスに乗り電車に乗り買い物の荷物持ってバス等で帰宅するのが、めんどつさいから
399	1056	交通機関の便数が少ない。
400	1056	時間が合わせにくい。
401	1056	交通機関では乗換えが多く面倒
402	1056	時間的な問題がある。場所的に不便にある。
403	1056	時間の関係で絶対に無理
404	1056	乗り換えが多いので時間の関係で無理
405	1056	交通手段がない
406	1056	交通手段がない
407	1056	2ヶ月の子供が一緒だから
408	1057	公共交通機関が整備されていない場所が多い。
409	1057	荷物が多く、また子供が小さい(赤ん坊)ので無理です。バス便も直通がなく、座れる保証はないです。
410	1057	子供をつれて小児科医に行くので、混雑する公共交通では無理です。
411	1057	子供が小さいので公共交通機関は無理です。
412	1057	現在、1800km遠隔地から単身赴任中の独り暮らし。帰省したときしきり運転しない。年間数回しか帰省できないので、帰省したときは家族とのコミュニケーションを保つ意味で車使用の行楽は欠かせない。 帰省が年間5回としてトータル20日程度、CO2の排出は許してほしい。
413	1057	今、荷物が多い場合を想定しているため。配達してくれるなら地下鉄利用も可能だが、配達料が高額なため、絶対車利用になる。
414	1057	公共交通機関の利用では、もの凄く遠回りとなり、時間的にも3倍掛かる。現実的ではない。
415	1057	公共交通機関の接続・便数が不便のため。
416	1057	公共交通機関に変更した場合は、買い物したものを運ぶことが困難。
417	1057	公共交通機関で行けない。
418	1057	荷物が有り、また、家族で出かければバス代が高くなる
419	1057	帰省するのに、荷物が多い
420	1057	新幹線代が家族では高くなる 旅行先での移動が困難
421	1057	公共交通(JR)の駅から徒歩距離が遠すぎる。
422	1057	授業開始時間へ遅刻のため
423	1057	時間がかかり過ぎる。
424	1057	多量に食料品を購入するため、運搬するためには自動車を使用せざるを得ない。
425	1057	購入目的の物を豊富に揃えているのは、自宅からかなり離れた場所にあるショッピングセンターしかないため。
426	1057	事情があって通勤時間帯と重なるラッシュアワー時に交通機関への乗降が困難なため。
427	1057	新幹線利用も考えるが、コスト的に厳しい。
428	1057	子供が自転車で行くことになる為、街中でも有りまだ危険である

## 5.参加者コメント集

## (イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
429	1057	自宅からバス停までパーク&バスライドで高速バスに乗り換えている。マイカーを自転車若しくはミニバイクに変更することも可能だが、雨天や手荷物等で不便。
430	1057	子供一人では危険。公共交通では時間がかかる。
431	1057	自宅から妹尾駅までの公共交通機関がなく、自転車等では距離的に無理
432	1057	自宅からの公共交通機関がない、また徒歩等での移動は無理
433	1057	自宅からの公共交通機関がなく、また自転車等では距離的に無理
434	1057	他の交通機関の利用が不便
435	1057	買い物する量によると思う。少なければ自転車を使うことも可能である。
436	1057	家から駅までは3キロあり、距離からすれば自転車等へ変更も考えられるが、団地が高台にあり変更は困難。
437	1057	時間のロスが大きすぎる。電停までかなり距離がある。土日なら良いが平日は負担がかかりすぎる。
438	1057	荷物を運ぶため。複数箇所を回るため。
439	1057	自分の行動パターンに時刻表が合っていないし、最終便が余りにも早すぎて話にならない。
440	1057	目的地を3箇所以上移動すると、交通機関では最寄りの駅・停留所が離れており、休日ダイヤで減便されているうえ、多い荷物や雨天時には効率が悪く、全く不便であり家族からも敬遠され、心身共に疲労してしまい話にならない。
441	1057	1箇所だけではなく、必ず複数箇所を移動するのに、効率・所要時間・待ち時間・天候・荷物などを総合的に判断しても、全く無理である。
442	1057	引っ越しに使うため。
443	1057	バス便通勤時は高速4号経由で早く便利がよいが帰りは2号線経由で便利が悪い
444	1057	子供が児童のため、乗り換えの距離・時間がながすぎる。
445	1057	週に1又は2度の買い物、とても持って電車・バスは無理。
446	1057	時間不足
447	1057	車が便利のため
448	1057	車が便利のため
449	1057	病院へ看護
450	1057	定期的に病院看護があるため
451	1057	定期的に病院へ看護
452	1057	荷物が多い状況を見ると、自家用車を利用する方が圧倒的に便利のため、変更は難しい。
453	1057	目的地への経路が、直接交通手段(電車、バス等)で結ばれていないため、変更は難しい。
454	1057	交通手段の整備されていない地域に出かけるので、変更は、絶対に無理です。
455	1058	公共交通機関では乗り換え時間などを含めて通勤時間が長く、また、勤務終了時刻が遅いため疲労度が大きい
456	1058	キャンプに行くため大量の荷物を積載する必要がある
457	1058	有効に利用できる交通機関がない。また、荷物が多いため。
458	1058	便利なバス路線がない。途中食事で寄り道をする。
459	1058	バス停まで逆方向に戻る必要がある。荷物が多いため。
460	1058	私の残業が終了するのを祖母の家で待っている子どもを迎えに行き、自宅に帰宅するため、連日、21時頃となっており、上り坂・徒歩所要15分の帰路は子どもにも私にとっても時間的、精神的、肉体的に負担が大きい
461	1058	目的地まで公共交通機関ではアクセスできないため
462	1058	17時に仕事が終了し、その後交通機関を使用すると帰宅時間がかかり遅くなる。
463	1058	交通機関の接続等を考えると時間的なロスが生じる。
464	1058	交通機関の時間的な制約ある。
465	1058	バスの便数が圧倒的に少ない。
466	1058	複数の場所へ移動するため 公共交通機関は、非常に不便、不経済、時間の無駄
467	1058	車で通勤しているから
468	1058	買い物によっては、量が多いので車が便利だから
469	1058	公共交通機関がない。
470	1058	業務に使用する機材を運搬するため自動車が必要です。また、交通機関がない。
471	1058	帰省する際には荷物を抱えているため、手に持てる範囲ならば可能であるがそのような状況はほとんどないため。
472	1058	目的地への交通機関が整備されていないこと、手荷物等の対応が困難である。
473	1058	送迎のため
474	1058	交通機関が稼働していない時間帯のため
475	1058	幼児を連れて、買い物荷物を持っては移動できない。
476	1058	車で25~30分で通勤可能。帰宅時間が遅い場合の交通手段がなくなる。
477	1058	車の方が、経済的に安価で済むため。交通機関の場合、慣れない土地ではバス等の細かいアクセスを把握できないので敬遠してしまう。幼児連れなので交通機関を敬遠してしまう。
478	1058	実家に帰省し、いろいろ所に行くが、アクセスが整備されていない。また、高齢者を乗せ移動するため、変更は無理である。
479	1058	荷物が多いため。自動車以外で移動すると運賃が高くなる。
480	1058	自動車でない集合時間に間に合わない。
481	1059	公共交通機関の便が悪く車に比べ約40分間も早く自宅を出発する必要あり。又所要時間も約30分間余計にかかる。 時々なら対応可なるも毎日となるとむづかしい。
482	1059	・居住地が高台にあり買い物には自動車が不可欠である。 ・車を全く使わない事は不可なるも午前と午後の買い物をままとめて行うことは可能。

## 5.参加者コメント集

## (イ)マイカー通勤変更が“無理”な理由

sp.	事業所コード	変更不可理由
483	1059	・同乗させてもらう相手と会社の始業時間が異なる為、通常より約30分早く自宅を出発する要あり。 ・時々に対応は可能なるも毎日は無理。
484	1059	不便なので変更は難しい。
485	1059	物理的無理。
486	1059	病人の看護等に時間がかかり、他で時間を費やすことは出来ない。
487	1059	自宅から勤務先の交通の便があまり良くない為。
488	1059	目的地までの公共機関にバスがあるが、便数が少なく時間の予定が立てにくい。
489	1059	購入物を運ぶのが大変である上、公共交通機関を使ったほうが費用が高い為
490	1059	公共交通機関の利用だと車による必要時間の数倍かかる
491	1059	公共機関が高いため
492	1059	公共機関の賃金と駐車場代は変わらないため
493	1059	帰りが遅くなり、バスがなくなるから
494	1059	バス通勤すると往復千円以上かかりマイカーの方が安い
495	1059	団地に公共の交通機関がない。また、公共の交通機関の料金が安い。家族で利用するとタクシーの方が安価。一番安いのはマイカー。
496	1059	通勤時間が1.5倍かかる。公共の交通機関の料金が安い。
497	1059	団地に公共の交通機関がない。
498	1059	通退勤に利用している。 公共交通機関に変更した場合、時間が掛かり過ぎる。
499	1059	通勤途中に、子供の保育園の送り迎えがあり、荷物がある。 保育園が開いた時間から、公共交通機関にのると、会社に間に合わない。 残業時など、当方が住む会社から西広島方面の交通機関が早々と終了してしまい、帰れなくなる(かえるためには、広島駅経由という遠回りとなる)
500	1059	小さい子供(4才)並びに老人(66歳)と一緒にのため。 他に交通機関なし。
501	1059	公共の交通機関であれば2回乗り換え70分くらいかかるし、帰宅が21時を過ぎるとタクシーしか帰宅の手段がなくなる。
502	1059	交通手段が全く無い。荷物も多い。
503	1059	交通手段が複雑。纏め買いのため、荷物が多量。
504	1059	週1回の買い物のため、買い物の量が多いため。
505	1059	家電の種類によっては、車が必要な場合は使用する。
506	1059	値段が高い、始発時間にのっても間に合わない。乗り換えが4、5回になりしんどい。(バス電車、バス、と乗り換え地点が違う為、乗り換えの為の時間もかかる。公共交通機関の便数が少ない。 郊外に住んでいるためこれはあきらめています。……)
507	1059	(1)終業時刻が一定でない。 (2)道路事情で一般道路が自転車で走行しにくい。(自転車走りやすいようにできていない) (3)公共交通機関だと車の倍以上の時間がかかる。
508	1059	・坂道が多い ・買った物を運ぶ手段がない。 ・車が便利
509	1059	・時間がかかりすぎる ・乗車券の負担が大きすぎる ・買ったものの移動手段
510	1059	行くこと自体、残業を切り上げていくので、これ以上時間を裂けない。
511	1059	病人の移動なので、電車は無理
512	1059	法事に行くので、車のなかで、着替えたい。夏なので、喪服は暑い。 帰り、親戚に寄り道したい。(電車は不便)
513	1059	家族4人で買い物の荷物が有り、車でないと移動できない。
514	1031	勤務地の駐車場の近くに一人暮らしの年寄りが居り時々、様子を見に行っている。
515	1056	帰宅時間が、一定しない。
516	1059	バスを利用すると、通勤時間が今の倍以上かかるが変更できない事は無い。
517	1059	乗り換え待ち時間を含めると大幅に無駄時間が生じる。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
1	1031	・自家用車の使用方法がポイント。便利であるが故に、必要以上の使用をしている。
2	1031	歩いて30分以内の通勤範囲は自転車や徒歩にするべきである。
3	1031	休日外出時に代替の公共交通手段がない場合に、マイカー利用を抑えることが難しい。
4	1031	鉄道および路線バスを優先的に使用、また、可能な限り徒歩 普段から徒歩移動に努めているし、JRしか通勤手段の無い場所なので、ある程度の期待はあったし、結果にも満足している。 今後は、休日に車ででの外出を抑えるように努めたい。
5	1031	可能な範囲は徒歩で移動し、遠距離についてはバスや電車を利用したい。一方で、地方は東京のように数分単位で電車が走っていないため、待ち時間などを考えれば難しい面もある。
6	1031	マイカーは所有していませんので、今回のアンケートでは私の行動は評価できないと考えます。また、広島地区は地下鉄はなく、公共交通機関の区分を「路面電車」と「バス」を明確に区別しなければ、調査としては極めて不十分です。やり直したほうがよろしいのではないのでしょうか。 また、より地球にやさしい取組みとしては、公共交通機関の利用もできるだけ徒歩に変更できればいいですね。
7	1031	個人的にはそれなりの結果を残したものとする。
8	1031	CO2排出量が減っていることがわかり、安心した。
9	1031	削減を意識して生活していきたい。
10	1031	仕事の関係で自動車を使用しないとならない場面はどうしてもありますが、休日にはできる限り公共交通機関や運動のために徒歩距離を増やすことが望ましいと思います。
11	1031	今回の取り組みの中では効果は出ていませんが、通勤では家族での相乗り、JRへの乗り継ぎ利用等、出来るだけ車を使わないよう心がけている。
12	1031	公共交通機関の利用、車の相互乗合など。健康のためにも少々の距離は徒歩をする。
13	1031	通勤時にはあまり削減努力ができなかった
14	1031	家族を含めた最小限の範囲で自家用車を利用している。 1回目と2回目で大きな変化は見られなかったものの、家族を含めて自家用車の活用について意識が高まったと考えている。
15	1031	休日の公共交通機関の利用
16	1031	増加したものの、絶対数量は低い
17	1031	環境のことをよく考えた行動がとれていると思います。 これからは涼しくなっていくので、歩行を中心にしていきたいと考えています。
18	1031	日常の買い物から通勤まで公共交通機関を利用する。
19	1031	日常の通勤では、公共交通機関(JR+市内電車) 休日での外出では、その要件に応じてマイカーと公共交通機関を使い分ける。
20	1031	平均値を大きく下回る結果である。
21	1031	公共交通機関
22	1031	できればもっと電車、バスを利用する方が良い。
23	1031	現在の社会が車を前提に、成り立っているように思います。少し、遠方にレジャーに行く場合など、公共交通機関ではかなり不便です。 ただし、近所への買い物などの外出は、出来るだけ徒歩、自転車利用で行うよう意識を買って行きたいと思います。
24	1031	第2回目は、たまたま外出の機会も多く、結果として移動時間は増えましたが、車の利用率は前回と同様でした(わずかに下回りました)。 日ごろから近隣の移動は徒歩または自転車を活用しており一定の評価ができる内容と考えております。 従いまして第1回目と同様の評価といたしました。
27	1031	極力、相乗り等で車利用の頻度を削減しようとはしているが、代替方法があるのに時間的なもの、利便性からなかなか車利用は止められない。
28	1031	もっと行政主導の公共交通機関へのシフトを推進した方がよいと考えられる。
29	1031	広島旧市内は自転車駐輪場の整備を拡大した上で、自転車移動をもっと呼びかけるべき
30	1031	子供が幼いこともあり、休日の移動に関しても自動車を利用する機会が多いが、子供の将来への影響も考え、できるだけ公共交通機関や自転車を利用する習慣をつけていくことが望ましい。
31	1031	今後も、できるだけ自転車を利用するようにしていきたいと思えます
32	1031	今回は満足な取組みには、いたりませんでした。休日には出来るだけ車は使用せず、歩くように心掛けています。 少しずつ、公共交通、最終的には自転車を今後考えて生きたいと思えます。
33	1031	自家用車の利用は余り無駄な事には使用していないと思う。しかし、別の交通手段でもできないことは無かったので80点とした。 自家用車の利用でも省エネを心がけた乗り方が出来ると思うので燃費の良い乗り方をするようにしたい。
34	1031	基本的には、休日のみの車使用のパターンとなっている。 休日でも3km以内は徒歩で行動するようにしている。 平日はバイク通勤であるが、10月からは1週間に3日、往復10kmを徒歩通勤に切り替えている。
35	1031	便利で楽な方に流れがちであるが、公共交通機関の利用や歩くことの楽しみをもっと知り生活形態を変えると、楽しく効果を出せるのではと考える
36	1031	自動車を使用しないよう心掛けたつもりです。 今後も、自動車の使用をできるだけ控えたいと思えます。
37	1031	考えたつもりではあったが、更に努力の必要が判明
38	1031	通勤時の交通手段として車を利用しているが、広島の公共の交通網の関係で時間が2倍以上かかるため車通勤せざるをえない状況です。今後都市交通網の整備とともに自分自身も通勤時間にゆとりを持ち公共交通機関を利用する努力をしてゆく必要があると感じました。
39	1031	膝を悪くした結果、現在は食堂に行く徒歩すら避けている現状です。 住まいが団地なので、坂道なので自転車も難しい。自動車を使うことは止むを得ないところです。 これを機会に、まとめ用事済ませにチャレンジしてみます。
40	1031	公共交通機関を利用する(運営する会社もお客さまが利用しやすい工夫が必要・アクセス、利用時間等)

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
41	1031	自分の交通手段は、基本的には、自転車・公共交通機関を使用するようにしており、マイカー利用はあまりしていない。
42	1031	通勤の行き帰りどちらかで徒歩を入れる
43	1031	徒歩1時間圏内は、極力徒歩とする。 それ以上は、公共交通機関や、自転車・バイク等のCO2排出量の小さい移動手段を優先する。
44	1031	ノーマイカーデーを意識することが、今回の成功の秘訣です。
45	1031	交通機関を利用するといらいらが少なくなったように思う。
46	1031	休日の外出時の公共交通手段及び徒歩を利用すると大幅なCO2削減となるので、今後は出来るだけ公共交通手段及び出来るだけ徒歩を利用したい。
47	1031	個人個人のライフスタイルが違うし、また住居周辺環境も違ってくるので、自動車の使用頻度を減らしていくのは、そう簡単には実現しないと思う。まずは個人個人の状況を確認していくのが大切ではないか。強制されると、生活のリズムが崩される感じがする。
48	1031	さらなる公共交通機関の利用促進。
49	1031	健康に為にも徒歩もしくは自転車が望ましいと思う。それには限界があるので、自動車を使う場合、天然ガス車など環境負荷の低いものにしていく(特に法人)必要がある
50	1031	通勤については現状を変える事は困難ですが、家庭での車に使用は極力控えて、自転車・徒歩での移動を考えております
51	1031	車社会にあって、更に交通網の整備が不十分な当地にあって、公共交通機関の活用を維持するのは極めて困難であるが、CO2排出量の抑制に向け意識して数回に1回は活用しようとか、少しずつ着実な積みあげを図っていくしかない。
52	1031	普段はあまり考えずに車利用していましたが、CO2削減目指して徒歩及び同乗利用を心がけていきたい。
53	1031	公共交通機関の利用
54	1031	できる限り公共交通機関を利用することが最も効果的で、かつ便利な交通機関の整備、渋滞のない道路整備運用が必要だと思います
55	1031	今できる限界のことができたと思う
56	1031	同居家族が少ない事、郊外に住んでいること等でどうしても車での外出が多くなるようです。通勤以外でも、できればもう少し公共交通機関を多用したいと考えます。
57	1031	特にありません。
58	1031	もっと電車を利用する努力が必要。
59	1031	現代社会において、車は欠かせないものになっている。都心部では、鉄道等、ある一定の公共機関が整備されているが、郊外に出ると、どうしても車を頼るしかないとみる。
60	1031	通勤に車を1名乗車で利用しており、その利便性から、通勤時の車の利用が減っていない。通勤は車の使用回数が多いため、公共手段の利用に変えていくことがCO2削減には望ましい。
61	1031	近場は、徒歩、自転車、市内は、公共交通の利用。 状況に応じて、自動車の利用。 うまく使い分けるよう心掛ける。
62	1031	温暖化を抑制するために、ひとりひとりがCO2削減努力をすることが必要であろう。
63	1031	増加させる結果となりました。 今後は、まず自家用車を使わない行動を一番に検討するよう心がける習慣をつけたい。
64	1031	レジャー等の行き先で自家用車使用が不可避ではあったが、全体的に自家用車の使用を抑制できなかった。 ただし、知人との乗り合いで稼働する車の台数を軽減することは行った
65	1031	自転車の活用
66	1031	公共の交通機関が利用できる場所は利用し、近距離は健康のため歩くように心がける。
67	1031	環境性、健康と利便性のバランスをとりながらこれからもCO2削減に取り組みたいと思います
68	1031	業務都合や住居地域性により自動車を使わなければならない場合が多いと思いますが、公共交通機関に比べCO2排出量が多い事を認識し無駄な自動車利用を控えたり、低公害車を利用する等の行動を取る事が望ましいと考えます。
69	1031	だいたい時刻通りに、20分間隔位でうんこうしている事。
70	1031	自動車が便利なので、近場でも利用する事がある。自動車をなるべく利用しない休日の過ごし方を考える必要あり
71	1031	外出するときは、自転車や交通機関を利用する。
72	1031	プライベートではマイカー利用の削減に取り組んでいるが(ガリリ高の影響大)、業務での会社車輛の利用は避けられない。
73	1031	平均より下回った。 今後も努力していきたい。
75	1031	普段は休日の買い物は自家用車で行っているが、積載荷物が少ない場合は徒歩にすれば効果的だと思う。 また、市内への外出もバスを使えば良いと思う。
76	1031	近場はなるべく車の使用をさけるよう心がけたい。
77	1031	公共交通機関を活用する。
78	1031	可能な限り、徒歩や自転車のような環境にやさしい移動手段をとる。
79	1031	外出するときはできる限り健康づくりもかねて自転車や徒歩等とする。 公共交通機関が利用できる時は利用する。など
81	1031	今回たまたまノーマイカー運動ということで、普段の移動等で自家用車を使用する回数を減らしたり、電車等の公共交通機関の利用により、よい結果が得られたと思っている。 但し、本当に自家用車を全く使用しない生活を想像すると、普段の買い物なども1週間分まとめ買いなどといったことが多く、荷物の運搬等の生活全般において必ず支障が出てくると思う。やはり、近所への自転車の利用やレジャーでの電車・バスなどの利用など、自分たちが実現可能と思う身近なところから実現していくよう心がけていきたい。



5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
82	1031	近場に出かけるときは自転車や徒歩、遠方は、できる限り公共交通機関を利用する。
83	1031	まったく自家用車を使用しないということは不可能なのでできる範囲で少しずつでも考えていけたらいいと思う
84	1031	もう少し公共交通機関が便利であればもっと利用できると思います。
85	1031	第二回のCO2の排出量が増加しましたが、年間を通して考えると平均よりかなり低いレベルと思われるので合格点と評価できる。
86	1031	小さい子供がいるため自動車での移動が主体になっているが、もう少し大きくなれば交通手段も変化してくると思う
87	1031	近い場所には歩いて行き、遠い場所にはバス・電車を利用するようにする。
88	1031	時間的制約や、利便性、大きな荷物などの制約がなければ公共交通機関を使用し、また近所であればなるべく徒歩や自転車を使用するようにする。
89	1031	自分及び家族ともにCO2を削減できたのは、良かった。具体的な数値で削減を示されると良く分かるので、これからも意識していきたい。
90	1031	公共交通機関を極力する。
91	1031	通勤手段を自家用車からバスに変えたことは評価できる。 業務上の移動に対する対策(相乗り・自転車利用・公共交通機関利用・タクシー利用)は、コスト増加、労働時間増加につながる。公共交通機関の整備(バス・広島電鉄電車から地下鉄への移行・アストラムライン)および低公害車の普及促進を強く望む。自身としては、できるだけ外出する機会を減らすことを考えたい。
92	1031	自家用車をやめる
93	1031	買物・通院等に自家用車を使用するが、まとめて使用することを心がける。
94	1031	最寄のバス停・JR駅・ショッピングセンター・病院が近ければ、自転車も有効なのだが、近所には徒歩、自転車、遠方へは鉄道を基本に移動手段を考える
95	1031	近い目的地を訪問する場合は徒歩や自転車を利用し、遠くの目的地を訪問する場合はバスやJRを多く利用すればもっと二酸化炭素排出量の削減に協力できると思います。
96	1031	近場は歩き、自転車をできるだけ使用する。
97	1031	家族が5人いる為、ついつい車を使用してしまうが、公共交通機関を頭に入れた移動を考えて行きたい。
98	1031	現在、妻が妊娠中なので、公共交通機関は混雑していると座れないこともあり利用していませんが、子供が大きくなったら、色々な交通手段を利用してみたいと思います。
99	1031	改善することは難しいが、もう少し頑張ってみようと思う。
100	1031	CO2 排出量およびガソリン消費量は、前回と比べ増加したものの、第2日で車を使用した際は、6名で相乗りし、たまたま運転したため増加しているが、実質は減少(実質使用量は1/6)のため、評価できると思う。
101	1031	第2回は、家庭事情によりどうしても車を利用したかったため、CO2排出量が増加してしまった。自転車等の利用により、車に乗る機会を減らすことができるので、これからは実施してみたいと思った。
102	1031	今回参加させていただいて、CO2問題を少しは考える事が出来たと思います。しかし、実際にまだしかな実感までは来ていないのも事実です。実際に取り組んでみて、自分自身に出来る事をしたつもりですが、まだまだ出来る事があるとも思っています。これからは、出来る範囲で継続して行こうと思います。
103	1031	いなか(公共交通機関が少ない)に住んでいるので、車は必須であるが、これまで利用していなかった自転車を考えてみようと思う。
104	1031	通勤及び自宅近くでの移動は、自転車を利用し、市街地、郊外へ出かけるときにはなるべく公共交通機関を利用しよう心がける。
105	1031	公共交通機関を使用することがなく又近距離でも自家用車を使用していたが、これからは、できるだけ公共交通機関や近距離では自転車等を使用してみたい。
106	1031	市内等の外出は、バス・徒歩等で可能だが、バス・JRがないところは、車でないといけないので。。
107	1031	今回、自動車の使用回数を減らし自転車及び徒歩の回数を意図的に増やしてみました。今後も心がけていきたいと思っています。
108	1031	仕事面については車利用を抑えることはできないが休日等は車利用を控えることができると思うのでもう少し考えていきたい。通勤については朝、バスセンターから会社に行くまで約40分くらい歩いているし、公共交通機関を使用していることで少しはCO2削減に貢献できていると思う
109	1031	休日は家族での外出が多いのでコスト、利便性からどうしても車中心になってしまうが今後も車の利用は最低限に控え、たまには公共交通機関の利用も考えて見たい
110	1031	やはり休日の予定によっては車の使用量は一定ではないのでCOの排出量が増えたといわれても困る自分は普段は単車を使用しているため通勤に車を使用している人に比べたらCO排出量は少ないと思う
111	1031	やはり勤務中は現場主体の為、自動車の使用は避けられない。 買い物についても子供が二人小さいのでちょっとたくさん買うとなると公共機関では無理が生じる。
112	1031	よほど遠くや、時間に余裕のない時、以外は交通機関を使うように勤める。
113	1031	休日以外はなるべく公共交通手段を使えば、もう少し改善されると思います。
114	1031	たまたまです。
115	1031	畑作業への移動手段として徒歩では1時間以上なので時間のロスが大きい。従って車利用になるため仕方ないと思う。
116	1031	通勤 自宅 徒歩(自転車) 公共交通機関(JR/電車) 会社 休日 徒歩・自転車にて外出
117	1031	徒歩、自転車により最寄の駅に行き、公共交通機関を利用する。
118	1031	常日頃から、自家用車の使用は控えている。(歩けるところは歩く)
119	1031	予想以上
120	1031	現在、車で通勤していますが、来年は公共交通機関による通勤に切り替えようと考えています。 交通網を十分に整備し、より多くの方が通勤に公共交通機関を利用できる環境になればいいと思います。
121	1031	休日の外出はどうしても自家用車を使用してしまう

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
122	1031	車の使用は今後も必要であり、使用者を取り巻く生活形態により、車の使用を極端に削減するのが難しいと場合がある。 こうした状況の中で環境負荷を低減するには、自身としては以下の思いを持っている。 1.通勤について 会社の理解が必要であるが、通勤形態を固定しない。 例：夏場は原付・自転車の使用。冬は車の通勤を認める。(凍結による安全対応のため) これも会社の理解が必要であるが、自動車通勤時の乗り合いを認める。 2.車両の変更 小型車両についてはハイブリッドカー等への変更推進。 大型自動車についてはCNGなどの環境負荷の少ない燃料を使用する車両への変更推進。 いずれも行政での援助が必要となる。また、環境負荷の高い燃料ほど税負担を重くし、環境負荷の少ない燃料との価格差を少なくする。
123	1031	会社通勤は通勤労災の関係上、届出通りにする必要性があります。そのあたりが今後柔軟な対応可能となれば、更にこの通勤の推進が可能と思われます。
124	1031	通勤手段を公共交通手段で実施すればかなり良くなる。
125	1032	常に意識を持って、CO2排出量削減に取り組んでいきたい。
126	1032	可能な限り、徒歩を中心に、長距離移動は公共交通機関を活用する。 また、車両移動が必要な場合は乗合で台数を減らす工夫をする。
127	1032	これを機会に今後は、環境・健康等の為にも、徒歩での行動を心掛けたいと思います。 ただ、公共交通の運行時間短縮や使用ガソリンに見合う運賃の設定をお考え頂ければと思います。
128	1032	交通網の整備が立ち遅れている
129	1032	近くに外出するときは自転車やバイクを利用して、遠くに出かけるときは公共交通機関を利用するようにする。
130	1032	まあまあである。
131	1032	健康のためにも環境のためにも自動車の利用は必要最低限にしていきたいと思う。
132	1032	今後も、自動車の利用については、状況等よく考慮し健康や環境問題に取り組んでいきたいと思えます。
133	1032	できるだけ車を利用しない
134	1032	公共交通機関を有効に活用したい。
135	1032	なるべく公共機関を
136	1032	移動時間と目的等で考える
137	1032	近距離には徒歩または自転車がよい
138	1032	出勤・帰宅時間が官庁の様にいつも一緒に職場ばかりではない、24時間稼働の公共交通機関ができれば、利用も考えるが現時点で、ハード面が整備されていない中で、取組みは不可能。 車利用を減らそうとくだらないアンケートを実施する前にもっとしなければならぬ事を考えて下さい。
139	1032	今まではあまり環境のことについて考えなかったけど、これを機会に少しずつ地球環境について出来ることから取り組みたいと思いました。
140	1032	勤務が不規則な為公共交通機関の利用は、考えられない。 もし公共交通機関を利用した場合、通勤時間がかかりすぎ通勤不可能。
141	1032	普段の平均的な行動パターンのため、特別な手段は取っていない。
143	1033	時間的余裕があれば公共交通機関を利用
144	1033	これ以上 自動車の利用を抑えることは無理です。
145	1033	まだまだ工夫の余地がないか家族で相談してみる
146	1033	できるだけ、公共交通機関を利用し、車にあまり乗らないようにする。
147	1033	公共交通機関を良しマイカーを悪とする意見には疑問を持つものである。公共交通機関側の努力といえどアイドリングストップバスを導入した程度ではなからうか。 マイカー側でいえば、大きな車に1人しか乗らずに移動している等、たしかに環境に負荷を与える利用方法が多いのも事実である。 以上の事から私は、マイカーは大幅に小型化して、内燃機関ではなくバッテリーのような環境にやさしい動力源をもつものが今後の交通手段として望ましいものと思う。
148	1033	週に2回公共交通での通勤を考える
149	1033	必要最低限で車を利用しているので、これからも必要範囲内で車を利用していきたい。
150	1033	必要最低限の車利用しかしてないのですが、たまたま一回目より利用時間が増加したためこのような結果になっております。これが逆であればいい評価なのですか？
151	1033	通勤は極力公共交通機関を使用する
152	1033	アストラムライン等の大量交通輸送機関の整備が急務と考えられる。
153	1033	現状では勤務地と自宅とが片道約80kmと離れており、時間も早朝から深夜までと不定期でありどうしても車に頼らざるを得ません。今回のノーマイカーも出張を出来るだけ公共交通機関にしたり、休日はなるべく出かせないようにしましたが具体的な改善にはなっていません。
154	1033	次期代替は、ハイブリット車の検討する。
155	1033	家が田舎なので公共機関での移動はどうしても時間の調整が難しい為、現状での使い方がベストだと思います。
156	1034	自家用車を利用する機会が増えたが、今後も方向、目的が同じであれば乗り合わせたり、時間の余裕があれば公共交通機関を利用したい。
157	1034	やむをえない場合以外は、できるだけ車を使用しない。 へき地ほど車を利用する機会が多いのは、公共交通機関がないためです。
158	1034	なるべく車での外出は控える
159	1034	できるだけ公共交通機関を利用すること。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
160	1034	地球環境に寄与していると思います。次回はもっと簡単なアンケートにしてください。
161	1034	場所柄車の使用が不可欠
162	1034	公共交通機関の利用頻度を増やすよう努力する。
163	1034	環境問題や交通渋滞を考え、かっこいい車の使い方をする。
164	1034	これといって特別なことはやってない 自分も平地に住んでいる時は、車はあまり必要ではなかった(タクシーで十分)し、自転車を多く使用していたのだが
165	1034	個人の価値観を評価して何になるのかお伺いしたい。日本では、軽自動車しか登録させないようにすれば、確実に原油の消費量は減ります。
166	1034	今回、たまたま2回目か休日に当たり、削減できましたが勤務でしたら変わりなかったと思います。広島の場合交通アクセスが悪過ぎますので、望ましい交通手段を考えることができません。
167	1034	公共料金が高く利用しづらい。時間内で帰宅ゆったり時間がすごせる生活が理想。車も売れなくては生活できません。
168	1034	現状ではマイカーなしでは不便で、郊外の交通アクセスの整備が望まれる。
169	1034	できるだけ、公共交通手段を利用する。 アイドリングストップ。
170	1034	軽自動車の使用、自転車の使用
171	1034	日常生活(ビジネス)において車は必要不可欠の物です。然しながら休日は極力、公共交通機関を利用したいと思います。
172	1034	通勤はできれば公共交通機関を利用したい。ただし深夜の交通手段がないので行政的に改善できればよいと思います。休日については自転車を活用したいと思います。
173	1034	アストラムラインのような公共交通が市内交通網として発展することを願います。
175	1034	公共交通機関の稼働時間より勤務時間が長い為、マイカー通勤にならざるを得ない
176	1034	上三田駅から矢野駅まで汽車、矢野駅から会社まで徒歩
177	1034	勤務中の業務における車両の使用は、効率面から止むを得ないと思います。 但し、通勤に於いては距離も少ないことから徒歩でも可能であり環境面、自己の健康面からも変更したいと思います。
178	1034	住居の関係で車の使用がどうしても多くなる傾向がありますが今後は出来るだけバス等の利用を考えたいと思います。
179	1034	必要最小限で車を使用。
180	1034	休日や近くへの買い物など、公共交通機関が利用できる場所はできるだけ利用する。
181	1034	できるだけ公共交通機関をしようする
182	1034	通勤については、自転車をなるべく使用したいと思います。 業務については、車両を使用する事となりますが、なるべく一度に済ませ使用回数を低減することに心がけてみたいと思います。
183	1034	少しのところがけが大事だと思った
184	1034	公共交通機関を発達充実させ、自動車を使用しなくても用事が出来るように、交通行政を発達させるべきである
185	1034	パーク・アンド・ライドが実践できればよいのですが。
186	1035	平素、どちらかと言うと、車を使用しないようにしておりますので、これ以上の改善は難しかった次第です。
187	1035	通勤、買い物など、できるだけ公共交通機関を利用する。
188	1035	残念ですが、今回の調査期間内における私の車での行動は、いつもと変わりませんでした。少し、自己弁護させていただくと、私のマイカー使用は公共の移動手段では代替が難しいと思います。それに私のマイカー使用はそれほど多くはないと考えています。今以上に使用率を下げることは、特に休日の余暇を大きく制限することになり、困ります。燃費および排出ガスの低公害化をさらに進めていただければと思います。
189	1035	公共機関を利用するべきと思いますが、地域により利用が困難な場所があります。公共交通機関の整備と利便性の向上を望みます
190	1035	なるべく公共交通機関を利用する。 排気量の少ない車を利用する。
191	1035	このアンケートを通じて、つい気軽に車を利用してしまふ自分(家族)に慣れすぎていたことに気づきました。惜しむらくは、このアンケートが終わったらまた意識が薄れていくのではないかという不安、もっと街頭でアピールする手段を考え、アンケートに参加しなくても、協力できる対応が必要なのではと思います。最後に健康のためには自転車と徒歩ですね。これからも努めます。
192	1035	意識的に生活するようにすれば、車の利用を大幅に減らすことができることを実感しました。
193	1035	日常的に自動車を使う時間がはなはだ少ないので、CO2排出量の全体量は少ないと思う。ただ、さらに自動車使用を減らす余地はあるだろう。
194	1035	居住環境から出勤のための送りに車は必須。片道だけ利用している。したがって車の利用は比較的少ないと考えている。
195	1035	公共交通機関を使うに尽きる。 それはともかく、計算式がよくわからない。移動時間が増えれば、ガソリン消費量は増え、比例してCO2排出量も増えるが、カロリー消費量の増加率が他の伸びより高いのはなぜ? また、車利用率が下がっているのはなぜ?
196	1035	近距離は徒歩と自転車、遠距離は公共交通機関を利用する
197	1035	仕事で忙しくしているときの調査だったので、思うように車を手放すことができなかった。賢い車の使い方は、まだまだできていないと思う。
198	1035	車の利用を控えるために、自分なりの「ローマイカー・インセンティブ」を考えたい。たとえば、車に乗らない自分へのインセンティブとして、その日はビールを一杯だけ飲んで公共交通機関を使って帰宅するなど、発想の転換が一つのきっかけになるかも知れない。
199	1035	公共交通を利用できる「都市住民」であるから使えるだけで、二酸化炭素の削減に「貢献」しているとは思っていません。その意味で、環境に関心が高いとも言えないでしょう。
200	1035	今回のやり方には多々、納得できない点がある。評価も空白では送信できないというので、仕方なく「ゼロ」にしているが、実際はこんなやり方では自己評価のしようがない、というのが回答である。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
201	1035	公共交通機関のさらなる利用が必要
202	1035	車使用を極力抑えるようにしたいと思います。
203	1035	CO2排出量が増加したのは、家族旅行にクルマを利用したため。行き先によってはクルマを利用しなくてもいいこともあるが、やはり時間的・経済的にはクルマを利用したほうが便利。
204	1035	乗車(主に休日など)率の改善度が低い。自転車(買い物)?
205	1036	首都圏のような充実した地下鉄網
206	1036	健康の為、徒歩を少しでも増やす
207	1036	公共交通機関をできるだけ利用してみたい。
209	1036	仕事上、どうしても車両で通勤をしなければならぬため、公共の交通機関が使用できない(帰宅時間が遅い為)それで、マイナス20点。
210	1036	仕事の内容により上下する
212	1036	一人一人、出来る事からやっていけば、少しの事だけど地球の資源を守れるのかな。
213	1036	できる限り公共交通手段を活用する事。近場は歩く事
214	1036	昼間の異動は公共交通の利用、近くは徒歩等で用事を済ます。
215	1036	たまたま外出回数が減っただけ。抜本的な改革を要する。
216	1036	季節が秋になり涼しくなってきたので、雨が降らない日はできる限り自転車通勤に切り替えようと思います。CO2の排出量の減少もできますが、運動不足解消にも役立つと思います。
217	1036	時間に余裕のある場合は出来る限り公共交通機関を利用する。また近くへの買い物等は健康のためにも徒歩で行くようにする。
218	1036	通勤方法を変えて公共機関の交通手段としたら少しは環境のためになるかと思いますが、自動車会社に勤務しているのもどうしてもゆずれない部分があります。父も仕事で遠方に行くことがよくあるのでやはり完璧にはできそうにありません。
219	1036	やっぱり車に頼る生活に慣れすぎています。健康のためにも環境のためにも何かを始めないとはいけません。
220	1036	もっと公共交通機関を使うべき。
221	1036	引越す
222	1036	どうしても、車が必要とき意外は、なるべく公共の交通機関を使うよう心がけることが大切だと思います。
223	1036	今回は、たまたま郊外への外出をしなかったのが、公共交通機関を使用できました。行楽シーズンなど郊外への外出の際には自動車を使うかも知れません。公共交通機関を使っていける観光スポットに特化した情報提供サイト、情報誌等もいいかも。
224	1037	都心部に行く場合は車を使わなくてもいいが、郊外へは必ず必要になる。
225	1037	今後も引き続き実施していきたい。
226	1037	公共交通機関が不便であり、なかなか車以外での移動が困難。公共交通機関を利用すると時間がよけいにかかり、余裕が持てない。
227	1037	CO2削減は認められるが、削減量が少ない
228	1037	バスでの移動
229	1037	公共交通機関を使うのが最も良いと考えている。
230	1037	公共交通機関の利用
231	1037	近い距離は、自転車・徒歩等の交通手段で移動する。都内に買い物等で出かける場合、荷物の運搬が不便であり、無料配送等のサービスを検討してはどうか。
232	1037	バス路線ではあるが、便数が非常に少なく、マイカー通勤せざるを得ない状況も多い。バス事業者等との調整(助成を含む)が必要では?
233	1037	今後もできる限り公共交通機関を利用していきたい
234	1037	1回目のみの参加となってしまい、評価は前回と同じです。自宅周辺の公共交通機関が不十分であり、自動車に頼らざるを得ない状況にある。また、休日の買い物等については、移動の自由度、しやすさから、自動車を利用してしまふ。2回目の回答ができず、申し訳ありませんでした。
235	1038	第1回から第2回で車利用が減ったのは、1度、近くのスーパーに自転車でいった以外は、特に意識した訳ではなく、たまたま減った、という感じです。朝、下の息子を保育所へ連れていき、夕方、実家に預かってもらっている上の娘を迎えに行き、保育園に下の息子を迎えに行く導線を考えると、どうしても公共交通機関では不便です。今後とも、車利用は避けられないか、と思われまふ。(子供たちが独立するまで…)
236	1038	公共交通機関で代用できる場合は、極力自動車を使用せず、公共交通機関を使用する。
237	1038	乗合い
238	1038	都市部は兎も角、郊外においては公共交通機関も整備されておらず、また、数キロの距離を自転車や徒歩で出かけるというのは現実的ではない。
239	1038	自家用車の使用をなかなか減らすことができなかった。運動のためにも、自転車等の使用を増やすことが必要と考えている。
240	1038	より一層の改善をすべきとは思いますが、家族(1)の代替交通機関がないため、現状では今回の結果が精一杯です。
241	1038	今の家庭の状況(子どもが生まれたばかり)を考えると、やむを得ない面もあると思うが、工夫次第でもっと車以外での行動も可能と思う。多少時間がかかっても良いように時間に余裕を持たせるよう計画を立てるとか、体力的に無理のないような行き先に変えるとか、少しずつ考えていきたい。
242	1038	9か月の双子を夫婦二人で育てているため、休日の外出は主に子供関係の買い物をするために、どうしても車を出るしか手段がありませんが、子供が歩くようになれば他の手段も使いたいと思います。
243	1038	近隣への交通手段を自転車利用に切り替える必要がある。
244	1038	近距離においては自動車はなるべく使用しない。自転車で移動可能は距離はなるべく自転車で移動する。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
245	1038	歩ける場合は歩く、公共交通機関があるところはそれを利用する。 ただし、子供がいると必ずしもそうはできない。
246	1038	自宅が田舎なもので、車の使用を控えるにも限度がある。
247	1038	CO2削減に貢献している。
248	1038	なるべく自動車を使わないという意識は徹底してきたが、まだまだ、不十分。
249	1038	交通ダイヤリー調査に記入した1回目と2回目の休日の行動により、たまたま環境に良い結果となったが、休日の予定如何では、車の使用が欠かせないのが現状です。 どうしても車を使わざるを得ないのが実態であり、環境に配慮した車(ハイブリット車や電気自動車など)が、現在のガソリン車並に使用できる(車の価格や性能)ようになることが必要だと思います。
250	1038	近所への買い物には出来るだけ徒歩か自転車を利用する。 自動車の利用は重い荷物を運ぶときや交通機関が不便なところへ行くときなど必要最低限にとどめるよう心がける。
251	1038	なるべく公共交通機関を使用するか、近いところについては自転車や徒歩で行くという風に気をつけたいと思います。 どうしても自家用車を使用しないといけないところは、乗り合わせるなど工夫していければと思います。
252	1038	職場へは、もともと自転車で通勤しており、家族も主婦と小学生で車を利用する機会が少ないので、環境への影響は無いだろうと思っていました。しかし、休日に使用する車により多少なりとも影響があることに気づきました。 これからは、環境も気にしながら、効率のよい車の利用に心掛けたいと思います。
253	1038	今回の調査は、車＝ダメという感覚があるような調査のように思えるが、今の生活で車を使わないというのはなかなか難しい。 賢い車の利用のために、これは利用はしかたない、これは他に方法があるという指摘等があればよかったが、この調査の結果が、第1回と第2回の利用比較にとどまっているだけではないだろうか。 結局、利用状況を書いて比較して「あとは考えてください」ということだけなら、ここまで大々的な取り組みをするまでもないのでは...
254	1038	徒歩、又は自転車の方法で、目的地へ。
255	1038	気候がよいため、公共交通機関がない行楽地へはどうしても車を利用してしまふ。市内等はなるべく公共交通機関を利用しようと考えているが、パリアフリー対策の遅れから、子どもを連れての行動は大変であるのも事実。
256	1038	基本的に必要なとき以外は自動車を使わない しかし、平坦地や都市部のように公共交通機関が発達していればそれも可能だが、そうでないところに居を構えていれば自動車を使わざるを得ない。
257	1038	取り組みが完璧だったとは思わないが、これ以上クルマの利用を削減できる部分があるとも思えない。都心部で生活している人はともかく、郊外で生活している者にとっては、道路や公共交通機関の整備等によってクルマの代替手段が充実しないと、これ以上「かしこいクルマの使い方」を推進するのも難しい。公共事業も縮小傾向であり、JR可部線の廃止等交通機関も合理化が進む中、クルマを使わずに生活できる社会が本当に実現できるのか、個人的には疑問である。
258	1038	まずは月1回から、徐々に徒歩や自転車を使う回数を増やして行きたい思います。
259	1038	あまり車を利用しないので、参考にならないと思いますが。
260	1038	時間的な効率及び手荷物の有無等の問題があるが、出来る限り公共交通機関を利用する。
261	1038	環境面を考えれば、自動車の使用は控えた方が良いが、公共交通機関が不便な地域においては、自動車を使用せざるを得ない。(公共交通機関の利用は、時間が制限される。バスや電車の発車時刻に合わせて行動する必要があるため、本数が極端に少ない場合などは、思うように行動できない。)
262	1038	環境について考える機会を家族でもち、より一層取り組んで生きたい。
263	1038	健康と環境のために出来るだけ徒歩にするよう心がけていきたいです。
264	1038	出来るだけ交通機関を使いたいです。
265	1038	休日のドライブ等、レジャーを目的とした車の利用は、ある程度仕方ないと思う。 しかし、単なる交通手段として利用するのであれば、できるだけ公共交通機関を使いたいです。
266	1038	歩けるところは歩く。公共交通機関のあるところはそれを使う。
267	1038	電車、バスの利用を部分的にも、積極的に使うこととしたい。
268	1038	公共交通機関
269	1038	今回は、たまたま車を使わなければならないような状況だったが、平日は公共交通機関を使うように努力した。
270	1038	外出回数を減らし、2回分を1回に減らしてみる
271	1038	1回より車を使うのは、最低限にしているが、もっと自転車や徒歩を増やす努力を続けていきたい。
272	1038	自家用車なら 別の用事も併せてすませるなど 乗車回数を減らす。 なるべく、公共交通機関を利用する。
273	1038	今後とも、なるべく自動車ではなく、公共交通機関を利用したいと考えています。
274	1038	できるだけ徒歩、自転車による移動を心がける
275	1038	買物を近所に徒歩で済ませたこと程度しかできなかった。 今後、自転車の活用等による、改善を試みたい。
276	1038	やむを得ず車を使用するにあたっては、極力省燃費運転を心がける。
277	1038	公共交通の不便な郊外の高台住宅地に居住しているため、近隣の買い物等は徒歩・自転車等によるとしても、通勤を除く家族での日常生活の移動は、やはり自動車でないといけない。 こうした状況の中でも、外出に当たっては、バス等のダイヤに合わせて移動するとか、隣近所で乗り合わせるなどの自家用車の使用量を可能な限り減らすよう努めるべきであろう。
278	1038	休日には市内中心部に外出することが多いが、交通手段は自転車であり、自動車を使用することはない。 今回調査日は、公共交通の利用も難しい中山間地への移動であったため、やむなく自動車を使用したものであり、前回取り組みと比較しても意味がない。
279	1038	一人で外出する時は、もう少し自動車の使用を減らせると思う。
280	1038	車利用の目的が送迎であることから、やむを得ないケースと考える。 今回は、前回に比べて、たまたま送迎回数が多かったこと、運動会などの特殊要因があったことによる外出増と捉えている。 ただ単に、CO2が増えた減ったではなく、中身を吟味することが必要と考える。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
281	1038	道路整備の状況、交通機関の状況により異なると思うが、基本的には時間、乗り心地といったにより判断しており、今後も大きく変わらないと思う。したがって、これらの道路や乗り物の渋滞などの情報が早く詳しく把握できれば、たとえば渋滞を避けたルートを選択したり、他の交通機関を利用したりできる。このように、結果として過度にあるルート・交通機関に集中しないような選択がよいと思う。
282	1038	単純に第1回・2回のCO2排出量比較をすることは無意味ではないでしょうか。第1回調査日と第2回調査日には移動時間そのものも違ふし、所要も行き場所も違います。それぞれにおいて公共交通機関への転換を意識して行動することには共感いたしますが、この数値比較をもつての評価には違和感を覚えます。例えば、いくら自家用車より鉄道がCO2排出の少ない交通機関であると言っても、乗客を一人乗せた電車を走らせるよりも、その一人にタクシーに乗ってもらった方が、地球環境的にはgoodであるかもしれませんし、TPOを考えた適正な公共交通機関配置と、各自の利用意思が必要になってくるのではないのでしょうか。
283	1038	近くの移動には健康のためにも、車は利用しないで歩いてみる。 車の運転はエコ運転を心がける。 目的のない車の移動は行わない。
284	1038	望ましい交通手段としては、公共交通機関の利用ですが、便利さからはどうしても自家用車などに頼らざるを得ない世の中になっており、自家用車の利用制限を行うのではなく、常に地球温暖化防止を考え、出かける目的から自家用車なのか、単車なのか、自転車か、公共交通機関の利用なのかを選択し行動しなければならぬと考えています。
285	1039	これを機会に移動毎にちょっと考える習慣を付けてみようと思います。 短距離の車移動は自転車に変えて、健康管理を兼ねるとか…。
286	1039	観光等は公共機関を利用できるが、荷物を運ぶ場合は自家用車でないと不便
287	1039	今回は否応なしに車を使用したか、平素から徒歩、自転車、バス等の公共交通機関の使用に心がけており、望ましい交通手段の使い方について、改めて、考慮すべき点はないと思っています。
288	1039	第2回に増えた原因は、偶々、不便なところで花火というイベントがあったと理由が明確なのであまり気にしていない。自家用車の年間平均走行距離など勘案しても、平均よりかなり下回っている。
289	1039	今後、自転車や徒歩を増やします
290	1039	飲料水は天然水を利用しているため、車の利用が不可欠で、ある程度以上は減らせないが、公共の手段がある限り、公共交通機関を利用する。 近場への移動は今以上に自転車を利用する。
291	1039	今回はたまたま外出先が遠かったため、車利用になってしまいましたが、買い物等、市内の移動にはできるだけバス等を利用するのが望ましいと思います。
292	1039	普通、環境問題を考える前に、便利かどうかだけで交通手段を決めるのが当たり前だと思う。なかなかそこまで気が回らない人が多いと思うが、これからの世の中、そのようなところに気を配って決定できる人が増えていけばいいのではないかなと思う。
293	1039	たまたま、2日間庭の草抜きをしたので、外出をしなかった。
294	1039	マイカーの使用頻度は以前より少なく、まあまあ結果だと思う。
295	1039	近場であれば自転車か利用できると思います。中距離以上の買い物などで公共交通機関の利用を考えましたが、目的の店が郊外型で車でないと行けないという社会のシステムができあがっているのだということを感じました。郊外へのレジャーもやはり車でないと行けないですし…。
296	1039	休日の移動には自動車を使用する機会が多いが、少人数よりも多人数での活用を行うことが効率的であると考えられる。
297	1039	一人の場合は乗用車の使用を取りやめる。 可能な限り電車やバス等の公共交通機関を利用する。 近距離の移動には徒歩又は自転車有効。
298	1039	毎日自動車通勤から週3回に変更しました。
299	1040	移動の際には、まず自転車移動が可能かどうかを考え、天候や時間的余裕にもよるが、それを行動に移せるかどうかを検討する。
300	1040	極力、目的地への移動は、自転車等を活用できるように心がける
301	1040	本人は、会社まで10km程度有るので、50ccバイクで通るのが最も迅速で、効率的と考えました。妻は安全性や公共性を考えアストラムラインで通勤することを促進しました。また、子(成人)は、会社まで2km程度なので、バイク400ccを自転車に変更しました。 したがって、自動車は休日のみ使用のために保有していただくこととなりますが、非常に高価で非効率な乗り物となり、次回の車検11月について悩んでいます。 自宅マンション(104戸)には約160台分の駐車場があり、自動車を各戸が保有(実質1台以上)していますが、休日専用のレンタカーあるいはもっと効率的に、使用したい時のみ使用できる自動車がマンションに設置されていると便利だと感じます。(104戸が共有できる自動車がマンション駐車場に有るとベストだと思います。) 自動車の保有継続について家族で検討していますが、結論としては自己保有を止めることになりそうです。マンションの理事をしています。マンション全戸で使用できる自動車が保有できる仕組みを補助してくれるなど、もっと簡易に(レンタカーなど)自動車の共有ができるしくみがあると助かります。
302	1040	外出の際には「ついで」というキーワードをもって、事前に段取りし、車の利用頻度を減らすよう心がけたいと思います。
303	1040	車で移動するしかない場合はなるべく複数人で乗るようにし、近くへの買い物等は徒歩、又は自転車等を可能な限り使ってCO2の排出を抑えたい。
304	1040	この取り組み中マイカー利用をしなかった
305	1040	このままでよい。
306	1040	公共交通機関で行ける場所については、極力公共交通機関を使用し、車の使用を控える。
307	1040	公共交通機関をできるだけ使う。
308	1040	車の利用は、控えたいが、週末、1週間分の買い物には、車がなければ………！
309	1040	車の使用頻度がかかなり高いと思います。自分自身、会社までの通勤以外の移動は車ばかりなため、減らせるところでは減らそうと思いました。
310	1040	自宅や目的地の立地条件により、やむなくマイカーを使用することが多い。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
311	1040	削減と言っても元々 自動車は たいして使っていない。 通勤も自転車です。父 母 子供
312	1040	条件的には 徒歩・自転車の利用 > 公共共通期間の利用 > 車輛(乗り合い)利用 > 個人での車輛利用 で考えております。(実施できていると思います)
313	1040	時には歩くことも良い
314	1040	現在通勤で使用しないだけで特に何か取組んでいるわけではない。
315	1040	あまりよくない状況であるのは認識していますが、職場の位置や家庭の現状を考えると現状の改善は難しいです。JR等公共機関がもっと便利になれば別ですが。
316	1040	CO2 排出量が増加してしまったことが残念。車は生活になくってはならないが、意識して交通機関を今以上に積極的に利用する必要があると考える。
317	1040	週末しか買い物ができないので、まとめて買うことが多い。マイカー使わないと、バスでは持ちきれない。必然的に
318	1040	東京や大阪のように公共交通機関が発達していればもっと車の利用は減らせると思う。
319	1040	CO2削減など意識はしていなかったが、割と自動車利用を控えていると思う。更に意識して同乗や交通機関を利用するよう取組みたい。
320	1040	友人とも協力し相乗りしたり、レンタカーを利用して稼働車両を最小限に心がけたいと思います。会社、学校、地域、行政でもっと効率の良い自家用車の利用方法を意識付けする必要性を感じます。
321	1040	交通機関を利用
322	1040	近所の買い物時にマイカーを利用した
323	1040	これからがんばらうとする。
324	1040	移動に際しては、可能な限り自転車の使用を心がけ、身体能力の向上を図る。または、燃費等の優れた車両の使用を心がける。(原付、エコカー)
325	1040	交通の便が良くない地域の為
326	1040	色んな行事が重なるとどうしても車の使用が増えてきます。
327	1040	極力自動車、バイクを通勤に使わず、休日も近場は自転車使用し、自動車の使用を控える行動を取ってきました。 通勤時などは、公共交通機関はもちろんです。相乗りの普及をし、同じ方面の人を乗せていくなど、どこかの国が実施していた方法を取り入れるのが良いかと思えます。 また、バスの代替を希望します。排気ガスがものすごく、後ろにつくと息ができな気がします。
328	1040	自動車の利用時間減少に努めた
329	1041	できる限り徒歩
330	1041	エコ通勤に心がけます。
331	1041	公共交通機関を利用することが望ましいとは思っているが市街地と過疎地でのサービスの違いが有り過ぎ公共機関が非常に使用し難い。国民が平等にサービスを受けることが出来るように成らなければ今回の様な取組みに対して参加する気持ちはあっても実践できかねる。
332	1041	公共交通機関、私の場合は、バスと考えます。
333	1041	通勤に自転車を活用することにより、ガソリン、CO2排出量が削減できる。ただし、公共交通機関は利便性が伴ってないと利用しがたい。
334	1041	なるべく車を使わないで、公共交通機関を使うようにする。
335	1041	車の方が手軽なので、つい車で出掛けてしまう。
336	1041	交通指標を見たときは、よくわかりませんでした、 森林の例えで理解できました。 これからも、土日祝のみで車を使用したいと思えます。
337	1041	通勤ではバスやJRなどを使用しているのでCO2減少にはなっている。
338	1041	近場への外出は極力、公共の交通機関(ないし徒歩)を利用する。 遠方への外出で車が必要な場合、最小限の利用に抑える方法を検討する。
339	1042	公共の交通機関をなるべく利用することが、CO2削減に大きく寄与することが改めて理解できた。 実際には、乳児を連れての買い物には、車を使用せざるを得ないため、なるべく買い物の回数を減らす(まとめ買いをする)ことが、望ましいことが理解できた。
340	1042	自動車を使わないように意識していかないと、使用頻度は減らない。 使わないような工夫をしていきたい。
341	1042	2回目に自動車を利用する機会を減少させようとしたが、達成できませんでした。自己分析はできたので、今後のCO2排出量削減の取り組みの参考にしたい。
342	1042	自己管理を徹底し、公共機関の利用を継続したいと思えます。
343	1042	平日については、公共の交通機関を使用するよう心がけたが、原付のほうがバスよりも削減できるようであり、逆効果であった。 休日については、3連休で長距離移動があったことの影響が大きい、これを削減する手段はない。 また、買い物に出かけることも控えたが、大きな目で見ると経済への影響も懸念される。
344	1042	できるだけ公共交通機関を利用し、自動車の利用は必要最小限とする。
345	1042	状況に応じた交通機関の使い分けが大切と認識しました。 近くへは徒歩または自転車、遠方へは公共交通機関の利用を心がけたいです。
346	1042	近くへの外出は自転車を利用するか、または、徒歩で行くようにする。 一人で外出するときは、自家用車はやめて、なるべく公共交通機関を利用する。
347	1042	望ましい交通手段とは、 近距離は、徒歩(荷物が無い場合) 長距離は、車 通勤は、バス 移動距離、運賃等経済性および利便性を判断し、移動する側に立ってもっともよい方法。
348	1042	決して無理をする必要はないが、環境のことも頭に入れ、不必要にマイカーを使わないようにする。



5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
349	1042	自転車を利用できる近距離や交通機関が便利に利用できる場所であれば、自動車の利用に頼らずに移動できるが、山間部の名勝旧跡などを訪れようとする、やはり自動車を利用せざるを得ない。この点を改善するのは、難しいと感じている。 また、ライフスタイルを変更することなく、自由に自動車を利用するために、完全クリーンな内燃機関が実用化されることに期待する。
350	1042	当初思ったほどの成果が上がらなかった。日常的に車が足になっているため、これを制限していくことは相当の意志と努力が必要であることがわかった。しかし、いろいろ工夫することで、マイカー通勤の頻度を下げることができるように思う。例えば、主人と途中まで相乗りし、そこからバスに乗り換える等。
351	1042	徒歩20分以内の所であれば、歩いて出かける。(子どもがいるので、重い荷物のあるときや天候が悪いときは除く) 繁華街などへ出かけるときは、なるべく公共の交通機関を利用する。
352	1042	田舎の丘の上に家があり、車は必需品ではある。 公共交通機関も便利に使える状況ではなく、自動車に依存した生活はなかなか変えることができない。しかし、比較的近場のスーパー等への買い物は自転車で行くようにするなど、自動車以外の方法を常に意識して行動した。
353	1042	取り組みがあるという意識だけで、2日間のうち1日について車の使用を抑えることができた。現状の住環境では、まだ車なしの生活は難しいが、本プログラムのような具体的な活動等を通じて地球にやさしい交通手段を選択したい。そのためにも、電車、市電、バスなど公共交通機関の充実(本数の増加、運行時間の延長)が望まれる。
354	1042	やむを得ざるにより、自動車を使わざるをえなくなりました。 経済的な損失を被ってまで、自動車の利用を少なくすることは難しいと思います。 まず、できることからやっていくこと、無理をしないことが継続するコツだと思います。その後は、政策面からの支援が必要になると思います。
355	1042	特に努力をしたわけではなく、普段から意識をもって取り組んでいる。 調査日の状況がたまたま異なったことからよい結果となっただけであり、出張等で公共交通機関が少ない地域へ行けば、自動車を使わざるを得ないのが実情である。 二酸化炭素削減を目指すならば、個人の意識はもちろんであるが、都会のみならず過疎地域を含め国内全体のバランスを考えた対策が急務である。 この調査が例えよい結果となったとしても、「個人意識の向上で二酸化炭素削減になる、だけではないことを承知していただきたい。
356	1042	自転車および公共交通機関の積極的な活用に努めた
357	1042	意識することで、自動車の利用を抑えることができました。 ただ、郊外の高台に住むものとしては、まだまだ車の利用が手放せず、また子供が小さいこともあり、完全に利用を抑えるまでには至りませんでした。 車のある便利な生活からの脱却は、難しいです。
358	1042	バスや市電、明日とラムラインの年間チケットがあれば、必ず利用すると思う。また、市電やバスの方が早く移動できるように優先的な通行環境を作るなどすればいいと思う。
359	1042	気持ちの上では公共機関を使おうと思っても実態として、「めんどうかい」が先に立ち、車を使ってしまうのが現実である。
360	1042	徒歩 若しくは 公共交通機関
361	1042	自動車を 사용하지 公共交通機関の利用を増やす必要を感じる
362	1042	まだまだ
363	1042	車の使用は最少限度に抑えております。 今後は、健康にも考慮して自転車・徒歩での移動も実践していきます。
364	1042	急な用事が入って計画どうり実行できませんでしたが、家族全員の移動を心がけ、食事や買い物を組み合わせるなど改善できたと感じており、及第点の70点としております。
365	1043	CO2 排出量等数値を見るとよくわかります。これからも可能な限り自動車の使用を抑え、自転車や公共交通機関を活用したいと思います。
366	1043	家族で外出する場合など、どうしても自家用車に頼ることが多くなる。これは、全員が公共交通機関を利用した時の経済的負担も大きく影響していると思う。しかし、いつしか車に頼った生活に変化してしまっていることは確かで、反省する必要があると考えている。このため、短い距離の移動は極力、自家用車を利用しないよう心がけたい。
367	1043	平日については、私有車の使用はほとんどないが、休日については、行動範囲と、移動時間を考え、公共交通機関の利用を行う。
368	1043	なるべく同乗することを考える。近の場所へ行く時は、バス、徒歩で行き、特に用事がない場合は、車の使用を抑える。
370	1043	反省し、近隣への移動は公共交通機関等で移動するよう心がけたい。
371	1043	遠距離の移動は極力、公共交通機関利用、短距離は自転車および徒歩で移動する
372	1043	週末にしか自動車を_usingしていませんが、自動車を使用する時は、CO2を排出している事を常に頭に置いて運転していきたいと思ひます。 長時間の信号待ちでのアイドリングストップを心がけたいと思ひます。
373	1043	CO2は増加してしまつたが、自分では車を使わず同乗を心がけた。今後も、近場や公共交通機関が利用できる市街地等では車を利用しないようにする。
374	1043	近場の移動は徒歩や自転車にしたが、遠出をする時は車を使用してしまう。環境を考えれば、休日の遠出時は公共交通機関を使用すべきと思ひます。
375	1043	500m程度の範囲は歩いて行動した。 通勤は自転車やバイクを利用した。 ただ、週1回の買い物などは荷物が重たいため自動車を利用した。
376	1043	車社会となっている現在では、個人の取組では限界があります。どうしても自家用車を利用の方が便利がよく、店舗も車をターゲットとした展開になってきています。このような取組でCO2排出量削減の決め手になるとは考えられません。アストラム等の高速公共交通機関をもっと増やすべきでしょう。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
377	1043	・通勤手段は個人によってさまざまです、CO2の削減も実際問題、個人の主管とゆうか、自分に火の粉が降りかからないと痛みがわからないのが実態ではないでしょうか。私自身も本当は自転車で…といいたいところですが坂が急なので…(言い訳かも)、楽しんで通勤、旅行が当たり前の世の中です。…提案、今私の会社では小学校の出前授業で環境の話をしています。結構反響いいですよ。鉄は熱いうちにはないですけど、小さい頃からの教育が大切なのでは。
378	1044	自転車等を使う手段は天候に左右されるため、可能な範囲で実施します。また、交通機関の活用も検討に入れます。
379	1044	CO2の排出量の削減を意識してできたので、これからも続けていきたいと思う。
380	1044	できるだけ公共交通機関を使用し、近いところは徒歩か自転車で移動する。
381	1044	安易に車に頼っていることが多いため、できる限り公共交通機関を利用するよう再度見直ししていきたい。また、30分程度の距離であれば、極力徒歩で行動する。
382	1045	外出時は極力私有者は使用せず、公共交通機関や自転車等を活用する。
383	1045	時間に余裕がある場合はバス、電車、JRを使用する
384	1045	平日会社への通勤はJRを利用しているが、19時以降になると列車数が減って、不便である。また、海田市駅から山陽本線に乗って、八本松まで帰るときは、22時台の電車に乗っても座れない。JRはもっと電車を増やすべきと思う。休日は、どうしても車を使うことが多いが、私の車の走行距離は12年乗って6万8千キロメートルなので、環境には大分貢献していると思う
385	1045	健康や環境、地域交通のためにも、かしこいクルマの使い方について考え、実践していきたいと思います。
386	1046	普段から、余り車を使わない様になっているため、余り効果は出なかったものと推察します。
387	1046	同じ団地内の同僚三人で自家用車(一台)を相乗りし、二酸化炭素の削減に努めることにしている。また、今後もこの相乗りを続けて行く。
388	1046	これまでにに対して若干であるがCO2の削減に寄与する行動をとれた。しかしながら、利便性より自家用車(バイク含む)の利用に頼り気味であるため、今後とも公共交通機関や自転車の活用を頭においた生活を心掛けたい。
389	1046	基本的にクルマの利用は休みの日に限られるが、家が駅前なので、JRの利用も充分可能である。しかし、ついついクルマで出かけてしまう。この辺は改善の余地があると思う。通勤はバイクを利用している。
390	1046	基本的に車を使わずに行けるところは公共交通や自転車を利用するよう心掛けている。恐らく、東京や大阪といった公共交通機関が充実しているところはほとんど車を使わなくてもいけると思う。しかし、地方都市の場合、バスと鉄道および経路などの市内中心部に向う場合に比べ市外にでる場合はロスが多く、移動に多大な時間を要する。目的地に行くだけならそれでもいいが、目的地に行って目的を達し、もどってくることを考えると、現状では市外に出る場合は車を使わざるを得ない。ただ、市内中心部に出かける場合は公共交通機関でもさほどロスもないため車からの脱却が可能と考える。
391	1046	バスの乗り継ぎ割引が少なく、料金が路線系統に委ねられている(1系統で行けると比較的安い乗り継ぎと高くなる)。公共交通機関利用促進のためには、料金面での交通機関相互の乗り継ぎ抵抗を軽減する必要がある。
392	1046	・平日の主な移動の目的は通勤・帰宅であり、この移動においてなるべく公共交通機関を使うようにする。 ・休日については、目的地等が様々で公共交通での移動が困難な場所も多く、とれる方法としては、乗り合わせて行くくらいでしょうか。また、近距離は自転車を利用するなど。
393	1046	私は、この10年以上、日々の通勤は往復30kmを自転車で通勤していますので、休日タイプでの参加となりました。休日の場合は、一度の移動で寄る箇所が多く、かつ同行者も多いので、どうしてもクルマに頼ることが多くなってしまいます。公共交通機関網がもう少し密であればよいのと思うことがあります。また、平日においては、自転車通勤は経済的にも、環境的にも、体力的にも、精神的にも有意義だと実感しています。ただ、広島市の場合、いくつか問題があると思います。自転車通行帯が少なく、快適安全とは行きません。私は自転車競技もしており、ペースが速いので、自己防衛の意味もあり、道路交通法にのっとり、車道を走っています。歩道の通行はかえって危ないことが多いです。また、ディーゼルエンジンの煤煙がひどく、会社に到着したのち、シャワーにて石鹸で体を洗いますが、手足についた煤煙はいくらすすんでも落ちません。これが肺に入っていると思うと、決して健康的だとは思えないところもあります。東京都のようなディーゼルエンジン乗り入れ規制をしていただきたいです。自転車交通を奨励するのであれば、このあたりの改善をお願いしたいところです。
394	1046	現在の業務内容と広島交通状況では、どうしても自動車による移動が中心にならざるを得ないと思います。ただし、同乗させてもらったり、届け物は営業担当に頼むような方法で、自動車の利用率を下げることは可能だと思います。今後は努力しようと思います。
395	1046	市内繁華街への移動は極力公共交通機関(市内電車・バス)を利用する。日常の買い物は、極力近場で済ませることとし、自転車の利用を心がける。また、週末に買い物を集中させ、自家用車で郊外型の大型ショッピングセンターを利用し、自家用車の利用回数を少なくする。
396	1046	広島市内は平地が多く自転車の利用が可能。しかし、自転車専用道路やレーンが少ないことから、通勤等で自家用車を利用する人も多いのではないかと思います。また、路上駐車にたいして取締りが比較的緩いことも自家用車利用の助長になっているのではないかなと思います。TDM施策の推進とあわせて、他省庁と連携した交通整備のありかたを考えられてはどうでしょうか？
397	1046	公共交通機関の発達状況が比較的よい都市部の場合、移動手段を基本的には公共交通を利用し、自動車利用を極力減らしていくことが良いと考えられる。ただし、地方部等については、やむを得ず自動車利用をせざるを得ないが、その場合にはカーシェアリング等の相乗りをすることが望ましい。
398	1046	理想としては、たとえ通勤時間が倍かかろうともバス、自転車の通勤をしたい。しかし、残念ながら退社時間が夜2時過ぎがほとんどでバスもなく、通勤にマイカーを使用せざるを得ない状況であった。業務上、出張先が公共交通機関のない山中であり、これも社車を利用せざるを得ない。
399	1046	健康を踏まえ、車のない生活も一考したい。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
400	1046	個人、1人での移動の場合は、公共交通機関を利用するほうが、環境によく、移動時間、交通費においてもさほど差がないため、いろんな面において望ましいと思います。 環境面だけをとれば、公共交通機関の利用が最適ですが、やはり、場合によっては使い分けが出てきます。車を利用する場合も、アイドリングをしない、事前にルートを調べておき迷い道しない等で負担を軽減するように配慮することが望ましいと思います。
401	1046	公共交通機関の利用が有効である。
402	1046	平日の公共交通機関の利用は、苦にならないので積極的に行っている。休日の買い物等は、どうしても車を使わざるを得ないが、できるだけまとめて回数を減らし相乗り等を積極的に行いたい。
403	1046	休日に、行事があり長距離の車使用となったが、マイクロバスでの移動であり、使用時間を乗車人員で除いた時間とするべきだったか入力に迷った。
404	1047	車の利用を少し控えるだけで想像以上のCO2削減効果があることが分かりました。 継続的な取組みが必要なので、無理に車の利用をおさえるのではなく、他の手段が使えるケースで上手に交通機関を使って行動するというスタンスが望ましいと感じました。
405	1047	日常的な買い物は近隣で可能なため、車利用を控え、自転車又は歩く。 自動車での移動が楽しみの一つである行楽については、自動車使用に制限はかけず、エコドライブの実践に努める。
406	1047	車の「同乗」を勧める上で、同乗される側の評価(Co2排出量)は悪くなって当然の結果と考えます。(普段より遠回りするなど) 今回も件も、3人同乗してきますので、Co2排出量は、全体で8.88÷4名で、一人当たり2.22に削減できたと評価すべきと考えます。
407	1048	仕事柄、物品の納入には車を使うことがあり遠距離の場合どうしても車の利用時間を削減できない日程がありました。ある程度の荷物でも車以外の物流が発達していかないと、全国的なCO2の削減は望めないと感じました。
408	1048	公共機関で行ける所は公共機関を利用する。
409	1048	広島市内での一般交通期間利用は便利であるが、自宅周辺には公共交通機関が皆無(日中は福祉用の運行もあるが、通勤にはまったく使用できない。)で、勤務上深夜帰宅となるため交通機関や市役所のようにタクシーは使えず、やむをえない自家用車利用と考える。従って、休日の自家用車利用削減は、少し離れた駅まで歩いて電車を利用することをレジャー(ウォーキング)の意味合いで利用するか、全く家を出ないかのいずれかになる。
410	1048	もっと、賢い車の使い方があったかも...
411	1048	環境のためには、できるだけ車での移動を控え、公共交通機関を利用することが必要である。
412	1049	現在の住まいは、通勤手段として公共交通機関であるバスの便が朝1便しかなく夕便は0便であり、便数を増やしてもらえればバスを利用することも考える。 戸坂～新幹線口経由のバスの増便を要望する。
413	1049	公共交通機関(鉄道)利用を前提に移動をする
414	1049	出来るだけ公共交通機関を利用することが望ましい。
415	1049	どうしても、大量にまとめ買いをするため自動車を利用してしまふ。
416	1049	公共交通
417	1049	たまたま私は、基本的に自動車を使用しないのこの程度とかと思います。
418	1049	気候も良かったので、自転車で通勤しました。家族も買い物近所ですませました。ただ、休日は家族での行動で、バスもなかったため車を使用しました。 今回の取組みの結果は、非常に良かったと思いますが継続するには少し難しいと思います。夏は暑くて自転車で通勤はつらいものがあります。 しかし、この取組みを機会に、環境への意識付けがされたと思います。無理なく出来ることからやっていくことが肝要であると思います。 望ましい交通手段は、通勤、通学等には公共交通機関の利用が望ましいと考えていますが、実際にはまだまだと言うところでしょうか。 例えば、公共交通での通勤。通学等が可能かどうか、各職場で厳しく判断して、自家用車利用からのシフトに積極的に取り組むようにする「仕組み作り」もある意味で必要と考えています。
419	1049	家族全員で話し合い、共通の認識を持つことが重要だと思います。今は気候もいい時期なので、休日にまずは1回、自転車で買い物等にチャレンジしたいと思います。
420	1049	帰省中で車の使用は避けられない。
421	1049	通勤以外での使用はなるべく控えている。通勤でも自転車をしようすることが理想であるが体力的に厳しい。
422	1049	今まで意識していなかったが、自家用自動車のみでの使用ではなく、目的地がバス等の交通機関でいけるところには、極力バス等を使用する。
423	1049	行政の過疎地にいると車は絶対必要である
424	1049	できる限り公共交通機関を利用し、徒歩での範囲内は歩いて行動するよう心がけたい。また、健康維持のため継続していきたい。
425	1049	公共交通機関が自宅付近に無いため、自家用車以外に手段がない。 今後は家族で同乗するなどして行くことを検討し
426	1049	平日と休日との差があり、家族で移動時にはどうしても車になってしまふ。自分の行動を把握して、バス、電車で可能であれば利用するようにする。
427	1049	地球環境を守るには排出量を抑えなければならない。排出量を抑える公共交通機関を積極的に利用しなければならぬ。特に電車ほどの交通機関にも勝る。これからそれを意識していきたい。
428	1049	公共交通機関と自家用車の共存。場所による利用手段の使い分けをしていく。
429	1049	出来るだけ、公共の交通機関を利用するように努めます。 なお、田舎(山口県光市島田駅近辺)なので便利が悪いのが難点です。 そのため、自家用車に頼ってしまいます。
430	1049	公共インフラの整備とそこに生活している市民の意識の相乗作用により、CO2の削減は可能になると考えます。 行政/NPO/市民の協業による政策立案が必要です。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
431	1050	weekdayはバスで通勤しているが、土日は買い物、レジャーで車を使わざるを得ないことから、このような結果になった。 通勤に自動車を使わなくてもよい仕組みが大切だと思う。
432	1051	買い物や休日出勤は、出来るだけ電車を利用する。 ゴルフに行くときは、出来るだけ相乗りをする。
433	1051	通勤は公共交通機関が自転車を利用しているので、休日にクルマの利用を抑えるのが、課題だと思っています。 便利なので、ついクルマで出かけてしまいますが、今後は考えて乗ることにします。
434	1051	近い場所への移動は自転車を利用する。
435	1051	休日における余暇のための車利用は、今のままでは大幅に減少しないと考える。なぜならば、自然の少ない都会に住んでいる住民が、休日だけでも自然に触れようと考えた場合、移動手段としては、車しかないのが現状だからである。 したがって、もし、取組みの効果を重視するのであれば、やはり、対象は通勤・通学手段としてのマイカー利用であり、これをいかにして、公共交通へ移管させることができるかであろう。
436	1051	現代社会では車のない生活は考えられないほど身近な存在となっている中で、個人個人が環境及び健康を常に意識し続けていくことがマイカー依存からの脱却につながると思います。
437	1051	通勤では公共交通機関を利用しているが、私用では車を使わない努力が足りなかったと思う。
438	1051	30分以内で移動可能な場所であれば、徒歩で移動するように心がけている。環境問題、健康管理の両面を意識しての行動に今後も心がけたいと思っている。
439	1051	自家用車をまったく使用しないということは困難なので、できる範囲で努力したい。
440	1051	住んでいるところと勤務地等を考えると、車での移動は仕方ないと考えている。
441	1051	軌道系の公共交通機関の交通網がかなり充実すれば、車への依存について考えを変えられるのだが… 自家用車を持たない。
442	1051	できるだけ、自転車の利用に努めたい。
443	1051	車利用を抑えることは非常に苦痛・不便を伴ったが、努力の結果があることは救われた感じがする。
444	1051	いつも徒歩や自転車での移動を心がければよいのですが、自宅近くの商店街、駅またはバス停までの若干の距離(行き10分、帰り15分)がネックとなっているので、特に荷物が伴う買い物については、つらい面はあります。(家族への浸透は困難)
445	1051	1人乗車や近距離移動については、自転車、公共交通等の自動車以外の交通を利用する。
446	1051	この方法は、参加者やる気が全てであり、参加手法も含めたシステムをもっとスムーズにやらないと意欲が著しく減退します。まだまだシステムの熟度が低い感があり、より扱いやすいシステムの構築を望みます。
447	1051	今後も出来るかぎり継続していきたい。
448	1051	なんとなく自動車を利用することは抑える。自動車と公共交通機関の適切な役割分担を意識する(自動車でなければならないかどうかを、そのつど考える)。
449	1051	出来る限り公共交通機関などを利用することとし、自動車を利用する場合であっても、効率的な使い方を 行う。
450	1051	公共交通機関、自転車
451	1051	短距離での車利用を抑える。 車は単独利用を抑える。
452	1051	排出量を抑制するには、1人1台の移動を止めること 各種イベントを止めること…人は公共交通機関を利用することで、会場設営に必要な運搬車両の往復を考えるとやめるべきでは? 燃料、食料品等の街中での巡回販売等を止めることなどの何らかの規制を行うとともに電車バスの利用促進を図る。
453	1051	日常の行動パターンは概ね固定されているが、これからも、小さなところから改善していきたい。
454	1051	近距離の移動は、自転車を使用したのがよかった。市の中心部でもっと自転車が簡単に(店の近くなど)駐輪できるようにするか、自転車道を整備するなど、自転車をもっと使いやすい環境に整備してほしい。 現在、市営の駐輪場などでは、店舗と契約して利用券をもらえるようになっているが、2人でいった場合1人分しかもらえない、市営駐輪場の場所が遠いなど車で行った場合に比べて、損をした気持ちになる。このようなことがないように精度を考えてもらいたい。
455	1051	車利用について、改善すべきところは考えてみます。
456	1051	エクセル送付分は、反映しないのですか……………
457	1051	1年にあるかないかの駅までの送迎がたまたまあっただけで、必要最低限しか私は使っていないと思う。これ以上は減らしようがない。
458	1051	ちょっとした心がけでCO2の排出を抑えることができることがわかった。
459	1051	目的・状況に合った自家用車の使用、交通機関の利用を、無理なく、賢く選択して、快適な移動を心がけたい。
460	1051	公共交通機関に乗るための無料の駐車場を整備すべきだと思う。
461	1051	公共交通機関の便が良いところは、当然に公共交通機関を利用し、そうでないところは、時間短縮できる自家用車を利用する。 第1回、第2回も回答しているにも拘らず、数値が入っていません。協力がいいがない。
462	1051	極力自動車の運転を避け、公共交通を利用する。
463	1051	近くへの移動は、徒歩又は自転車を利用する。 1日の用事は、計画を立てて1度に済ませるように心がける。 公共交通機関をできるだけ利用する。
464	1051	仕事以外での車を使用しないようにする
465	1051	試合に行くときに乗合せを積極的にできたらよかった。 仕事も車でなく自転車利用をしたいが、交通安全・所要時間の関係で変更できない。日々の買物も量が多いときには利用せざるを得ない。
466	1051	自家用車の利用にあたっては、買い物等に出かけるときに他の用事も済まされるものは無いが、極力、自家用車を利用する回数を減らす。
467	1051	思うような自動車の利用ができなかった。
468	1051	私の場合、比較的都心に住んでいるので、休日の買物等は徒歩か自転車で行けるよう心がけたい。
469	1051	公共交通機関

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
470	1051	通勤については、極力公共交通機関で行うべきだと思うが、自宅からJR駅までの交通手段は、バス便が少なく、朝時間が少ないため、どうしても自家用車に頼ってしまう。
471	1051	自宅からの通勤・通学を考えると、これ以上の取り組みはできないと思う。できる範囲では最大限の努力結果と思うので、自己満足している。
472	1051	今回は、結果的にたまたま良かったのかもしれませんが、こうした取り組みは、日頃から意識しておく必要が大切だと思います。今後も「かしこいクルマの使い方」について、家族と一緒に取り組んでいきたいと思っています。
473	1051	自動車を使用しないといけない用務以外においては、公共交通機関を利用するべきであると思う。(転換は難しいですが)自宅が交通の利便性がよくないので、パークアンドライドなどできるのであれば、自動車利用を最低限に抑えていきたい。
474	1051	なぜ、数値があがったのか納得できない。記入方法をまちがえたのかもしれない。残念！自分としては削減したつもりである。
475	1051	車は最後に選択する交通手段とする
476	1051	個人の移動手段には、自転車やバイクを積極的に使えるよう、交通インフラを整える必要があります。今はあまりにもクルマの移動が中心のインフラです。
477	1051	私の住む団地では、車無しでは買い物もできません。ので、協力は困難でした。
478	1051	相乗りの評価が適切にされていないのでは
479	1051	車の使用を抑制するという意識がまだまだ希薄なので、もっと意識を高めたい。
480	1051	自転車と公共交通を組み合わせた利用を心掛ける。JR駅周辺の駐輪場の充実が不可欠。
481	1051	普段から自動車利用率を低減できたらと思う。
482	1051	車を使う人に同乗させてもらったりしてがんばったと思っている。さらに、努力するとすれば、回り道になって、時間がかかっても公共交通を利用することを考えないといけませんが、非常に困難。
483	1051	近距離の移動については、できるだけ自動車を利用しない。
484	1051	車の利用は必要最小限に努める
485	1051	極力、車に乗らないよう努めたが、外出を控えただけで公共交通機関に乗り換えただけではない。よって、60点とする。
486	1051	近くの用事は、徒歩等にすれば、環境対策にもなるし、自分の健康のためにもなる。
487	1051	車の使用量はさほど多くはないが、移動の際の依存度は高い。外出時間を調整し、できるだけバス等の公共機関を使用するようにしたい。
488	1051	通勤に公共交通機関を利用する
489	1051	車で外出を最小限にし、バス等の利用を意識的に心がける。
490	1051	休日の買物・レジャーがどうしても車中心になり勝ちなのでバスや自転車をもっと活用できるようになるのが望ましいと考えている
491	1051	今までなら、子供が小さいため、家族での移動＝自動車ということになっていたが、自転車を利用することを考えた。
492	1051	CO2の排出を抑える公共交通を利用する交通手段が望ましい。しかし、今の交通体系では、変更する気にならないので、次回の車購入時にハイブリッドカーの購入を検討する。
493	1051	たまたま調査該当日に外出が多かったため
494	1051	・通勤通学などは公共交通機関を利用し、物流等は高速道路や幹線道路などの利用。 ・日常の買い物やリフレッシュなどは車で移動が主となるが、家族 せ同乗して1回の外出ですませるとかの工夫が必要。
495	1051	買い物等を行う場合、なるべく自転車を利用する。
496	1051	交通手段の整備された地域の移動には、JRとかバス等の利用促進を図っていく必要がある。問題は、やむを得ず、公共交通の未整備地区へ移動させるを得ない場合の方法である。通常は、日頃から公共交通機関利用を心掛けたい。
497	1051	現状では、郊外部ではクルマを利用、中心市街地では自転車を利用。しかし、高齢化を考えると、安全・快適な移動を確保する交通手段が必要。このため、LRT整備の積極的な取組が必要。
498	1051	パーク&ライドによる公共交通機関の活用
499	1051	ウィークデイの交通体系としては、通勤・通学が全体に占める割合が高いと思われる。各個人の交通手段の改善も重要な対策手法と思われるが、通勤に関して言えば、雇用者側の配慮(自宅から近い場所への職場配置や職場の近くに社宅等の設置など)も根本的な改善策であると思う。
501	1051	近距離は徒歩及び自転車、その他は公共交通機関の利用を心がけることが必要。移動手段がマイカー以外にない場合のみマイカー利用とする。
502	1051	基本的な移動は、健康のためにも自転車で行うよう心がける。
503	1051	休日の遠出は、時間の有効利用の観点から自家用車の利用を公共交通機関で代替するつもりはない。涼しくなってきたので、近場の外出は極力、自転車を使おうと思っている。
504	1051	公共交通での利用を心がける
505	1051	自転車の活用
506	1051	可能なかぎり公共輸送機関を使うこと。
507	1051	公共交通機関が整備・充実していれば、通勤通学目的の交通は極力公共交通機関を利用するよう努めるが、そうでなかったら車利用も仕方が無い。買い物・私用といった目的では、荷物等があれば車利用も仕方が無い。
508	1051	行き先や目的に応じた使い分けが必要だと思います。
509	1051	車で移動するより公共交通機関での移動が快適になればよいと思います
510	1051	今回は、自転車以外で外出しようと予定していたが、雨が降ったため、バイクに変更してしまった。その代わり、別の日に予定していた買い物を同じ日にまとめ、外出の回数を削減した。
511	1051	普段からの不要の車の使用は控えるよう心がけることが重要である。
512	1051	可能な限り公共交通機関や自転車を利用する。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
513	1051	単独行動は公共交通機関 家族(子ども含む)揃ってなど複数人での移動は自家用車でやむなし
514	1051	100点としたいところですが、今回のことをきっかけに、まだまだ工夫して今後も続けて行く必要があるというところで辛口95点としました。自分自身の行動を見直す良いきっかけ作りとなっております。今後も皆で頑張りましょう。
516	1051	結果的に良い結果が出たと思われるが、「賢い使い方」というよりは、外出を控えるというような消極的な考えになる傾向がある。 本当の意味での賢い使い方を考えていきたい。
517	1051	休日に公共交通機関を使おうという意識がもちにくい
518	1051	これからも、できるだけ公共交通機関の利用を心がけていきたい。
519	1051	家族で移動する際には、マイカーでの移動が適している。
520	1051	決して無理をしない範囲で、移動手段を硬直化させない(常に車と考える)心構えが必要ではないでしょうか。
521	1051	買物に出かける時は荷物が多くなるため、どうしても自家用車の利用が多くなってしまふ。買ったものをまとめて宅配するサービスがあると公共交通が利用しやすいと思う。
522	1051	郊外間や郊外 - 中心市街地間での移動は、自家用車は欠かせないが、中心市街地内での移動であれば、公共交通機関も積極的に利用したいと思う。
523	1051	不便を我慢して公共交通を利用するのではなく、もっとも便利なものが公共交通であるべきだと思います。既存の公共交通網は、現在の自動車利用率を基に採算ベースで構築されているものであり、ただ単に転換させるだけでは、利用者にとって不便なだけです。学校、病院などの公共性の高い施設の多くが、道路によるアクセス性を中心に立地されており、いまさら他の交通手段をといわれても中々難しいと思います。もちろん、環境面でも取り組みは絶対必要なものだと思います。ガソリン税を補助金として投入した新規バス路線や、保育園の送迎や、病院への送り迎えに利用できる短距離エコ自動車の開発など、さまざまなツールを組み合わせて推進していく必要があるのではないのでしょうか。
524	1051	現在は、車が無くても生活に困る社会構造であり、電車など軌道系の充実が最も効果ある対策と思われる。
525	1051	極力公共交通を利用する
526	1051	自動車利用に依存している生活習慣を完全に断ち切ることは難しいと感じている。 特に、祝祭日・休日といった日は、買物・遊び(行楽)など目的が多く、自動車利用が高くなっているが、少なくとも、買物については自転車(徒歩)などで行くようにしたい。
527	1051	今回は結果として、取り組み状況が高得点となったが、これを引き続き継続できるよう、常に問題意識を持って行動していきたい。
528	1051	自家用車での移動は便利であるため、なかなか使用を控えるのは難しいが、用事をまとめて行い、車の使用回数を減らすなど、心掛けしたいでは車の使用頻度を減らすことは可能であるため、一人一人の積み重ねが大事である気持ちをもって、自らもCO2削減の努力をしていく必要があると感じている。
529	1051	もう少し公共交通機関の利用や歩くことを考える必要がある。
530	1051	近距離の移動については、車の使用を止めて可能な限り、自転車等を利用したい。
531	1051	車を足がわりに使わないようにする。 ただし、広島では、団地が多く、公共交通機関がバスが主であるため、自家用車の方が便利なケースが多いと思われる。公共交通機関の利便性の向上が必要である。
532	1051	水素自動車
533	1051	目的地が公共交通機関で行けるところはなるべく利用する。 ない場合、また急ぐ場合は自家用車を利用する。
534	1051	自宅から近いところへは、徒歩又は自転車で行く。 公共交通機関が発達しているところへは、公共交通機関を利用して行く。
535	1051	なかなか思いと行動は伴わないものだと感じました。 今後、行動に結びつくよう配慮したいと思います。
536	1051	買い物物を休日にまとめて行うため、自動車が必要です。 でも、自転車の活用も考えてみましょう。
537	1051	公共の乗物を使用し、近いところは徒歩で行く。
538	1051	バスと徒歩
539	1051	状況が許す限り、自転車を利用する。
540	1051	車の使用は、荷物が多い場合などに限定する。
541	1051	極力、公共交通機関を使用する。
542	1051	通勤に自家用車を使用することは厳に慎むべきである。
543	1051	重い荷物がないときは公共交通機関を使う。
544	1051	これまでも、極力自動車を利用しない交通行動を行ってきた。 そのことにより、環境への影響のみでなく、健康を維持する上で大きな効果があったと考えている。今後も、この様な生活様式を継続していきたい。
545	1051	できるだけ電車を利用することが最善と考えるが、自宅近くに電停がない。
546	1051	近所のスーパーへは、自転車で行く。 休日の自動車での外出時には、一度の外出で効率良く用事を済ませる。
547	1051	状況を判断し、適切な交通手段を利用する。
548	1051	車の利用はなるべく控えるようにはしているが、量の多い買い物とか、公共交通機関では距離のある場所に行くには、どうしても車が必要である。なるべく、公共交通機関を利用するよう努力したい。
549	1051	公共交通機関をもっと利用する。
550	1051	自家用車の使用を極力抑えている(今年5月に車の買い替えを行ったが、2000cc車から1500cc車に変え、低燃費化を図っている。家族3人のうち2人は通勤・通学を車ではなく、バイクにしている。)
551	1051	最小限公共交通機関を利用しようと思っていますが、仕事と家事を両立するには、時間短縮のため、自家用車を使用することが、多くなります。時間的余裕があれば、車の利用を少なくしたいと思っています。
552	1051	用事は一回で済ます
553	1051	2回目の入力ができず、申し訳ありませんでした。
554	1051	一人で行動する場合や時間に余裕がある場合は、なるべく公共交通機関を利用すべきと考える。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
555	1051	休日の買い物などでは、車の使用をさらに控えて自転車を利用するよう心がける。
556	1051	取り組みを意識してできるだけ継続していきたい。
557	1051	自転車が基本であるが、遠距離や雨天時には自動車をついつい利用してしまう。
558	1051	自宅から利用できる公共交通機関が、さらに便利かつ普及することで自家用車の利用を控えることが可能になると思います。
559	1051	バイクは利用しているのにCO2排出量は0なのですか？ 休日以外に車はほとんど利用しません。意図的に乗らないようにした訳ではないです。
560	1051	ひとりで行動する際は自家用車の使用を控えるということを最低限の目標とすべきだと思う。
561	1051	なるべく、交通機関を利用する。また、短距離であれば、徒歩、自転車等を利用する。
562	1051	ノーマイカーデーのキャンペーンを余り意識していなかったため、CO2の排出量が平均より減りが少なかったようです。 日頃から意識して車を利用するように心掛けたいと思います。
563	1051	可能な限り、移動は自転車を使う
564	1051	大きい荷物がある場合などは、公共交通機関の利用にも限度があります。自動車の利便性・緊急性がどうしても必要な場合もあります。ハイブリッドカー又は全部電気の車のいっそうの普及が望ましいと思います。
565	1051	公共交通機関をできるだけ利用する。
566	1051	意識をどう持つかに係っているが、荷物が多いとか、雨模様といった外的要因も無視できない。それと、電車、バスといった公共交通機関網の拡充、利用できる時間帯の延長等の整備を進めて欲しい。天候が悪い時には特に気になります。
567	1051	小規模団地等については、小型でよいのでシャトルバスを運行する等の対策を講じる必要を感じる。
568	1051	自分は、公共交通機関を利用することには、苦にはしていない。 出かける先に駐車場があるかどうか、予想した移動時間で確実に動けるかを考えると公共交通機関は、十分使えると思う。時間がかかる面はあるが、 むしろ近くへの買物とかについては自家用車を使うことになると思う。
569	1051	公共交通網(地下鉄などの、専用軌道系がない、広電電車は軌道系であるが、信号のある道路を走るため、基本的にはバスと同じ。)が発達していない広島では、自動車の需要が高くなるのはやむを得ないと思う。
570	1051	某自動車メーカーには悪いのですが、是非、市内は自転車による通勤、通学を基本とした街づくりを進めてほしいと考えます。 昔の中国の朝の風景のようですが、一番良いのではないのでしょうか。
571	1051	車を使う機会が非常に少ないので効果は出にくい状況にあるが、歩いていける距離は、車や電車バスを使わない努力は続けている。
573	1051	遠方に行くときは、できる限り公共交通機関を利用し、近場は徒歩または自転車を利用する。
574	1051	公共交通機関の利用と自転車による移動は、できるだけ行っているが、これ以上は無理と思われる。広島においては、公共交通機関の利便性が向上しないとなかなか難しい。
575	1051	言い訳ではないが、調査項目・調査日数が単純でありこれで判断することは意味がないように思われる。が、結果を見て考えさせることはあった。
576	1051	第1回に比べて増加していますが、これは、車の使い方の検討結果であり、前回の利用に比べ時間が大幅に増えているにもかかわらず、増加割合は思った以上に少なかった。この方向で行きたい。
577	1051	職場への通勤手段が自動車しか選択できない場合、時差出勤はエネルギー - 対策上、有効な方法と考える。
578	1051	高速化・低料金化が可能な軌道系の電車
579	1051	親の介護でどうしても車は必要です。しかし、通勤については最近自転車を使用しております。車のエアコンもほとんど使いません。今後も最低限の使用に心がけます。
580	1051	他の交通手段がない現状では、エネルギー消費や環境への改善は困難ですが、今後も意識して行動していきたいと考えています。
581	1051	目的地にたどり着くまでの経路を考え、安く早く行けるのであれば電車やバスなどの輸送手段を利用する。
582	1051	取り組み期間中の一日については、自転車通勤をしたかったができなかった
583	1051	あまり車に乗らないこと。ガソリン代が高くなったことでもあるから。 外出を最小限に留める。交通手段を使わなくてすむ。
584	1051	107本は驚いた。これが、人口すべてにあてはまると恐ろしい。
585	1051	休日については、やむを得ず自動車を使用することとなり、自己評価としては満足できなかった。
586	1051	ガソリン消費料の試算が現実とかけ離れた数値になっています。普通車輛を軽自動車利用に変更したりして取り組んでいるので、心外です。 実際は、ガソリンを満タン(30リットル)に補給して、7リットル残ってました。
587	1051	休日の外出の際、どうしても駅まで歩くことや、乗り換えが面倒で、車で外出してしまうことが多くなる。それでもあえて車を控える気持ちが大切だと思った。
588	1051	平日はバス通勤ですが、休日には用事を済ませる必要があるため、待ち時間がなく移動時間が少なくてすむ自家用車を利用します。荷物があつたり、人を乗せて移動することも多いため、休日には自家用車が欠かせません。
589	1051	利用しやすい交通体系(公共交通機関など)を進める。ただし都市周辺部など公共交通機関に恵まれてないところについては難しい面があるが独自の工夫取り組みなど努力の必要があると思います。
591	1051	モニターになって、平日での車利用を控えたこともあり、この度の取組みによる結果は、休日のみの削減量です。もう少し、自転車や徒歩を活かした行動をすれば、もっと削減量も増えるし、自分の健康のためにもなると思います。
592	1051	自動車の稼働時間を意識して取り組んだ結果、40%もの削減ができた。すべての人が、環境への配慮を意識して取り組むことができれば、全体として、CO2の大きな削減が期待できるのではないのでしょうか。ただし、自分の場合、自動車ばかりに頼りすぎているのは事実であるので、そのあたりは改善すべきであると反省している。
593	1051	住居地には電車が通っていないため、CO2を全く出さない生活を送ることはできないが、自家用車ではなくバスを、バスより電車を利用するよう今後こころがけていきたい。
594	1051	今後、車の使用は、必要最低限にすることとしたい。



5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
595	1051	車の使用をできるだけ抑え、公共交通を利用する。
596	1051	移動手段を考える際、徒歩・自転車 公共交通機関 自動車の順に検討する。
597	1051	郊外部間の移動は自動車。都心部への移動はバス、JR、広電など、歩いて最寄の交通駅にアクセスできる交通機関が理想。広島では乗り換えが1回で済むような交通ネットワークを構築ししないと、現実的に分担率のシフトは無理。 バスの路線密度等を考えると、バスの充実が最も現実的である。バス事業者との共同事業(公共事業化)が望まれる。公共が乗り出さない限り分担率のシフトは無理。 本気で公共交通へのシフトを考えるのなら、事務的な今回ような取り組みでは意向調査にすらならないのでは?事務的、ソフト的な取り組みは啓発にはなっても、交通施策の転換にはいくらやっても結びつかない。(担当者の方は理解されていると思いますが) 政治的にトップが選挙等で具体案を明言し、ドラステックに取り組まないと無理。ソウルがバスへの転換に成功している理由を考えると、事務的なボトムアップで、利用者のマインドに訴えるようなことでは、いつまでたっても変わらない。数年目に実施したP&Rの社会実験から何も成長していない。 担当者の方、ご苦勞様でした。
598	1051	自動車での移動は、時間の短縮だけでなく、荷物を運び利便性などさまざまな面で恩恵があり、なかなか手離せない。当初の目的どおりいかにうまく利用していくかをこれからも考えて行動したい。
599	1051	少し考えて公共交通機関で移動することによって、年間に直すと大変な量になるということにきずいた。
600	1051	徒歩、自転車での行動範囲を広げ、これまでマイカーを使用していた場所も、公共交通機関の方法について、先に考えてみる。
601	1051	費用と時間だけでなく、環境という切り口から交通手段のを選択する。
602	1051	休日ではできるだけ公共交通機関を利用できるような遊びの計画を立てる。子どもが小さい場合は、バスや電車に乗ること自体を遊びのメインにするとよいと思う。
603	1051	思いのほか削減できた。クルマを使用しないとならない場面もあるが、今回の取組みの経験を無駄にせず、常にクルマに代替する交通手段がないか、運動不足の解消も兼ねて徒歩で行けるところは徒歩で行くようにしたい。
604	1051	時間の余裕がない場合や、目的地への交通手段がマイカーに限られる場合等を除いて、極力、マイカーへ依存することなく公共交通機関等の利用に心がけるべきである。
605	1051	最近、自分の肥満傾向や地球温暖化、エネルギー資源の枯渇への対応として、移動手段として、可能な限り、自転車や列車などの利用に留意しています。 それでも、家族で移動したり、荷物があるような場合は、自動車の利用は欠かせません。ただ、この場合でも、いろいろな用事をまとめて行うなどの工夫を行い、自動車の利用回数を抑えるようにしています。 また、運転についても、省エネ運転に心がけています。 今回の取組みに参加させてもらい、自分の現状が良く認識できました。まだまだ、努力が足りないと考えています。今後とも省エネ、省資源に努めてまいります。
606	1051	現在、自分は幸いなことにJRの駅が近い所に住んでいるため、公共交通機関の利用割合が高くなっています。 数年前までは団地に住んでいたことから急な坂を上り下りしてバスを利用せざるをえず、つい車やバイクの利用率が高くなっていました。やはり公共交通機関の利用しやすさがかなりキーポイントになると思います。 所要時間にあまり差が出ず、重い荷物もないのであれば、なるべく公共交通機関を利用すべきかと考えます。でもなかなかそれを実践できないのが苦しいです。
607	1051	平日のスケジュールを変更することは困難なので、休日のスケジュール次第で結果が大きく異なることとなった。しかし、郊外に住む以上、休日に車に依存せずに生活することは困難だと感じる。
608	1051	今後は自転車を利用するよう心がけたい。
609	1051	今後は、更に自家用車での外出は避けるようにして、公共交通機関を使用するように心掛けたいと思います。
610	1051	自動車を使用しない生活をするのは、なかなか難しいと思う。自動車の代わりに自転車を使用するようにしたら良いと思うが、遠くへ行くにはしんどいと思う。自動車は生活に不可欠なので、じどうしゃn
611	1051	通勤、通学等の日常生活では、なるべく公共交通機関又は自転車を利用する。
612	1051	通常、自動車移動している場所に可能な限り公共交通手段を利用する。
613	1051	自宅が公共交通機関が非常に不便な状態のため、自家用車を使う頻度が高いが、乗り合わせ回数を多くするなど努めた。
614	1051	移動に自動車の使用はやむを得なかったが、今後は、公共機関が使用できる場合は、公共機関を使用したいと思います。
615	1051	近距離の移動については、極力、徒歩、自転車を使用する。 遠距離の移動については、公共交通機関の使用を心がけ、自動車の使用については、ひかえるよう努める。自動車を使用する場合は、経路の合理化を考える。(最短距離の移動、スピードの出しすぎをしな
616	1051	近所のスーパーに行くときも、主に自動車を利用して。今後は自転車が徒歩で行くように工夫したい。
617	1051	通勤に自家用車を使用しないようにすることぐらいが、限度で、現段階では、これ以上は工夫する気になれない。
618	1051	できるだけ公共交通機関を利用するよう努めた。
619	1051	中心地では公共交通機関も充実していますが、郊外になればなるほどバス停が遠くなり、便数が少なくなって利用しにくい状況です。 公共交通機関の充実が難しいのなら、ライドアンドパーク(?)を充実して少しでも公共交通機関が利用しやすいようになればいいと思います。
620	1051	通勤には公共交通機関や自転車等を利用する。
621	1051	休日の車利用を抑える
622	1051	自転車
623	1051	・外出行動は日々変わるだけに、その時々わずかな工夫でもCO2の削減に効果があることがわかりました。 ・現在の居住環境、勤務実態及び親の介護等の事情から、必ずしも常に実行できませんが、通勤・通学をはじめ、日常生活において、公共交通機関、自転車、徒歩の併用をできるだけ心掛けたいと思います。
624	1051	理想を言えば、できるだけ公共交通機関を利用するのが望ましいと考える。しかしながら、現在の生活習慣から自家用車の利用は避けられない現状にある。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
625	1051	一人で出かけるときは、公共交通機関や自転車、バイクを使うようにすることが望ましい。
626	1051	交通機関をできるだけ使用するように心がけること。同時に交通機関の交通網を変更するなどして、快適に交通機関を利用できるようにしてもらいたい。
627	1051	バス等の公共交通機関の利用をできるだけ増やすとともに、徒歩及び自転車の利用を積極的に行う。
628	1051	近い場所への移動は、自転車を率先して使用し、遠い場所への移動は極力、公共交通機関を使用するようにする。
629	1051	本市でのノーマイクーデーが、9月22日、9月23日の両日実施したところですが、私自身職場を代表して一人実施したところ。その結果を行動プラン等にお答えいたしました。9月22日(木)の平日が主だった実施日であり、ノーマイクーデーで出勤しました。すると、平日の出勤と30分程度遅くなり往復では随分手間がかかり不便でした。正直なところマイカーでの出勤等しか他に交通手段は考えられません。
630	1051	できるだけ公共交通機関を利用する。
631	1051	出来る限りのことは出来た。
632	1051	田舎に住んでいるので、遠距離の移動はどうしても自動車を利用することになってしまう。自動車を利用しなければならない用事は、一度に済ませ、また、まとまって行動するよう心掛ける。そして、近距離は、徒歩で移動するようこれからも行っていきたい。
633	1051	新交通システムを含め軌道系交通機関を中心とした交通手段を活用する必要があると思うが、我が家では障害を持った次男の通院、通学など自家用車以外の代替交通手段の選択が困難であり、健常者の努力は継続しようと思うが、どうしても車の利用は必要であり、今回の試みがある種限界である。
634	1051	現在の車社会のなかで、まったく自家用車を利用しないのは無理だが、公共交通機関を利用できる場合は、極力利用するようにする。
635	1051	家族とも協議をしましたが、なかなか自動車に依存した生活環境が長く、取り組みが進みませんでした。が、今後は出来る限り「かしこいクルマの使い方」にしていきたい。
636	1051	車通勤を控えられなかった。
637	1051	・自分自身、自動車の利用は必要最低限で行っていると思っている。 ・自分が行動する目的に応じ、どの交通手段がベストなのかを判断すれば良いのではないかと考える。
638	1051	・第1回の指標により、家族で話を行い、公共交通機関を利用するように心がけるようにした結果、CO2の排出量が減ったと考えられる。 ・また、今後も公共交通機関を利用するとうに努めていきたい。
639	1051	公共交通手段のないところに住んでいるため、自家用車はやむをえない。
640	1051	個人的には、非常に満足のいく結果でした。 家族での移動は幼児の子供づれが多く、正直困難でしたが、子供が大きくなるに連れて、車以外での利用も出来るようになると思います。
641	1051	休日のレジャーや団地住まいの買い物などは、今の時代、クルマの利用はかかせない。 通勤や仕事での移動は、公共機関で簡単に移動できる交通機関の整備を期待したいものである。(もちろん運送業などクルマが不可欠のものは除く。)
642	1051	車利用から公共交通機関へと手段の変更は可能な部分があると思うが、自動車より時間が必要であったり、お金がかかるためどうしても、自動車となってしまふ。しかし、近距離のみの用事であれば、自転車や徒歩へと変える気持ちは十分持ち合わせている。
643	1051	これからも取り組みを継続していくことが大切だと思った。
644	1051	荷物が少ないときは、できるだけバス、JR等の公共交通機関を利用。 また、近くは徒歩・自転車を利用する。
645	1051	公共交通は好きなんですけど、路線や利用方向が限定されていること、時間的な制約と高額な料金(特に複数での利用の場合)がネックですね。 JRは高いと思いますが、バスとアストラムは利用料金を下げないと休日利用は厳しいですね。 通勤を主体とした公共交通の利用促進が広島では現実的なのかなと思っています。
646	1051	健康のために、自転車、徒歩を基本とするが、荷物と時間を考えると自動車利用も避けられない。
647	1051	子供が幼少なため、車に頼らざるを得ない場が多いため。
648	1051	特に意識して取り組んだわけではなく、日常生活そのままです。 日頃から車はできるだけ使わないようにしていますが、子供の送り迎えなど、どうしても車が必要になる場面はあると思います。 車は使わないに越したことはありませんが(CO2うんぬんよりも健康面と経済面からです。)、そう意識すると車が必要不可欠なものであることも再認識しました。単に車を使わないということだけでなく、社会のつくりと人の意識も代える必要があると感じました。
649	1051	できるだけ公共交通手段を利用することが望ましい。
650	1051	外出しなかったため
651	1051	自動車の利用は、最小限にとどめ、できるだけ相乗り等共同利用する。
652	1051	一人で行動する場合は、公共交通機関、自転車等が使えるが、家族単位での移動や荷物を抱えての送迎の場合、どうしてもマイカーに頼らざるを得ない。
653	1051	公共交通は、時刻表を持たないと乗換時間ロスが生じやすい
654	1051	がんばったのですが、なかなか車から離れた生活をするのは難しいということが良くわかりました。今後は出来る限り自転車を利用して移動するよう心がけます。この度はありがとうございました。
655	1051	ここ1ヶ月ほどパソコンの不調のため、2回目以降参加できませんでした。 参加していない点で0点です。
656	1051	バイオエネルギーで充電するエコビークルを交通手段にする。
657	1051	公共交通機関を使用するのが望ましいが、時間の制約により、自家用車での使用は止むを得ないと思う。ただ、自動車通勤でなくバイクを使用しているので、渋滞によるアイドリングを考えると、十分貢献していると思う。
658	1051	常に自分の健康も考え、歩くこと、自転車の利用、公共交通機関、自家用車をバランスよく使い分けること

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
659	1051	第2回目は、グループで1泊二日のアウトドアレジャーの日だったので、当然自動車を使用するしかなかった。必要最小限の台数ではあった。 休日の自動車の使い方は不定形なので、比較することにそもそも無理がある。調査期間内の休日に限られていて、前回と比較できるようなものにならなかった。 はっきり言って、休日の行動パターンのイメージが乏しすぎる。休日、家族で買い物に出かけるイメージしかない。そのパターンにはまっていなければ、やっていてむなしい。 今回の調査は、啓発にはなってもデータとしては全く役に立たないと思う。
660	1051	公共交通機関の利用
661	1051	子どもや家族での異動を除いては公共交通機関(主にバス)を利用したり、健康のため、近場は歩くという意識を持つようになりました。
662	1051	今回は、たまたま休日で車を利用する用事が少なかった。 今後、少しずつでも自動車からバイク、徒歩への切り替えをしていけたらよいと思う。
663	1051	家族にも協力してもらって、ある程度はクルマを他の方法に代用することができたと思う。この取り組み終了後も引き続き継続していきたい。
664	1051	公共交通機関の無い団地に住んでいることもあり、車は欠かせないものであるが、使い方の見直しは今後も考えていく必要はあると感じています。
665	1051	家族への働きかけと認識を向上させる努力に欠けた。
666	1051	公共交通機関の利用を心掛ける。
667	1051	今回、CO2の排出量について考えると、公共交通機関のなかでもバスよりもJR、電車の利用を意識して行動してみました。 今後も今回のことを意識しながら、マイカーを含めて交通手段を選んだ行動を取るよう考えていきたい。
668	1051	できるだけ公共交通機関を利用することが望ましいとは思いますが時と場合によっては自動車を利用することはやむを得ないと思う。
669	1051	通勤距離が片道15キロメートルもある私の場合、環境にやさしい交通手段を利用すれば、コストが10倍近く上昇することとなるし、結局のところ、家庭経済の問題である。 環境負荷を少なくする取り組みにはお金がかかりすぎるので、この点を軽減する制度変更が必要かもしれない。
670	1051	もう少し公共交通機関をしようしていけばよかったと思う。今後は、公共交通機関を利用できるときには極力利用しよう心がけるつもりです。
671	1051	休日の場合は、目的、場所によっては車の使用はやむおえない。
672	1051	可能な限り、公共交通機関を使用する。 また、休日等についても自転車や徒歩を活用する。
673	1051	ほとんどクルマをつかわないので、評価をつけるのはむずかしいです。
674	1051	徒歩 自転車 バイク 自動車と距離荷物等により乗り分ける。
675	1051	長期的に自動車の利用率を減らすことは、なかなか困難であるが、毎日の通勤を自転車に変える等毎日こつこつやれば少しは、健康や環境、地域交通のために、有効であるかと思えます。
676	1051	公共の交通機関が利用できる場合は乗用車の使用を抑えるなど、環境のことを考えていくことが大切だと思いました。排気量の少ない車の使用も一つの方法だと思えます。
677	1051	あさの通勤が、同じ職場の人に同乗させてもらってますので、できれば、いっしょに、公共交通を利用すればいいのですが、ついつい楽な方になってしまいます。
678	1051	可能であれば、公共交通機関を利用すべきだと思う。
679	1051	取り組んでいる。
680	1051	できるだけ公共交通機関や自転車等を利用するよう努力しなければならないが、必要範囲内での車利用は認める。
681	1051	近距離の買い物は徒歩にした。 自分だけの遠距離はバイクを使用した。
682	1051	自転車での通勤
683	1051	外出時のデータがとれなかった。
684	1051	今回の取り組みの中で特別 unnecessary 自動車の使用はないと思うが、一部バイクの使用に変更する事が可能な部分もあったと思う。
685	1051	二酸化炭素の排出量は増加したが、車利用率は下げることができた。
686	1051	日ごろから車の利用は控える生活パターンであり、なかなか今以上の削減は難しい。
687	1051	自転車通勤を心がける
688	1051	鉄道や車などそれぞれの交通手段の長所を最大限に生かせること(パークアンドライド等)
689	1051	あまり成果がみられないようで残念だ。 これをきき自分のライフスタイルをしっかりと見直して改善していきたい。
690	1051	車から、徒歩、自転車、交通機関などに転換したため、貢献できたと思う
691	1051	私と家族は、今回の取り組み以降もCO2 排出量の減少に貢献したいと考えます。
692	1051	十分努力した
693	1051	必要最小限で車を使用する。少々の距離なら、健康面からも徒歩や自転車を利用する。
694	1051	ほとんど自家用車の利用は通勤程度で、通勤にバスを利用するのは1時間に2~3本で、電車は通ってなく、通勤も朝だけ車をつかっている。 満点とはいえないまでも、しかたがないと思っている。
695	1051	普段は徒歩中心の移動をしているが、今回は知人に同乗させてもらったとは言え、自動車を使用したためCO2排出量が増加しました。この機会に知人にも今回の取り組みを伝え、今一度家族で考えてもらうように促しました。
696	1051	CO2排出量を考えて車を利用していませんでしたが、今回、数字を示されて驚きました。かしこいクルマの使い方に気を配りたいと思いました。
697	1051	公共交通機関の利用はもちろんのこと、車を利用する場合でも友人の車に同乗するなどすれば、渋滞の解消にもつながりよりいっそうの二酸化炭素の削減につながると思っています。
698	1051	近場で外出するときは、徒歩や自転車で行動することが環境面での健康面でも望ましいと思う。
699	1051	天候の安定した日には、二輪車を活用する。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
700	1051	自家用車を運転(同乗)することは、生活していく上で必要不可欠となっており、止めることはできないが、乗車回数や、距離を減らすことは可能と思われる。そのつど、外出=車ではなく、別の交通手段を考えるよう心がける。
701	1051	私は、通勤は自動2輪ですが、さほどガソリンは食わないと思います。専用レーンで交通もスムーズに流れます。ただ、今のCO2排出量を見ると、やはり、電車、バス通勤の方が地球環境から見れば、最良の手段かもしれませんね。自分なりの考えを押えて、皆さんのために切り替える必要があると思います。徐々に変えてみようかな。
702	1051	自動車を使用する頻度をおさえ、公共交通機関や自転車などを活用するようにしたい。
703	1051	今回の取り組みでは、結果的に満足できる結果ではなかったが、家族全員での移動のため、また、幼児が2人いることからやむをえないと考える。
704	1051	これからも環境に対してやさしい、車の利用につとめたい。 とくに公共交通機関の利用。 行政、その他による公共交通の発展に努めてほしい。
705	1051	近場は、徒歩・自転車とし、業務目的の外出など効率を考えると自動車とせざるを得ない場合は、効率の良いルート設定や数件をまとめて対応するなど効率の良い自動車利用に努める。
706	1051	自動車の使用を抑えることは重要だとは思いますが、田舎に住んでいる者としては、それ以外に移動手段が十分ではない。 公共交通機関の充実が図れれば、自動車の使用を抑えることを考えたい
707	1051	交通手段の使い方は、可能であれば以下の順位が望ましい。 公共交通機関の利用 自家用車を利用する場合には、可能な限り他者との相乗り
708	1051	数値では出ませんが、必要最小限の外出にとどめました。乗用車ではなく原付バイクの利用ですと時間の問題もあり理想的かと思いますが、原付を買うことはすぐにはできないので、外出回数を減らすこと(時間の短縮にもなるので)は今後も行っていきます。
709	1051	やはり車への依存度は高いものの、今まで会議に車で行ってたところを時間がかかっても電車等を利用するようになった。小さいことではあるが、時間に追われないような計画を立てて交通手段を使うようにすれば車の使用も減っていくのではないかと考えている。
710	1051	車を利用する習慣がついている為、バスを使うととても疲れてしまいました。ただし、環境を考えればバスを使うほうがいいことはわかっているし、バスの習慣がつけばその生活に慣れるのだと思う。バス料金等が郊外に住むものにとっては高く、車の方が安くつくということが車社会にさせていると考えられる。横浜に行った時、1時間乗っても200円という料金にこれだと思った。安ければバスを使います。
711	1051	週に1回程度はノーマイカーデーにしようと思っている。
712	1051	健康のためにも、なるべく自動車を使わずに、自転車などを利用するようにする。
713	1051	移動手段の選択を、常に心がけたいものです。
714	1051	郊外住宅地域と郊外の商業地域間で、小型バスによる低額輸送網ができれば、自家用車の使用がもっと減らせるのではないかと思います。
715	1051	バス以外の軌道系の交通機関の充実なくしては、効果は期待できません。ガソリン代の高騰もあり家族が、できるだけ自転車で買い物を心がけています。
716	1051	環境のためにはみんなが公共交通機関を利用したほうが良いと思うが、広島は公共交通機関が不便なので車の利用をなくすことは無理だと思う。
717	1051	利便性を優先し乗用車を多く利用。今後は行動を起こす前にまず公共交通機関が利用できないかを考え、可能であればできるだけ利用しよう心がけたい。常に車があたりまえではなく、他の方法も考えられる余裕を持つことが大切。
718	1051	往復50キロ圏内は自転車を使用。
719	1051	郊外の施設へ行く場合は、駐車場も整備されていることから、どうして自家用車の使用になりがちだが、市内中心部へはなるべく公共機関の利用に努めたい。
720	1051	自動車の利用はできるだけ控える。
721	1051	一人で移動するときは、バイクで行くようにしています。 自動車は、家族等複数で移動するときに使うようにしています。
722	1051	自家用車を利用することが多かったため、このような結果となりました。 今後は、省エネルギー・CO2削減に努めるようにしたいと思います。 自家用車はできるだけ利用しません。
723	1051	職場のパソコンがウィンドウズ98のため、入力等が上手くいかず、基礎になっているデータ自体が誤ったものであるため、評価の値は参考になりません。あしからず・・・
724	1051	クルマを使うことを当然と考えていたが、少しクルマの使用法を考えると森林の樹木の負担が減ることがわかった。
725	1051	週末の外出はできるだけ控えることとし、必要最低限の利用としました。今後も環境保全に努めるとともに、公共機関等を利用したいと思います。
726	1051	土・日曜日などの休日の車の使用を減らし、健康のためにも自転車・徒歩で行動したい。
727	1051	団地からの交通手段のバスは、便数が少ないので、なかなか利用しにくい。そのため手軽な自動車をつい利用してしまう。今回のアンケートで家族で話し、同乗とか控えることを考えた。
728	1051	環境問題的には公共交通機関に乗車すべきものと考えます。
729	1051	居住地の交通の利便性から、車を使用しないで生活することは不可能である。
730	1051	自動車車だけに頼らず、公共交通や自転車を心掛けて利用していきたい。
731	1051	今回のco2増加要員は、休日の行楽であるが、公共交通機関の整備が不十分な地域へ行くには時間的誓約から車に頼らざるを得ない。現状では、その社会状況からしたもソフト的面よりもco2排出の少ない自動車の開発等ハード面の整備をすすめる必要がある。
732	1051	なるべく公共交通機関を利用する。
733	1051	今後は交通機関で往復できるものは利用したいと思います。
734	1051	今後はバス、電車を利用したい。
735	1051	平均より少ない車の使用量であったことが分かって良かった。 また、通勤の一部を自転車利用としているので、平均より少ないと思われる。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
736	1051	通勤手段が自家用車のためどうしてもその利用率は上がってしまうが、休日等においては、公共交通機関を利用するようにしていきたい。
737	1051	移動距離がある程度あると、安易にクルマを利用するという発想になる。基本的にはクルマ以外で移動するという、発想の転換が必要であると思う。そして、レジャーも含め徒歩、自転車で移動する習慣をつけるクルマでないことが苦でなくなる。「発想の転換と習慣付け」が重要であると感じています。
738	1051	あらためて、環境について考える良い機会になったと思う。
739	1051	なるべく公共交通機関を利用しようと思ったが、不便過ぎる場所は自動車に頼らざるを得ない時があった。しかし、今後、自転車、バス、電車等の利用を絶えず念頭に置いて外出しようと思っている。
740	1051	日常生活に組み込まれた車利用を脱却する大きなきっかけが足りないと思う。
741	1051	今後も健康や環境に配慮した生活をするよう、努めたい。
742	1051	もう少し歩きたい。
743	1051	居住地の交通事情が極めて悪いため、通勤等にやむなく自家用車を使用せざるを得ない状況にあるが、今後、できるだけCO2排出量の削減、ということも念頭に入れた使用に心がけたい。
744	1051	バス通勤
745	1051	家族との外出はとても大切なことだと考えている。自家用車だけでなく公共交通機関を使うことで、こんなにCO2を削減することができるのなら、もっと工夫し、遠距離に出かけるだけでなく、環境にも配慮した楽しみ方にドンドンチャレンジしてみようと感じた。
746	1051	両親を病院に連れていってから、出勤しているので自家用車の通勤はやめられない。
747	1051	もっと努力が必要
748	1051	もっと、積極的に、車を使用しないことを心がける必要があると思いました。そのためには、職場全体として取り組む必要があるのではないかと感じました。(例えば、フレックス・タイムの導入であるとか)やはり、今の出勤時間からすると通勤時間を考える時に移動時間が一番短い方法を考えてしまうので。
749	1051	まだまだ車を使用しなくてよいケースもあったと思う
750	1051	ノーマイカーデーが彼岸の時期と重なり年寄りを墓参りに連れて行くには、車での移動になってしまう。今後は時期の見直しも検討してほしい。
751	1051	望ましい交通手段は公共交通機関の電車、アストラムラインの無公害車になる。延伸の早期実現を望む。省エネルギーのために自動車を使わない方がいいに決まっているが、交通手段が限られているので現状ではやむを得ない。
752	1051	自宅近くのスーパーなどへの買物は極力徒歩で出向き、送り迎えなどはなるべく自家用車を使わず、バス等を利用する。ちょっとした外出は自転車などを使う。
753	1051	家族での相乗りや排気量の少ない車両の利用などCO2の排出量の少ない手段を考えながら車の活用を行う。
754	1051	地球環境や自身の健康管理のことを考えると自転車をもっと活用すべきなのだと思う。10Kmくらいなら十分自転車での移動が可能だが、現在の道路事情のように幹線道路や交通量の多い道路に自転車用の側道がないと事故の危険性が高くなるため、必然的に車を利用しようということになり自転車への乗り換えは進まない。やはり、地球環境より、自分の命が大事ですから。
755	1051	特に意識的に取り組んだわけではなく、たまたま車の利用が少なかった。
756	1051	環境のためにも健康のためにもなるべく歩き、交通機関を必要に応じて利用することがもっとも望ましい。
757	1051	必要最小限度しか車の使用。
758	1051	仕事の帰りについて買い物をすませるなど、クルマ利用の機会を減らすようにしました。平日、通勤でクルマを使うので、土日はなるべくクルマに乗らないようにしています。
759	1051	通勤については、できるだけ公共交通機関を利用することが、環境的にも、個人的な健康面にも望ましいと思う。なお、休日は、地域行事があったり、個人的には買い物をしたりと、荷物が多い場合はやはり自動車が便利であるが、荷物が少ない場合や目的地が近い場合は自動車の利用は控えるべきと思う。
760	1051	評価不能
761	1051	少しは改善できたと思う
762	1051	家族に協力を求め、取組を進めつつあります。
763	1051	自動車をはじめバイクや自転車に所有するには、維持費はかなりのものになるが、環境を考えれば行動の選択肢を広げることができ、結果的には環境に与える影響を考えた行動ができることになる。様々な交通手段を所有し、その利用に際して最適な交通手段を選ぶのは、環境を考えれば至極当然のことと考える。
764	1051	できるだけ公共交通機関を利用することが望ましいと思います。(実際は原付の利用がほとんどであり利用していない)
765	1051	買物等の場合、駐車場がある所は、自動車で出かけてしまいます。少し、控える努力をしたいと思います。
766	1051	基本的に車は使わないようにしている。たまたま、1回目より2回目の方が車を多く利用しなければならなかっただけで、このように勝手に評価されるのは不愉快。
767	1051	子供が小さいので、買物等は車を利用したことが、反省点である。元気な人や目的地に近い人は、車を利用せず、徒歩や自転車などを利用すべきである。
768	1051	必要度以上の利便性は求めないようにすることが大事かと思っています。
769	1051	移動場所や移動人数により、公共交通機関を利用するには、不便を感じる人が多い。移動において機動力のある車に頼らざるを得ない。そうしたなか、何回かの用事をまとめることは必要である。
770	1051	日ごろから、健康と環境に対して配慮を心がけて交通手段の選択を行っています。
771	1051	これからも「かしこい車の使い方」を実践したいと思います。
772	1051	現状のままでよい。
773	1051	外出する際、思いつきで行動するのではなく、事前に色々調べておけば、自動車を利用せずに行動できる場所もあったのではないかとと思われる。
774	1051	できる限りマイカーの利用を抑制し、代替手段として公共交通機関を利用する。また、距離的に近い場合は、自転車や徒歩とする。
775	1051	住居が公共交通機関が利用しにくいばしょにあるためやむを得ないと思う。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
776	1051	できるだけ自家用車を利用しない生活に心がけているつもりなのですが、田舎住まいなので、どうしても自家用車を利用しないと生活できないとあります。
777	1051	車は便利なのでつい利用してしまうが、他に利用できる交通手段があってそれで間にあうのであれば、そちらを使うようにしたい。
778	1051	今回は大きな買い物や子どもを山口まで送ったりしたため、車を利用せざるを得なかったが、今後は、近くのスーパーに買い物に行くときは自転車等を利用するようにしたい。
779	1051	望ましい交通手段の使い方としては「通勤は公共交通機関を利用すること。」 「休日の行動は自動車・二輪を利用する場合が出てくるが、必要最小限の利用にとどめる。また、使用する自動車・二輪については環境基準に 適応したものとす。公共交通機関をできる限り利用する」ことが必要である。
780	1051	・普段の通勤通学については、出来るだけ公共交通機関を利用するのが望ましい。(そのためには、乗り継ぎ・運行時間・利用案内等、利用し易い環境の整備が望まれる。) ・休日等での移動についても公共交通機関を利用する方が理想的ではあると考えるが、自宅の位置関係から目的の全てを公共交通機関利用で完結させるのは困難な状況である。
781	1052	2回目の取り組みは、取り組み期間の休日で予定外に自動車を長時間使うことになったため、増えてしまった。しかし、通勤では、自転車通勤、同乗するなど、1回目の取り組みよりは減らせたと思う。
782	1052	努力はしましたが、自動車乗りようが必要な日でした。
783	1052	普段からあまりクルマを使わないので多少意識した程度であり努力していないです。
784	1052	二酸化炭素の削減を意識するようになった
785	1052	公共交通機関がいい
786	1052	公共交通機関の利便性を向上させないと利用することは難しい。
787	1052	自転車と電車の併用
788	1052	できるかぎり公共交通機関を利用する。 一回の自動車使用でできるかぎりのことをすます。
789	1052	車の利用が主に通勤なので、通勤を電車に変えれば、理想的だと思う。 東雲、向洋間にバスの路線があればすぐにでも変更するが出来るまでは難しいと思う。
790	1052	市内等近場への外出は公共交通機関を使用すればいいと思うが、遠出する場合はどうしても車になってしまう。
791	1052	理想としては、東京のように「鉄道」でどこへでも行くことが出来れば楽と思われる。しかし、広島市の場合には鉄道・路面電車・バスと組み合わせて網羅していくしかないと思われる。しかし、バス路線図は本屋で有料であるし、鉄道や路面電車網ははいていない。カードがバス・路面電車共通なのはうれしいが、鉄道・路面電車・バスの共通路線図が必要と思われる。東京の地下鉄ではどの駅でも同じ路線図が置いてあって、無料で取れるようになっていた。もし、広島のとこへ行っても「同じ物」が置いてあって無料で取れる「広島の路線図」があったら、利用者はもちろん観光客も喜んで使うと思われる。結果的には各交通機関にとっても利用者が増えてメリットがある。最終的には平和都市広島市のアピールになると思われる。
792	1052	通勤手段として、クルマを利用しているのは、公共交通手段の不便さ、時間ロス等があり、全面的に変更することは困難である。そのことを考慮し、少しは公共交通機関で通勤を検討することが出来れば良いのではないが、会社からの交通費の支給もあり、個人の負担増にも繋がる恐れがある。
793	1053	ちょっとした意識の持ち方で環境への影響に大きく左右されることが確認できた。 地球に住む一人一人が、意識を持った行動を心がけることが大切です。
794	1053	まだまだ改善の余地があると思うので、引き続き努力する。
795	1053	公共交通機関を利用する場合も、自分の行動計画並びに効率の良い移動を考え行程を考えたい。
796	1053	バスと鉄道の公共の交通手段を利用し、緊急時のやむを得ない状況にのみ自家用車を利用する。
797	1053	行く場所により、公共交通機関が使える場合は公共交通機関を利用する。
798	1053	健康のためにも、近場だと自転車を活用するなどちょっとした心がけが大事だと思います。また、早めの行動で、気分にも余裕がでます。
799	1053	今後も車ではなく極力自力で行きたい場所へ行くようにしたいと思います
800	1053	利便性を考慮すると現状維持
801	1053	徒歩、自転車で行ける場合には車を使わない。
802	1053	生活上の必要があって、なかなか車なしで済ますということができなかった。
803	1053	少しくらいは貢献できたと思っていただけに残念です。
804	1053	季節・週により行動が変化するので、今後共移動手段は検討してゆくことになります。
805	1053	団地居住につきどうしても車にたよろうとする。
806	1053	二酸化炭素削減は地球環境を保つために必要な 大変大きな問題で是非やり遂げねば成らない 今を生きる我々に課せられている 大きな宿題です 国(政府)レベルでもっと積極的に啓発・推進すべきとおもいます。 わたしたち個人においても身の回りの小さなことから 一つ一つ見直し改善を 今こそ真剣に行わねばならないと 思います。 まずは 車の利用から改善を考えたいと思います。
807	1053	外出する時は出来る限り、公共交通機関を利用するのが望ましい。 自宅近くへの移動は徒歩、自転車を利用するのが健康面からも良いと思います。
808	1053	今後とも公共の交通機関を利用することに心掛けたいと思います。
809	1053	車の使用は最小に絞っているが、外出時には100%車を使用している。
810	1053	調査機関中であって、2酸化炭素排出量や燃料使用量の増加は遠方の家族を加えての家族旅行(自家用車/レンタカー以外不可能な経路とホテル)をしたことによるもの。ウィークデーは通勤も含めてマイカーも公共機関も一切利用しなかった。今後においては、健康増進のための努力は継続するものの、地球環境のための改善代は少ない状況にあります。
811	1053	公共交通機関の利用が望ましい
812	1053	免許を取ってから歩く、自動車になり、ちょっとしたところでも自動車を使用するようになったことから、今回このような結果になったと思います。上記にも書かれてるように、天気の良い日は散歩がてら歩くよう、またなるべく自動車を使用しないよう心がけたいと思います。
813	1053	バイクや軽自動車など、選択可能な場合はできるだけ排気量の少ないものを選ぶ

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
814	1053	休日の移動は、単独で移動するのではなく、同乗者を積んでの環境に配慮した移動を心がけた。
815	1053	更に公共交通手段を利用し、なるべく歩くようにする。
816	1053	通勤は自転車、業務移動は電車。マイカー利用は日常の買い物時に限定的に利用している実態でマイカー利用を極力自転車利用とすることが改善の余地が大きい。
817	1054	自家用車は、止むを得ない時以外は使用しない。 望ましいのは、バイクも車と同様。
818	1054	本プログラムの取組み期間中は自家用車の使用を自粛してきたが、今後も引き続き実行していきたい。
819	1054	私自身は平素から電車・バスを利用しているので良いと思うが、家族の車利用抑制への働きかけが不足している。
820	1054	なるべく公共交通機関を利用することが望ましい。 そして、近距離なら歩くのが良い。 しかし、車を利用することで活動範囲が広がる中山間地域やお年寄りにとっては、自家用車の使用もひとつの手段だと思う。
821	1054	公共交通の利用が可能な場合であれば、できるだけ利用します。特に1人での移動はまず、公共交通を考えます。しかし、家族と共に(幼児2名を含む)に利用する場合、公共交通での移動手段がない場合は車の利用はしかたないと考えます。
822	1054	出かける場所(目的地)や人数に応じて、公共交通機関の利用のしやすさなども考えながら、自家用車と公共交通機関をうまく使い分けることが必要だと思う。例えば、家族でレジャーに海や山に出かける時は自家用車を使うが、普段の1人の通勤には公共交通機関を優先して使うなど、意識的に行動する。
823	1054	自動車利用は、荷物を運んだり、公共交通機関が遠かったり、時間がかかったりする際は便利だが、自動車利用を一度に済ませよう工夫するなどしてゆきたい。
824	1054	仕事時は、自動車で行かずに済む場合は急を要する場合を除いて公共交通機関を活用する。 休日は、極力外出しないのが望ましい(結論としてはいちばん面白い)。しかし、外出しない(=自宅にいる)場合でも電力を消費している(=二酸化炭素を放出している)という事実は認識しなければならない。
825	1054	理由はどうであれ、自家用車外出があったのは事実です。 相手先い出向く事を断る事は出来ませんが、今後、出来る範囲で、自家用車は利用せず、公共交通を利用していこうと考えております。
826	1054	CO2排出量は減少していないが、普段より公共交通機関を利用している傾向にあるため。
827	1054	たまたまゴルフの練習場が会社の近くにあるため、やむをえず車を使用し道具を乗せなければならなかった。しかし、それ以外であれば車を極力使用しない生活は可能なので次回以降徹底したいと思う。
828	1054	移動距離や出発地及び目的地の交通利便性、荷物の有無、天候、時間的制約等を総合的に判断して最適な交通手段を用いることが望ましい
829	1054	市内中心部へは公共交通機関で、郊外へは車で移動するという使い分けをすればいいのではないのでしょうか。
830	1054	近場や都心へのアクセスは、積極的に公共交通機関を利用することをこころがけようと思います。
831	1054	もう少し、車の利用を控えることも可能だったかもしれない。
832	1054	複数で利用するときには、自動車の利用もやむを得ないが、一人での異動の場合は時間に余裕をもたせて電車・バスなどの公共交通機関の利用やスクーターなどでの移動を行うようにしたい。
833	1054	この取組みで、自分の移動方法の中で、車の依存度の高さを認識しました。今後は、必要性に応じて、交通手段を考えていきたい。
834	1054	非常に残念な気持ちでいっぱいです。先日は、自転車も購入し通勤に、また休日の私用に活用し、自転車による行動範囲を著しく伸ばしたところでした。また自家用車をしようの際も必ず、同乗者有りて使用する努力を実践していたところで、この結果には自戒の念に堪えません。今後はよりいっそう気を引き締め、地球温暖化断固阻止！にむけて、精進してゆく所存であります。
835	1054	車から公共交通機関を使用した通勤となり、車を利用する回数が減りました。
836	1054	まだまだちょっとしたことでも車を使用する習慣が抜けていません。 買い物等は近くの店で、徒歩、自転車を使用するように心掛けようと思います。また、仕事で移動する場合も、時間的な余裕があれば、公共交通機関を使うようにしたいと思います。
837	1054	平均値程度にはなるよう、行動自体を見直します。
838	1054	乗用車に頼る生活になれているので、意識的に公共交通機関を利用するようにしたい。
839	1054	移動距離が短いときは、できるだけ自転車を利用する。
840	1054	自動車の利用をなるべく使用しないようにしたつもりだが、自分一人単独での移動と違い、どうしても家族での移動となると自動車を使用するようになってしまったと思う。
841	1054	住居と交通機関との関係からゆとりのない生活を送っております。 頭では理解しているつもりでも実行できていない部分がありました。 また、仕事柄緊急事態発生時には時間を優先せざるを得ません。
842	1054	公共交通の利用する。
843	1054	必要時以外は、公共交通を使用し、自動車の使用を控える。
844	1054	瞬間燃費を取付け、省エネ運転に努力しています。 また、排ガスCO2の排出量の配慮し、車の点検や定期交換部品交換を行なっています。
845	1055	申し訳ありませんが、会社の方針で通勤は申請以外の方法では出来ないので改善は難しいです。住所地も坂が多いので変更は困難です。
846	1055	スーパーなどへの買い物は出来るだけ歩いていくようにする
847	1055	今回も車の利用が多かった
848	1055	体が不自由なこともあり、車に依存する機会が多い。公共交通機関もバリアフリーが進んでいるが、つい便利な車に頼ってしまう。 通勤時など混み合っているととても乗車出来ない。 不自由な人が一人で行動できる環境が欲しい。 絶対数から見ると難しい話ですが、
849	1055	仕事では車の使用は避けられないので、休日は自転車や交通機関を利用するよう心掛けます。
850	1055	出来るだけ公共交通機関に変更したい。
851	1055	なし



5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
852	1055	公共の交通機関を使うより時間が短縮できるケースが多いので、つい多用しがちです。公共交通機関がもっときめ細かにルート設定や時間設定があれば、さらに深夜時間帯も利用できれば、利用頻度は上がると思う。
853	1055	近く(約5Km以内)は徒歩・自転車を使う。荷物がなく公共交通機関のあるところは電車・バスを使う。荷物があるとき、ドライブ等でマイカーを利用するときはエコ10ドライブに心がける。出来る限り効率的に予定をまとめる。相乗り出来るときは、使用台数を減らす。代替時は燃費の良い車にする。
854	1055	バス通勤
855	1055	できるだけ、公共交通機関を利用する
856	1055	今後もCO2削減に努力しようと考えます。
857	1055	特になし
858	1055	自動車の無い生活は考えられない。ならば、自動車自体の環境負荷を減少することが私にとって望ましい。電気自動車を含むゼロエミッションの動力源を早急に開発すべし。それは、一企業に任せるべきことでなくNASDAC?のように国家事業として取り組むべきであり、そのようなことに税金を使うべきと考えます。マクロな私見としては電車などの路線を圧倒的に拡大し、全ての住環境から徒歩圏内に駅があることがもっとも望ましいかもしれません。
859	1055	買い物荷物が大きいものだとなかなか自転車には乗らない。天候が悪いとやはり乗れない。なかなか思っている様にはいかない。
860	1055	必要のない時には車等に乗らないでおく
861	1055	住んでいる場所によってどうしてもマイカーに頼らざるをえないが、極力公共交通機関を利用するようにする。
862	1055	バス通勤
863	1055	できるだけ公共交通を利用する
864	1055	車に頼ってしまう部分が多い。
865	1055	環境改善の為、継続していきたい。
866	1055	電車やバス等の公共交通機関を利用する 健康のためにも自転車や徒歩で移動する
867	1055	公共機関に切り替えが出来る時は公共機関を使用するように心がけます。
868	1055	出かける際にはまとめて用事を済ませるようにし、CO2の排出を少しでも抑えていきたいと考えます。 今後もノ・マイカ・デ-を自分で決め実行していく
869	1055	健康の為にも近くなら徒歩で移動する様に心がける
870	1055	必要最小限の利用
871	1055	たまには自転車や徒歩で通勤をしてみようと思う
872	1055	車の利用頻度をもう少し減らすよう努力し、それが無理ならハイブリッド車の購入等も検討したい。
873	1055	車の利用は必要最小限にします。
874	1056	気持ちはあってもなかなか・であります
875	1056	平均よりもクルマを使うことが多いんだと改めて、思いました。 駐車場代のかかる所に行く時は、電車やバスを使用する。
876	1056	車がないと不便を感じる。
877	1056	移動の手段がどうしても自動車の比率が高いので、その部分を少しでも減らせればと思います。また、引き続き乗り合わせや効率を考えた使い方をしていきたいと思えます。
878	1056	週1回は田舎へ帰るため公共機関が使えない為自動車を使用しています。そのほかは極力自転車、徒歩にしています。引き続きこのように行動していくつもりです。
879	1056	会社には、出来るだけ自転車を利用使用と思えます。(健康も兼ねて)また、休日は家内と買い物に出ることが多いのですが、近場には徒歩や自転車を利用しようと思えます。
880	1056	住居が平地にあるため、買い物等の移動は自転車を中心に行なう。または週末に1週間分の買い物を自動車で済ませ平日の移動を少なくする。 休日に関しては、現在2台ある車を1台の使用で済むよう、家族で休日の行動計画を事前に話し合う。
881	1056	最近、運動不足なので、週に3回は自転車で通勤してみようと思う。 省エネプラス健康の為、それがCO2排出量減少に繋がる。
882	1056	どうしても、車じゃないと行けない場所もあります。 しかし、今後はもう少し公共輸送機関を利用するようにします。
883	1056	自転車や公共機関を使うようにする。バス・トラックの排ガス規制をもっと厳しくする。
884	1056	エネルギーや環境問題から意識して車の使用を抑制する。
885	1056	週に1回位は、JR・電車を利用しようと思う。
886	1056	週に1回ぐらいは、バス・電車を利用しようと思えます。
887	1056	休みの日には外出しないのが一番です。しかし、そうとばかりはいえません。公共交通機関が発達していない地域には車なしはきついです。バス停や、駅から車の使用となると、駐車場も大きな問題です。仕方なしに車に乗るわけですが、運転に仕方を工夫するだけでも結構燃費が変わります。財団法人省エネルギーセンターの「スマートドライブ」にたまることになることがたくさん書いてあります。この運転も広めてみるとCO2削減につながると思います。
888	1056	現実には意識しないと、なかなか難しいと思えます。少しずつ意識改革をしなければいけないと思えます。
889	1056	出来る限り公共交通機関などを利用する等、地球環境を考えた方法が望ましい。しかし、現実には、時間的なものや、地域的なもの等によりそれができないことがよくある。しかし、今後は、安易に即自家用車利用とするのではなく、できるだけ他の手段を利用することによって、地球環境改善の一助としたい。
890	1056	意識はしているが現実には難しい。
891	1056	出来れば、自転車等を今以上に利用し、自動車(四輪車)の使用を控えたい。
892	1056	自分では最低減頑張ったつもりです。 交通機関を使って行動できる部分は利用して、なるべく車を使わないようにするのがベストだと考えています。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
893	1056	もともとあまり使ってなかったので、環境には良かった。
894	1056	一人での車利用は少なく、買い物等は一度に何軒かを廻るようにしている。
895	1057	広島市内は、公共交通機関が発達しているので、原則マイカー通勤禁止をしてもよいのではないかと、これは、行政が強く働きかける必要がある。また、これに応える企業、通勤者に対して何らかの特典を与えることも考えるべきである。
896	1057	可能な限り公共交通機関を利用する。
897	1057	CO2排出量削減については、自転車等及び公共機関の外出に努めたい。
898	1057	自転車が1番
899	1057	地域に根ざした公共交通機関の育成(類似コースの統廃合・循環コースの多様化・専用車線の効率化(自家用車の徹底したレーンからの排除)・郊外駅、バス停での自家用車駐車場の整備無料化・など)が必要であり、そのためには、地域市町村がメインとなったプランニングが必要であると考えます。
900	1057	今回は前回よりCO2の排出量が増加してしまいましたが、車を使うのは土日のみで、且つ目的に合った使用は出来ていると思います。 遠出の時や、家族で出かける場合、また荷物が多くなると車を使用しなければならないと思います。それ以外では、極力自転車や電車を使用することが良いと思います。 ただし、田舎になればなるほど公共交通機関が発達していないのが難点かと…
901	1057	居住地の交通体系にもよるので一概には言えない。
902	1057	自動車の使用は、必要最小限とすべきだろう。
903	1057	特になし
904	1057	CO2削減を目標とするのであれば、ハイブリット車等のクリーンエネルギーの開発・普及を考えれば良いのでは。
905	1057	近いところへの買い物は徒歩で行く。
906	1057	自転車中心の生活を心がけます。
907	1057	環境問題には、強い関心を日常的に持ってはいるが、土日の公共交通機関の利用については、最低限の利用に努めているのが現状である。
908	1057	車を所有している以上、利用は避けられないものであるが、外出＝車ではなく、電車・バス等の公共交通機関の利用や自転車・徒歩等の無害交通を積極的に活用するよう心掛ける。 車社会の中で、国・地方公共団体・地域社会が環境保全の立場から、CO2 排出量を削減するための取組みを協力して行うことが大切である。
909	1057	目的達成のためには、他の方法には変えられない状況で自動車を使用しているが、使用頻度は極力減らすことが出来た。
910	1057	地方においては、自動車の使用は不可欠である。従って自動車からの排出ガスを削減することが望ましい
911	1057	自動車の最低限の使用しかしていないので、前回以上の考えはない。
912	1057	今後も環境に配慮した生活を維持していこうと思います。
913	1057	近距離移動はできるだけ自転車を使用 行楽や辺鄙なところへの移動、緊急事態の場合はマイカーを使う 自動車利用は年4000km以内に抑えている
914	1057	1回目は、単身赴任地での移動手段に限定した回答をしたのに対し、2回目は、質問内容に沿って帰省した場合を想定した回答になった。したがって、私自身は1、2回目とも「かしこいクルマの使い方」をしているつもりである。
915	1057	CO2排出の観点からは、交通手段として徒歩・自転車を最優先に考えて、交通行動をするようにする。
916	1057	今後も自家用車の使用は極力避け、公共交通機関の利用若しくは自転車及び徒歩での移動が良いと思う。
917	1057	アンケートの選択肢が少な過ぎるため100%の回答が出来なかった。
918	1057	市内での自動車利用をバス等に変更すれば良いと思う
919	1057	今後より一層の公共交通機関の利用度向上の推進が課題と考えます。
920	1057	公共交通機関の発達が必要
921	1057	せっかく購入したマイカーが泣いている。
922	1057	ほとんど車を使用しなかった。
923	1057	もともと自動車を持たず徒歩や公共交通機関を利用しているので極端に行動を変更していない。このような行動が環境にも優しいということが、数字でわかって良かった。 オートバイで通勤をしていると、ほとんどの自動車が1人乗りで走っていたり、信号の変わり目に強引に交差点に進入して次の交通のじゃまになる車が目につく。 これらの人たちがオートバイや公共交通機関に変更し、交通ルールを守れば、渋滞も防ぐことができ、更に削減が出来ると思う。
924	1057	出来る限り公共交通機関に移行するよう努力したい。
925	1057	自動車を使用することが一般的であるが、天気のいい日には徒歩や自転車を使ってみる等環境と健康を考えて交通を利用する。
926	1057	健康や環境に気を付けている。
927	1057	CO2が多くなったのは、残念です。 しかし、2週だけの取り組みでここまで評価されるのは、いかがかと思います。 現在の世の中には、CO2を排出する車、バイクは必要不可欠です。それと、共存していくかも課題なのではないでしょうか？ もちろん、みんなの協力でエネルギー資源を抑える事も重要ですが、
928	1057	軽自動車でもハイブリットカーのようなものを望む。
929	1057	やはりバス等の公共交通機関の利用が一番と考えます。
930	1057	遠方な場合、可能な限り公共交通機関を利用することとする。
931	1057	自家用車には1人で乗っていない(複数乗車) 目的のない(無駄な)走りはしていない
932	1057	なるべく(意識的に)自家用車の使用を避け、自転車、徒歩等により移動することに心がけること。
933	1057	意識して、マイカー利用を極力控えるようにしたいと思います。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
934	1057	計画的に複数世帯で互いのマイカーを相乗りして用事を済ませられるよう日々考えて行動しないといけない。 日常生活のほか仕事上でマイカーを利用することがあり、地方の公共交通機関の運行便数などが充実しないと根本的な移行は、むずかしいと思っていたが、このとりくみをはじめて以前より強く感じるようになった。 公共交通機関とマイカーとの互いの乗り継ぎが可能になるように駐車場の整備や新しい運賃割引が必要だと思う。
935	1057	今回のプログラムでCO2を減らせたというより、たまたま、でかける週とそうでない週がそれぞれ第1週と第2週に当たったということの方があっているかもしれない。何はともあれ、CO2を減らせたのは良かったと思う。
936	1057	極力、単独での車による移動を避ける。
937	1057	近距離は、歩くか自転車、休日は、公共交通機関を利用したら良いと思う。
938	1057	週イチドライバーであり、基本的に最低限の運転しかしていない。
939	1057	休日に遊びに行こうとすると、どうしても公共交通機関では限界があり、そこを自分の気持ち(短い時間で効率よく観光スポットを回る。安くあげる。快適に。)と地球環境問題とをどう折り合いをつけるか、逆に、そうした観光スポットのアクセスをどう改善してもらえるかと言うことが重要と感じました。
940	1057	市内での移動は、徒歩・公共交通機関によることとし、緊急の必要がある場合以外はマイカーを使わないよう心がける。また、実家が遠くにあるので実家に帰るときにはやむなくマイカーを利用する。ただし、将来的にはマイカー保有をやめ、必要なときにはレンタカーで対応するようにしたい。
941	1057	移動距離が長かったため結果的にCO2排出量が増加しましたが、必要最低限の自動車利用と評価する。
942	1057	体力と健康維持のため、移動はまず徒歩か自転車。かな。
943	1057	とてもよかった。
944	1057	通勤は、公共交通機関を使用。近くであれば自転車を利用。バス便が不便なところはどうしても自家用車を利用せざるを得ないのではないかなと思う。
945	1057	基本的に徒歩・交通機関利用と考えています
946	1057	日頃、通勤には公共交通機関を利用しているが、休日には小さな子供連れであるため、どうしてもマイカーの利用をすることが多い。 しかし、出来るだけ電車やバスを使って、買物に出たりする工夫も始めたところであり、今後も、そうした工夫をしてみたい。
947	1057	車で外出する予定だったが、別な用件があり、車での外出を取りやめたので、結果としてCO2が削減できた。
948	1057	できるだけ公共交通機関の利用と自転車の利用を心がけてはいる。
949	1057	手段を転換した場合の受け皿である公共交通(特にバス)のサービスが、よりきめ細かいものとなることが可能であれば、これを利用したい。
950	1057	交通行動計画に基づいた行動であるため、クルマに乗ることをかなり控えた結果、いい調査結果となった。普段はなかなか計画のような行動を取ることは難しい面はあると思われるが、出来る限りかしこいクルマの使い方を実践していきたい。
951	1057	徒歩等を活用していく
952	1057	時間効率から考えると最良と判断している。
953	1057	公共交通機関の不便な場所への移動には使わざるを得ない。 通勤にはバスを使用しているが、私的な時、家族で移動するときは、マイカーが便利である。
954	1057	公共交通機関を利用する等、環境のためになるような、自動車の使用を考えます。
955	1057	今回の実験で、安易に近距離でもマイカーを使ってしまいがち、意識して公共交通機関等にシフトする必要があると感じた。
956	1057	必要以外自家用車を使用しない。 徒歩、自転車を使用。 エンジンをこまめに切る。
957	1057	女房が通勤に車を使用しています。バスの利便性がもう少し向上すれば、公共交通への転換も可能と考えます。
958	1057	自動車は、私にとって通勤や日常生活で不可欠なものとなっていますが、今後は出来るだけ自動車を使用するの外出回数を控えるようにしたいと思えます。
959	1057	できる限り徒歩や自転車にする。それが難しい場合は、自家用車ではなくできる限り公共交通機関を利用するようにしたい。そのためには公共交通機関の増便・定時運行をのぞみます。
960	1057	休日のゴルフは1台の車に3人が同乗していきました。それなりの努力はしておりますがいかがでしょうか。 休日のスーパーマーケットも出来るだけ回数が少なくなるような品揃えの多いところを選んでおり、回数を減らす努力をしております。 広島市の交通体系では、やむ得ないところもあると考えております。
961	1057	自家用車の利用を控えて、公共交通機関の利用を増やしていきたい。
962	1057	自転車
963	1057	公共交通機関を利用するよう心がけます
964	1057	特になし
965	1057	電車、バスを利用したい。
966	1057	土日以外は車を使用することはありませんが、土日使用に際しては自転車やバスを使用するよう心がけたい。
967	1057	良好

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
968	1057	休日までバスには乗りたくないが、天気の良い日は自転車をもっと活用したいと考えている。しかし、遠出をする際には、公共交通の便利が悪いので、つい車に頼ってしまう。
969	1057	自動車の使用をなるべくひかえる。
970	1057	徒歩、自転車、バスの利用率の向上を図る。
971	1057	今後、できる限り公共交通機関を利用したい。
972	1057	公共交通手段が豊富であればもちろん利用しますが、買い物はどうしても荷物がでるので、車にたよってしまう。他の交通手段を考えることも必要ですが、車をエコ車ばかりにすればいいと思います
973	1057	交通手段があればバス・電車・JRを利用するが、中々難しい。
974	1057	長距離への移動に出来るだけ公共交通を利用するよう努めること。
975	1057	自動車使用自体を完全に廃止することは難しいが、今後、どうしても自動車を使用せざるを得ない場合については、途中の交通事情を事前に考慮する等により多少のCO2削減は可能になるので、できる限り行き先の交通事情等を把握のうえ行動したい
976	1057	平日車を動かさないため、どうしても休日に車を動かそうとする傾向にあるため、車を使ってしまう。又、公共交通機関を使っても時間的に差がない時は良いが、不便な時(自己判断による)はどうしても車を使ってしまいう傾向があるので、環境について考える良い取り組みであったと思う。
977	1057	マイカーのほかに移動する手段がないので、いかに使用時間を短くするかが問題である。1回の外出で効率よく用事をすませたい。
978	1057	住宅地域と買物をする場所(ショッピングセンター等)の間のみを運行するコミュニティバスなど
979	1057	公共交通を利用することに対して、常に意識を持つことで、まずは1回でも自家用車からの移行ができれば、大きな成果と思われれます。
980	1057	目的場所が駅の近くであったため、鉄道を利用した。なるべく自動車を使用しないことをPRすることも大事であるが、公共交通機関の整備等(休日等に増便させるなど)も必要だと思う。
981	1057	最近では、自分でも公共交通バス電車を利用することにかけている。
982	1057	比較的遠距離となる、行楽などには、極力公共交通機関を利用するスケジュールで計画したい。
983	1057	公共交通機関を利用できることは、出来るだけ利用する。
984	1057	近郊への自動車利用をへらすこと
985	1057	幹線道路には路側帯に必ず自転車専用レーンを設け、段差が無く安全に自転車が利用できるよう設備面でもバックアップし、自転車を交通手段の第一優先順位とする。
986	1057	レジャー目的での自動車使用は知人と同乗等できた。
987	1057	平日は自動車を使用することはなく、休日に畑、若しくは実家への用務、趣味の釣りに使う程度であり、マイカー使用は少ない方ではないかと思っている。
988	1057	マイカー使用の縮減
989	1057	マイカーがCO2の排出源とは承知しているが、地方では車は必需品です。今後は極力省エネ車を選択するとともに、鉄道等を利用したい。
990	1057	交通空白地帯なので、自動車は必要不可欠なもの
991	1057	生活環境を考慮しても、最低限のクルマ利用であり、望ましい形であると評価する。
992	1057	家族の状況等に併せて車両の使用を必要最低限にしたい。やはり子供に良い環境を残してやりたい。
993	1057	公共輸送機関を使える場所への移動は、公共輸送機関を使用することとした。近場は、徒歩又は自転車。通勤にバスを利用しているが、この度の調査で特別に方法は変えておらず、又、変えることも困難なため、コメントができない。
994	1057	出張・会議などで第2回目の取り組み状況を送信できませんでしたが、2回目も前回同様、食品の買い出しのために車の使用をしました。今後も、公共交通機関が利用できる場合は極力車の使用は抑えたいと思っています。
995	1057	近いところは、積極的に自転車や公共交通機関の利用は可能であるが、遠出する時、特に多くの者と行動する場合には、経済的にどうしても自動車利用が多くなる。モード毎交通機関の連絡時間の調整、個別毎運賃ではなく、一貫運賃の設定が必要。
996	1057	できるだけ公共交通で
997	1057	バイクの利用度が多いかなとは思いますが、住宅が急勾配のある団地内にあり、今後においても、これまでどおりバイクを使用することになる。街中のように、頻りにバスや電車が通っていれば公共交通を利用することも考えられるが、私の場合は現状の交通手段を変えることは考えていない。したがって、今の交通手段が望ましい交通手段であり使い方だと思っている。しかし今後において、現在市販されている補助電動付き自転車の性能が、これまでのものより数段よくなれば、これに乗り換えることは可能。
998	1057	通勤でバス利用の実績5/7で評価。通勤時間帯のマイカーでの渋滞混雑ぶりは、日々激しくなっている。思い切った施策が必要(市内マイカー乗り入れ禁止とかロードプライシング制導入、政策的に燃料高騰に導く、エネルギー転換を図る(経済の発展と環境問題は反比例の関係であるが、生活環境面を100年前に戻す
1000	1057	共稼ぎのため休日は家事がたまって外出することができなかった。
1001	1057	徒歩、自転車、電車を利用する。
1002	1057	環境面での意識も重要であるが、利便性や金銭で比較するとマイカーの優位性が顕著である。調査を通じて環境への意識が高まったことは良かった。
1003	1057	車を利用する中で最も多いのは、車を利用すれば便利な大型スーパーへの買い物ですが、3回に1回は自転車で行ける近場の小型スーパーに転換しました。
1004	1057	田舎に住んでいるのでなかなか自家用車以外での移動には、制約があります。十分環境問題には、興味がありますが、そういった状態なので難しと思います。
1005	1057	歩けるところは、できるだけ歩く。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
1006	1057	市中心部への通勤を自家用車から公共の交通機関へ転換させるような取り組みが必要と思う。周辺の道路を見ても、休日より平日朝夕の渋滞がひどい。
1007	1057	単身赴任者であり、日頃一緒にいない家族とのコミュニケーションとして観光に行った結果であり、これの結果co2が前回アンケート時より増加した点については仕方ないと思う。よって、帰省しない場合でのマイカーの利用は現在でもなく、よって、本調査での採点は前記のとおりとした。
1008	1057	自宅から新山口駅までの自動車利用を鉄道利用に変更して排出量が増えるのでしょうか。? 出来るだけ自動車から電車・バス・自転車等を利用する必要があると考えます。
1009	1057	もちろん公共交通機関を利用できればと思うが、買い物利用や子連れであることを考えると難しい。家族で出かける時はやむを得ないにしても、1人で出かける時は公共交通機関を利用するようにする。
1010	1057	車以外の交通機関も考えるようにする。
1011	1057	可能な限り、公共交通機関の利用に転換することにより、自家用車の利用を抑制し、環境への配慮をしていきたい。
1012	1057	たまたま今回の調査期間中の休日にはマイカーを使わざるを得ない状況にあり、けっして満足な結果でなかった。普段は環境に配慮した生活を心掛けているつもりだが、家族から不満が出ることもしばしば。社会全体でより一層理解が深められるよう、幼少期からの教育、習慣作りが肝要ではと改めて今回の取り組みを通じて感じた。
1013	1057	大都市部の自家用車の利用制限による公共交通の利用促進
1014	1057	これ以上、改善の余地なし。
1015	1057	通勤時の駅までの自動車利用はバスの利用も考えられるが、便数及びバス停が遠いため利用が困難。ただ、たまには自転車への変更も考えられる。休日の自動車利用も近場は自転車利用に変更も可能と思われる。
1016	1057	歩くことを基本に生活リズムを作り、必要以外は車の使用を控える。
1017	1057	自家用車の利用を控え、今後できるだけ公共交通機関を利用したい。
1018	1057	自家用車の使用を最低限に抑え、公共交通機関や健康増進のため徒歩、自転車を移動手段にするのも一つの方法では？
1019	1057	公共交通機関が網羅されていない地区(撤退)での移動には、どうしても時間及び経費的な問題があるものと思慮される。
1020	1057	平日はバス、電車の公共交通機関を利用して通勤している。休日の自家用車の使用は買い物などで、公共交通機関は荷物がある、タイヤが少なく、停留所も離れている、等で利用し難い環境にある。従って、休日の自家用車による行動パターンを変更する気持ちは無い。
1021	1057	公共交通機関を利用するのが望ましい。公共交通の利用を促進するためには、利用しやすいダイヤ、路線等の設定が必要。
1022	1057	もう少し頑張ろう
1023	1057	現在の家庭環境から車を使わざるを得ない状況にあり、特に休日は公共交通機関の利用が難しく、転換出来ていない。
1024	1057	自家用車から徒歩等への変更が全くなかった
1025	1057	取り組みの結果は芳しくなかったが、最低限の自動車使用としました。今後、行動パターンによっては公共交通を利用することもでき、引き続き取り組んでいきたい。
1026	1057	行き先、用途の性質上車使用もある程度仕方ないかと。
1027	1057	自動車の使用を控え、徒歩・自転車・公共交通機関といったCO2排出量の少ない交通手段を使用する。
1028	1057	公共交通機関がない場所に移動する際は、できる限り同乗できる場合は、同乗するようにする。
1029	1057	生活内容が多様多様になって、効率よく短時間で移動することが、可能な土地柄であれば少しは可能であろう。しかし、都市圏でなく地方都市の郊外ともなれば、交通機関の路線やダイヤの間隔、乗換え町時間、始発終発の繰上げ繰下げなど、日頃仕事をして深夜に帰宅する生活している者にとっては、車無しの生活リズムは到底考えられない。近所2~3kmの移動に一人であら、時間が許される範囲で、徒歩・自転車・バイクなどの使用をすることは可能であると思う。しかし、何十キロも長距離を移動し、荷物も多ければまず困難と考える。今の生活環境では難しいので、スローライフになれば努めていけるのではないかなと思われる。
1030	1057	近場は徒歩、自転車、公共交通の便利なところでレジャー買い物。
1031	1057	移動については、出来る限り公共交通機関を利用するよう心がける。
1032	1057	休日、車利用がやむを得ない場合は、用事をまとめて一度に済ませられる様に行動する。
1033	1057	家族については通勤手段がどうしても車に限られてしまう部分があるので、思いの外難しい問題であった。従って、自己評価としては低めに点数を付けざるを得なかった。この問題は、平日に限って言えば、やはり公共交通の充実(路線、終発時間の延長等)とセットの議論になるのではないだろうか
1034	1057	私個人では車利用を成る可く控えるようにしていますが、妻については、個人的利用は極力控えているものの、業務上は車を利用しないとできないこともあり、車利用を他の交通機関に転用することは非常に困難である。
1035	1057	自転車での移動なら、都会や田舎関係なく出来るので、便利だと思う。
1036	1057	私自身は普段車に乗ることは少ないが、家族はどうしても移動は車になってしまう。妻が買い物に行く際、近くにもスーパーはあるが、行きつけの少し遠いところを利用している。値段もそう変わらないので近くのスーパーに変更するよう話し合いたい。
1037	1057	近くなら自転車、遠くなら公共交通機関を利用することが環境にも健康にも好影響を与えるので意識したい。
1038	1057	交通手段の発達している都市部へは、必ず公共交通機関を使用する。そのためには、都市部へのマイカー規制を行うことが必要だと思います。
1039	1057	通勤に自転車と公共交通機関の併用 自宅が郊外なので電動自転車を使用したいが、自転車で通行するに危険な道路(歩道が狭い等)が多い、また駐輪場がないので乗り継ぎも難しい。
1040	1057	前回改善策として、買い物のまとめ買いを挙げたが出来なかった。
1041	1057	極力公共交通を利用しようという意識の元に行動したつもりであり、その点では自己評価において、ある程度の達成感はある。
1042	1057	家族の外出行動における排出量が増加したという結果でしたので、もう一段階ほりさげて、かしこいクルマの使いかたを可能な範囲で考えてみたいと思います。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
1043	1057	マイカー使用を減少させるにはロードプライシングや公共交通機関利用に対する優遇策を講じなければ普及しないと思う。
1044	1057	もっと公共交通を利用しやすい環境をつくるべきであると思う。都市圏では電車やバスの運行回数が非常に多く利用が盛んである。しかし公共交通といえども民間企業が行っている以上採算性を度外視することはできないため利用する側も自動車から公共交通に移行し、利用率を増やさなければならぬと思うが…
1045	1057	自転車
1046	1057	公共交通機関が利用できる場所は、自家用車の利用を控えるようにする。
1047	1057	もう少し二酸化炭素等の排出の抑制に努力したい
1048	1057	日頃から、徒歩を心がけてはいるが、時間・天候・距離等の関係からやむを得ずマイカー使用をせざるを得ない状況もある。今回は移動回数、距離も多かった事が原因。今後も機会あるごとに減少すべく実践したい。
1049	1057	現状でのベスト
1050	1057	現在居住している地区の公共交通機関は路線バスだけであるが、土日休日は極端に便数が少なくなると、丘陵地帯ということで自転車・徒歩の利用はできない。従って、望ましい交通手段の使い方としては自家用車の効率的な使用を考えて行動しているつもりであるが、これ以上の効率化を求められるのなら、何もせずに家にいれればいいことになる。また、土日休日以外(緊急時を除く)は自家用車を全く使用しないため、休日のみ捉えて排出量の増減を評価しても生活サイクルが市内の公共交通が充実している環境と大きく相違することも考慮して評価すべきである。
1051	1057	単なる移動ならば、そして移動範囲が10km以内ならば、自家用車よりも公共交通よりも、自転車が一番。 10kmを越える場合はバスか電車を利用する…と。 ただ、広島市内等ならばバス利用が「比較的」良いため、バスを利用しようという考えも浮かぶけれど、山口市内等、田舎ではバスの利便性が悪すぎるため、どうしても自家用車を利用してしまふ。(電車を利用しても、目的地の最寄りに行くにはバスかタクシーが必要であるため。)札幌の地下鉄で試験的にやっていたが、自転車を電車に持ち込めるようになれば、今以上に公共交通(特に鉄道)を利用する機会が増えると思われる。
1052	1057	自転車が健康のためにもいいですね。ただし、交通事故には注意が必要です。
1053	1057	通勤を含めて移動時には、可能な限り公共交通機関を利用することが望ましい。
1054	1057	車の大きさをもった自転車
1055	1057	近距離における移動はバス等を中心にご利用することとし、遠距離、大きな荷物のある場合は自家用車を使用する。
1056	1057	比較的近距離においては、徒歩、自転車等を使用すること。中距離、長距離によらず都市部への移動については公共交通機関利用が望ましい。
1057	1057	マイカーの使用については、休日において必要最小限の利用しかしておらず、スーパーの買物で重い買物の場合、自転車に変更するのが困難な場合も多いと思う。
1058	1057	nasi
1059	1057	どうしても自動車を使用しなければいけない日もありますが、できる限り歩行、公共交通を利用する。
1060	1057	第2回の期間中に健康上の問題があったため、やむなく自動車に頼った生活になってしまったので、「望ましい交通手段」についてコメントできません。
1061	1057	前回同様
1062	1057	公共交通機関を積極的に利用する。
1063	1057	職場実態と住居地の関係で、通勤手段において恒常的な改善が取り組めない現実がある。せめて、公共交通での帰宅方法が可能であることが明確な場合には、それを利用したい。
1064	1058	自動車中心の道路環境から歩行者、自転車、バスが利用しやすい道路環境にして欲しいと思います。たとえば、車道用の照明も歩道を照らすようにする。歩道のでこぼこを改善する。バス停に屋根を設置する。など
1065	1058	国に用務が生じたとき自動車を利用しています。普段はそんなに自動車は利用しません。
1066	1058	公共交通機関の積極的利用
1067	1058	機動性をもとめた場合、自転車、バイクなどが有効と思う
1068	1058	平日は自転車でも充分であるが、休日の遠方への買い物等については、荷物も多く、バス、電車の利用は難しい。
1069	1058	頑張ります。
1070	1058	他県からの来客があり、観光案内をするのに自家用車を使用したのが、次は公共交通機関を使用してみようかと思う。
1071	1058	10月からマイカー通勤からバス通勤に転換したので継続したい。
1072	1058	交通の便があまりよくないところにすんでおり、かつ、坂の上で自転車もなかなかつかえないので、仕方ないとはいえ、車でしか移動しない生活を続けていくのは環境に良くないと思う。もっと、時間に余裕のあるときは、公共交通機関を使っていきたい。
1073	1058	これからもこのまま続けたい。
1074	1058	バス乗り換え時間の待ち時間が短いようにしてほしい。 たとえば、朝7時20分藤の木団地発広島市役所行きで、中広バス停7時59分着徒歩で3分のところに、中広三丁目バス停ありそこに横川駅発のバスが来るのは、8時20分で職場に着くのが8時50分なので8時30分からの開始時間に間に合わないでマイカー出勤になる。
1075	1058	休日は、できるだけ公共交通機関、徒歩で移動する。 平日、公共交通機関を利用して、スムーズに帰宅できる時間までに仕事が終了するよう、社会全体の働き方を変えていく。
1076	1058	マイカーはなるべく使用しない。可能な限り自転車等を使用することで微弱ですけども環境にも優しい対応をしている。
1077	1058	このような調査は、あまり現実的じゃないと思います。特に、公共交通機関が利用できない環境(田舎)にある地域に居住している為です。

5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所コード	コメント
1078	1058	趣味を諦めれば排出量は削減できますが、他の趣味に変えない限りは、削減は困難です。
1079	1058	第1回より第2回の方がCO2が若干減少している点は自己評価できるとおもいます。しかし、自宅から買い物や病院等外出の手段が自動車に頼らざるを得ないことがありますので、なるべく回数を減らすため、用事を1度で済ませようとしております。
1080	1058	公共交通機関(バス)の利用が困難な地方(田舎)に住居地を構えており、また、高齢者(実母)の足腰が悪いことを考えるとマイカー使用は、必要最小限であったと評価しています。個人の行動(移動)については、自転車、徒歩利用を積極的に進めたいと思います。
1081	1058	ok
1082	1058	実生活では、公共交通機関を利用すると時間的な制約があることや余計にお金がかかったりすることなどマイナス面も多々あるので、なかなか実行に移せないのが現状である。ある程度時間に余裕がある時などにちょっと考えてみて、少しずつではあるが、実行に移していければ良いと思う。
1083	1058	近場については、できるだけ自動車を差し控えるようにしたいが、どうしても家族単位で移動する場合は自動車が必要になる。
1084	1058	目的地にもよるが、車以外の交通手段が使える場合には、できるだけその交通手段で目的地へ行くようにしたい。
1085	1058	車の使用は、自分なりに必要最小限にとどめることを心がける。
1086	1058	今後も自転車、徒歩を心掛け、健康維持とともにCO2の削減に努めたい。
1087	1058	評価は高いですが、実際には時間がかかりすぎ疲れも倍増するので厳しいと思われれます。
1088	1058	自転車の活用
1089	1058	マイカーを使うこと
1090	1058	一人一人の認識と行動にして 環境に取組むように心掛ける。
1091	1058	公共交通機関を積極的に使用するよう努めても、用途によってはかえって非効率であったりするので、マイカーは低公害の車を選ぶようにしたほうがよいと思う。
1092	1058	交通アクセスの改善が必要である。 ノーマイカーデイ日には、バス等の公共交通機関と調整し、運賃を減額する措置を講じる必要がある。
1093	1058	毎日公共交通機関を利用するのが理想ですが、交通の便(出勤所要時間、最終便の時刻)を考えるとそういう訳にはいきません。今回の活動はできる範囲で努力しましたが、今後は1日/週から2日/週公共交通機関利用に努めたいと考えています。
1094	1059	通勤については週に一度は公共交通機関を利用するか、又は自転車通勤を考えてみる。等によるCO2削減対策を行う。
1095	1059	中心地周辺とかの主要な電車やバスの路線は積極的に利用するのがいいが、郊外の団地等は車なしでの生活は難しい。車と公共手段をうまく使い分けられればいいと思う。CO2の排出がない車が早く実現すればいいと思う。
1096	1059	・近場は出来るだけ自転車利用。 ・遠方はできるだけ公共交通機関利用。 ・遠方で公共交通機関がない場所は 近くまで公共交通機関を利用しそれ以降は タクシー・レンタカー等利用。
1097	1059	マイカーに頼りすぎ
1098	1059	平日はクルマ通勤しているため、なかなか削減することができなかった。バス通勤も考えなければ少なくなる。しかし、通勤時間を考えるとクルマ通勤したい。休日は子供と出かけるが、公共交通機関でいくところが限られており、クルマ以外での外出は難しいものがある。
1099	1059	まだまだ自家用車に頼るところがあります。近くのスーパーには自転車で出かけるとか改善の余地はあります。健康にもいいですし、今後もCO2削減と健康とを念頭において生活していきたいです。
1100	1059	出来るだけ公共交通機関を優先して使用するようには心がけている。
1101	1059	公共交通機関を使う
1102	1059	公共交通機関の有効利用
1103	1059	近距離(4km)であれば、努めて歩くように心掛けているが、行楽などの遠距離の場合、他の交通機関があるにもかかわらず、マイカーを利用してしまふ。今後は、時間的に少し余裕をもって、近場の穴場を探すなども含め、行動パターンを変えてみることを試みてみたい。
1104	1059	路面電車やアストラムといった軌道系の乗り物を便利に使えばよい
1105	1059	意識としては、車より公共交通機関をそして歩きをと思っているものの、現実として車でないと移動できない場所(実家等)が多い。
1106	1059	近場の移動に安易に車を使いすぎているので、買物等自転車の活用を勧めたい。 又、心身リフレッシュにもサイクリングの効果あること認識した。
1107	1059	出切る限り通勤は相乗りが良けれど相手と会社の交通費補助の問題もあり 休日の移動は公共の交通機関を利用する方が良けれどDOOR TO DOORの利点と人数の費用対効果も考える必要あり近くであれば健康の為、極力徒歩としたい。 今回の車利用はやむを得ないケースと思っています。
1108	1059	基本スタンスとしては公共交通機関の利用が可能ならばその中で利用して行く事としておりますので引き続き実践していこうと考えています。
1109	1059	休日、家族と出かける場合、自家用車を使用することが多いことについて、行楽シーズンであり、遠方へ行くことが原因と考えられる。市内等の移動であれば、公共交通機関を使用する場合があるが、どうしても、自家用車でしかいけないところに行ってしまう。乗り継ぎ方法や観光バス等の情報が入ってこない(積極的に情報は入手しようとしていないが)。
1110	1059	公共交通機関の不便生を考えるとやむを得ないが、出来る限り公共の機関で移動したい。
1111	1059	公共の乗り物が良いと思いますが、現状では、自家用車となります。 早朝、深夜、勤務先等のアクセスの悪さ、 郊外から市内へ家族4人で(乗り換え1~2)出かける5千円~7千円かかります。乗車賃がもう少し安くなればと思っています。



5.参加者コメント集  
(ウ) プログラム評価のコメント

sq.	事業所 コード	コメント
1112	1059	何も変わっていないので0点としました。自宅購入時にCO2削減を念頭に入れていなかったのが通勤や買い物等には車を使用しなければならないのが現状です。団地にバスは通っていません。変えていかなければならないとは思いますがひとつずつチャレンジします。
1113	1059	会社の通退勤に関しては、利便性、時間的な問題も有り、一概に公共交通機関に切り替える事は難しいと思う。 休日の車の使い方については、徒歩・自転車・公共交通機関等の利用拡大を図りたい。
1114	1059	公共交通手段がある場所への移動は極力公共交通手段を使う。
1115	1059	一人での移動や時間に余裕のあるときなどはバス・電車といった公共のものを利用することをこころがける。
1116	1059	一人で移動する場合、急な用件、荷物等の運搬等を除き公共交通機関又は自転車等を利用しますが、多人数の場合やはり自家用車を使用することが多くなります。買い物等は極力自転車等で近くのスーパー等に必要最低減の用件を済ませるよう心がけるよう努めていきたい。
1117	1059	公共交通機関を使うのが望ましいと思う。ただし、朝夜通勤時間の都合上、現状は車通勤がトータルとしてベスト。
1118	1059	郊外に住んでいるため、自家用車での通勤しか考えられない。もっと公共交通機関が発達すれば利用も可能だと思うが、今の広島は道路や土地の様子からすれば無理だと思う。
1119	1059	自転車、徒歩や公共交通機関の利用は苦にならず、できれば利用したいと思っているが、費用と時間の関係で車を使うことが多くなる。
1120	1059	自身の健康づくりと環境への配慮も考えて、マイカー通勤をへらすことと、日常生活において、徒歩30分圏内の行動は、出来るだけ徒歩又は自転車を利用することだと思っています。 また、通勤において健康づくりも兼ねて、マイカー通勤を週1回減らし、「自転車」又は「徒歩+電車」で通勤することも考えたいと思います。
1121	1059	目いっぱいアクティブに、行動しているので、これ以下に、ペースを落とすことは、今はできません。また、自分のまわりでは、病人や、老人の移動にもクルマは、欠かせません。(ドアツードア) 私の、生活の現状からいえば、クルマ移動は、やむを得ず、ベストの選択です。近所のコンビニへ行くなどは、自転車ですが、それ以上の生活圏内の移動は、クルマです。広島では、バス交通などは、市内中心部には、便数が、多いが、周辺と周辺を結ぶバスは、30分間隔など少ない。中心部だけオアシスという、「交通砂漠」です。公共交通機関利用とクルマでは、2倍以上の移動時間差が生じます。遠距離でも、大阪京都くらいまでは、クルマの方が新幹線より、早いのが実感です。(ドアツードア) 毎日残業で帰宅は、21時をまわります。クルマ通勤でなければ、今の仕事は成り立ちません。どこの業界でも、途上国の追い上げなどで厳しく、労働密度を上げていかないと、今の世界一の「高収入」は維持できません。20～30年前のピンボエ生活OKと言う、みんなの合意が、あれば、クルマはやめられるでしょう。 公共交通機関も、クルマのドアツードアに対抗できるよう、バスを電車のホームに乗り入れる(アクセスの縮小)など、革新的アイデアを出す時期です。高速道路と鉄道の交差している地点で、高速バスに乗り換えできる(ネットワーク拡充)ようにするなど、既存のものも利用者本意で最大限協調できるように。 環境経済的にクローズな制度に変えて、行くべきです。CO2を、出す人はそれを、浄化する費用を、負担すべきです。環境を元に戻す費用を製品価格に織り込むべきです。そうすれば企業努力によって環境コストの安いものへ、技術が発展していくでしょう。ひとつの発明は、世界中で使えるのです。個人レベルの努力も大事ですが、労力ばかりで、効率アップはできません。そういうマンパワーは、福祉などに使う方が「有効利用」と思っています。
1122	1059	車を使う生活に慣れてしまっているので、なかなか公共交通機関を利用することができない。しかし、今回のことを常に意識して環境への配慮をしていきたい。身体を動かします。
1123	1059	1回限りの行動では評価できないと思う。10/1より通勤を公共交通機関を用いることとしたが、まだ完全には移行しきれていない。
1124	1059	今私の居る環境の中ではこれで良いとおもいます。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
1	1031	・自家用車の使用が必要か？ を常に考える。(徒歩、自転車ではダメなのか、目的地を近隣に変更できないのか、等)
2	1031	徒歩で30分以内の通勤範囲は徒歩とする。
3	1031	公共交通機関を優先的に使用し、可能な限り自家用車を使用しない。
4	1031	休日の外出は、必要最小限に控える。
5	1031	車で移動する際は、できるだけ一箇所で買い物を済ませるなど、効率的な移動を心がける。
6	1031	公共交通機関の利用促進。 公共交通機関の行政による整備促進。 ガソリン等の使用節約奨励のため、深夜のガソリンスタンドの営業禁止(高速道路を除く)、大型量販店の夜間営業の制限(午後8時もしくは9時まで)、コンビニエンスストア(歓楽街のものを除く)の深夜営業の禁止を法制がすべき。
7	1031	高効率の触媒装置の取り付け、未燃焼排ガスを減らす方向でのCPUのリセッティングの実施。
8	1031	公共交通機関の利用
9	1031	スケジュール管理による効率的な外出計画
10	1031	目的地が同じであれば、乗り合いででかけたり、アイドリングストップを心がけること。
11	1031	近くに公共交通機関がないため、マイカーを使わなければならないが、相乗り、乗り継ぎを利用することにより、マイカーの利用率を下げたい。
12	1031	燃費、コストを考えると環境的によい結果をもたらす。 無駄な荷物を車から降ろすよう心がける。
13	1031	乗り合いを励行する 休日は出来る限り車を使わない
14	1031	同じ方向への外出の際には、1台で外出する。 可能な限り公共交通機関を利用する。
15	1031	自家用車の使用から公共交通機関の利用への変更
16	1031	普段から心掛ける。 車以外の公共交通機関のインフラ整備を促進する。 燃費の良い車に乗る。燃費走行に心掛ける。
17	1031	緊急の場合以外には、使用しないほうこうにしていきたい。
18	1031	外出の際は、目的地までの公共交通機関を調べ、出来るだけその交通機関を利用するようにし、クルマでの外出を減らす。 エンジンの回転数を上げない。
19	1031	通勤手段として公共交通機関に切り替える。 休日での外出においても、要件に応じて公共交通機関とマイカーとで使い分けを意識的に実践する。
20	1031	近い場所への移動では、車ではなく、自転車、徒歩とする。
21	1031	出来るだけ乗らない
22	1031	クルマは多くの人で乗るようにする。他の要件と併せて外出する。
23	1031	公共交通機関を利用する。 買い物は徒歩で行う。
24	1031	今回の取り組みの中で、近隣への移動は自動車ではなく徒歩・自転車の活用を挙げましたが、今後も継続して取り組んでいきたい。
25	1031	街中に出かけるときは徒歩か公共交通機関を利用するよう努力する。
26	1031	・近場に行くときは、車を利用しない。 ・できるだけ相乗りを心がける。 ・アイドリングはしない。 ・省エネ運転を心がける
27	1031	公共交通機関の更なる利用
28	1031	実際クルマの利便性は他に変えたいものがあるが、休日では近距離は自転車、会社でも近距離訪問は自転車利用の方法があっても良いかと思う。
29	1031	子供の将来を考え、移動にはできるだけ公共交通機関や自転車を利用する習慣をつけていきたい。
30	1031	不必要には利用しない
31	1031	出来たらマイカーからバスに今後移行していきたいと思います。
32	1031	燃費の良い運転。
33	1031	車が必要か必要でないかは、自分の意思だけでは決められないときがある。(外部要因) 自分の意思で決められる時は、基本的には3km以内の移動は徒歩で移動したい。 3km以上、5km以内であれば自転車で移動したい。
34	1031	近くは体を動かすことを基本として移動し、遠くは公共の交通機関を利用することを第一に考える
35	1031	できるだけ、公共の交通機関等を利用することを前提とします。 但ししながら、郊外等交通機関網が不十分な地域への移動は自動車を使用せざるをえないと思います。 上記のように、区分して実行します。
36	1031	ゴルフ行きの場合の相乗り

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
37	1031	いつも時間的に余裕のない行動をしているのでちょっとした用事でも車を利用せざるをえない。すべての行動に時間的な余裕を持ち、移動の手段としての車の利用をやめようと思います。
38	1031	居住地区が一般交通機関が整備されてないと思っていました。 今後の整備に期待します。 それでも、案外走っていることも知りましたので、一般交通機関のより活用するための調べをしておきたいと思っています。
39	1031	緊急時を除き、公共交通機関を利用
40	1031	・買い物で、極力マイカーの利用は避ける
41	1031	目的地までの交通手段として途中からでも公共交通機関を取り入れる
42	1031	使い方ではないが、使用用途に応じて、買い替え時にはなるべく小型の車種を選択したいと思う。
43	1031	出来るだけ車を使わない生活を考えたい。
44	1031	時間の余裕をもって、交通機関をなるべく利用する。
45	1031	可能な限り公共交通手段を利用し、時間の制約がなければ徒歩を利用する。
46	1031	公共交通機関の利用促進
47	1031	近くに出かけるときはクルマを使わない
48	1031	現在の生活パターンの中で、どうしても変えられない車利用はありますが、今後家庭での移動等には自転車・徒歩を積極的に活用したいと考えております。
49	1031	一人で移動するときは、極力車を使わない。
50	1031	15分以内移動は徒歩にする。 外出時はできるだけ同乗移動する。
51	1031	家族が車で外出する時に同乗して外出する
52	1031	買い物は1回ですます 高回転運転はしない いらぬ荷物はのせない
53	1031	・公共機関で行けない場所だけ使用
54	1031	出来るだけ、乗車人数の少ない自家用車の多用を避けて、公共交通機関の活用を心がけたい。そのためには、公共交通機関の便宜性を高めてほしい。 例えば広島駅でJRから市電に乗り換える場合、番線比治山經由宇品行き電停は、朝非常に多数の乗車客が列を作るのにもかかわらず屋根等は無く、非常に難儀な状況で、雨の日は自家用車で行くか、タクシーを利用する人が多い。そのうち晴れの日も電車利用客は減少する傾向となる。 これは一例であるが、利便性の向上なくして公共交通機関の利用率向上は計れないのではと思います。
55	1031	可能であれば、公共交通機関を利用していきたい。
56	1031	電車を使う回数を増やすようにする。
57	1031	都心部では、車を極力使用しないようにする。
58	1031	休日の買物は公共手段を使い、通勤についても公共手段の利用を増やすようにしていく。
59	1031	できるだけ徒歩・自転車・公共交通機関を利用することを心掛け、自動車は状況に応じて利用していきたい。
60	1031	燃費の良い車の使用。
61	1031	行き先の無い行動は避ける。 エコドライブの励行！
62	1031	郊外に外出の場合等のみ自らで使用範囲をできるだけ制限する。
63	1031	アイドリングストップの活用
64	1031	できるだけ乗り合いを心がけ、必要ない使用を避ける。
65	1031	駅周辺に用事があるときはなるべく電車で移動する
66	1031	これまで車を利用していた距離の移動でもなるべく自転車や徒歩で移動する。
67	1031	娯楽・旅行には車を使い、移動・買い物等はなるべく公共交通機関を使うか、相乗りをする。
68	1031	自転車、交通機関の有効利用を考え、実行する。
69	1031	どうしても、必要な時以外は使用しない。
70	1031	業務での車輦の使用頻度を抑えるのが課題。
71	1031	公共交通機関を積極的に使う。
72	1031	やはり自己の都合に合わせて車を利用してしまいます。
73	1031	・市内へはバスを利用する。
74	1031	近場や荷物の少ない場合は車を利用しない。
75	1031	土日・祝祭日の自家用車の使用を控える
76	1031	レジャー等必要な場合のみの使用
77	1031	少人数で乗らない。 車の使用はどうしても必要なときだけにする。 燃費によい運転を心がける。
78	1031	・近所への買い物などは、できるだけ自転車などを利用し、健康増進を踏まえた行動を心がけていく。 ・友人とのレジャーなどの機会には、乗り合わせを行い使用する自動車の台数を減らす。
79	1031	一人乗りは極力やめて、乗り合いで出かける。 近場は使用しない。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
80	1031	可能であれば公共交通機関を利用する
81	1031	不要なときは乗らない。 効率良く買い物等を済ませる。 買い換えるときは燃費の良い車にする。
82	1031	近場の買い物でも車を利用しているが、その点を、3回に一回ぐらいは徒歩でいくように努力したい。
83	1031	小さい子供がいるため自動車での移動が主体になっているが、もう少し成長すれば交通手段も変化してくると思う
84	1031	近いところには歩いて行き、遠い場所には電車やバスを利用する。
85	1031	近郊への外出は、なるべく徒歩や自転車で移動する。
86	1031	自転車・バイクを有効活用する。 要件はまとめておこなう。
87	1031	極力公共交通機関を使用する。
88	1031	外出機会の削減
89	1031	自家用車をやめる
90	1031	要件をまとめて、自家用車を使用してゆく。
91	1031	基本的には使用しない 必要に応じて使用する
92	1031	必要とき意外は車を使用しない
93	1031	一人で異動するときには、近場では自動車を使用しない。
94	1031	公共交通機関を積極的に活用して車の使用削減と、ETCなどを車に取り付ける。
95	1031	自家用車に乗ることを減らすよりも、トラックが出す排気ガスを規制したほうが地球の温暖化の防止には効果があると思う。
96	1031	・普段からできるだけ車以外の交通機関を使用しているつもりだったが、 もっと積極的に実践していきたいと思う。
97	1031	近場の移動は、徒歩または自転車で行う。 車使用時は、出来るだけ相乗りで移動する。
98	1031	スーパーなど、自転車で行ける身近な場所への移動はできるだけ自転車等を利用する。
99	1031	自家用車を使用する時は、家族の要件をまとめ、より良く効率的に活用するよう心掛を行う。
100	1031	便利さだけでなく、遠くへの移動の際は一人ならできるだけ電車などを利用、二人以上の場合に、車を検討する。
101	1031	休日の遠距離移動以外車をなるべく使用しない。
102	1031	近距離の買い物は自動車を使用せず自転車、徒歩等でおこなう。
103	1031	なるべく車は使用せず必要最低限で使用する。
104	1031	自動車の使用目的を考えた行動をしていきたい
105	1031	週末に食材をまとめ買いをしたりたまには気分転換をし公共交通機関を使用したり少しでも車の使用を抑えるようにしたい
106	1031	車を利用するときは、環境にやさしい運転を心がけ必要以上には使用しない。
107	1031	一人一台で車を通勤に使うのはかなりCOの排出および交通渋滞が増加することが考えられるので友人との乗り合いやそれに変わるものがあれば有効と考える
108	1031	勤務中は無理な為、買い物において少し改善してみようと思う。 例えば一度にたくさん買わずに少しずつ買えば自転車等使用できるかもしれない。
109	1031	なるべく使わない様にするが、必要ときは仕方ない
110	1031	休日に自家用車を使用する際は行動計画をたて、できるだけ無駄な走行をしないよう心がけます。
111	1031	ハイブリットカーを利用したい。
112	1031	天候のよい時期に徒歩自転車を利用してみる。
113	1031	健康の為に「歩く」を基本に行動して行きたい。
114	1031	車利用時間の短縮
115	1031	通常はあまり自家用車を使用しないので「行動プラン」は作成できなかった。歩ける、公共交通機関が便利、の条件で自家用車の使用は控えていきたい。
116	1031	使用目的を明確ひして使用を心かける。
117	1031	どこへ行くのにもすぐに車を利用するというのではなく、 まず歩いて行く、自転車で行くということを考えて、車は最終手段と考えれば、それが よりよい車の使い方 に通じると思う。
118	1031	代替があれば車をできるだけ使用しない
119	1031	できるだけ、環境負荷の少ない乗り物を使用して行きたい。 通勤は原付バイクを使用する。買い替え時には燃費効率の良い4サイクルに買い換える。
120	1031	もう少し環境意識を高めて、また個人の健康維持のためにもマイカーの利用を抑えていきたい。
121	1031	近場へは自転車・徒歩で行く。
122	1032	公共交通機関の利用促進 同乗等によるマイカ - 使用の削減
123	1032	徒歩または公共交通機関の利用が可能な場合は極力車の利用を抑える。

## 5.参加者コメント集

## (工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
124	1032	・事前に予定を立てた自動車移動。 ・長時間のアイドリング防止。
125	1032	いままでは、どこへ行くのでも車を使っていましたが、行き先によって車以外での移動方法を考えていきたいと思います。
126	1032	できるだけ今後も協力していきたい。
127	1032	安易に自動車の利用をしない
128	1032	時間的なことやいろいろな状況の中、まったく自動車を使わないというわけには行きませんが、今後も自動車を使う必要があるかどうかよく考慮し、実践して行こうと思います。
129	1032	どうしても必要なときのみ利用するよう心がける
130	1032	公共交通機関を利用する割合をもっと増やす。
131	1032	車を使うときは乗合で
132	1032	移動目的次第
133	1032	車の使用を出来るだけ控える
134	1032	前回にも記入したが、公共交通機関を利用する気は、まったく無い。
135	1032	無駄なく、目的をもって運転する。
136	1032	よりよいクルマの使い方ではなく、クルマを使う時間を短くする体制にしてほしいですね。
137	1032	タイムリーで必要不可欠な場合にクルマを使用していければと思う。
138	1032	排気ガスの浄化(触媒・使用燃料)。車を使用しなくても便利なアクセス手段が無い(特に広島)地域では車は必要なのでこの方法が最適。
139	1033	夏季、冬季、の冷暖房時の無駄なアイドリング時間の減少。
140	1033	今でも殆どクルマを使用しておりません。 これ以上少なくするのなら、クルマを手放すくらいしかありません。
141	1033	出来るだけマイカーを自粛することを念頭において行動計画を考える。
142	1033	レジャー意外は使用を避ける
143	1033	近い所に行く場合は、自動車は利用しない。 電車で行ける場所は、自動車を利用しない。 バスより電車を利用する
144	1033	歩ける距離は歩く 休日は自転車の活用などに努力する
145	1033	車と交通機関を有効に活用していきたい。
146	1033	できるだけ使わない
147	1033	通勤での公共交通機関の利用
148	1033	必要度という尺度での優先順位に応じて、使用を控えていきたい。
149	1033	CO2削減や省エネのためにも車の利用は考えていきたいと思いますが、現状なかなか乗らざるを得ない状況です。個々の意識改革も必要ですが、社会全体として抜本的な改革も必要と考えます。
150	1033	今の生活では、車は必要不可欠で、定年に、なれば使用頻度が減少すると思う。
151	1033	ただドライブへというのではなく、目的をもって使用しているので現状で良いと思います。
152	1034	通勤、買い物で出来るだけ公共交通機関を利用するよう心がける。
153	1034	できるだけ公共交通機関を利用する
154	1034	近所への外出は車の利用を控える
155	1034	休日の都市部への交通手段は、バス・電車を利用したい。
156	1034	できるだけ近くは車の使用を控えるようにしたい
157	1034	できるだけ車の使用を控えるようにします
158	1034	月に何度か、バス通勤をするよう心がけたいと思います。
159	1034	近くへ行くときは、なるべく徒歩にする。
160	1034	あまりに乗員1名の車が多すぎる 公共交通機関・相乗り・バイクでの移動をこれからも続けようと思う
161	1034	車の要らない仕事についたら出来るでしょう。何故、ディーラーの人間にこのような調査を依頼されたのか、理解に苦しみます。以下の質問にしても、行く場所によって違います。
162	1034	低燃費車とか、エコカーに、切り替えたいと思う。車の利用無しは、考えられない。
163	1034	出来るだけ減らし原付利用するが月数度行く、へき地では便数が減り料金は高い。今までに無い便利安価安全な公共交通機関をつくって欲しい。
164	1034	郊外の団地ではバスの便が少ないので、どうしても自家用車に頼らざるを得ない。
165	1034	燃費の良い運転を心がける。
166	1034	近くの用事には、なるべく歩くようにする。
167	1034	今まで以上、可能な限り徒歩、自転車、電車、バス等を利用して行く洋、努力いたします。
168	1034	状況の許すかぎり車を使用しない。
169	1034	近場は徒歩とかで運動を兼ねて実践していこうと思います。
170	1034	燃料消費を抑える運転、タイヤの空気圧を上げて燃費向上に努めている
171	1034	急発進や空ぶかしをしないように心がける
172	1034	・できる限り公共交通機関を利用する。 ・定年後は、マイカーを使わない。車が必要なときはレンタカーを借りる。 ・時間的にゆとりが生じるので、移動は自転車か徒歩で行う。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
173	1034	車よりはバイク、バイクよりは自転車を実践して行きたいと思います。
174	1034	郊外に生活圏が移る中で車の使用は不可欠。少し前から言われているが、市内に入る為の交通機関の主要駅に大規模な駐車場を設け、市街地へのマイカー乗り入れを規制すべき。
175	1034	クルマは個人的にも現在、必要なものであり、あと何年かは利用すると思う。その中で本当に必要な部分だけを利用する。
176	1034	一人で行動するときは、できるだけマイカーを使用しない
177	1034	通勤は自転車を使用する回数を少しでも増やす事を考えています 勤務中は出来るだけ一度で済ませ車の使用を減らす事を考えます
178	1034	出来るだけ、公共交通機関を利用するようにする
179	1034	休日などは出来るだけ自動車の使用は控える
180	1035	パーク・アンド・ライドの方策を探る。
181	1035	通勤はバス利用と徒歩を徹底する
182	1035	近隣に出かけるときは、徒歩や自転車を利用する。
183	1035	マイカーを自粛して公共交通機関を利用しようと言うのはたやすいが、実際には、公共交通機関はマイカーの代替にはならない。言うまでもなくマイカーは自宅から複数の目的地に、一定以上の物を積んで移動できる特性を持っていて、列車やバスはその代替とはならない。私たちは個々に車を所有することにより、自由で広範な移動が可能になった。この利便性を手放すことは難しいと思う。
184	1035	自家用車を利用する時は極力複数人数と乗車する 近距離は徒歩で動く
185	1035	排気量の少ない車を利用する。 車を使用する回数を2回のところは1回で済ませる。
186	1035	車を買わない。使わない。そのための社会インフラの強化が必要。
187	1035	ショッピング、娯楽などの際にも、できる限りバスなどの公共輸送機関を利用するよう心掛けることから始めたいと思います。
188	1035	徒歩で10分程度のところまでは、できるだけ歩くようにする
189	1035	必要以外には使っていないので、今後も継続する。
190	1035	これまで同様、例えば休日に市中心部へ映画を見に行くときには、バス・電車を使う。仕事でも取引先に行く際、時間に余裕があれば、公共機関を使う。アイドリングストップも従来通りこまめにする。 レストラン駐車場で無人のまま長時間エンジン掛けっぱなしの車をよく見かける。観光バスや待機中のタクシーも掛けっぱなしが多い。5分以上のアイドリングは自動停止する構造にするのがよいのでは...
191	1035	なるべく車は使わず、歩くか自転車にする
192	1035	車に乗るより、歩くことによって得る情報の方が量も質も豊かな場合がある。仕事の上でも、できるだけ時間の余裕を持ちながら動くように心がければ、少しは、排出量を減らすことができるだろう。そうしてみたい。
193	1035	遠方への移動、重いものの運搬など車でしかできない行動以外はできるだけ公共交通機関を利用したい。
194	1035	核家族化、高齢化が進む中で、車もますます「個」で使われ、必要になると思います。田舎はなおさらです。公共交通機関の利用促進を呼び掛けても、東京は可能ながら、例えば北広島町では無理でしょう。よりよいクルマの使い方を個人に尋ねる発想・運輸行政ではなく、簡便で廉価な移動手段を確保する社会をどうつくっていくかを問うべきだと思います。個人の努力目標ではありません。
195	1035	こういうお仕着せのようなやり方はよくない。調査の方法自体から考え直すべきだ。以上。
196	1035	利用回数を減らすことを考えている
197	1035	なるべく利用を控える。
198	1035	CO2を排出していることを念頭において、クルマの利用を考えたい。
199	1036	休日の買い物(近場)には、自転車を使ってみたい。遠方の移動には公共機関(電車)等を使用も考えてみたい。
200	1036	徒歩ですむところは極力徒歩で。
201	1036	出来れば少しでも健康の為、徒歩
202	1036	公共交通機関の利用
203	1036	燃料費も上がり、家計に負担をかけているのが現状であります その為には無駄なガソリンの使用を避ける。 朝夕の、エアコン使用を避け、ガソリン使用率を下げることにより、CO2の削減に心がける。
204	1036	効率よく動く
205	1036	西広島バイパスみたいに 柱だけ作って後はほったらかしにすることがよくない
206	1036	休日等、時間に余裕の有る時は、公共機関を利用するように心掛けます
207	1036	できる限り公共交通手段をかつようする。近場は歩く事。
208	1036	近場は徒歩で用事を済ます

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
209	1036	我が家の住環境においては、クルマを使用しないわけにはいかない。 よって、どのように効率よく使用するかということになる。 無駄なアイドリングはしない。無駄な外出はしない。可能ならば公共交通機関を利用する等。 先日高須台のパーク・アンド・ライドの駐車場にいったが、ナンバープレートのないクルマ、タイヤのないクルマ、ガラスが破られたクルマ、近寄り難い改造車等。盗難車置場か廃車置場と化していた。 勿論利用せずに、従来通りマイカーにて市内へ行った。
210	1036	暑い季節以外は通勤手段は自転車に切り替える。
211	1036	休日などは極力車を使わないように公共交通機関を利用しようと思います。
212	1036	たまには・・・と気軽に始めるといふようなことが日常になるのでたまには徒歩で・・・たまには公共機関で・・・たまには同乗で・・・と日常になるよう機会を増やしていこうと思います。
213	1036	出勤を車から自転車に。
214	1036	なるべく車に乗らない。
215	1036	交通機関を使える場所に出かける場合は、なるべく車を使わないよう努力し、車を使う場合は、計画を立てて無駄のないよう移動するよう努力しようと思います。
216	1037	公共交通機関の利用が可能かどうかの情報チェックをして休暇を過ごすようにしたい。
217	1037	まず、車ではなく公共交通機関で行けるかどうかを選択使として入れて、車の使いかたを考えたいと思います。
218	1037	バスや電車等、公共交通機関を利用出来るように、計画に余裕を持って行動してみようと思う。
219	1037	5km以内の移動は、なるべく自転車等にする
220	1037	同乗など
221	1037	現状を考えると、買い物等には車が便利であるし、公共交通機関を使おうにも連絡・待合いなどの便利が悪いため積極的には利用できない。
222	1037	できるだけ自動車でなくバイクを利用する等やれることからやる
223	1037	・公共交通機関の利用 ・家族の行動を把握し、自動車での行動回数を減らす
224	1037	マイカー利用する場合は目的を持って利用する。
225	1037	近いところの用事は、自転車や歩いていく。
226	1038	自家用自動車を利用する場合にも、可能な限り効率的な利用に努める。また、できる限り自転車等の移動も行う。
227	1038	近くのスーパーへは、自転車で行く。 アイドリングストップ。
228	1038	公共交通機関等の利用が困難な場合を除き、極力自動車の利用を控えるように努力したい。
229	1038	近所との乗り合わせの実施
230	1038	歩ける距離は健康のためにも自動車を使わない
231	1038	運動のためのも、近所の移動は、徒歩や自転車の移動に勤めることが必要と考える。 公共交通機関の移動は、田舎であれば(呉市内であっても)、便数が少なく、難しい。
232	1038	自動車による移動を、できるだけ公共交通機関または徒歩に切り替える。
233	1038	一度に多くを改善することは難しいと思うし、長続きできないとも思う。小さな改善を継続すること、積み重ねていくことを目指していきたいと思う。
234	1038	徒歩や自転車を使うよう心がける。
235	1038	近隣地への交通手段を自転車や徒歩に切り替えること。
236	1038	自転車で移動可能な距離では自動車は使用しない。
237	1038	用事をまとめて、利用回数や距離を縮減する。
238	1038	出来るだけ乗り合い(同乗)するなど、車の使用を控えたい。
239	1038	公共交通機関の利用。近くへは、自転車、徒歩で移動する。
240	1038	私自身は車をほとんど使用しないので、「かしこいクルマの使い方」について家族で十分に話し合い、地球環境の保全ということを常に意識して行動していきたい。
241	1038	・1人での外出時には、車を極力使わないようにする。 ・次回、車の買い替えを行う際は、ハイブリット車など環境に良い車の購入を検討する。
242	1038	たくさんの買い物や予定しているときや、遠方に行く場合で交通機関が不便な場合に利用する。 また、病人や体の不自由な人を目的地へ移動させる場合に利用する。
243	1038	なるべく公共交通機関を使用する。 なるべく自転車を活用する。
244	1038	・通勤手段は、今までとおり自転車を使用したいと思います。 ・家族にも近所に出かけるときは、車以外の利用を進めたいと思います。 ・車を使用する時は、用事をまとめて一度で済むようにしたいと思います。
245	1038	この調査を見る限り、「使わないこと」。
246	1038	趣味がドライブということで、クルマは手放せないが、他の買物などは、駐車場所も考えないといけないし公共機関が有効と思える。
247	1038	家族全員で公共機関の利用を考えるよい機会ができた。
248	1038	本来あまり自動車は使用していない。 必要最低限での利用としたい。
249	1038	一度の外出で済ますことのできる用事はなるべくまとめる。



## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
250	1038	車はとても大切な交通手段だが、環境や健康のことを考えると、利用は必要最低限にしたほうが良いと思う。 近場は徒歩・自転車等を利用するように努力していきたい。
251	1038	近くで、あまり負担のかからないときは、車を利用せず、徒歩で行くように家族全員で考えていきたい。
252	1038	近所(片道徒歩15分以内)の買い物には車を利用しない。
253	1038	徒歩や自転車等で移動できる場所については、できる限り車の使用をしないように心がけたい。
254	1038	勤務の都合上、自家用車の利用をやめることができないので、休日の移動について、自家用車の利用、交通機関の利用をできるだけ少なくし、徒歩、自転車の利用を考えていきたい。
255	1038	買物は量が少ない時は徒歩にしようと思います。
256	1038	我が家の自家用車はハイブリットカーのプリウスです。
257	1038	近所に出かけるときは、徒歩や自転車を使う。
258	1038	歩けるところは歩く、公共交通機関のあるところは、それを使う。
259	1038	市内での電車、バスの利用
260	1038	交通機関を使うという意識の醸成
261	1038	できるだけ公共交通機関を利用する。
262	1038	時間に余裕をもって、公共交通機関を利用することを考えたい。
263	1038	交通機関が利用しにくい場所や時間帯にできる限り限定して利用すべきだと思う。ただ時間つぶしのための車の利用を、資源の面でも控えるべきだと思う。
264	1038	特別な事情がなく、身軽に行動できるときはなるべく自家用車は使わないようにする。
265	1038	買い物は、できるだけ近所で済ませ、自動車は利用しない。
266	1038	できるだけ、徒歩自転車利用を心がける
267	1038	自転車の活用。
268	1038	省燃費運転をする。アイドリングストップに取り組む。
269	1038	可能な限り、バス等公共交通機関をりようする。 場合に応じて隣近所で乗り合わせる。
270	1038	普段は平日、休日とも自動車を使用する機会は多くない。また外出の際の移動手段は自転車である。このため、このような取り組みをする以前の状態である。 ただし、最近新車を購入したばかりであり、自動車を使用する際には、「かしこい車の使い方」を考えてみたい。
271	1038	一人で移動する場合は、できるだけ公共交通機関を利用する。
272	1038	個人的には、なるべく徒歩圏内は徒歩で移動したいと考えている。
273	1038	現在でも一人で車に乗ることはほとんどなく、また短い距離をくるまにのりこもない。 したがって、結果としては、いわゆるよい乗り方をしていると思うので、これを続けていく。
274	1038	所要箇所周辺の公共交通機関情報を事前によく調べ、本当にクルマである必要があるかどうかの意思確認を家族みんなで考えて行動したいと思っています。
275	1038	車を運転するときは、エコ運転を心がける。 仕事帰りに車で駅まで迎えに来てもらうのを控えて、歩くことにする。 次に車を買換える時には、燃費のいい車に換える。
276	1039	クルマを使用するとき、行動目的を達成するために本当にクルマの使用が必用なのかを考え行動する。
277	1039	短距離は変更が可能か考える習慣を・・・
278	1039	単に移動するだけの場合はできるだけ車を利用しない。
279	1039	平日頃、徒歩、自転車、バス等の使用を心がけている。
280	1039	元々、無駄だと思われるときには自家用車を活用していない。現在は、アイドリングストップを実行しているが、一々エンジンを切ることが面倒である。低公害車に買換えをしたいとは思いますが、金銭的なこともありなかなか直ぐには実現できないもどかしさがある。
281	1039	自転車の利用
282	1039	近場への移動に車を使わない。
283	1039	一人で外出の際や市内への外出の際は、なるべく車の利用は避けて、公共交通機関を利用するよう心がけたいと思います。
284	1039	自分の住んでいる地域は坂道が多く、自動車や原付はせいこつを送って行く上で必須になっている。 しかし、遠出をする時などは公共交通機関の使用するなど、削減できる部分はあると思うのでいろいろと考えてみたい。
285	1039	自転車で無理なく行ける範囲は、極力自動車は利用しないように心がける。
286	1039	市街地へ出かけるときは極力マイカーでなく公共交通機関を使う。
287	1039	・偶には電車やバスを利用してレジャーに出かける。 ・近場では極力自転車を利用する。
288	1039	多人数での活用利用を行うことが考えられる。
289	1039	一人で移動する場合には極力自家用車は使用しない。
290	1040	制限速度をあまり超えない。
291	1040	自転車で30分の距離なら自転車で移動する。同行者や荷物が多い場合にのみクルマを使う。

## 5.参加者コメント集

## (工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
292	1040	意識して車の使用を控える
293	1040	自動車の保有継続について家族で検討していますが、結論としては自己保有を止めることになりそうです。マンションの理事をしています。マンション全戸で使用できる自動車が保有できる仕組みを補助してくれるなど、もっと簡易に(レンタカーなど)自動車の共有ができるしくみがあると助かります。
294	1040	1回の外出で、複数の目的を達成するよう事前にスケジュールを立てて行動しようと思います。
295	1040	用途に応じて乗り物を変えていく事と、エンジンをかけっぱなしにしない等。
296	1040	車利用を必要としない場合はできるだけ公共機関を利用したい
297	1040	近隣への移動の際は、積極的に自転車を使いたい。
298	1040	近くの場所に行くには、徒歩や自転車で移動する。クルマでないと不便な場所以外は極力、公共交通機関を使用する。
299	1040	公共交通機関をできるだけ利用する。
300	1040	時間制約で使っていく
301	1040	絶対必要でないとき以外は使用しない。
302	1040	公共交通機関利用の促進
303	1040	これ以上、削減は出来ません。
304	1040	前記しましたが、車の利用(移動手段)は 徒歩・自転車の利用 > 公共共通期間の利用 > 車輛(乗り合い)利用 > 個人での車輛利用 で考えております。
305	1040	近隣は歩く
306	1040	特にナシ。 しかし、今後住みやすい地球づくり、国づくり、地域づくりには賛同したい。 個々が負担、不便と感じるような取組案は成功はしないと思う。
307	1040	少しの距離は徒歩や自転車で移動し、遠出をするときもなるべく交通機関を利用して車の使用を控える。
308	1040	アイドリングストップ
309	1040	要件まとめてできるだけ1回で済ませる。車を使用する場合でも燃費にやさしい運転を心がける。 今後の促進
310	1040	同乗 交通機関の利用
311	1040	一人で動かない。動くときは公共交通機関を利用する。
312	1040	週末のみマイカーを使用する
313	1040	買い物等に行く時、1回ぐらいいはクルマを利用しない。
314	1040	可能な限り、バス等の公共交通機関を利用した移動を心がける。
315	1040	共同利用又は使い分けをしていく
316	1040	自転車をもっと使用するべきかなど考える
317	1040	・バスの代替(排出基準を満たした車両に変更) ・家族での平日の車を利用した買い物をやめ、休日にまとめて買い物をする。
318	1041	公共交通機関の利用を今より多くする
319	1041	徒歩、電車が不可能な場合のみ車を利用
320	1041	環境に優しい車を開発し官民ともに導入する事も大切と思量します。
321	1041	マイカー利用は最低限に抑えたい。交通情報などを活用してスムーズな移動を心がける。家庭内での話題の一つとして取り上げる。
322	1041	個人的使用は避け、複数人で乗車に使用。
323	1041	公共交通機関を利用すべき場所に行く場合には公共交通機関を利用し 遠方へ(交通機関を利用できない場)行く際は自動車を利用する。
324	1041	車を使わなくてもよい交通手段を考えるように心がけようと思います。
325	1041	無駄なアイドリングはしない。 大人数で行動するときは、出来るだけ乗り合いをする。 用もないのに出掛けない。
326	1041	暑いときは、エアコンを入れずに窓を開ける。 移動距離が近いときは、車を使用せず自転車や徒歩で移動する。
327	1041	車からのCO2排出量を少なくすべいい!!!
328	1042	徒歩、自転車、あるいは公共の交通機関の積極的利用。
329	1042	乳児を連れての買い物に車を使用する機会が多いため、なるべく買い物の回数を減らす(まとめ買いをする)ことを引き続き実践する。
330	1042	車を使用するときは、用件をまとめて1回ですますようにする。
331	1042	買い物は、できるだけ近場ですませる。バス、電車を積極的に利用する。
332	1042	近隣の移動は極力公共機関を利用したい。
333	1042	公共の交通機関での移動は時間を要すことから、ケースバイケースにならざるを得ないものと思う。 プライベートにおいては、家族に障害があるため、公共の交通機関の利用は困難なのが実態である。
334	1042	公共交通機関や自転車を利用し、自動車は交通が不便な場合や荷物が多い場合などに限り使うように心がける。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
335	1042	徒歩・自転車・公共交通機関を使えない場合に自家用車の使用を考えます。
336	1042	近くへの外出は自転車を利用するか徒歩で行く。 一人で外出するときは、なるべく公共交通機関を利用する。
337	1042	長距離移動時に、走行距離が長くなるが移動時間が短い高速道路を活用しているが、時間はかかっても、短距離のルートを走行。
338	1042	不必要にマイカーを使わない。
339	1042	自動車を利用するときは、複数の用事を一度に済ませるなど、効率的な利用を考える。
340	1042	買い物はできる限りまとめ買いをし、今のように毎日の買い物を避けることで車利用の頻度を減らす。 できるだけ相乗りを心がけ、公共交通機関との併用も工夫する。
341	1042	通勤には、公共の交通機関を利用する
342	1042	近場の買い物等は自転車を活用したい。
343	1042	現状の住環境においては、自動車なしの生活は無理であるが、計画的に使用することによって、使用回数を削減したい。
344	1042	・燃費のいい車に乗る。 ・エコドライブを行う。 ・近い場所は自転車で移動する。 ・公共交通機関が発達した地域で、クルマを使うより経済的にメリットがある場合は、なるべく公共交通機関を利用する。
345	1042	環境保全を大前提におき、目的・時間・費用に応じた移動方法を都度考える。
346	1042	ドイツ等で実施されている週末の市街地への自家用車の乗り入れ禁止などを国の仕組みとして導入すべき
347	1042	車を利用した買い物は効率よく一気に済ませる。 通勤には車を利用しない。交通の便の悪いところは徒歩にする。
348	1042	小さい車と大きい車を使い分ける。二人のりで20万ぐらいの維持費のかからない車があればいいと思う。
349	1042	・公共機関を使うようにする。 ・複数人数で乗るようにする。
350	1042	燃費を考慮した運転
351	1042	公共交通機関が利用可能な場所には、公共交通機関で行く。 買い物などはまとめて効率的に行なう。
352	1042	公共交通機関を利用する。
353	1042	日々、環境に対する意識をもって継続することが重要だと考えます。 1. 不必要な使用はしない。 2. 計画的(用事はまとめて)に使用する。 3. アイドリングは出来る限りひかえる。 4. エアコンの設定温度を下げる。ピーク時以外は電源をOFFにする。
354	1043	我が家に車が3台ありますが、出来るだけ使わない工夫をし、家族の用事を整理して1台で回れるところは1台で行動するようにしていく。
355	1043	自動車以外の交通手段で対応可能なケースでは、健康のことも考え徒歩・自転車での移動を優先させる。
356	1043	移動する距離、人数などを総合的に勘案して、自家用車をなるべく使わないようにしたい。
357	1043	車での移動が必要であるか考え使用する。
358	1043	アイドリングストップ
359	1043	・なるべく同乗する。 ・特に用事がない場合は、車の使用を控える。
360	1043	近隣への移動は公共交通機関を利用するよう心がけたい。
361	1043	車は出来るだけ乗り合いにする 近隣まで車で移動して、公共交通機関を利用する
362	1043	こまめなアイドリングストップの実践。
363	1043	平日は車の運転を控える。休日もできるだけ、控える。ゆとりをもった運転をし、急のつく運転はしない。
364	1043	近場は徒歩・自転車を使用する。
365	1043	次回、車を買換える時は、環境によりハイブリット車を購入する。
366	1043	余暇をすごしたり、家族で移動したりする場合は車は欠かせません。反面、通勤や通学等はやりくりすれば公共交通機関を利用できるのではないかと思います。効率的な利用が重要です。
367	1044	・今後は、少しでも体力を使う方法で車(バイクを含む)を使わない外出方法を考える。 ・公共機関の優先使用。
368	1044	交通機関等で行ける所は、自動車を使わずに移動する。また、乗合いが出来る箇所については、極力同乗する。
369	1044	買物等で近くに出るときは、なるべく歩きや自転車で行くようにする。
370	1044	広島市内へ行くときは、途中から電車で行く。
371	1045	最寄に公共交通機関がない等、やむを得ない場合にはクルマを使用し、その他の場合は公共交通機関を利用する。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
372	1045	外出先が5キロ以内の場合は、自転車を使用する。 荷物の多い場合に、クルマを使用する。
373	1045	時間に余裕をつくり、バス・電車を使用する
374	1045	通勤に使用するときには、1人1台とならないよう乗り合わせで通勤する
375	1046	近場はできるだけ自転車で移動する。
376	1046	同乗者人数、移動距離、移動場所に応じたより良い交通機関選び。 (一人で近距離に出かけるのには車を使わないようにするとか。)
377	1046	同じ団地内の同僚三人で自家用車一台へ相乗りして、二酸化炭素の削減に努めたい。
378	1046	近距離は極力自転車などを利用、遠出する際は極力公共交通機関を使える場所を選定するよう心掛けたい。
379	1046	公共交通機関が利用できるのであれば、積極的に活用していく。近場は徒歩、自転車とする。
380	1046	・近くの場合は徒歩、自転車を利用する。 ・市内中心部に向う場合はバスなどの公共交通機関を利用する。 ・車を使用する場合は渋滞の時間をなるべくさける。 ・車を使い移動する場合はなるべく高速道路を利用し、移動時間を短縮する。
381	1046	通勤時の相乗り
382	1046	・近距離の買物は自転車で移動するようにしたい
383	1046	できるだけ乗合にて、最小限に留める工夫をしたいと思います。また、日々アイドリングストップには取り組んでいます。
384	1046	同じ場所での打合せは、同乗させてもらう。
385	1046	できるだけ週末に買い物を中心させて、平日に自家用車で買い物を行う回数を削減する。
386	1046	自転車の利用
387	1046	かしい車の利用法についてもっと情報の提供があればと思う。例えば、テレビのコマーシャルなどを利用することも良いと思う。
388	1046	公共交通をできるだけ利用する。車の利用は次の3点にしばって努力する。 時間の余裕がない場合 公共交通機関がない場合 荷物が多く、車でないと物理的に不可能な場合
389	1046	1日中車ではなく、目的地向くためのツールに過ぎない。ここからは手足を動かし、健康を維持するためのゴルフ、テニスを数時間続ける。 長時間車の運転しての移動はバス等を利用する。
390	1046	アイドリングストップを実施する。その他、休日の行動で車を利用する場合においては、明確な目的地を設定し、事前にルート进行调查しておき無駄な走行を無くす。複数での移動は、あいのりするなど台数を減らす。
391	1046	利用回数の多い業務での車の使用を抑え、公共交通機関などの使用を行う。 近いところは、健康を考慮し徒歩や自転車を利用する。
392	1046	・用事はまとめて車を使う回数を減らす。 ・家族の予定を調整し、できるだけ相乗り等を行う。
393	1047	近くの移動は、徒歩あるいは自転車等を利用する。 車での移動は、相乗りを心がける。
394	1047	・買物の場合には、できるだけ車を使わなくても行けるような所を選ぶ。 ・自転車をもっと有効利用する。
395	1047	近隣への買い物など、日常的な使用では、過剰な車の使用を抑える。 自動車を使用する場合は、エコドライブを実践。
396	1048	代替手段が乏しい中では、車の利用自体を減らすことは困難。 いらぬ荷物を積んだままにしない。外出する時間がずらせる場合には、混雑(渋滞)時間帯を避ける。
397	1048	最近では街中や団地などでも、やたらと不必要な加速をする車が多く、CO2排出が多いだけでなく危険であると感じます。 車の性能が自己の能力であるかのような勘違いを無くすためにも不要な急加速(これに伴う急減速)をしない運転をしたいと思います。 (トラックはリミッター絶対必要だと思います。)
398	1048	公共機関で行ける所は公共機関を利用する。
399	1048	利用すべきときに計画的に使用し、代替交通機関が利用できるときは必ずそれを使う。
400	1048	ちょっとしたことでも車を使いたがるが、健康促進のためにもなるべく徒歩で済ませようと思う。
401	1049	公共交通で移動可能な場合は、極力、車を使用しない。
402	1049	公共交通機関であるバスの便が増えれば多少バス利用を考える
403	1049	通勤については、鉄道及び、自転車を利用し極力自動車を使用しないよう心がける
404	1049	環境のことを考えながら車を使用していきたい。
405	1049	隣近所で乗合をして車を利用。
406	1049	公共交通を利用できる場合は、公共交通を利用する。
407	1049	買い物も極力、自動車を使用しない。
408	1049	使いやすいからと、無意識に車を使うのではなく、出来るだけ環境に配慮し、自らの健康作りも考えて使用するようにしたいと思います。
409	1049	近所の買い物でも自家用車でやっているのを、運動のためにも自転車を使いたいと思う。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
410	1049	緊急を要する事柄以外は、できるだけ公共交通を利用する。
411	1049	通勤について自転車を使うように努力したい 近くの買い物等は車を使わないようにしたい
412	1049	現在の車社会の中で、地方公共交通機関の衰退の中、田舎の方では自家用車の利用は絶対切り離せない
413	1049	公共機関を利用すると共に、自動車運転中「停車中」はできる限りエンジンをストップを基本的に運転していきたい。
414	1049	可能な限り一人一人が別々の自動車を利用することを控え、同乗を考える。
415	1049	目的地まで車で移動するのではなく、最寄りの駐車場等を利用し、渋滞緩和ができればいいと思う。
416	1049	私の場合、「移動」が一番多いのは通勤時である。JR利用を主としているがたまに車を利用する。通勤はJR利用にする。
417	1049	旅行の際に自家用車オンリーであったものを公共交通機関との組み合わせを検討していきたい。
418	1049	出来るだけ、公共の交通機関を使います。
419	1050	いつも車による移動がBESTな方法ではなく、その時その時のTPOに応じて、最適な交通手段が何なのかを常に考えて選択するようにします。
420	1051	車の便利さは他の公共交通手段ではカバーできないものがある。今の社会は、戦後、車を前提とした生活に傾斜していった結果であるので、急激に転換するのは難しいと思う。人口減少に伴い、まちのあり方が問われている今、車に頼らなくてもよい都市への模索を始めるべきである。ただし、車自体も時代に応じて急速に変化しているの、敵対視すべきではないと思う。
421	1051	・買い物や休日出勤は、出来るだけ電車を利用する。 ・ゴルフに行くときは、出来るだけ相乗りをする。
422	1051	都心に出かけるときは、バスを利用する。
423	1051	自転車で移動可能な距離はクルマに乗らない。
424	1051	手軽で便利なマイカーを全く使用しないことは容易でないとと思うが、環境、交通安全等を意識してできる限り公共交通機関を使用していくよう心がけたい。
425	1051	なるべく車を使用しない。
426	1051	時間的に余裕のある場合には、可能な限り公共機関を利用することを念頭に置くこととしたい。
427	1051	プライベートではできるだけ公共交通機関を利用したい。
428	1051	簡単な用務についてはバイクを利用する。
429	1051	近くには、なるべく徒歩などでいく。
430	1051	1日中、自転車に乗り、スタンプラリーをするなど車に変わる身近な乗物でのキャンペーンを企画し、車と環境の有用性をアピールする。
431	1051	不必要な使用をやめる。 アイドリングストップの徹底。 相乗りの推進
432	1051	手ぶらに近い場合や一人での移動は、できるだけ車に乗らない。
433	1051	近距離移動はできるだけ、徒歩、自転車とする。
434	1051	検証が難しく、実施率が低くなる。今のシステムでは地球温暖化に貢献したという達成感が全く無く、今の方法では継続の見通しは低い。
435	1051	1人で移動するときに、荷物がなく、公共交通機関がある場合は、極力車を使わないように継続して取り組んでいきたい。
436	1051	外出する時、ちょっと時間をおき、自動車の利用の適否について考えるようにする。
437	1051	公共交通機関の利用
438	1051	公共交通機関を積極的に利用する。
439	1051	短距離で車は利用しない。 一人で車は利用しない。
440	1051	荷物等の事情を除き1人1台の使用をしない。
441	1051	近い所は、なるべく徒歩等に切り替えて移動する。
442	1051	どの方法が一番経済的であるかを考えて行動していきたい。
443	1051	公共交通の便がよければバス等を使用するが、場所によっては、バスがないところもある。現在は、郊外型の店舗が多くそれに見合う公共交通を考える必要もあるのでは？
444	1051	自転車を使う。ただ家族のなかには、移動にどうしても車が必要な場合がある。これどうしようもない。
445	1051	休日なるべく遠出しないように、車での外出を減らす。
446	1051	全ページでも回答したとおり、状況(乗り合わせる人数や、目的地に駐車場が確保できるかなど)に応じて、臨機応変に使い分け、賢いクルマ利用をしていきたい。
447	1051	できるだけ同乗する。
448	1051	近場には健康保持のためにも、できる限り徒歩にする。
449	1051	クルマの利用は、必要最小限とする。
450	1051	不要不急の場合はできるだけ車での外出は控える。 1日の行動計画を立てて、用事は1度に済ませるようにして、車の使用頻度を減らす。 車の便乗に心がける。
451	1051	徒歩や自転車をかうように心がける
452	1051	乗合せ

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
453	1051	日常の買い物などは、できるだけバスを利用する。
454	1051	今まで遠方の親戚・ミニ観光等に出かける時はクルマを使用していたが、公共交通機関を見直し、できる限り公共交通機関を使用していきたい。 JRはもちろんバスの運行経路・運行時間を、より詳細に知る努力をしていきたい。
455	1051	バイク利用がほとんどであるが、極力バスや徒歩に切り替えていきたい。
456	1051	効率よくクルマを使うよう考えていきたい。例えば、家族の外出時間を合わせるとか、買い物も一度で済ませれるように行き場所を考えたりしたい。
457	1051	・近隣への移動は、徒歩、自転車、バス等を利用する。 ・できるだけ1人で車利用は控える。
458	1051	街中への買い物は、バスを使用する。 自動車を利用するときは、乗り合わせて行くことを心がける。
459	1051	相乗りを多用していきたい。
460	1051	先ず公共交通機関を使うことを考えて移動する
461	1051	できるだけ相乗りするなど、効率的な移動を心がける。また、不要不急な移動そのものを控えるよう問い直す。
462	1051	車庫でのアイドリングストップに心がけます。
463	1051	自転車などの利用
464	1051	短い距離を自転車や徒歩にするのはもちろんのこと、中距離程度の移動についても自転車を用いるなど考えていきたい。
465	1051	自転車と公共交通の組み合わせ利用。
466	1051	休日においては、レジャーでは相乗りするとか、買い物は公共交通機関をなるべく利用するとか、今後も自動車利用率を低減することにより環境改善にも寄与できるよう、出来る限り努めていこうと思う。
467	1051	・相乗り ・歩けるところは歩いていく。
468	1051	車の使用はなるべく控える。
469	1051	公共交通機関を極力使う。
470	1051	車は、便利な交通手段で、なかなか無くすことは無理である。しかし、近くは、徒歩等で行動することを心がけたい。
471	1051	バスの便が少ないなど、交通の便が良いとはいえないが、外出時間を調整するなどして、できるだけ公共機関を使用し、それ以外の場合のみ車を使用していきたい。
472	1051	やむを得ず車を利用する場合は、目的地への最短ルートを選び時間短縮に努める。
473	1051	車の利用は、最小限度にするように心がける
474	1051	都心への買物はバスで 近くのスーパーへは自転車で 行けるように心がける
475	1051	家族の移動＝自動車ということではなく、近隣施設へは自転車や徒歩で出かけることを考える。
476	1051	休日の買い物等時間の余裕のある時に公共交通を利用
477	1051	車なしの生活は考えられないため、二酸化炭素等がでない水素自動車など環境に考慮した自動車は販売されれば、積極的に買え替えます。
478	1051	旅行等はなるべく公共交通機関を利用するとともに、自転車を活用する
479	1051	必要な場合を除き、率先して公共交通機関を使用し、クルマの使用は控えたい。(燃料の節減を心掛ける)
480	1051	天気の良い日や短い距離なら、クルマ以外の交通手段を活用したい。
481	1051	自宅 目的地(車)ではなく、最寄りの公共交通機関の駅まで(車) 目的地が理想的(パーク＆ライド) (そのためには、郊外駅周辺の駐車場の整備が必要である)
482	1051	短い距離の移動は、自転車・徒歩で移動しクルマを使わない。
483	1051	従前から、車はほとんど休日しか使用していないため、今後も変わらないと思う。 また、広島市内の公共交通機関の貧弱さ(利便性・高速性)に伴い、日頃より自家用車、自転車、徒歩等に頼っている。車の無い社会の実現に向けては、公共交通機関の充実を図るべきだと思います。
484	1051	常にマイカー利用を移動手段の最後の選択肢とする。
485	1051	とにかく自転車を利用する。
486	1051	・アイドリングストップや緩加速などによる燃費の向上 ・渋滞箇所を避けるとか無駄な往復がない走行ルートの選定など、行動プランの事前検討
487	1051	相乗りによる通勤手段や車番の末数字の日には車にのらないように心がける
488	1051	できるだけ乗り合いを考える
489	1051	代替手段があるときは極力それを使って行動する。 車で移動するとき、必要でないものは積まないし、ガソリンの積載も30リットル以下とする。」
490	1051	通勤・通学は極力公共交通機関を利用するよう努める。但し公共交通機関の整備・充実・強化が必要である。
491	1051	公共交通機関が利用できる場合は、できるだけクルマは使わない。
492	1051	街中等駐車場のないところなどは、電車バス等でいどうする

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
493	1051	現在バイクを使用している部分も、近い場所ではできるだけ自転車使用に切り替えし、市街地に出かけるときはアストラムラインを利用するよう心がけます。
494	1051	不要な車の使用は控える。
495	1051	複数人で複数の目的地を移動する場合は、クルマを利用する。 また、一人であっても、公共交通機関では不便な場合は、クルマを利用する。
496	1051	クルマでなければならない場合以外のクルマの使用を控える
497	1051	不必要な使用を避け、相乗り等が可能であれば心がける
498	1051	車は家族の団体行動や必要なときだけにしよう、心配りを怠らない。まずは、車での行動を基準にするのではなく、他の手段がとれないか、模索することに留意しました。(経済的にはかなり車が有利な場合があるので悩みますね)
499	1051	自転車の使用
500	1051	乗車が複数人の場合に限定して利用したい。
501	1051	近距離の利用はできるだけ控える。
502	1051	公共交通機関をできるだけ利用する。
503	1051	自動車を使おうとするその前に、電車、バス、自転車など他の交通手段が使えないか、考えてみる こと
504	1051	なるべく乗りあってクルマの使用台数を減らす。
505	1051	「使わないようにする」には、不便さなどから抵抗が大きい。 乗り合わせなどで
506	1051	若いうちは自転車を積極的に使う。
507	1051	電車など利用できる機会は出来るだけ利用したい。 そのためには公共交通施設の充実が前提である。
508	1051	公共交通をあり方を提案していきたい
509	1051	・ゴルフなどに行くときは、出来る限り、相乗りで目的地に行くように取 り組みたい。 ・買物については、出来る限り、自転車(徒歩)で目的地に行くように取 組みたい。
510	1051	これまで通り、交通機関や徒歩、交通用具で代替可能な場所への移動や、極力車を使用しように する。
511	1051	公共交通機関での利便性が高い都心等へ出かける場合(買物やレジャー等)でも、今までは車 での利用が多かったが、今後は公共交通機関を積極的に使っていきたい。
512	1051	公共交通機関の利用。
513	1051	近距離の移動(買い物等)は自転車を使う。
514	1051	なるべくクルマを使うことなく、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するよう心がけていきたい。
515	1051	市内方面への用事の時には公共交通機関を利用する。
516	1051	週末のクルマでの外出を控える。他の外出手段を利用する。
517	1051	時間的余裕があり、公共交通機関が利用できる時は利用する。
518	1051	使うときは、使う。でも、近くは、自転車に対応する。
519	1051	乗車回数を減らす。
520	1051	相乗りとできるだけ用事をまとめて処理する
521	1051	用事をまとめて、車を使用する。
522	1051	荷物が無い場合は車を使用しない。
523	1051	都心部への移動は、公共交通機関を利用する。
524	1051	レクリエーションも含め、乗合で車を使用する
525	1051	最小限度を心がける
526	1051	可能な限り、公共交通機関を利用する。
527	1051	・一日のスケジュールを出発前に把握する ・効率的な運行計画を頭に入れる
528	1051	近所のスーパーなどへの買い物は自転車で行くようにする。たまには徒歩も取り入れる。 自動車でも遠方に出かける時は、その道なりに効率良く一度の外出で用事を済ます。
529	1051	車の利用は最小限にする
530	1051	前のページでも回答したように、できるだけ公共交通機関を利用するよう気をつけたい。
531	1051	荷物が多い時、又は非常に急ぐ時にだけ利用する。
532	1051	残業の予定の無い時は、極力公共交通機関を利用する。他の者は、変更が利かないので、休日 の同乗等で対処する。
533	1051	一人乗りは、最小限にする。
534	1051	なるべくバイクを使う
535	1051	近くに行く際には、できるだけ徒歩か、自転車を利用し、車を使わないようにしたい。
536	1051	自転車、公共交通機関の積極的活用
537	1051	自転車などの無公害交通機関の利用を増やす
538	1051	できるだけ、車利用は避けるようにしていきたいが、常に意識をしていかないと、継続することは難 しいと考える。 したがって、意識の継続を図っていきたい。
539	1051	1 乗り合わせる。 2 近距離の移動には、自転車を使用するために、家族全員分の自転車を購入する。
540	1051	自動車での外出は、真に必要な場合に限りよう努める。



## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
541	1051	単身の移動手段とし利用することを控える
542	1051	ひとりでの自家用車の使用の自粛
543	1051	最低限の利用とし、1人乗りは避けるよう心掛けたい。
544	1051	車を利用する時には「ノーマイカーデー」(キャンペーン)を意識するようにしたいと思います。
545	1051	必要な時以外はつかわない
546	1051	市内へ出かける場合、荷物が少ないときはアストラムラインを積極的に利用する。
547	1051	単独で乗車する回数を削減する。
548	1051	家族と車の利用状況をよく話し、一緒に行ける場合等を吟味し車の利用回数を減らすように行動する。
549	1051	自宅が山の上なので、買い物等はできるだけバイクを利用する
550	1051	車の代わりにバイクや自転車を使ってみる。あるいは歩いていってみる。車は一人では乗らないようにするとか考えてみる。
551	1051	休日の車規制は今の日本には難しいと思う。平日の5日間(通勤、通学)の車規制を行うべきと考えるが、公共交通機関の体系整備がマイカーの人数規制(条例により罰則をもうける)などを行うべきと考えます。
552	1051	できるだけ、車を使用しないようにしているが、休日は時間的な無駄がないようどうしても車を使用する機会が多い。 現状では、しかたないと考えている。
553	1051	移動の目的等を常に意識し、不用不急の場合、車利用はできるだけ自粛する。
554	1051	車は他の代替手段がないときにのみ使うように心がける。
555	1051	極力自転車の利用に切り替える
556	1051	市内への乗り入れる車の規制(例えば、日によって偶数、奇数しか乗り入れできないような規制)を行うような事をしないと進まないと思う。 車の渋滞によるCO2の増加を防がなければならないと思う。 相乗り運動も考えてはどうか?ほとんどの通勤車両は一人乗りとなっている。
557	1051	ある物はどうしても使用することとなると思う。今後車の更新時期には低公害車にしたい。
558	1051	車の運転が好きではないにもかかわらず利用しているので、これ以上車を減らすことはできない。したがって、バイクを徒歩にする位かな。
559	1051	自宅はバス・JR等公共交通を利用しやすい条件に恵まれているので、できるだけそれを利用する。最近5年間ほどは自転車を使用していないので、できるだけそれを使用する。
560	1051	近距離は荷物がない時は出来るだけ自転車を使用する。
561	1051	通勤は雨の日以外は自転車とする。
562	1051	相乗りの実践や低燃費の車の使用などに配慮する。
563	1051	燃料費も高騰しているのでできるだけ利用を控える
564	1051	健康のためにも、環境汚染防止のためにも、できるだけ自動車を使用しないような生活を心がけたい。
565	1051	最小限の外出とする。
566	1051	近場は、出来るだけ歩く。
567	1051	自動車利用から自転車に切り替えるよう努力する。
568	1051	・軽自動車での通勤 ・駐車中のアイドリングストップ ・消費燃料カットグッズの取り付け
569	1051	少なくとも市中心部など交通の便がよい所へは、公共交通機関を使う
570	1051	生活実態からは、自家用車利用は欠かすことはできませんが、休日に時間の余裕があれば、近所での用事などから徒歩や自転車で済ますようにしていきます。 また、自家用車を買換える機会があれば、ハイブリット車なども検討してみたいと思います。
571	1051	公共交通機関の積極的な利用。
572	1051	車の使用は、個人個人の判断で行っているが、例えば家族の中でこのことについて、話をする事。
573	1051	本当に車でしか行けないところへ行く時。 買い物などでは、車でしか運べない量の物を購入する時だけにする。 週単位で、自分の行動スケジュールを確認しておき、車で外出する際には一度に済ませることが出来るような行動をする。
574	1051	できるだけ自動車よりは公共交通機関を利用するように意識して行動する。
575	1051	快適な生活を送るために、自家用車の利用も不可欠であるが、健康のために近所へは徒歩で移動するとか、急ぎの用ではない時には余裕をもって、バス等の公共交通機関を積極的に利用していく。
576	1051	可能な限り、公共交通機関を利用することとし、目的地等を勘案して、選択肢が自動車のみである場合にだけ自動車を使用することとしたい。
577	1051	自転車を活用する。
578	1051	代替手段が困難な際に車を利用する
579	1051	都心部へ移動するときは交通機関で。
580	1051	近距離での使用を控える。 少しの時間でもアイドリングを控える。
581	1051	近いところは歩いたり、自転車で移動する。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
582	1051	徒歩、自転車の活用
583	1051	公共の交通機関を基本とし、自家用車は必要最低限の利用とする。
584	1051	仕事の忙しい時期が過ぎたら、マイカー通勤をやめて自転車に替える。 近場の移動は極力徒歩にする。
585	1051	代替する交通手段がある場合には、極力クルマを使わないように心がける。
586	1051	バイクによる通勤を公共交通機関へ代えるよう努める。
587	1051	1. 自動車で使用せざるを得ないときは、可能な限り複数の要件を一括して行い、自動車の利用回数の抑制に努める。 2. 趣味で、遠方へ一人で行くときは、原則、鉄道やフェリーを使用するようにする。 3. 自動車の買い替えの際は、ハイブリッド車やディーゼル車のよう に、省エネタイプのものを選択する。
588	1051	所要時間にあまり差がないのであれば積極的に公共交通期間を利用する。
589	1051	時間に余裕のあるときは、できるだけ徒歩による移動を心掛けるようにする。
590	1051	目的に応じた使用を考えたい。
591	1051	休日における自家用車の使い方について、より効率的な使い方を考えながら検討していきたい。
592	1051	近くへ行くときは、できるだけ徒歩、自転車でいく、また、遠くへいくときも、公共交通機関が利用できれば、できるだけ使用するよう心がける。
593	1051	通勤、通学は公共交通機関を利用し、買い物は回数を減らし自動車の利用回数を減らすよう努める。 また、レジャーの回数を減らす、移手段に汽車等の公共交通機関を利用するなど自動車の利用回数を減らすよう努める。
594	1051	自転車のできる限り利用する。
595	1051	自家用車を使わざるをえないことが多いが、家族で出来るだけ乗り合わせて出かけるなどくふうをしていく。
596	1051	こどもが大きくなり、公共機関の活用が可能となれば、公共機関による移動をしたい。
597	1051	合理的使用を心がける。
598	1051	徒歩、自転車が利用できる場合は、できるだけ自動車を利用しない。
599	1051	○通勤には、自家用車をなるべく使用しないようにする。 ○自家用車による旅行が好きであるが、今後は、JR等の利用も加えたい。
600	1051	近い場所等への移動については、できるだけ徒歩や自転車を利用するよう努めること。
601	1051	時間的・気分的余裕がある場合は、バスなどを利用する。 用事をまとめて済ませることができれば、まとめて済ませる。
602	1051	通勤には公共交通機関を利用する。
603	1051	・休日はなるべく公共交通機関で移動する
604	1051	公共交通機関で行ける所は、できるだけ公共交通機関を使う。
605	1051	・車から公共交通機関にできるだけ転換する。 ・自転車、徒歩を多用する。
606	1051	近隣への移動はできるだけ自家用車を利用しない。
607	1051	一人で出かけるときは、クルマは使わない。
608	1051	バスの便数が少なくなる夜間においても、面倒がらずにバスを待つ。
609	1051	徒歩、自転車の利用が可能な場合は、自動車の利用をできるだけ控えるよう心がける。
610	1051	近くのスーパーへの買い物にクルマを使用しない。
611	1051	公共交通機関があるところまでできれば何らかの手段でかごつければ実践は可能かとおもわれます。今後はできうれば何らかの手段を考えて、なるべく車を途中までと考えると実践してみたいと思います。
612	1051	短い距離の移動は徒歩で
613	1051	必要最小限とする。
614	1051	クルマの利用は、必要最小限にする。 近距離の移動は、健康管理のうえでも徒歩で行う。 都心部に行くときは、公共交通機関を利用する。
615	1051	公共交通機関を利用できる場合は利用し、車を利用する場合で乗り合いができる場合は極力乗り合う。
616	1051	出来る限り、電車の利用を図りたい。
617	1051	車通勤をやめること
618	1051	・自分の行動目的に応じた車の使い方を考えるが、具体的に実践項目をあげることは難しい。
619	1051	・公共交通機関を利用に心がけますが、公共交通機関を利用する側だけでなく、公共交通機関を運営する会社も努力して頂きたい。
620	1051	飲む機会には、公共交通手段及びタクシーを利用せざるを得ず、そのときは実践できると思う。 パークアンドライド(熊野町)は、最初のアンケートでも書いたが、いつでも利用できる状態にならないと、利用しないと思う。
621	1051	1人での移動においては、できるだけクルマ以外の移動手段がないか、考えたい。
622	1051	移動手段としての手軽さと利便性は車に勝るものはないと思う。従って、他の交通手段をどれだけ車と同じような利便性を持たせることができるかが課題と思われる。
623	1051	「ついで」すませることのできる用事はないか? など行動計画をたてる。行動計画をたてると、必然的に車の使い方なども考えると思うので。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
624	1051	もう少し安全に走れる道路が整備されたならば、自転車を積極的に活用したい。
625	1051	平日は利用を控え、休日を中心とした利用とし、効率的な利用となるように、経路等を研究し、排ガス等の抑制に努める。
626	1051	ガソリンも高くなったので、必要最小限の利用としたい。
627	1051	細かにアイドリングストップすること。極力公共交通機関を利用すること。
628	1051	行動プランがどうこうより、もともと車はあまり使わないようにしています。従って、あえて今回のプランで変更しませんでした。したがって、今回用に考える必要はありませんでした。 日頃は、1人の移動では車は使わない、15分-30分くらいは歩く、自転車も活用するというパターンで、車を使う場面は夜間の子供の送り迎えと重い物を買に行く時くらいです。通勤に使うことなどは考えられません。(ただし、特に夜間の公共交通機関の充実は関係者に考えてもらいたいと思います。市内の午後10時以降はたいへん不便です。)
629	1051	できるだけ公共交通手段を利用する。
630	1051	できるだけクルマの利用を控える
631	1051	小型車等燃費の良い車を購入する。 共同利用に努める。
632	1051	ほんとに必要か。代替手段はないか、効率の良い車の使い方はないか。をよく考え、使っていきたい。 多人数で移動する場合は、漠然とした配車をしてしたが、台数を削減することを優先し、配車する。 通勤は、健康も考え、徒歩、自転車、公共交通機関を優先する。
633	1051	乗り継ぎが少ない場合は公共交通を使う
634	1051	自転車が中心の生活になるようがんばります。
635	1051	無意味なドライブは避ける。
636	1051	近くは、歩く。遠くは、電車を利用する。
637	1051	時間的に余裕があればぜひ健康のためにも車に依存しない(徒歩、自転車、公共交通機関)行動を起こしたい。
638	1051	車でないといけなさを考えて行動を！
639	1051	日ごろから公共交通を利用しなければという意識はあるが、自動車移動の必要性を感じるのは、移動時間が短くて済むということがある。 ときどき、時間に間に合わなくなりそうのために、自動車や原付を使うことがあるが、公共交通での移動で済ませられるように、出かける準備を早めにするようにしたい。
640	1051	近くは使わない
641	1051	自分の家族だけで自動車の利用をこれ以上制限することは無理。 今後は、友人知人との乗合をすすめるしかないが、お互いの行動を制約(行動の自由が確保されることが自動車利用のメリットなので)することや、万一の事故の場合の保障(一般に搭乗者の保険は対人の保障より少なくなっている。)がネックになると思われ、困難と思われる。
642	1051	一人での用事の時自転車等の他の方法が可能な場合は、クルマを使わないようにする。
643	1051	他の車に便乗するなどの使い方を考えていけばと思う。
644	1051	公共交通機関の利用
645	1051	アイドリングストップ、回転をあまり上げない。
646	1051	目的、場所を考えて、マイカーよりもバス、バスよりもJR・電車の利用をできる限り実践して行きたい。
647	1051	公共交通機関が利用できる場合は利用するほか、近距離については徒歩、自転車を利用したい。
648	1051	一人の場合は、自動車ではなく、なるべく原付自転車で移動することとしたい。
649	1051	公共交通機関を利用すること
650	1051	公共交通機関の活用 自転車や徒歩の活用
651	1051	ドライブするなら目的地をきめて意味なく走らないとかくらいしかないような気がします。ほとんどつかわないし。
652	1051	漫然と車に乗らない
653	1051	クルマを使う際は必ず2人以上で乗る等したい。
654	1051	アイドリングしたまま長時間停車しない。 排気量の少ない車を使用する。
655	1051	近くの移動には、車を使わない。
656	1051	用事をなるべく一度に済ますようにし、車の使用回数を減らす。
657	1051	近距離(2キロ以内)は、自転車で行動する。
658	1051	自転車等で移動できる場所(時間とのかねあいが必要)は、極力自転車等で移動するようにする。
659	1051	大勢での移動時は使用するが、自分だけとか近距離は徒歩もしくはバイクなどを使用する。
660	1051	交通機関をなるべく使用するように気をつける
661	1051	今後は、なるべく公共交通機関を利用するようにしたい。
662	1051	公共交通機関の利便性等により、すぐにバス等に切り替えることはできないが自動車の利用に当たってまとめて用事を済ます事を考えていきたい。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
663	1051	車に代替する移動が可能な時は極力別の交通機関を使用するようにしたい。
664	1051	なるべく、車の利用を控える。
665	1051	仕事で使用時に現場周りも件数がある程度まとめて行く
666	1051	クルマでなければ困難な外出(多量の荷物がある等)が否かを検討し、極力公共交通または自転車、徒歩とする。
667	1051	自動車の使用を減らし、公共交通機関、徒歩、自転車などを積極的に使用していきたい。
668	1051	最近では、公共交通機関の採算性が問われるばかりで本質をみうしなっているのではないのでしょうか。諸外国では、公共応援はあたりまえのようです。競合するバス路線などの見直しに重点をおいて再編してはどうでしょうか。それに伴う事業者の見返りはなしでお願いします。
669	1051	クルマを使わない生活は考えられません。一刻も早く技術革新により燃料電池等の二酸化炭素を排出しないクルマの誕生を願います。
670	1051	無理の無い範囲で行動したい
671	1051	大きな荷物の運搬や長距離の移動以外は極力自動車の使用を避ける
672	1051	ある程度、考慮しながら使っている
673	1051	私は自動車を所有していないため、自ら使用することは滅多にないが、まれに知人等に同乗させてもらうことがあります。自動車を所有していない自分にできることは、今回の取り組みを広めることくらいなので、機会あるごとに知人等に理解を求め、広めていきたいと考えています。
674	1051	休日、などの時間に余裕があるときなどは、マイカーの使用を出来るだけ控え、公共交通機関を利用したい。
675	1051	友人の車に同乗するなどして、車を利用する場合も台数を減らす。
676	1051	公共交通機関の相互の連携を強力に進めること、それに合わせて車両の進入規制を行う。
677	1051	現在、通勤、買い物、送迎など、生活する上で、一番安易な交通手段が自家用車である。車を使わない生活は、考えたこともないが、自分の今の生活圏内の公共交通機関が、今以上に発展した場合、自家用車の使用率も低くなると思う。
678	1051	駅までは、車でいく。駅からは電車とし、着駅からは徒歩で行く。その際、ロス(待ち)時間がないように時間設定すればスムーズな通勤にもなるしco2も減じることが可能ではないかと思いました。私一人の通勤者から100人、1000人の通勤者へとこの考えが広がることを祈ります。
679	1051	パークアンドライドをするなど、自動車を活用しつつ、環境にやさしい交通手段をとるように、心掛けたい。
680	1051	一人での移動はできるだけ公共交通機関を利用するよう努める。
681	1051	目的地が、近距離、公共交通が利用可能な場合は車の利用を避ける。
682	1051	近場は、徒歩・自転車で行く。自動車使用の場合は、効率のよい使用に努める。
683	1051	1度の使用で用件を複数こなし、自動車の使用回数を減らす。
684	1051	自家用車を利用する場合は、可能な限り複数人での相乗り利用をする。
685	1051	毎日の生活で時間がないと感じています。車を利用しない事はできませんが、外出回数を減らすことにより、私ととも二酸化炭素削減からもよいことなので今後積極的に取り組んでいきたいと思えます。
686	1051	重い荷物を持って移動しなければならないような場合を除いて、極力交通機関を使うように心がけたい。
687	1051	通勤には、車を利用しない。
688	1051	週に1回程度はノーマイカーデーにしようと思っている。
689	1051	友達と出かけたりするときは、相乗りにする。 通勤や買い物などは、なるべく自転車などを利用するようにする。
690	1051	家族で町へ出かけるときには、公共交通機関を使うことを基本にして、自家用車の使用は、荷物などのやむを得ない場合を除いて控えることとする。
691	1051	無駄なアイドリングをやめる。
692	1051	自転車の積極的な活用が効果的だと思いますが、排気ガスや騒音の少ない車の利用、曜日を決めて公共交通機関を活用するなど、取り組みを心がけたい。
693	1051	環境によさそうな小型の車を買う
694	1051	まずあたりまえに車ではなく、他の方法を考える。 自転車通勤をより行いやすくするための配慮。 ・快適な服装での通勤の許可 ・自転車が走行しやすい道路の舗装
696	1051	郊外の施設へ行く場合は、駐車場も整備されていることから、どうして自家用車の使用になりがちだが、市内中心部へはなるべく公共機関の利用に努めたい。
697	1051	必要以上に自動車を利用しない。
698	1051	よく一人で自動車に乗っている人を見かけますが、実に無駄なことだと思います。荷物等があれば別ですが、一人ひとりが考えるべきと感じます。
699	1051	現在ジーゼルエンジンの車なので、次の車はハイブリット車にする。 できるだけ、自転車やバスを使う。 軌道形の交通体系となるようあらゆる機会を通じて訴える。
700	1051	アメリカのある所で実施されている、2名以上が乗車している車は優先的に通行させる等の制度も必要だと思います。
701	1051	クルマで行くところを、公共機関で行くようにする。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
702	1051	車利用は最低限必要な場合とし、車の買い替えについては排気ガス低排出量のものとしたい。
703	1051	用事をまとめるとか同乗して外出する等できるだけ使用回数を減らす。
704	1051	環境的にも、健康的にも、クルマの利用は制限すべきものと考えます。
705	1051	できるだけ大勢でクルマに乗る。(二台のところを一台で行く)
706	1051	自転車の利用を増やす。
707	1051	通勤については、同乗等を図りたい。
708	1051	同乗できる場合は、同乗するようにする。
709	1051	同乗できる場合は同乗したい。
710	1051	同乗できる場合は同乗したい。
711	1051	近場は自転車で移動する。
712	1051	休日の自動車の利用の削減
713	1051	・自転車で30分程度の距離は、クルマを使わない。 ・2人以上の人間が、2つ以上の用件がある時に利用する。 ・レジャーを、身近な施設・場所で計画する。 ・クルマを使う時間帯を考える。(渋滞のない時間帯)
714	1051	クルマは、大変便利な道具であるとともに、環境汚染の源のひとつでもあることを、あらためて認識した。今後は、そのことを頭に入れつつ、行動したい。
715	1051	公共交通機関が利用可能な行程のところは、出来るだけ利用する。
716	1051	駐輪場を利用しやすいものにして、自転車への利用をしてもらいたいです。当面、バス+徒歩を実践して行こうと思う。
717	1051	効率のよい活用を行うこと。
718	1051	できるだけ使わない。
719	1051	通勤には使用せざるを得ない状況にあるが、できるだけCO2を排出しない車種にすることなどを考えてみたい。
720	1051	できるだけ車の利用を避ける。駐車中はエンジンを切る。
721	1051	家族で出かける場合は、まず、自転車、次に公共交通機関の利用を考える。
722	1051	市内を移動するときは、できるだけ電車等を利用したい。
723	1051	必要最小限で使用する
724	1051	・アイドリング・ストップ ・近くへの移動は車を使わない
725	1051	必要性を勘案し使用は必要最小限に留める
726	1051	健康を考え長距離以外は、自転車、徒歩を実践したい。
727	1051	近所での買い物等は自転車や健康によい徒歩にしたい。
728	1051	送迎時のバス等の利用
729	1051	排気量の少ない車の活用
730	1051	クルマはすでに誰もが持っている有用な道具の一つとなっています。ただ、当然、功罪があり、不要な利用を避けるようにするべきだが、それを支える周囲の環境がヨーロッパ並みに整えば自転車などと共存させていきたい。
731	1051	車でもバイクでも行けるところへはバイクで、バイクでも徒歩でも行けるところへは徒歩で行く。
732	1051	基本は歩き。 距離が遠かったり、交通機関が不便なところへいくときに車を利用する。
733	1051	早起きとは違うが、そのじきの勤務場所によってもちがいがある。朝の通勤帯に入る前の時間帯には、交通機関(バス)が動いていない。夜も仕事が遅くなると交通機関(バス)が動いていない。などで計画を立てて必要最小限度にしたいと思う。
734	1051	公共交通機関を利用できるときはなるべくクルマを使わないようにする。
735	1051	通勤には、自動車にかえて、公共交通機関を利用する方向で検討したい。
736	1051	走行距離、時間をできるだけ減らす。
737	1051	自動車利用はまとまった行動をとる 自動車以外の方法を利用する
738	1051	クルマに頼らない生活スタイル ・健康のため歩くことを習慣化する。 ・不必要な外出を避ける。 ・家族全員でノーマイカー運動に取り組む。
739	1051	一人で行動するときは、極力クルマの使用を控え、クルマを使用する場合は計画を立てて、無駄のない使用をする。
740	1051	遠方へのお出かけや家族を連れてのお出かけの際に車を利用するのが望ましいと考える。
741	1051	近くへの外出で、荷物が少ない場合は、徒歩又は自転車とする。
742	1051	基本的に車の使用は控えており、今の状況を継続する。
743	1051	ゴルフに行くときは、相乗りする。 都心部に買い物に行くときは、バス等を利用する。
744	1051	自転車利用の拡大
745	1051	車での用事をまとめて済ませる。
746	1051	アイドリングや近距離での移動を控えるよう心がけている。
747	1051	公共交通機関との連携

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
748	1051	出来る限り、移動手段に車を利用しない。
749	1051	近場に外出する際には、自転車等を利用して自動車を使う機会を削減していくよう心がける。
750	1051	クルマを使う場合は、公共交通機関では目的地に行くことが困難な場合などに限る。 また、クルマを使う場合は、一人で乗るのではなく複数人で乗るようにする。
751	1051	休日の車利用をなるべくやめる
752	1051	可能な場合には徒歩か自転車を利用しています。これからも、実践したいと思います。
753	1051	近いところには、運動もかねて自転車を利用していきたい。
754	1051	家から近い場所に行くときは徒歩か自転車を利用する。 外出する場合は、できるだけ公共交通機関を利用する。
755	1051	クルマの使用は必要最小限のものにとどめる。 場合によっては信号でアイドリング・ストップを行う。
756	1052	通勤については、公共交通機関の利用を増やしていく事を考える。
757	1052	通勤にはなるべく公共交通、同乗を行う。 近い場所への移動は自転車にする。
758	1052	カーシェアリング
759	1052	なるべく公共交通機関を使用するように心がける。
760	1052	自転車を使うようにする
761	1052	徒歩
762	1052	都心部方面へ行く場合には可能な限り電車等を利用することを考えたい。
763	1052	・乗り合いする。 ・公共機関が利用できるところへは車を利用しない。
764	1052	自転車通勤の継続
765	1052	近所の買い物はなるべく車を使わず、自転車や徒歩で行く。
766	1052	近場なら公共交通機関を利用する。
767	1052	少なくとも通勤では車を使わないで済むようにしたい。
768	1053	休日に郊外でのリレーションがある場合は、常に乗合で移動している。 毎週のようにあるので、少しは実践している。
769	1053	公共交通機関、移動人数等を鑑みた使い方。
770	1053	どこかへ出掛ける時などは、なるべく自家用車を使わずに公共交通機関を利用し、友人の車に便乗するなど、極力車両を利用しない。
771	1053	なるべく公共交通機関を利用する
772	1053	緊急時のみの利用
773	1053	健康のことも考え、時々では自転車等を利用する
774	1053	・計画段階で自動車にかわる交通手段を検討する。 ・どうしてもクルマで出かける時は、一度で用件を済ませるように、複数案件をできるだけ近場で解決する。
775	1053	必要最小限度の車の使用。 交通公共機関の利用に努める。 歩ける距離を伸ばし、健康のため歩く。
776	1053	利便性と環境への配慮をバランスさせる。
777	1053	徒歩、自転車、公共交通機関を優先。 車を使う場合には相乗りで使う台数を減らす。
778	1053	出来るだけ歩くかバスを使う。
779	1053	今後は、できるだけよりよい交通のあり方を考えながらクルマを使っていきたい。
780	1053	季節要因等考慮のうえ対応してゆきたい
781	1053	健康を兼ねて歩くことに取り組みたい。
782	1053	1.車に代えて 徒歩・自転車で。
783	1053	不要な荷物は極力積まないようにしたい。
784	1053	できる限り公共交通機関を利用する。
785	1053	極力、歩行を優先する。 車の使用が必須の場合は、公共の移動手段を優先する。
786	1053	実行可能な「よりよいクルマの使い方」に、今以上の注力点(実践項目)は思いつきません。 なお、今回の調査・活動内容は、私にとっては現実的(実践的)ではなく、意味・価値の小さいものでした。
787	1053	必要最小限の使用に留める。
788	1053	友人同士で乗り合わせる
789	1053	市街地などへ出かけるときはなるべく公共交通機関を利用すること。 郊外へ出かけるときなどやむを得ず車を使うときは極力同乗者を積んで効率的に移動すること。 基本的には日常生活は、徒歩や自転車で済ませる。
790	1053	バス、電車などで移動できる所へはクルマを使用しない。 ハイブリッド車への乗り換えを検討する。
791	1054	買い物はできるだけ公共交通、自転車を使用する。
792	1054	今までどおり、止むを得ない場合以外はクルマは使用しない。
793	1054	引き続き自家用車の使用を自粛する。

## 5.参加者コメント集

## (工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
794	1054	家族の通勤での車利用の減少 (買い物での利用は代替手段がないので)
795	1054	歩いて行ける距離の移動には使用しない。
796	1054	基本的に、通勤にはクルマは使用しません。
797	1054	通勤時には電車・バスなどの公共交通機関を使用する
798	1054	自動車利用でなくてもよいときは、利用を控える。 自動車利用の際は、他の用務も一緒に済ませるようにする。
799	1054	必要最低限での使用にとどめておく。
800	1054	目標:今後、自家用車を利用する場面は、大きな荷物を移動させる時、家族でドライブする時、緊急に移動する時とします。
801	1054	通勤時には、できるだけ自家用車を使用しない。
802	1054	停車中はエンジンを切る。 急加速・急発進は極力避ける。
803	1054	自分でクルマ(自動車)を運転することはまずないため、同乗の際に他の交通手段で移動可能な場合はクルマの使用を控えられる場合は控えられないか考慮して可能な場合は他の交通手段に切り替える。
804	1054	不必要な時には車を利用しない。
805	1054	安易な車利用は極力避け、特に公共交通の整っている都心への移動手段は、バス・電車を利用するよう心がけようと思います。
806	1054	公共交通を利用するにも、首都圏や関西圏のように便利でないため、難しいと思う。
807	1054	複数人数での移動や急ぎのときに自動車を利用するようにしていきたい。
808	1054	1人で移動するとき、近距離の場合、時間に余裕のある場合など、クルマを使う必要の低い場合は、極力クルマの使用を控える。
809	1054	1人でちょい乗り厳禁!とにかく、公共交通機関と自転車ありきのライフスタイルにすること。
810	1054	車での移動しか出来ない時は利用し、公共交通機関と迷う時は車は利用しない。
811	1054	自転車15分以内の場所であれば、極力クルマを使用せず自転車を使用するようにする。
812	1054	時間帯・行先に応じて柔軟な利用を心掛ける。
813	1054	市内中心部に出るときは、意識的に公共交通機関を利用する。
814	1054	移動距離が短いときは、自転車を利用する。
815	1054	市内までの移動は車や交通機関を利用し、市内の移動は交通機関を利用するようにした方が 良いと思う。
816	1054	今後も通勤には公共交通機関を使用していく。
817	1054	レジャーのみで車の利用する。
818	1054	必要時以外は使用しない。
819	1055	車に燃費計を取付けエコ運転に以前より努めています。 また、車を運行する場合には、90%近く同乗者を数名乗せて使用している。 広島県は、地域差で公共交通機関が、整備されいないため車を活用するしかない様に思われる。 なお、平坦な道が少なく勾配のきつい道が多く、自転車の活用範囲も限られる。 子供の通学等には、自転車を活用させている。通勤途中車を乗り換え公共交通機関にするための 駐車場が確保されていない。
820	1055	燃費の改善などに努めたい。
821	1055	法定速度を守ってスピードを控えめに移動するようにしたい
822	1055	たまには交通機関も利用するように心掛けたいです。
823	1055	相乗り通勤の場合に特典をつけるなどして、相乗りを奨励することも良いのでは。 会社でもエコドライブを推進しており環境を考えて車を使用したい。
824	1055	休日は交通機関を利用する
825	1055	出来るだけ公共交通機関を使用して行く。通勤・買い物等
826	1055	無駄な使い方はしない
827	1055	新幹線を使う。
828	1055	エコ10ドライブを心がける。効率よい使用を考える。
829	1055	必要な時に使用する時
830	1055	無駄に走行しない
831	1055	できるだけ公共交通機関を利用することが望ましいが、市街地以外では整備できていない地域が あり完全には無理かも知れません。
832	1055	自転車を活かした行動を取りたい
833	1055	使わないですむならそれが一番いいのは全員の共通の認識でしょう。 であれば、どうしたら使わないですむかを考えることも大切ですが、どうしたら使っても環境負荷が 少ないかを考えるほうが現実的だとは思いますが、理想は理想で結構ですが、現実には「人間は面倒 なことはしたくない」のが当然であるとも考えます。世の為人の為などと考えているのは長続きできな いのではないのでしょうか。自分が自分のために自然に出来ることまたは、自然にさせられている状 態を作るほか無いかもしれませんね。
834	1055	ガソリン車はco2の排出が多い。もっとディーゼルを見直していいのではないかと、整備の行き届いた ディーゼルはそんなに汚れた空気を出さないと。触媒等の技術も進んできているし、高圧の直 噴ならそんなに燃焼がムラにならない。



## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
835	1055	便利な道具ですが、地球環境を考えると、近くへ行くときは、車を使用しないなど、少しでも協力していくように、日頃から心がけます
836	1055	近所への買い物などは徒歩や自転車を利用する。
837	1055	駐車場を利用する
838	1055	公共交通とバランス良く使用する
839	1055	遊びに行くときなどは交通機関を使い、必要の無い運転は避ける。
840	1055	エコに努め 環境を配慮した 行動を持続して行きたい。
841	1055	アイドリングストップなどできる事から実践していく。
842	1055	公共機関に切り替えられる時には切り替える。
843	1055	毎日は難しいが休日に街にでかける際などは公共機関を利用するなど考えていきたい。また、余分なアイドリングをしないようにしたいと思う。
844	1055	必要最低限に車の利用を控える 車に乗る際はアイドリングストップなど環境に優しい乗り方で
845	1055	無駄なアイドリングはせず、必要なときだけ車を使う
846	1055	車でなくても行けるところは、他の選択肢があるということを考えて行動する
847	1055	アイドリングストップ 週に1~2回程度のノーマイカーデーの実施
848	1056	不必要な車の利用はしない。
849	1056	通勤等では車で移動するが、自分を含めて乗車人員は一人が多いので 何らかの方法で相乗り等が出来る状態にするとか、 プレートの偶数・奇数番号により一定地区への乗り入れを曜日により規制するとかの方法が取れるとよいのでは無かろうか？個人の問題として自転車通勤する方法が健康の為によいが(過去1年間通勤した実績はある)勤務時間が一定でない為なかなか実行できないのが現実である。
850	1056	同じ場所に行く時には、1台のクルマで行く。
851	1056	車を使用しないでいいときは車の使用を控える。
852	1056	乗り合わせや効率を考えた車の使い方と近場へは歩きなどで行動する。
853	1056	今までの行動を引き続きしていきます。
854	1056	会社が近場なので、会社には自転車通勤を実行してみようと思います。
855	1056	単独での使用を抑える。 低公害・低燃費の車両に切り替える。 公共交通機関との混合利用に努める。
856	1056	今まで、すべて何処へ行くのも車でしたが、ちょっと考えてみたいと思います。家には車と250ccのスクーターと自転車があります。 今後は出来るだけ自転車を使用し自転車が無理ならスクーターを使用しスクーターが無理なところは車で行くよう心がけたい。
857	1056	今から、雨の日以外は会社へ自転車通勤をします。
858	1056	自転車や公共機関を使う
859	1056	買い物等日常生活は、近くで徒歩又は自転車ですませる。
860	1056	近場での買い物などは、徒歩又は自転車で行う。 休日の行動については、 可能な限り公共輸送機関を利用する。
861	1056	近場へは、もっと自転車を活用して行こうと思う。
862	1056	これを機会に、車の使用をできるだけ控えていきたいと思っています。
863	1056	環境のことを考えて、車の使い方を工夫していきたいと思っています。
864	1056	できるだけ安易な車利用は、避けたいと思う。
865	1056	なるべく燃費がよくなるような走り方。
866	1056	1 単独での利用回数を避け、複数で乗りあわせをする。 2 出来るだけ二輪車の利用を増やし、四輪車利用を控える。 3 近くへは、徒歩又は自転車を利用する。 4 買い物など回数を少なくする。
867	1056	車でないと行動できない所以外がなるべく交通機関を利用するようにしていきたいです。
868	1056	できるだけ外出をひかえる。
869	1057	徒歩又は自転車を積極的に利用する。
870	1057	マイカーの使用を減らし、自転車の利用を増やす。
871	1057	自動車所有していないので実践できることは少ないが、なるべくレンタカー等を使用せず公共交通機関を使用する。
872	1057	CO2排出量削減については、自転車等及び公共機関の外出に努めたい。
873	1057	現在でも車は休日しか使用しておらず、ほとんどが自転車です。今後はさらに休日でもできるだけ車利用を減らすことを考えていきたいです。
874	1057	徒歩、自転車、電車等で行けるのであれば、車は使用しないようにしたいと思っています。
875	1057	自動車は、必要最小限の使用とする。
876	1057	必要最少限の利用に努める
877	1057	自転車で移動できる範囲は車を使用しない。
878	1057	空ふかしをしない。
879	1057	次に車を買って換える時は、エコカーにしようと思います。
880	1057	できれば、近場に出かけるときは徒歩で行くようにしたい。

## 5.参加者コメント集

## (工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
881	1057	移動＝車という意識を変える。
882	1057	行動目的によって自動車以外の交通手段を極力使用する。
883	1057	家族構成にあった自動車が必要最低限の使用をすること
884	1057	今以上の『よりよいクルマの使い方』は考えられない。
885	1057	必要最小限の使用にとどめる。
886	1057	近距離の場合は自転車使用
887	1057	大阪の主要交差点で、「アイドリングストップ」を呼び掛ける運動を試行しているという。果たして効果が上がるのかどうか少々疑問である。エンストによる渋滞や、イライラからくる喧嘩などのトラブルを増長しなけりゃ良いが……。ただ、これから寒くなる季節、エンジンの必要以上の暖機や unnecessary な暖房等、「温暖化」の意識が薄れて無駄なCO2が増えることが懸念される。原油高もあり、これからは省エネをもっと意識していこうと思う。
888	1057	歩いていける所は、できるだけ歩く。
889	1057	雨の日のバス利用を除き、自転車の活用を考えたい。
890	1057	車をやむなく使用するにしても排気ガス発生量の少ないハイブリッド車、排気ガスを発生しない純粋な電気自動車のリーズナブルな価格で消費者へ供給することが基本だと思われます。
891	1057	近隣の移動はできるだけ自家用車を控える
892	1057	環境への問題を考慮した使用の検討。
893	1057	近隣は、徒歩もしくは自転車利用
894	1057	健康のため、出来る限りマイカーを使わない。自転車の利用を多く取り入れる。以上。
895	1057	基本的に公共交通機関の利便性を良くすることが課題、そのためのコストは国民が我慢すべき。 例 高架橋の横断歩道(利用に不向き、車が上を通るべき) 道路の整備、(狭い歩道、交通事故が多い、保険のコスト、若い人材の死亡事故、医療費等のコストを考えると、道路の整備の方が長い 目で見れば安いのでは?) 自転車を利用しようにも、危険が多すぎるのでは安心して利用出来ない。(通勤例:僅か7Km程度を電車で1時間、自転車専用道路が
896	1057	出来る限り自家用車を使用しないことではないか。
897	1057	天気の良い日は徒歩や、自転車を使用する。 車で移動する場合は、多人数で利用する。 可能なら公共交通機関を使用する。
898	1057	徒歩、自転車を主にして、自動車は従に利用する様にしたい。
899	1057	車を買うときは、CO2の排出を抑えている車を買う。 近い所は、徒歩で。
900	1057	買い物などで出かけるときは、できるだけまとめて出かけるようにし、ちょっとずつの案件では車で外出しないように心がける。
901	1057	移動の際には、公共交通機関の利用。やむを得ない場合には、家族での一体的な移動を心がける。
902	1057	近距離の場合、なるべくクルマを使わない。
903	1057	複数乗車
904	1057	近距離の場合は極力、自転車・徒歩等による。
905	1057	複数回マイカーを利用する用事を一度にまとめて済ませるようにする。
906	1057	複数世帯での互いのマイカーの相乗りが、地方では一番現実的ではないだろうか。マイカーの共有は各人の行動を制約してしまうのでやむずかしいが、同一方面への移動のときは、乗り合わせていくのが経済面でも効率的なので、それをアピールしていけばよいと思う。
907	1057	近いところへ行くのは可能な範囲で自動車から自転車・徒歩に変え、また、遠いところでも、公共交通と自動車のコストを比較しつつも、公共交通を優先した生活を心がける。
908	1057	近所への出掛けはできるだけ自転車・徒歩にする。
909	1057	近所で用事を済ませるときは、できるだけ自家用車を使わない。
910	1057	カーシェアリング型レンタカーの料金がもう少し定額になれば利用したい。
911	1057	歩くことを先ず考える。 近場の移動に車は使わない。 レジャーもで公共交通機関の利用を最初に考える。
912	1057	市内の移動は、原則として徒歩又は大量交通機関とする。 家族にも呼びかけ実践していけるよう努力する。
913	1057	近距離は極力徒歩又は自転車とする。
914	1057	できれば使わない。近所の買い物は自転車で。
915	1057	出来るだけ自家用車を利用しないようにしたい。公共交通機関を利用しやすいようにするため、マップ的(経路図、時刻表)なものがあれば。
916	1057	公共交通機関が無い場合を除き車利用はしない
917	1057	休日であっても、目的や行き先に応じて、電車やバスなど公共交通機関を利用する。
918	1057	自転車での移動を心がける。
919	1057	公共交通機関及び自転車の利用
920	1057	買い物、レジャー(友人宅の訪問なども含め)について考えてみたい。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
921	1057	近場の移動は自転車か徒歩で行動するよう実践していきたい。
922	1057	ケースによっては、公共交通機関を利用する
923	1057	徒歩通勤の継続
924	1057	普段より、2～3キロの範囲内は徒歩、自転車で移動している。 マイカーの使用は、家族での遠出の時に使用する。
925	1057	公共交通機関の利用
926	1057	公共交通機関等を利用できないか常に意識したい。
927	1057	できるだけ使用しない。
928	1057	・近くの買い物は徒歩・自転車に・・・。 ・その他できるだけ車は使わない意識を持つことに・・・。
929	1057	自動車を使用しての外出を出来る限り控える方向にしていきたい。
930	1057	公共交通機関が利用できる場所への移動は、自家用車を極力利用しないようにする。
931	1057	週1回の買い物、レジャーでの車の使用は、家族単位、仲間での同乗等での行動であり、やむ得ないところであります。一人で行動する場合、近所で済む買い物については、徒歩、公共交通を利用しております。 広島市内の公共交通は、相当前からほとんど改善されておりません。入り乱れたわかりにくい公共交通の路線とするのか、系統だった路線とするのか方針が見えてきません。利用しやすい公共交通網を検討する必要があるかもしれませんね？
932	1057	公共交通機関の利用を増やしていきたい。
933	1057	近所の買い物は自転車で出かける。
934	1057	アイドリングはきょりよく避ける。買い物等効率よく移動する。
935	1057	電車、バスを利用したい。
936	1057	土日には可能な限り自転車やバス(公共交通機関)を使用するよう心がけたい。
937	1057	田舎に帰るときは公共交通を利用したい。
938	1057	近距離の移動は、自転車を活用する。 車で出かける前に、ほかの手段はないか考えてみる。
939	1057	ミッションオイルを交換し、燃費の向上に努める。
940	1057	バス等の利用をしていきたい。
941	1057	近距離の移動については、自転車等を使用したい。(環境に優しい移動手段)
942	1057	暖機運転をしない 急発進をしない
943	1057	計画的に車を利用することをかんがえる。
944	1057	旅行に車を使用せず公共交通で行くよう努めたい。
945	1057	公共交通機関の発達していない場所は無理としても、市内とか、他の都市へは、公共交通機関を使用するよう心掛けたい。
946	1057	燃費の良い軽自動車をよりよく利用する。コースを考え移動距離を短くする。
947	1057	休日のみ車を使用しているが、外出の回数をなるべく減らす
948	1057	家族の送迎になるべくバス利用 買い物にバス利用
949	1057	ひとりで利用するのではなく、なるべく相乗りするなどして、一緒に移動するようにする。
950	1057	今後も、出来る限り公共交通機関を利用したい。
951	1057	自家用については、できるだけ家族の要件を併せて同乗し、移動回数を減らしたいと思う。
952	1057	自動車で行っていたところは、出来るだけ公共交通機関を利用するようにする。
953	1057	近郊への自動車利用をへらし自転車又は徒歩利用
954	1057	近所は徒歩又は自転車利用を優先する。
955	1057	なるべく近場での用事には自家用車を使わず、使用する場合も交通機関や知人と同乗を心がける。
956	1057	マイカーは、自動車の維持費等から考えて、車を使用することは極力控えているが、移動手段がない箇所に用務のため行動することからやむを得ない。基本的に3km以内であれば徒歩で移動することにしている。
957	1057	マイカー使用を減少する。
958	1057	省エネ車の選択
959	1057	従前で問題なし。
960	1057	時間にゆとりを持って子供達とサイクリング気分で行くことを検討したいと思います。
961	1057	車でなければ、移動できない機会をなるべく無くすようにはしたいと考える。
962	1057	不要不急の車利用は控える。
963	1057	公共交通機関を利用できるところは、極力車の利用を控える。
964	1057	目的地、環境負荷低減意識、乗車人員等を考えながら実践していきたい。
965	1057	できるだけ公共交通でとは思いますが、現実的には難しい場合が多い。意識だけはしていようと思う。
966	1057	外出する際、天気もよく荷物も少ないときには多少便利が悪くなくても公共交通機関を利用するように心がけてみたい。
967	1057	エコドライブ(エンジンの回転数を2000回転以下に保つ走行、急発進、急ブレーキ
968	1057	なるべく自転車を使うようにする
969	1057	できればハイブリッド車に代替えしたい。

## 5.参加者コメント集

## (工) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
970	1057	経済面・利便性のみを優先することなく、環境面を考慮した行動をとる。特に、市内中心部への移動では電車・バスを利用することとしたい。
971	1057	遠方の大型スーパーから近場の小型スーパーへ転換 レジャーは車を使用しない場所とする
972	1057	お金があれば、ハイブリットの車を購入したら今より環境に優しいのでは、と思いますが何せお金が！
973	1057	必要なとき以外はクルマを使用しない。
974	1057	市中心部へ行くときは、自転車または公共交通機関を使う。
975	1057	必要な場合は車を使用。自転車・徒歩等で可能なものは実践済み。
976	1057	現在、通勤経路の一部を自動車利用をしているが、出来るだけ鉄道利用をするよう努めたい。
977	1057	家族での買い物以外の1人での用事では、車以外を検討する。
978	1057	たまには電車の旅を楽しむ
979	1057	自家用車の利用について、用事を纏めて移動することにより、利用回数を減らしていきたい。
980	1057	アイドリングストップ。
981	1057	近距離であれば自動車の使用を控え、自転車・徒歩で行動したい
982	1057	必要な場合以外は使用しない。
983	1057	近場で荷物のない場合は極力自転車、徒歩に変更する。
984	1057	高速では一定の速度を保ち、燃費を向上させる。
985	1057	自宅の近くへの用事は、徒歩・自転車を使用する。
986	1057	エコドライブの実践(出来ることから)
987	1057	交通空白・過疎地域における自家用車での移動については、できるだけ乗り合わせ、アイドリングストップ等の実践を心がけようになりたい。
988	1057	他の交通手段よりもクルマが有利(特に移動に要する時間が明らかに少ない場合)な場合は今後クルマは利用していきたい。環境負荷の観点では省エネ運転に努めたい。
989	1057	公共交通機関の利用を行うが、目的によってはクルマが必要な場合もあるので、バランスよく利用していきたい。
990	1057	出来るだけ歩く
991	1057	市内近距離での使用を少なくする。
992	1057	近場では徒歩等により環境に配慮したい
993	1057	休日のみクルマ使用ではあるが、その使用も限りなく抑えていきたい。近場は徒歩、公共交通が利用できる場所は公共交通利用、これらについては既に実践済。
994	1057	なるべく自転車を利用する。
995	1057	市街地へは自動車を使わず、バス等を利用して出かける
996	1057	家族で移動する場合は、すべて公共交通機関を利用することは難しかもしれないが、一人で移動する場合は、可能な限り公共交通機関を利用したい。
997	1057	ガソリンの高騰が続く中で、車の使用を一旦考えて、動く人数、行く場所、荷物の量、交通費の合計額など条件が見えれば、交通機関を使えることが可能であれば、車の使用を抑えることも出来るのではと思う。
998	1057	地域を絞って車を利用する。
999	1057	切り替え可能な部分については、公共交通機関を利用するよう心がける。
1000	1057	相乗りを実践する。 買い物等も、車を使わず近くのスーパーで済ませる様に努力する。
1001	1057	徒歩可能範囲では自家用車を使用しない。 市内中心部への買い物等でも公共交通の利用につとめる
1002	1057	将来、車の代替をする際は、環境にやさしいハイブリットカー等低公害車の購入を考えたい。
1003	1057	大人数での移動など車を使った方が便利な時は、車を使いますが、一人での移動時はなるべく車以外のものを利用しようと思う。
1004	1057	家から公共交通機関のバス停等も遠く、山あいにあるので車から徒歩への転換が難しいが、2回に1回は徒歩等になるようにしたい。
1005	1057	近くなら車をつかわない
1006	1057	都市部とそうでない地域のクルマの使い分けを行う。
1007	1057	休日車の使用はなるべく自転車・バイクにする
1008	1057	渋滞が予想される時間帯を避ける。空ぶかしアイドリングを減らす。
1009	1057	近場での用件の時は出来る限り徒歩で行くことを心がける。
1010	1057	近距離は自転車あるいは徒歩で移動するようにしたい。 公共交通機関をできれば利用したいです。(荷物のないとき)
1011	1057	マイカー使用を極力減らす。
1012	1057	環境に優しい自動車に乗り換える。 近場への外出には自動車を利用しない。 移動先ではなるべく公共交通を利用する。
1013	1057	子供が大きくなれば何かできるかも。「よりよい交通のあり方」とは、何かのキャッチフレーズでしょうか？
1014	1057	近くへ出かけるときは、自転車、バス等を利用する。
1015	1057	機会あるごとに、徒歩を心がけたい。
1016	1057	できるだけ自転車等からだを動かす手段の選択

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
1017	1057	生活環境が公共交通機関等の恩恵を十分受けられない地区における車の使用方法は、おのずと実践範囲が狭くなることは事実であるが、出来る限り計画的に使用方法を効率化することも必要かと考える。
1018	1057	単なる移動であれば、自家用車よりも公共交通や自転車を使いたい。 ただ、趣味が車なので、自家用車の走行距離が減ることはありえない。 もしこの取り組みの目的が「CO2を減らす」ことだけであれば、将来的に電気自動車や燃料電池車を購入することによってCO2削減に協力したい。
1019	1057	必要最小限の使用を心掛けたい。
1020	1057	公共交通機関を利用できないときなどに限定したい。
1021	1057	車の大きさをもった自転車
1022	1057	緊急性のある場合を除いて、できる限り公共交通機関を利用する。
1023	1057	都心部への車の乗り入れはできるだけさけるようにし、自転車又は公共交通機関を利用する。
1024	1057	現在も、必要最小限の車利用なので、これを継続したい。
1025	1057	公共交通機関の接続が悪い状況ではやむなく自動車を活用する場面が多いと思う。
1026	1057	CO2削減のための対策を検討中。 (例:電気自動車を購入するとか。)
1027	1057	なるべくクルマは使用しない。
1028	1058	普通自動車を軽自動車に買い替える。
1029	1058	時間的余裕のあるものには、できるだけ自転車、バスなどを使用する。
1030	1058	普段から自動車の使用は少ないと思います。 平成8年式の1800ccの乗用車を所有していますが、現在の走行距離は49635キロメートルです。極めて自動車の使用が少ないと思います。
1031	1058	近隣場所への車の利用を控え自転車等を利用する。
1032	1058	可能な限り徒歩で行動する
1033	1058	遠方のみを自動車使用とし、近距離等はなるべく自転車・バスを利用したい。
1034	1058	自転車やバス・電車を有効利用する
1035	1058	なるべく無駄に車を動かさないようにします。
1036	1058	できるだけバス利用する。
1037	1058	できるだけ、近所には車ではなく徒歩でいくようにする
1038	1058	自転車を使うようにする。
1039	1058	乗り換えのバス停で待つ時間を短縮してほしい。
1040	1058	休日はできるだけ「徒歩」で移動する。
1041	1058	・移動先には、複数で乗車する。 ・目的はいっぺんに済ます。
1042	1058	自転車を使用するようにする。
1043	1058	非常に難しい取り組みとされます。
1044	1058	家を建てた当初からパークアンドライドを実行しておりまして、もう10年になります。自宅が中山間地にあり、バス等の公共交通機関が不便なため必然的にこうなりました。現在子供の通学(高校)も週2~3日は同乗で送迎も兼ねております。
1045	1058	人間とはもともと横着な動物だと思います。常に、クルマ使用は、「最小限」との意識行動が必要だと思います。まず、自転車のない人は「自転車」を準備することから実践してはどうでしょうか？
1046	1058	個々人の意識に頼るのでは弱い。環境の悪い市街地への乗り入れ禁止、軌道の敷設・路線バスの大幅縮小、燃料の転換、排ガス規制強化等の抜本策を推進すべき。
1047	1058	パークアンドライド
1048	1058	できるだけ自家用車の使用を差し控えたい。
1049	1058	必要な時以外は使用しない。
1050	1058	日々の食料品等は、自転車で行く。
1051	1058	自転車、徒歩を実行していきます。
1052	1058	通勤等には1台に数人乗車する。
1053	1058	出来るだけ、徒歩・自転車移動。
1054	1058	より環境に優しいクルマを購入します。
1055	1058	無計画なクルマ利用を控える。
1056	1058	バス、電車を可能な限り利用する。
1057	1058	買い物等の身近なことから可能な範囲で車の使用を控える。
1058	1059	1.公共交通機関の利用検討 2.買い物の回数減少(まとめ買いの励行)
1059	1059	車通勤において 1.週に一度は公共交通機関を利用する。又は自転車通勤を行う。 2.休日は極力公共の乗り物を利用する。又はどうしても車を使用せざるを得ない場合は、極力排気量の小さい車を使用する。
1060	1059	日の長い季節は、出来るだけ電車を使って通勤する。
1061	1059	近場の自転車活用(含む通勤)
1062	1059	時々JRを利用する。
1063	1059	通勤も相乗りでクルマを使う等を考えられたら削減できるのではないかと考える。

## 5.参加者コメント集

## (エ) 今後の交通行動計画コメント

sq.	事業所 code	交通行動計画
1064	1059	交通事情により通勤は車でないと非常に不便です。その他、レジャー等、家族全員で移動する時は車を使用したいです。
1065	1059	公共交通機関があり、特段の車利用の必然性がない場合には、公共交通機関を優先利用するよう心がけたい。
1066	1059	公共交通機関を使う
1067	1059	渋滞の激しい曜日は公共交通機関を利用して通勤することを心がける
1068	1059	コメントにも書いたように、急用以外は、公共交通機関を用いるようにする。
1069	1059	一人で移動する際はともかく家族での移動を考えると、やはり車は必要である。しかしその一方でCO2削減ということも必要なのは間違い無い。そのためにパークアンドライドをより積極的に進めていく必要があると思う。 実現の為に家計という要素が現実としてあるため、公共による駐車場の整備(無料が望ましいが…)が必要
1070	1059	車よりバスを利用する。 近くは歩く。
1071	1059	近場の移動に自転車活用。
1072	1059	車とバイクと徒歩とを行動プランに取り組みながら考えていく事えお努力したい
1073	1059	一人での利用は可能な範囲では避けて相乗りとする 公共交通機関が使える範囲ではできるかぎり利用する 健康増進の意味も込めて、徒歩での移動も励行する
1074	1059	公共交通機関の利用
1075	1059	郊外に出かけるとき以外は極力車移動は、避けたいと思います。
1076	1059	公共の乗り物を利用するよう心がけます。
1077	1059	可能な限り公共の交通機関を利用する。
1078	1059	乗り合わせの促進。 自転車の有効活用
1079	1059	近場は徒歩、自転車利用に心掛ける。
1080	1059	天気の晴れた日など週1回以上、自転車通勤を実施する。
1081	1059	急な用件、公共交通機関が不便な所への移動、荷物の運搬等は車の利用は致し方ないとしても、日々の通勤等においては、公共交通機関又は自転車、徒歩等で移動するよう努めていくように心がける。
1082	1059	買い物など通勤以外の場面での車使用回数の削減
1083	1059	今より良い方法は無い。
1084	1059	一人で乗ることの削減
1085	1059	マイカー通勤を週1回「自転車」又は「徒歩+電車」通勤に見直すこと、及び30分圏内の移動は、自転車又は徒歩で行動すること。
1086	1059	具体的なものは、ありません。 電気自動車等、究極の省エネカーが、できれば購入検討します。
1087	1059	公共交通機関の利用を増やすこと。また、徒歩・自転車の活用。
1088	1059	通勤を完全に公共交通機関に移行させる。
1089	1059	皆さん歩きましょう。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
1	1031	アンケートにおいて、平日・休日の実績記入日数が少なく、バラつきが大きいと思う。例えば1週間分をすべて計上する統計の方が良いのでは。今回の取り組みについては、CO2削減について身近な対策で効果があることを、家族一同改めて認識できた。
2	1031	アンケートをもう少し単純に。上記質問1等で、「電車・地下鉄」と「バス」を複数選択できないのはおかしい。電車がいないところにバスが運行されているのでは。広島地区は地下鉄はなく、公共交通機関の区分を「路面電車」と「バス」を明確に区別しなければ、調査としては極めて不十分です。やり直したほうがよろしいのではないのでしょうか。
3	1031	アンケート項目、回答の選択肢等、改善する必要がある。
4	1031	短期間では取り組む範囲に限りがあるので、計画から実施までの期間を一ヶ月程度あけてみるなどした方がよいのではないかと感じました。
5	1031	今の社会では車なしでは難しいが、考えていく必要があると思う
6	1031	日ごろから環境のことを考えて行動することの大切さを感じました。ちょっとしたことから、大きな変化が生まれてくるものだと思います。これからも、車利用等を控えていきたいと思います。
7	1031	できる限りクルマ以外での外出を考えてみたい。
8	1031	環境について考える良い機会になりました。ありがとうございました。
9	1031	自分の行動を考える良い機会になりました
10	1031	都心の交通手段として電車地下鉄と言うのは現状にそぐわない。営業に出かけると言った設定も自分の現状ではありえない。アンケート項目の設定が悪い。今後は協力しても参考にならないと思います。
11	1031	できれば車しか利用できない問題点(交通手段が未整備等)についても調査し、個人意識の改善とともにインフラ整備への提言にもつなげていただければと思います。
12	1031	私の身体のこと、居住場所など 車以外で活動することが非常に不便でした。町のあり方も又考える必要がありそうです。
13	1031	仕事での車利用は効率的時間活用を考えると抑制するには、一考の感がある
14	1031	クルマの使用を控えるのもひとつの手段だと思うが、総合的に行わないと意味が薄れると思う。
15	1031	少しでも意識付けをするために必要だと思う
16	1031	脱マイカーを推進するには、公共交通網の整備 発達、百貨店、スーパー等の無償即日配達等の環境整備が進まないとい効果は薄い。 また、個人の抑制策よりも運輸関連等を中心とした企業対応から着手する方が効果は大きい。
17	1031	何か無いとなかなか意識付けできないので、良い機会だったと思います。 今後は環境考えながらなるべく地球にやさしい移動方法を考えたいと思います。
18	1031	車利用の削減の意識が高まった
19	1031	現代社会において車を控えるのは不可能に近い社会と思う。
20	1031	車の利用を控えるのはもちろんだが、燃費の悪い車、大型車、外車、RVなどが多すぎる。その方向からの取組みが望まれる。
21	1031	1から3回目の記入方法を改善してください。入力完了したのかできてないのかはっきりしません。
22	1031	今後このような取り組みを行うのであれば、もっと枠を広げて実施すべきである。
23	1031	移動手段によって環境や健康に与える影響や効果が数値化されており、実感し易く大変意義ある取り組みだと思います。
24	1031	距離に応じて、移動手段を考えていきたい。
25	1031	日常の行動を見直す、いいきっかけとなった。
26	1031	前回も書きましたが、子供が小さいため外出は車になる。そうゆうケースも考えた質問内容があればより具体的な回答ができたと思う。回答に日数が少なかった。(休日パターンのため)
27	1031	自動車の利用を控えることを考えることより、根本的に自動車を利用しなくてもよい環境づくり(公共交通機関の整備)が先決と考える。市内電車は環境にやさしいといわれるが、交通渋滞を誘発し、起因する交通事故も多い。しかも信号に停車するようなものは電車ではない。観光資源かもしれないが生活の足にはお粗末すぎる。即刻、廃止し、道路を拡張しバスレーンを充実させてほしい。業務の効率化を考えると自動車の利用をやめるわけにはいかない。
28	1031	今回の取り組みで車だけでなく、いろいろな交通手段を利用したいとおもった。
29	1031	継続することで効果があらわれるかも。
30	1031	仕事柄、車が無ければ仕事が出来ないため、天然ガス車等、環境にやさしいものを優先的に使用して行こうと思う。
31	1031	CO2排出量の削減のことを考えると、CNG車や電気自動車などが今後増えていくといいと思う。アイドリングストップの実施も、もっと広まるといいと思う。
32	1031	意味なし
33	1031	ご苦労様でした。
34	1031	自家用車なのか勤務中の行動なのかどっちつかずの感じがある。
35	1031	時間の有効利用を再考する機会が出来た。
36	1031	都心向き以外方向の公共交通網の整備を検討していただきたい。
37	1031	省エネルギーについて、小さな心掛けで効果があることが確認できた。
38	1031	自治体、会社ぐるみの大きな課題として取り上げていく必要があると思われま。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
39	1031	通勤時、車使用の人に同乗する。事を公に許可すればよい。
40	1032	利用者の意識だけでは如何ともし難いインフラの遅れがあります。公共交通機関を使うことが、時間的にも経済的にもデメリットとなる状況下で車使用を控えると言うのはとても難しい。
41	1032	みんなが本気で取り組むシステム作りを、国・官庁・自治体等が率先してお考え願いたい。
42	1032	日ごろの行動を確認すると、環境によいことを工夫することができるような気がします。
43	1032	今回の集約結果が行政に活かされることをせつに希望しております。
44	1033	家族全員が意識を持つことで、行動手段が大きく変わる。
45	1033	職場が車の販売会社なので、車は必ず必要ですが使用を控える事は、少しずつ取組んでいく必要があると感じました。どこでも車で移動と考えるのでは無く、交通機関を調べて行く余裕を持つと思います。
46	1033	考えさせられました 勇気を出して自らの行動が大事
47	1033	いまいち質問の内容が、実情と違い答えにくいものが多かったです。結局いつがノーマーカーデイかもよく分かりませんでした。私が休日タイプに分類されているからかもしれませんが…。
48	1033	自動車利用についていい勉強になりました。
49	1033	意識の向上には効果的と考える。
50	1034	自動車を当たり前のよう利用していたが、子供たちのため、地球のため、一人ひとりの責任として考え行動したい。
51	1034	答えにくい質問が多かった。
52	1034	どしどしこういう機会を設けてほしい。できれば記念品付でお願いします。
53	1034	もう少し簡単な内容にしてほしい
54	1034	もう少し簡単な形式にしてほしい。
55	1034	個人個人で生活環境が違うから、平均値だけでの判断は如何なものかと思います。
56	1034	あまり意味の無い調査であったと思います。
57	1034	先程も記入しましたが、広島地域の交通アクセスの整備を早急にしてほしい。たとえばアストラムライン環状線化とか。
58	1034	クルマについて初心に帰り、今後の環境問題も含め、考えさせられました。
59	1034	1人1人が僅かな改善を行うことにより、全体では大きな効果につながることを、あらためて考えさせられました。
60	1034	前述したように、本気で車利用を控えさせようとするなら、市街地へのマイカー乗り入れを規制したり、交通機関の充実を図らないと無理。
61	1034	よい取り組みだと思う
62	1035	自治体に、パーク・アンド・ライドの駐車場充実を働きかけてください。
63	1035	今後もこう言った取り組みは重要かと思います。
64	1035	郊外に居住しているため交通の便利が悪く、ついついクルマを利用することが多い。
65	1035	設問がおおざっぱすぎて回答に困るような設問があった。たとえば上の【質問1】などは、近いと言っても程度があり、しかも目的地によっては自家用車やタクシーでしか行けないところもある。人の行動というのは、そう単純なものではなく、行動の動機や目的によっても、使う交通手段は変わる。 より効率の良い交通手段を使うべきだという考え方に反対する者はいないと思う。しかし、実際に行動する場面になれば、より利便性の高い手段を選ぶことになる。人はどこへでも自分の意志で自由に移動できることを願い、車はそれを可能にした。それを旧に復せと言われてもそう簡単にはできることではないと思う。
66	1035	行動方法を考える良い機会になりました。 少し締め切りが厳しかったように思います。
67	1035	特にありませんが、環境問題や運動不足を考えると車社会を見直したいと考えます。
68	1035	結果についてどこで報告されるのでしょうか
69	1035	今回の取り組みを踏まえて、次のステップの試みも行っていただけだと思います。
70	1035	勤務中は急ぐことが多いため(ゆとりがないため)、移動にはほとんどタクシーを使う。自動車利用を減らすには、事業所ぐるみの努力が必要
71	1035	画一的な質問では、なかなか実態が分かりにくいのではないかと思います。
72	1035	質問1は、車を利用する状況を考えずに一律に問うているので、答えにくい。目的地が車を利用するしかない場所かどうか、家族を病院に連れて行くにも症状によって緊急度が違い、一概には言えない。
73	1035	やや記載が煩雑すぎるようです。(行動記録など)。もっとシンプルにしてほしい。IDとPWの記入も簡略化すべきです。
74	1035	質問が結構頻繁にあり、答えるのが忙しく感じた。
75	1035	まず全体としてノーマーカーデーの事前PRが不足していたように思う、 また、アンケートももう少し簡単に簡単に回答できるものにしてもらいたい。
76	1035	上記で記入いたしました。
77	1035	こんな答えようなない質問ばかり並べて、これで実績になるのなら、あなたたちの仕事の仕方は大いに考え直すべきだ。
78	1035	有意義に活用されんことを
79	1035	自分としては既に利用を控えていると思っている。これ以上控えるのは、難しいし、クルマを持っている意味がない。



5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
80	1036	自分の生活の中で、車の利用率がかなり高いと、実感しました。
81	1036	地球の将来に向け、少しづつでも取り組む必要が有る事が改めて実感できました。
82	1036	自分自身あらためて環境や健康のことを考えながら行動しようという意識改革ができたようでとてもよい取り組みであったと思いました。
83	1036	もっと幅広い方に実施しもっと注意を促すべきだと思います。言われないと気づかないこともあるのでこういった取り組みを定期的にいろんな方にされるといいと思います。
84	1036	とてもいい考えだと思いました。
85	1037	車利用について見直すきっかけになった。また忘れてしまうかも知れないので、定期的な取り組みが必要と思う。
86	1037	単発的な取組みではなく、継続的に一般に人たちに浸透するまで取組を実施してほしい。また、行政が率先して実施していく必要がある。例えばクールビズのように。
87	1037	もう少しわかりやすい表現で説明してもらわないとわかりにくい。アニメなどを使って具体的な場面が想像出来るようにしてもらおうとわかりやすかった。
88	1037	公共交通機関の発達していない地方部において、直ちに車の利用を控えることは困難である。しかしながら、特に休日で近距離の移動は健康増進のためにも自転車等の利用を促進したい。全般的に個々の意識改革につながるよう、継続的な取り組みを地味ながらも行うしかないと感じております。
89	1037	取り組む前に交通手段をよりよく利用できる環境を今まで以上に作っていただきたい。子供連れとなると近くに公共機関がないと非常に厳しいものがある。
90	1037	デルタ内に居住しており、買い物等は混雑する市内を避け、郊外へ移動する機会が多い。居住環境での移動手段、平日と休日の違い等を整理されてはいかがでしょうか
91	1037	継続することが大切であり、そのための公共輸送機関の拡充は必要である。
92	1037	・取り組みの宣伝(広報)が不十分だったと思う。 ・ノーマイカーデーの期間中に紙屋町の百貨店にアストラムで行ったが、購入時に「駐車券は必要ですか」と聞かれた(いつものことですが)。車での来客にしか優遇措置はないのかと残念だった。今後は官民一体で公共交通機関の利用促進が必要だと思います。
93	1038	広島では、川があるせいか、例えば、舟入から吉島、吉島から宇品という東西方向の公共交通機関が発達しておらず、そのような異動をする場合は、どうしても車に頼りがちになってしまう。本気でやるなら、CO2排出量で、自動車税等にもっと、もっと差をつけるとか、ガソリンに環境税のようなものを導入するとか、抜本的にやらないと解決しないのでは？
94	1038	アンケートが次から次へと届いて、十分な対応ができなかった。 WINDOWS - XPでないと対応できないところがあり、対応に苦慮した。
95	1038	都心部や郊外など公共交通機関の整備状況により自動車の使用形態は異なるものであり、画一的な取り組みは適切ではない。 個人の自動車の使用意識のみではなく、都市計画や街の整備段階において、車を利用しなくてもよい設計(自転車道を整備するなど)も重要である。
96	1038	このように見直せる機会を継続的に設けてもらえると、より取り組みやすいし、実効性が上がると思う。
97	1038	大変ためになりました。
98	1038	これまでより、車の使用を控える意識が高まった。
99	1038	当初から車の利用を考えていないので、計画変更もあり得ない。 海水浴への交通手段の質問等、行くこともないものへの回答はできない
100	1038	今回のプログラム開始時に緊急事態が発生し、長距離でクルマを使用することになったため、回答の仕方に困った。多肢選択式であったため、回答の中で十分に自分の考えを述べる事ができなかった。 地球環境保全に対しては従来から意識して行動しているし、今後も無意識に車を使う機会を減らしていきたいと思う。
101	1038	取り組みに関するこのアンケートの被対象者の属性を考慮して結果を出す必要があると思う。人によって車を必要とする場面は違い、一概に車利用を否定することは出来ないと思う。中山間地域のように交通機関が十分でない場合には友人の家に行くのでも車でないと移動できない場合が多いのではないかな？
102	1038	今回のような取り組みを世間一般にも広めて、国民全体がもっと環境への意識を持つよう試みてはどうか。
103	1038	通勤でクルマを使う必要がないように、ノーカーデーに実施された、終電時間を遅くする方法などを、平日だけでも実施してほしいです。 郊外への移動方法は現在クルマに変わる交通機関が必要です。
104	1038	質問の設定の仕方に疑問を感じる事が多々あった。「5.家の近くのコンビニに行くとき」と言われても、家の近くにコンビニなどありません。
105	1038	仕事で忙しいときに重なってしまい、満足の行く回答になっていなかったと思います。集計上御迷惑をかけると思いますがよろしく願います。
106	1038	自分の行動(特に休日)が車中心であることが分かりました。 家族でもこの取り組みに関し、話をしたいと思います。
107	1038	環境について考えるいい機会でした。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
108	1038	もっと詳しく聞いて欲しい。
109	1038	1回目と2回目では、車利用の目的が違ったので、今回の取り組みの成果を比較するのは難しいと感じた。
110	1038	アンケートを取るのには、少し業務に差し障りがある面がある。定期的に意識啓発のメールなどを送付してはどうか。
111	1038	休日の取組みだけであったが、取組み対象の日の外出が、公共交通機関を利用するのが困難なものだった。 通常、なるべく公共交通機関を利用しているよう心がけているのに、1回の週末だけをとらえて評価されるのは残念だ。
112	1038	集中して調査するよりも、もう少し長い期間の中で調査する方が、実態に即したデータが得られると思う。
113	1038	少しでも自動車の使用を減らしていくにはこうした取組みが契機になることもあるだろうから、日常生活において自動車使用量が多い場合には、継続的に行う必要があるのではないかと。
114	1038	利便性に優れる自動車利用から公共交通機関へ転移させるためには、 ・利用者にインセンティブを与えることが必要 ・公共交通機関の利便性を高めることが必要 ただ、環境に配慮するだけでは、一般県民はついて来ないので、殆ど成果は得られないと思う。
115	1038	問題提起としては、方法は別として必要だと思う。 しかしながら、人間の行動はシチュエーションによって異なってくるのは当たり前であると思うし、質問や評価が一般論としても抽象的・画一的である。
116	1038	郊外に住んでいることや、子供がまだ小さいので、家族で移動するときはどうしても車になってしまい、車の利用を減らすのは難しいことだと実感しましたが、環境のためには少しずつでも減らしていくことが必要だと思いました。  この調査方法についてですが、全体的には、もっと内容を簡素化する必要があると思います。難しいとは思いますが、CO2削減効果については、特に日曜日ですが、1回目に偶然たくさん乗っていた場合、必ず減るので出た数字に信用性があるのか疑問です。 車での送り迎えの場合2～3分の場合もあると思うので、時間の入力については、最小はもっと細かくする必要があります。
117	1039	今回の調査に関して少しの時間でしたが、家族で地球温暖化について話すことができました。回答者に負担にならない程度でこのような取り組みを行えば、地球温暖化対策についての理解が広がっていくものと考えます。
118	1039	今回の参加により省エネの意識が個人レベルで考えるきっかけとなりました。
119	1039	通勤に自動車を活用していない者の休日タイプのアンケートは、かなり回答しづらいものがあった。休日だけの比較だと、かなりデコボコが出るものと思われる。もう少し、平均が取れるような内容にしてみたらどうかと感じた。
120	1039	設問が広島交通事情に合わない部分があり、苦慮した部分がありました。 交通手段を尋ねるシーンでは、通勤、外勤、買い物、レジャー、その他というような区分で尋ねられた方が答えやすい。
121	1039	このようなアンケートをもっと多くの人に問いかけるのがよいと思う。その場合、質問の仕方をもっと少し工夫した方がよいと思う。「都心」という言葉は東京で使う言葉だし、友達の家に行くといってもいろいろな要件、場所があり、答えづらかった。
122	1039	広島市内でバスをもっと利用しやすくすればよい。 紙屋町など中心街へ行くには便利であるが、それ以外では利用できないのが現実。地域内のコミュニティバスを充実させたり、カナダのようなゾーン制料金体系で乗換自由にするなど本当の意味で庶民の足となるようなシステムを作ってほしい。また、中筋やアルパークのようなミニバスセンターをきめ細かく増やして、どこにでも手軽に中継して行けるようにするなど…。ダイヤモンドシティと広島駅の無料シャトルバスは良い事例だがPR不足で知らない人も多いのでは…。同様な無料(又は低料金)シャトルバスを増やすべき。特に休日の行動パターンは皆似ているため、ショッピングセンターやレジャースポット、病院などの目的地に直接行けるようなシャトルバスがあればよいと思います。  自転車をもっと利用しやすくしてほしい。 中心街での自転車駐車禁止について、景観の問題があるなど趣旨は理解できるが、実際的には利用を市役所自ら阻害しているようなものがある。今後、空店舗も増えてくると思いますが、そういったところに無料駐輪場を確保することなどは重要だと思います。広島はコンパクトで川沿いの遊歩道も多く、自転車の活用にはもってこいの街だと考えますので、今後一層、自転車利用が促進されるようなまちづくりを御願いたいと思います。また、自転車シェアリングなどがあるのも便利なのでは…。
123	1039	環境負荷の低減は一人一人の心がけが何よりも重要だと思います。 例えば、「ノーマイカーデー」の取り組みに賛同した方がいつもより時間をかけて公共交通で出勤したのに、取り組まなかった方が渋滞のなくなった道路をすいすいと出勤できたとしたら、、、近視眼的な見方ですが取り組むことによるメリットを体現できるような方策があれば良いと思います。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
124	1040	クルマ移動から自転車移動に代えることは、時間的な余裕がないと実行できないので、まずは私自身の日々の時間的余裕について見直したいと思う。
125	1040	自動車が自分の生活で真にどれくらい必要なのか、考え直すチャンスが与えられて良かったと思います。 また、いかに自動車が費用のかかる乗り物であるかがわかりました。自己の自動車を持たない生活も可能であることが分かり、家族で総意してそれを具現化して行きたいと思います。
126	1040	皆が少し気をつけるだけで環境が変わると言う事を認識し、継続的に実施出来れば良いなと思います。
127	1040	自転車を積極的に使いたいが、広島は自転車専用レーンなどの整備が不十分である。ヨーロッパの例などを参考に、安全かつ快適な自転車での移動が可能になるような都市交通を検討してほしい。
128	1040	市民の代表の議員さんがあのごままでは、今後は参加を考え直さないといけないかもしれない。
129	1040	郊外店舗の拡大で、車がなければいけないケースが多くなってきている
130	1040	かなり考え方が変わりました。 不必要に車を使用するのは出来るだけ避けようと思いました。
131	1040	自身の利用の姿を振り返る良い機会だった
132	1040	大変面白かったです。継続して自身で考え実践していきたいです。 今回の取り組みを含め集約したみなさんの結果を早く見たいですね。 今後もこういった取り組みを継続(手法は違ってても)して、今回参加されなかった人たちも巻き込んでいけばいいのではないかと考えます。全員参加型で！
133	1040	同じ質問の繰り返しで取組の焦点が逆にぼけた。
134	1040	居住地の環境にもよる。家族で移動するとすればバス代が高つく。
135	1040	期待 行政として、低排出車など更に税金の軽減に取り組んで頂きたい。 タクシーの規制(保有台数など)無駄なアイドリングが多すぎる。
136	1040	いろんな機会を通じて環境問題が広く世界中の人々に伝わるといいなと思います。
137	1040	なるべく健康と環境のために車の利用は控えるようにしたい
138	1040	これまであまり意識していなかった車の利用についてですが、このアンケートを実施するにあたり、改めて車の利用を考えさせられました。 健康の為に車も極力使用せず、徒歩、自転車などを使用することが大切だと思いました。 やればできるもんです。
139	1041	特にありませんが自分自身の反省になった。
140	1041	一人一人の取り組みが環境に対して(地球温暖化等)意識を持つ必要がある。国民全員がどうしたら意識するのが大きな課題です。
141	1041	いろいろな意味で期待をしています。
142	1041	公害対策等諸問題解決につながればより良いと思います。
143	1041	広島のような交通機関が整ってない地方都市では全てを交通機関に変更することは難しいと思います。広島市外に住んでらっしゃる方は特にこのように思われるのではないのでしょうか？
144	1041	ほぼ毎日使っている車について考えさせられました。
145	1042	車の利用は仕方ないと思っていましたが、少し考え方を変えると車の使用頻度が減らせることを、体験できました。
146	1042	今回の取り組みでは、意識の高揚は図れても、抜本的な対策にはつながらないと思う。 単純に出かける回数を減らすだけでは、経済等他への影響が懸念される。 利用者のメリットにもつながる、公共の交通機関の整備なしでは、抜本的な減少にはつながりにくいのではないかと。
147	1042	住環境によっては、自家用車はとても便利なものです。 こういった取り組みが普及する前提として、公共交通機関の整備は避けて通れないと考えます。 公共事業や赤字事業の縮小は時代の要請ですが、その一方でそれは様々な格差が発生する要因にもなります。都心部であれば取り組みはスムーズにいくと思いますが、郊外においても個人の行動が制限されないようなインフラ整備は、考えていくべきだと思います。
148	1042	車の利用について考える良い機会となった。
149	1042	車優先社会を構築してきたなかでの取り組みは、難しいと思います。 いまだに、不要に思われる道路が次々と整備され、さらに車社会を加速させています。 道路の行政は、道路を作ることから早く抜け出し、公共交通機関の整理するように流れを変えていかれては。
150	1042	なぜ、クルマを利用するのかを問いかける質問により、クルマ社会となった原因を追究し、その原因を解消する面からの取り組みがあってもよいのではないのでしょうか。 物事は、様々な面からの改善策を講じないと、ある一面だけからの取り組みによる改善は難しいと考えます。 そのひとつが、環境に影響を与えないクルマづくりではないのでしょうか。
151	1042	PRが少ないと思う。ほとんど知られておらず、盛り上げりに欠けているように思う。試験的な試みということであれば、次回はもっとマスコミ等も利用してPRしたほうがよい。
152	1042	今後も、定期的に実施することが望ましいと考えます。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
153	1042	地方でクルマを制限するのは難しいと思います。 本気でクルマ利用の削減を目指すのであれば、抜本的な交通政策の見直しが必要だと思います。
154	1042	今回の調査で、車の利用により大量のCO2が発生することが分かりました。これからはできるだけ車の利用を控えた行動をしようと思います。
155	1042	結構車ばかり使用しているなど明確になるいい機会でした。
156	1042	今回のプランは動機付けにはなったが、 便利さを追求する世の中になった以上 継続することは困難。 従って、行政が公共機関を充実させる ことが必要か。
157	1042	地球環境のことをもっと考慮した行動を心がける
158	1042	くるまの利用を抑えるためには公共交通機関の充実が必要と考えます。 もっと利用しやすい公共交通機関網の整備が必要です。
159	1042	各自が意識を継続することが重要であると考えます。
160	1043	このような課題に取り組むことにより、自動車のCO2の問題を常に意識でき、また、自動車以外にもCO2の排出抑制活動は他にもあるので実践していきたいと思います。(例:省エネ活動、エレベータではなく階段を使用など)
161	1043	会社業務では、環境教育などもあり意識は向上している。 今回は、日常生活面まで拡大した内容であったので家庭生活でも、意識、行動していきたい。
162	1044	環境問題として、学校の教育プログラムに組み込んで欲しい。
163	1044	改めて環境問題に目を向けることが出来た。今後、自動車の利用方法について、考えながら行動します。
164	1046	この取組み、趣旨、意図が広く一般市民に広がればよいと思います。
165	1046	以前から、できるだけ車を使わないよう心掛けている。しかし、車をうまく使うようにするためには代替交通の整備が最重要課題である。バス、鉄道のアクセス、自転車道の整備が必要。これがすまないと抜本的な変化はないと考える。特に自転車を利用しようと思っても、広島のように走りにくい自転車道(歩道)では車利用より事故の危険性が高い。車を使わなくても済むように交通網が整備されればよい車の利用ができる。
166	1046	公共交通への転換について、現状のサービス水準では、特に呉方面からの通勤(JRの移動時間が(快速以外)長く、トータルの移動時間が自動車に比べて随分長い)では難しいと感じています。
167	1046	今回の結果を公表し、できるだけ多くの人々の関心を引くことが出来ればよいと思います。今後も継続的な取り組みが必要と思います。
168	1046	仕事では、環境に配慮しているものの、日常生活で環境に配慮する機会は少なかったと思う。 今回の取り組みで、日常生活における環境問題を意識することができよかったように思う。 今後も引き続き日常生活においても環境に配慮していきたいと思う。
169	1046	努力してはみたが車の利用を控えるのは難しいと感じた。 自宅が郊外の山の上、勤務地が市の中心からはなれており、公的、個人的移動ではバスの2~3回の乗り換えが必要で車の2~3倍の時間がかかる。 仕事が公共交通機関のない山中の現場が多い。 期間が業務の繁忙期に一致し、休日勤務が多かった。
170	1046	車利用を見直すいい機会である。
171	1046	休日でも出勤することが多く、特に休日のプランは予定通りとはならなかった。 今回は、休日に大きな荷物の持ち運びが生じたため、公共交通機関や自転車では移動が難しく、車に頼らざるを得なかった。 自家用車については、元々利用が少ない方だと思うが、その中で更に軽減していくのは、かなり努力が必要であると感じた。 CO2の削減に協力できない結果となったが、これからも環境に意識した行動をとっていきいたいと思う。
172	1046	意識付けという点から定期的に取り組むことが大事であると感じた。
173	1047	定着するまで、定期的な取り組みが必要と考える。
174	1047	日常的に自動車移動をあまり行わないため、サンプリング及び行動実践が難しかった。
175	1048	広島市が主催であるからには、内容を実態に即したほうが、取り組みやすい。特に交通手段の選択において、「地下鉄」は何を差すのか？路面電車、アストラムラインといった選択肢を表示すべきと思う。全国大で集計する場合に、統一した内容にする必要があるのであれば、「路面電車の場合は電車・地下鉄を選択してください」といった案内が、別途必要と考えます。 メール配信について、午前5時という送信時間は妥当だったのでしょうか？私のようにメールを携帯へ転送している参加者も居ます。個人の生活時間が多様であるにせよ、一般的に「日中」と思われる時間帯での送信が望ましかった。
176	1048	選択肢の「どちらかという」という設問はあまり意味が無いと思います。統計としてそれぞれ区別されていても、よく見るケースとして「はい」が全体のXX%といった報告がされています。 あいまいな文言は選択肢として適さないと考えます。 次に同様の取り組みをされる場合はご一考ください。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
177	1048	参加対象者が広島市内(一部郊外を除く)に在住であれば、自家用車利用が避けられるはずであるが、完全に郊外で一般交通機関が利用し難い(無い)者にとっては、削減のしようがない。今回の2日間のノーマイカーデーは達成したが「家を出なかった」ということで本末転倒な処置であった。
178	1049	アンケートの回数が多い
179	1049	簡単なアンケート調査ということで参加協力したが、記入項目がかなりあると同時に記入項目に必ず記入しないと送信出来ない仕組みになっており、もっと簡単にすべきである。
180	1049	今回のアンケートに対して具体的な対策をたてて実効するようお願いしたい。
181	1049	IDとパスワードは2回目以降は必要でないのでは？
182	1049	入力作業が多いので簡略化すれば参加しやすいと思う。
183	1049	日常、便利で自由のきく自動車利用が、習慣になっている。今回のように、意識改革のきっかけになるような取り組みは、継続的に実施することにより、自動車離れが推進すると思います。
184	1049	公共交通の利便性を高める事が車利用を押さえることにつながると思う。
185	1049	理想は理解できるが、現実的に実行することが普通に難しい環境に対して意識を深めていきたい
186	1049	環境問題は、社会的な重要な問題と考えます。身近なところから取り組んでいきたいと存じます。
187	1049	田舎に車は不可欠だとつくづく感じた。
188	1049	頭で考えていても、なかなか難しい面もある。環境汚染等、常に意識することが大切である。
189	1049	もっと長期的なリサーチをしてほしい。
190	1049	地球環境と自家用車の関係は難しい事が判った。
191	1050	世の中には、いろいろな人(思想/宗教、教育レベル、身体的ハンディ、生活環境等々)がいるという事を認識された上で、実施する内容、誘導されたい方向を十二分に事前検討し、実行される事をお進めます。そして、企業なら当たり前の投資対効果という点も お忘れなく。
192	1051	個人個人に浸透していくには継続した取り組みが必要であると思います。
193	1051	将来の環境問題を意識させられた。
194	1051	休日タイプで取り組みましたが、事前に予定を立てることは結構難しく、予定とはまったく違った行動(目的地や用事)をとることもあったと感じました。ただ、少し徒歩やバスに変えることで、こんなにもCO2の削減ができるということを知るだけでも、(実際は送ったデータと違った行動をしても)啓発になったと思います。
195	1051	二酸化炭素の排出が、地球環境や身近な環境にどのような影響を与えるかをもっと知らせてはどうか。 また、自動車の使用が、毎年数千人もの犠牲者をもたらしていることなど、二酸化炭素以外の負の側面についても、十分に周知する必要があるのではないかと。 つまり、今回のような切り口だけでは、意識の高い人間を除けば、自動車利用を控えるきっかけにはなりにくいと思うのである。
196	1051	みんなの意見を参考に車利用を考えてみたい
197	1051	日ごろから、クルマの使い方について少しは考えていたつもりですが、このたび改めて考える機会を持てたので、良かったです。今後も無理のないように、上手にクルマと公共交通機関を使い分けていきたいです。
198	1051	公共交通機関の便が悪いのと時間短縮を考えているので、車を控えるのは難しい。
199	1051	・郊外生活者としては、車の依存度は日常生活ができないくらいになっている。 ・公共交通機関の運行路線をきめ細かく拡大し、利便性が図られていけば車からの移行は少し進むのではと思う。 ・日常買物施設、公共施設、スポーツ施設、病院などへの乗り入れや公共交通機関の駅周辺の各施設の余剰駐車場の開放、観光施設を周遊する公共交通機関の運行を図られたい。 ・坂道の多い郊外居住地にとって、いかに車利用から公共交通機関への移行ができるのか、利用しやすく、きめ細かい公共交通機関の運行方法を切に願っている。
200	1051	仕事での車の使用は必要
201	1051	環境と実生活上の取組みの齟齬が確認できたので、良かった。
202	1051	頭では、公共交通機関、徒歩などにより移動するようこころがけているが、実際にはくるまに頼ってしまった。
203	1051	CO2の排出量の計算等は、専門家でない我々には理解できない。 クルマを使わないと地球環境がどの程度改善されるのかを、もっと具体的に理解しやすいカタチで説明し分かりやすくしたら、協力しようとの気持ちが強くなるのではないかと。
204	1051	・現在の交通体系のまま、車利用を控えるのは、極めて困難。 ・駅周辺に安価な駐車場を確保するなどの具体策とセットでないと、何の進展もないと思う。
205	1051	取り組みはいいことだと思う。しかし、代替の交通機関があれば、実践しやすいが、ない場合は難しい。また、費用面ではクルマ利用が安価な場合が多く、なかなか実践しにくいと感じた。
206	1051	意識することがなければ、なかなか行動には結びつかないことがよくわかりました。ほとんどの人がそうだと思います。このような機会がよいきっかけとなりました。
207	1051	事前の調査の流れをもう少し、理解しやすいように説明した方がよかったと思う。
208	1051	目的はともかく、アンケート等の取り組み内容はさして魅力的とも思えなかった。
209	1051	車の利用を考えるとということ、とても良いことだと思う。ただ、子供が小さいために、家族で移動を考えると今の状況では、車を使わないということは、なかなか難しいので、少しずつ自転車、徒歩などでの移動を考えながら検討したいと思う。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
210	1051	自分のマイカー通勤によってCO2の排出量が具体的な数値としてみる事ができ、その量におどろきました。できるだけマイカー通勤を控えようという気にはなりました。
211	1051	東京とか大都市の公共交通事情と地方都市での公共交通事情は違うと思われる。地方は地方にあった取組みが必要なのではないかとおもわれる。
212	1051	毎年行くと「またか」ということになり意味が薄れるが、何年かごとに定期的に行くと啓発になるのではないか。
213	1051	家族と一緒に移動する場合、公共交通機関がない目的地に移動する場合は、どうしてもクルマを利用してしまう。 また、移動に関してどちらが経済的かにより移動手段を選択する場合があります、全て公共交通機関を選択することが難しい。
214	1051	現代社会の交通手段として、車(自家用車)は大変重要なウェイトを占めていると思います。車を控えようという認識はあっても、車(自家用車)を使用せざるを得ない社会環境になっているのではないのでしょうか。
215	1051	これから定期的に活動して下さい
216	1051	ノーマイカーデーは、我々の日常の行動習慣を変えるきっかけ作りとなるものだと思います。恒常的に行っていたいただくとともに参加者が増えていくことを期待しております。
217	1051	可能な限り、クルマの利用を控えよう意識したが、家族で公共交通機関を利用するには、経済的負担が大き過ぎるため、クルマを利用するケースがあった。 また、日常的にバスは、いつ来るか、また、いつ着くかが不明なため、その日の行動の見通しが立てにくい。バスの定時性の向上を望む。
218	1051	いいきっかけを作ってもらって感謝です。 こんなことがなかったら気をつけないですね。 あとは、このきっかけを活かすよう継続はちからなりですね。
219	1051	すぐに忘れてしまうが、このような考えをする機会が与えられたことは良かったと思う。継続してやってみてはどうかと思う。
220	1051	結果を楽しみにしています。
221	1051	ロードプライシングを実践してほしい。
222	1051	CO2の削減には、一人一人の取組みが大事であると感じている。
223	1051	自家用車の利用を見直すいい機会をあたえてもらったと思います。 ありがとうございました。
224	1051	入力に時間がかかり、回答に面倒との気分になりがちであった。
225	1051	回数が多すぎた。
226	1051	就業中と家庭とでの車利用に関する意識は時間的な制約等で異なっているのではないか。
227	1051	今後とも、状況を判断し、適切に車の利用をする。
228	1051	取組みに関しては良いが、回答がダイレクトにできず、エクセルの形式を使用したのが、この点について工夫して欲しい。
229	1051	家族がいるときには、みんな自動車で行きたがるし、子どもが小さい時には自動車の方が安全ですし、周囲に迷惑をかけなくて済みます。家族構成ごとのプランを示す必要があると思います。
230	1051	2回目の調査を記入するとき、自分で記入し送信した1回目の結果が見れなかったため、記入する気になれませんでした。
231	1051	自分の環境に対する意識が少し変わり、以前よりは車の利用の機会が減少し、また、車を利用しても、信号で停車した際にはアイドリングストップしたり、良い経験になりました。
232	1051	さらに多くの家族にも取組みに参加してもらうことで、環境への意識改革が進むと思います。
233	1051	車を持っている者が利用を控えて公共交通機関を利用するのは、出費が増えるので難しいのではないのでしょうか。 車を購入させない仕組みか、環境への負荷が少ない車を開発する方向で施策を進めるべきだと思います。
234	1051	パソコンの環境によって対応できないことがないようにしてください。
235	1051	個人で考えることは必要であるが、公共交通等の環境整備の改善等に取り組むべきではないかと思う。
236	1051	家の周辺での生活に密着した部分では、車ではない手段の選択を選択するようにしたいと思う。 通勤はいまでも公共交通機関を利用しているので、改善はほとんど出来ない。 妻の通勤や外出が車ということを改める必要性を感じる。
237	1051	市内くらいは、自転車でも移動できるように環境整備をしていただきたい。
238	1051	もっと回答が易しい仕組みで実施をお願いしたい。
239	1051	いいことだとは思う。相乗り運動を強化しては？
240	1051	機会があれば今後も協力できると思います。
241	1051	日常生活が自動車の使用を前提にしたものになっているのは、「便利である」という事に尽きるとは思いますが、それに関わる問題もあって、個人それぞれが便利さの評価を変える努力をすれば問題解決の一助になるのではないかと感じた。
242	1051	パソコンの機種が古いので処理が煩わしかった。
243	1051	意識をもつことは大切だと思います。私の場合、前の車は13年乗って4万5千キロしか走ってなかったのですが、やはり地球を汚していると思います。なるべく自転車か徒歩で行くようにします。でも物を運ぶときにはどうしても自動車でないといけない場合があります。最低限の使用となるよう努力します。今回のアンケートに際し、いろいろご苦労されたと思います。お疲れさまでした。
244	1051	目的地までの自動車に代わる交通手段の周知をし、選択しやすい情報を提供してほしい いろいろな路線や時刻などバスや電車の情報を自ら収集するには限界がある 情報センターのようなものがあればよい

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
245	1051	改善するのが相当困難につき、社会的な強制措置が必要かもしれないと思います。
246	1051	交通の不便な場所に住む者にとって、市内在住者と同じ質問では、回答が難しい。近くのコンビニについても気持ちでは「徒歩」ですが、現実には往復9キロ、バス便の無い状況下では車利用しかありません。こうした現実が配慮できないようなアンケートであれば、次回は遠慮させていただきます。
247	1051	今回のような短期の取り組みならば、その期間だけは、交通機関各社ももっと協力して、その期間だけ電車・バスを増便するなど、皆が車を使わなくてもすむ状況というのを示してもらえばよかったですと思う。(特に、私の家と駅を結ぶバスは30分に1本程度と、非常に不便で、必然的に車使用が増える環境なので)
248	1051	交通インフラが整備されている都会での生活であれば、クルマ利用を大幅に減らすことも可能ですが、田舎町では自家用車は生活には欠かせません。バス通勤をするようになり、公共交通機関のありがたさを痛感しておりますが、今回の取り組みをきっかけとして、健康のことも考え、できるだけ徒歩を心がける生活をしていこうと思います。
249	1051	今回のような取り組みの輪を広げることで、みんなで地球環境のことを考えるようになれば、いいと思いました。
250	1051	良い取組みだと思います。アンケートに答えながら、いろんな行動手段があることに気づきました。普段の行動が当たり前になっていた自分にとって、考え直すいいきっかけになりました。
251	1051	この取り組みの期間中でさえも、自動車についつい乗ってしまうことが多々あった。とはいえ、格段に使用を控えることはできたので、今後も意識をとぎることなく気をつけていきたい。
252	1051	クルマと環境のつながり
253	1051	自分の行動の結果が数値的・視覚的に確認できたので、励みになった。アンケートや計画の作成がもうすこし手間がかからなければよいのと思った。
254	1051	公共交通機関の連携の改善、自転車専用道の充実などクルマを利用しなくとも快適に移動できるための社会資本の整備を進めていって欲しいと思います。 たとえば、アストラムラインの環状線化(延長)、アストラムラインとJRとの連携、可部線と芸備線の連携、河川堤防沿いへの自転車専用道の整備など。
255	1051	率直に言って、短い期間で毎週のように記入を求められたのがしんどかったです。どちらが良いのが自分でも断言できませんが、もう少し長い期間で、2~3週間に1度ぐらいのペースで記入する方法でも良かったのかなと感じました。
256	1051	より発展的な取組みとなればと思います。
257	1051	広島の場合、居住地の地勢(平坦地か丘陵地等)、通勤経路の道路状況(渋滞がひどいがバス専用レーンが設定されていない、バスの便数が少ない)など、公共交通機関の路線の設定状況等により、公共交通機関や自転車の利用などが困難な人も多いのではないかと。利用者の取組みだけでは解決できない面もあるのではないかと。
258	1051	公共交通機関がない郊外においては、自動車を利用せざるを得ない。また、高齢者の送迎をする際には自動車が必要であり、高齢化社会になれば利用は増えると思う。
259	1051	自分の利便性だけを考えるのではなく、不便でも環境に配慮する必要があると感じた。
260	1051	クルマの使用方法について、意識的になることで地球の環境についても考えることができた。これをきっかけに、今後は、自分の行動を決定する基準として、地球環境にとってどうかという点に置きたいと思う。
261	1051	今回の取組みで、いろいろと考えさせられた面は、良かった。気づきはあった。しかし、自動車産業は、経済の中心であり、自動車の改善がもっとも効果的、今後、中国でガソリン車が普及していくと思うとぞっとする。燃料電池車、水素燃料車など、二酸化炭素を排出しない車が実用化され、普及させることが、根本的な解決になる。開発を急いでほしい。中国での車の普及に間に合ってほしい。個人的に、車の運転が趣味であるため、余計にそう思う。
262	1051	ありがとうございます。
263	1051	これまで他人事のように考えていましたが、自分がやってみて少しは気にかけることができました。この取組みが実践できるかどうかは別として、意識付けをするのに少しは役立つと思うので、多くの人に試みてもらいたいです。
264	1051	もともと通勤に車は利用していないが、休日の家族単位の移動にはマイカーを利用する。子どもが小さい(5歳と1歳)こともあり、家族単位の移動では、公共交通機関で行けるところでも車を利用せざるを得ない。子どもが小さいうちはマイカー利用を控えることは難しい。
265	1051	対象を拡大し、定期的実施されてはいいかでしょうか。
266	1051	共働きの家庭でも、家族の何かの用事があって、クルマを使わない日は一日もありません。ですから、ノーマイカーデーを設けることは難しい。近くの用事とか、一人で出かける用事ときは、健康のことも考えて公共交通機関を極力使おうと思います。
267	1051	地球環境の温暖化、植物への影響等々考えれば、マイカーの利用は自粛するのがベストですが、現実には難点があるとおもいます。世界中が大きくとりあげなければ、中々解決には程遠いと思われるます。
268	1051	意識することが大切だと思う
269	1051	車が生活にねずいている現在、車の利用を控えるのは、とても難しいように感じた。
270	1051	現在のクルマの使用方法を考える良い機会であった。
271	1051	アンケート対象者としては、都市部に住む人を対象とするべきで、田舎に住む私は不適格であった。



5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
272	1051	人の善意でクルマの利用状況を変えていくのはとても難しいと思う。 公共機関の利用のしやすさ(料金格下げや時間短縮などのシステムの改善)が伴うことが不可欠のうえのことではないか。 本取り組みのような少しずつのみんなの意識の変化とともに、クルマ社会の大きな技術の向上を期待する。
273	1051	直接の内容とは異なりますが、各取り組みの段階がわかりにくかった。 全体の進み方があって、今どの段階にあるのか、いくつかのアンケートが今回はあるのか、など調査方法の工夫が必要であると感じました。 ご苦労様でした。
274	1051	公共交通機関は不便で使いにくい上、高い。 意識して利用しようとしても、現状では長続きしないと思う。 都心に駐車場整備が進めば、やはり便利だから車を利用したい。附置義務制度を見直すことも必要ではないか。
275	1051	現状のままで、公共交通への転換が図れるのであれば、素晴らしいことです。しかし、実際は非常に困難だと思います。そこで、この取り組みを起点とし、積極的に公共交通への転換が図れるような支援策がなされることを期待しています。
276	1051	生活の利便性を低下させることは、難しい。買い物に行くにしても、バスなどの適当な路線がない。
277	1051	答えの入力の機会を逃すことが多く、あまり参加できたとは言えません。入力日の当日にもメールをいただくとありがたいと思いました。 CO2のことより、車を使わなくてすむ交通体系と、「10分歩く」ことが当然になれば、社会の多くの問題は解決できるような気がします。意識を変える意味でも都心への車の流入を規制することも必要だと思います。もちろん、納得いく代替交通機関の充実も必要ですが。(ヨーロッパで行われているように自動車を排除する代わりに路面電車の無料区間を設けるとか。ほかに誰にでもわかりやすい路面電車を高速化することも有効だと思います。現状は、自由のきくバスでの工夫も足りないように思います。)
278	1051	他人のパソコンを使わなくてもすむような調査をお願いします。
279	1051	定期的な継続を
280	1051	結局あまりノーマイカーデーが周知されていなかった。 サンプリングを取るよりは、啓発したほうが効果があるのでは。
281	1051	現状を打破し、良い方向で進んでいくと良い
282	1051	排気を数値で表すことにより、環境悪化への影響を、罪悪感として強く受け止めた。 自己の行動を、周囲の人にもわかるように、実践をする。
283	1051	昔、何処かで実施していたと思いますが、月に1度、車のナンバープレートの奇数、偶数で運行できない日を決めて、通行量を減らすなどを試みてはどうでしょうか。
284	1051	考え方は地球規模なのであるが、足元から行動することは、とても難しい。
285	1051	移動手段としてクルマを気軽につかっている人は他の公共交通機関に変更できるかもしれませんが、私の家のように普段クルマをつかわず、週末ドライブとして楽しみにクルマを使う家庭の場合このような取り組みはあまり関係ないと感じました。
286	1051	クルマを使わなければ健康や環境に良いことはわかった。
287	1051	マイカーの利用規制が必要な時期がくるのでわと思います。
288	1051	やはり世帯員に乳幼児がいるとどうしても自動車を使うのは仕方がないと思う。 それ以外の行動で急がないときはなるべく自動車を使用しないように心がけたい。
289	1051	日頃、自動車の使用頻度は高くないため今回の取り組みで大きな成果(効果)はなく、今後利用を控える余地は少ないが関心を持って取り組んでいきたい。
290	1051	もっと宣伝して取り組み状況をあきらかにして、意識啓発をおこなってはいかがでしょう。マスコミであまり取り上げられていないような…気がします。小学校等の教育施設の教員が車で時間ぎりぎりにきているのが前から気になります。就業時間どおりに通勤するのなら郊外の学校を除き交通機関がある旧市内などの学校はくるまでの通勤を認めないというのはどうでしょうか。交通量が激減すると思います。
291	1051	身体に障害がある者にとってクルマは必要不可欠なものとなっています。技術革新により排出ガスでないクルマの誕生を願うしだいで。
292	1051	何回も何回も、アンケートで私は窓口業務で、接客や電話対応におわれており、いつまで、いつまでに回答とせまられ、モビリティ事務局の人らは安気でいいですね。
293	1051	今回の取り組みに参加した者は、恐らく一部の市民であると思いますが、自分のクルマに対する意識が少なからず変化したと思います。しかし、この意識の変化を自分のことだけに留めることなく、このことを回りの者に伝え、広めていくことが重要であり、それが実現してこの取り組みの成果が評価されるのだと思います。私も微力ながら努力してまいります。 この取り組みを企画、実施されたスタッフの方には頭がさがります。 お疲れ様です。
294	1051	クルマの使用が、環境に影響していることが、改めて理解できました。便利さに押されて環境のことを忘れないようにすることも、今後は、重要な取り組みになっていくと思いました。
295	1051	漫然と車を使用していたが、今回のようなアンケートに参加したことで、自分の中での問題意識が、多少でも芽生えたと思う。 多くの人が、少しでも問題意識を持つことができれば、車社会も変わってくるのではないだろうか。
296	1051	一人の認識が大勢の認識が変わるとき世の中が変わっていくと思います。有難うございました。



5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
297	1051	地域性を考慮したアンケートにしてほしい。全てが都心の公共交通機関の充実している地域を対象にしている質問だと感じた。バスが待つ暇なく往来している地域と1時間に1本あるかないかの地域では自動車の必要性が全く違うと思う。
298	1051	車を利用しなければ経費も安く済みますが時間がなく今まではあまり利用しないようにしようと考えたりませんでした。今回JRに乗ってみて案外時間がかからなかったこと、時間だけでなく、環境・健康・経費・心の余裕などいろいろな観点から考えることができました。歩くことは楽しみでもあるような気がしました。
299	1051	今回9月22日のみの参加でいいと思い、軽い気持ちで参加しました。行動変容を求めるものとはあまり意識していなかったため、期待に添えないものとなりました。しかし、通勤に関しては、バスに変更することも考えていけないといけないかなと思います。家族がそろって外出するとバス代が多くかかり、車を使わざるをえない状況です。今後、バス料金の改正で可能になるものかなと思います。
300	1051	通勤するのに、自転車で出かけるように最近ではしているけれど、疲れたときなど、自動車になるときがある。今後は、環境と健康を考えてがんばって見ようと思います。
301	1051	ノーマイカーデーでの参加者が少なかったのは残念。今後は民間企業等を多く巻き込み、年に数回実施してください。ただし、取り組み前後のアンケートはもう少し少ないほうが良いと思います。
302	1051	目の前にある便利なものを使わないようにするのは、とても難しいことです。とりあえずできることから…ですが、できればもっと根本から変えることができたらと思う今日この頃です。
303	1051	自転車通勤の慣行
304	1051	今回の取組みで意識が変わりました。これからも機会があれば協力します。
305	1051	申し訳ありませんが、私のは統計のデータには出来ないとします。最初の入力をミスっていますので…
306	1051	取り組みは努力ですが、交道具を整備していかないと無理だと思います。特に広島は郊外に団地等が多くあり、駅までに移行するバスの時間(本数)が少ないと思います。無駄な公共機関を言わせてもらえば、アストラムラインが良い例です。環状線にして西方面をカバーすべきではなかったのでしょうか。
307	1051	今回は、事業所の代表でしたが、市民一人ひとりにこのようなアンケートがとれば、もつと車利用そのものが考えられ、控えられるのではないのでしょうか。
308	1051	貴重な資料、ありがとうございました。環境問題に真剣に取り組みたいです。
309	1051	実際取り組みだ日の交通渋滞の緩和がなされていない。公共交通のアクセスが悪く公共交通機関の利用が難しいので、クルマの使用をやめることができない。
310	1051	通勤時間及び費用が倍増するため、取り組みへの対応は困難である。
311	1051	アンケートの回数が多く、また、期限も決められており、負担になる。
312	1051	公共機関をなるべく利用したい
313	1051	もっと皆に周知徹底してもらいたい。
314	1051	クルマの利用を控える良い機会だと思います。職場などで丸となって取り組みを行い、実践すれば習慣付けができ、効果は大きいと思うので、職場等への働きかけを積極的に行えば良いと思います。初めは、半強制的でもクルマの利用を控える良い習慣ができれば、結果オーライで問題ないと思います。実践すること、させることが一番！！
315	1051	もっと、バスの運賃を低くすべきだ。
316	1051	良いことであると思います。
317	1051	改めて、日常でどれだけ車を使用しているかが明確になった。今後も、このような取組を継続的に行うべきである。
318	1051	とてもよい取組であり、参加してよかった。環境のためにできることから積極的に取り組みたい。
319	1051	入力の仕事が難しい
320	1051	努力が必要
321	1051	もっと、実践する方が増えるといいですね。車もエコカー(電気自動車など)が主流になる日が早くくるとよいと思いました。
322	1051	自分の判断だけでなく廻りの行動に左右されてしまう点に難しさを感じる
323	1051	都心では車が不便な状況を作り出すことが有効でしょう。例えば本通地区内には駐車場をつくらないなど。商売に直結するので難しいかもしれないがそこまでしないと車利用は減らないと思う。
324	1051	車は好きですが、環境のことを考えると利用を控えることは常に頭の中に入れておく必要があると感じさせられました。
325	1051	今回の取組があったことで車に対して考える機会になった。
326	1051	この取り組みが目標としているもの、この取り組みをすることで変えようと思っていること、将来ビジョンにどうかすのかをもっと具体的に提示して欲しい。この取り組みに参加した人間の意識改革だけを狙っているのならあまり意味のない話だと思う。
327	1051	車利用をしないという強制はできないから、公共交通への切り替えをすれば、眼に見えるメリットがある、というような制度を作るしかないのではないかと。
328	1051	自動車利用は必要最低限にすることをめざしたい。
329	1051	今後もできるだけ、徒歩か自転車か利用できる場合には利用したい。また、バスを利用できる場合にはバスを利用したいとします。
330	1051	自動車を使うことに慣れていないので、やめるのはなかなか難しいと思う。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
331	1051	地域経済の活性化のため自動車を購入する運動もある一方で、環境に配慮し公共交通機関を利用することを試みる運動がある。結局何が最善なのかわからない。データが取れば、既成事実を実証できればそれでよいのか。立場によって見解が分かれる問題だけに、できれば経済的側面にこだわらず、環境に重きを捕らえた報告を行っていただきたい。その方がこのアンケートにより意義を見出すことができると考えるからだ。
332	1052	アンケートの記入量が多いので、ほとんどの人が適当に答えたと思う。もうすこし記入量の少ないアンケートにできないのか？
333	1052	取り組みの趣旨は理解できるが、現実の生活の中での取り組みはなかなか難しいと思う。
334	1052	広島市にはバス会社も複数あり、路線も分からないほどあり、路面電車まである。しかし、休日には中心部に車が集中して、駐車場はどこもいっぱいになる。そういう意味ではまだまだ田舎町の感覚に近いのかと思う。せめて中心部へは公共交通の方が楽だなと思えるような都市にしたい。まずは「小さい子供を連れては利用できないな」とか「老人にはちょっと難しくて利用できないな」という所を無くさないと、万人に利用されない。
335	1053	住みよい環境作りのためにも引き続き頑張ります。
336	1053	この活動が地域に浸透しているとは思えなかった
337	1053	今まで、利便性ばかりで自動車を使用していたが、少しの努力で、環境に貢献していることがわかった。環境を守ることは、個々人の行動を見直すことから始める必要性を非常に感じた。今後も、実践していきたい。
338	1053	大事な自然をこれ以上破壊しないよう出来る努力は意識して行いたいと思います。
339	1053	アンケートの記載方法が難しかったので、もう少し簡単なものにしていただきたかった。
340	1053	居住地の実態から車に頼りがち。高齢になればなるほど車を利用することとなる。団地内を巡回しながら駅など主要交通機関と直結する施策など行政と住民一体となった行動が重要では。車を利用した時でも、どのようにすれば排出ガスを少なく出来るかなど、常に意識しながら使用するための活動も大切だと感じた。
341	1053	今後も 継続して行くことが 大切だと思います 御健闘を祈ります
342	1053	市民に対して今回の取り組みをもっとPRしてほしい。
343	1053	多様な状況にある中、画一的な質問には非常に答えにくいし、結果の評価にもあまり真実味はないと思われま。
344	1053	調査に使用したサンプルは、日によって車の使用状況が違う為、取り組み前と取り組み後をいちがいに比較はできないと思った。
345	1054	環境改善は普遍的な課題。さまざまな環境改善の取組みが企業レベル、個人レベルで行われるべき。
346	1054	環境面からクルマを自粛しようとする人は少ないと思うため、バス専用レーンの取り締まりを継続するとともに、優先信号箇所を増やすなど、物理的に公共交通機関が有利となるような取組を実施してほしい。
347	1054	何度もアンケート等に回答したが、あまり行動の変化を促進したいと思える部分が少ないと思う。それよりも、強制力のある施策(ロードプライシング)が実現できるよう、市民等に働きかけていくべきだと思う。
348	1054	公共交通機関を利用すると、自家用車に比べ、どうしても時間とコストがかかってしまうので、行政の補助等により、公共交通機関の頻度を上げたり、運賃を安くするなどの施策も必要だと思った。
349	1054	広くアンケート調査するのもいいが、対象を絞って具体的調査をしてもいいと思う。
350	1054	自由入力欄について、質問が漠然としすぎて入力しにくかった。また、この欄は全て入力強制になっていたため、このアンケートの回答はかなり苦痛であった。
351	1054	問題認識はあるが、実行を伴うのは、難しいことが分かった。
352	1054	いろいろと考えるきっかけになったと思う
353	1054	CO2排出量の少ない原付自転車はこうした取り組みに対して肯定的なのか否定的なのか意見が分かれるように思われるため、原付中心の自分にとって自己評価が難しかった。
354	1054	協力ではなく強制的に取組む方法を検討してもいいような気がします。
355	1054	もう少し簡単にアンケートに答えやすくしてくれるといいと思います。
356	1054	行政側の今回の取り組みに対する、やる気と真摯な姿勢が見えにくい。検証ができるほど、効果があつたかさえ疑問である。このまま立ち消えにならぬよう、継続性をもってしっかりとした予算を組み立て実践していただきたい。
357	1054	今までは何処に行くにも車を利用していましたが、今では公共交通機関で行ける場合は車を利用する回数が減りました。
358	1054	ノーマイカーデーの取組みはとてもいいことだと思いますので、今後も継続して、もっと多くの人に参加してもらえるようPRしたほうが良いです。
359	1054	できるだけ協力したいと思います。
360	1054	今回の取り組みは非常に良い勉強になりました。しかし、現在の交通事情は車が主体の交通になっていると思います。交通機関への転換となると、路線整備等の大きな整備が必要になってくると思います。今回のアンケート調査の意見を参考にいただき、どこにいても利用できるような交通機関の整備をしていただきたいと思います。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
361	1055	報告日の変更をお願いしたい。毎週火曜日あたりになっていますが、報告は、先週の1週間を翌週の1週間で報告するように変更しないと1回の報告を2回入力することになります。 入力したと勘違いして全項目が入力されない事が発生し易い。1回で済むように、また、勤務サイクルにより未入力者へ再依頼が出来ない。
362	1055	少しずつですが、車以外の交通機関を利用して、健康や環境の事も考えていきたいです。
363	1055	一人一人が取り組む活動が必要。ある面強制力が必要な所あるのでは。抽象的では難しいと思う。
364	1055	質問が多すぎる。忙しい日々の中では時間が無い。
365	1055	今後は車の利用を控える。
366	1055	集計結果わ是非みたい
367	1055	この様な取り組みは是非、続けて頂きたいと思います。
368	1055	公共交通機関の整備をもっと、郊外まできちんとしてほしい。
369	1055	大切なことに取り組んでいらっしゃることはわかりますが、大変面倒で協力し切れなかったことを自分自身で残念に思いますし、自分がこの程度の努力も出来ない人間だと知ることが出来たことには感謝?いたします。 もっと簡単に出来ませんかねえ。(T T)
370	1055	自分の行動を振り返って、如何に地球環境のことを考えずに行動していたのがよくわかりました。今後も一定の期間ごとに行えば、少しでも良くなるのでは
371	1055	今までの行動パターンを急に変える事は難しいと思う。
372	1055	車に乗らない日があってもいいと思いました
373	1055	車の利用を控える事は難しいが極力乗らないように努力します。
374	1055	車での移動を控えようと今まで思った事は無かったがこのとりくみをしてみて今後は近場なら徒歩や自転車を利用しようと思う
375	1056	アンケートに答えたり、行動計画を立てたりすることにより、環境問題について関心を持つようになりました。今すぐに車を使わないようにすることは難しいですが、これからは少しでも使わないように努めていきたいと思います。
376	1056	質問内容が漠然としすぎ、回答しにくい箇所がありました。 移動に自転車を使用したいと思っておりますが、欧州に比べ道路環境が整っていないのがネックだと感じます。後世に対する取り組みを応援いたします。
377	1056	今まで、全く車が発するCO2には関心が無かったが、今回「広島市ノーマイカーデー2005」のモニターに参加して、少し考え方が変わった。 「すべて車でないと何も出来ない」という考え方があったが、これからは環境にも十分に配慮した車の使用を考えて生きたいと思えます。
378	1056	自分にとってCO2について、今まであまり関心がなかったが、モニターに参加して少し考え方が変わった。 とにかく、少しずつでも車の使用を控えようと思う。
379	1056	大型車の排ガスが大半を占めている。 もっと規制すべき。
380	1056	動機付けになりました。
381	1056	実際は、難しいと問題だと思えます。
382	1056	環境に対して考えなくては、いけに時代になってきたなと感じます。
383	1056	ちょっとそこへ行くにも車という現代の車中心の生活をすこしでも見直し、地球も私たち家族も元気になるような生活スタイルにかえるようにすこしづつでも努力していこうとおもった。
384	1056	常に、控えようとは思っていてもそこまで終わってしまいます。 1 事前に計画を立てる。 2 結果を自分の目で数値としてみる。 3 比較してみる。 など、とても分かり易い取り組みでした。 やってみようとする、きっかけが大事ですね。
385	1057	地域および生活環境から考えて、質問事項がかけ離れたものが多くあまり参考にならなかった。
386	1057	良いことだと思う。マイカーの使用を減らす手段として自転車の利用の促進を促すことも必要である。そのため安心して自転車を使用できるよう、歩行者と区別した専用通路の整備が望まれる。
387	1057	運転免許があれば車を所有していない者まで対象とするのは調査の内容を考慮すべきではないか。 広島において調査を実施しているにもかかわらず、選択肢に路面電車がなく、また、レンタカー・カーシェアリングも選択肢になく回答に困った。
388	1057	大変参考になりました。
389	1057	公務員の業務実態にあっていないのではないかと。
390	1057	CO2の排出量の計算が有るのですが、車種等の違いで排出量は違うのでは無いでしょうか？ 今回のアンケートでは、車は環境に悪いものです。ということを知っていただくだけのものであれば、設問を簡単なものにした方がと思いました。
391	1057	日頃クルマを利用していない者にアンケートは不要ではないかと。
392	1057	現実には公共交通機関の整備されていない過疎地では車利用に頼らざるを得ない、利益優先の何でも民営化でなく官が責任をもって交通機関を確保すべきであり、環境規制についても官が責任をもって行えば良いと思う。公務員削減ではそれもできないので公務員削減・民営化に断固反対。
393	1057	環境破壊は深刻な問題だと思うので、自分のできそうなことはぜひやってみようと思いました。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
394	1057	この取り組みを行い、奥さんと話しをしたが、今の生活スタイル(クルマ利用)を改善することは困難と思った。
395	1057	単身赴任でクルマを持ってきていないにもかかわらず、回答者の対象にあげられてしまったが、正直言って迷惑である。今後、このように無理に回答を強いる取り組みは止めてもらいたい。
396	1057	今回のアンケート調査は、自動車を所有していない者も対象になっていたが、アンケートの内容から、自動車を所有していない者は除外すべきだったと思う。
397	1057	自家用車を持ってないので、回答に苦慮したところがあった。設問は基本的に自家用車を持っていることを前提に作られているので、考慮願いたかった。
398	1057	いそがしいとき、この様な取り組みは勘弁して。
399	1057	質問の内容が利用方法のみに偏り、車を利用する場合の周辺環境についての質問がありません、集計されたアンケートは自家用車を利用する事を控えたかどうかが最終結論となります。重要なのは周辺環境であり、公共交通機関(バリアフリーを考慮した)のあり方と、これを後押し出来るインフラが必要と思います。
400	1057	自己評価のコメントに書いてしまいましたので省略
401	1057	今までこのようなアンケートで、車利用について考えたこともなかった。非常に良かったのではないのでしょうか。今後も機会があれば考えていきたい。
402	1057	普段、自転車を利用するが、市の中心部に無料自転車置き場を設置してほしい。自家用車で買い物をする時と商店で無料駐車券の発行が行われるが、自転車だと有料となる。ちょっとした買い物だと有料駐輪場に入れるのが馬鹿馬鹿しく感じられる。自動車の使用を控えると言うだけでなく、そのためのフォローもお願いしたい。
403	1057	環境のことを考える良いきっかけになった。
404	1057	定期的で粘り強いとりくみにしていくことが大切だろう。それで市民のひとりひとりが行動に気をつけるようになると思う。
405	1057	心理学的アプローチというこの取り組みが本当に人の生活リズムを変える効果があるかは、今回だけでははっきり分からず、この後、モニターの生活リズムがどうなっていくかのフォローアップが大事と思われる。
406	1057	設問が実際の行動と合致しないようなことがある。自分の行動を考えるいい機会になると思う。
407	1057	できれば定期的に、かつ長期的に実施することが必要なと思います。特に、学生さんへの早い時期からの啓蒙が必要かもしれません。
408	1057	この度広島市がノーマイカーデーに取り組んだが、PRが不足のせいか、市民への浸透が充分でなかった。今後は事前PRを充分にする必要がある。
409	1057	ごろうさまでした。率直なところ少々面倒でしたね。
410	1057	日頃、公共交通機関を利用している場合、このプログラムでは直ちに休日の行動を評価するようになっているが、その前に、通勤に公共交通機関を利用していること自体を、評価し、CO2削減量をカウントすることも利用者の意識を高める観点から、プログラムに入れておく必要があるのではないかと。
411	1057	自動車に乗る前に本当に必要か考えるようにしたい。
412	1057	公共交通機関の整備ができていない広島では、経済性・利便性で車への依存度が高くなる。一人で移動する場合は我慢できるが、家族で移動する場合非常に不便で時間的ロスが大きいため車での利用となる。インフラ整備はもちろんであるが、公共交通機関が各々のしがらみを捨て協力し魅力ある交通体系を構築し、利用者サービスの向上を図ることが必要と思われる。
413	1057	プログラムの取り組み結果について、評価項目を増やして欲しい。
414	1057	交通行動等を入力したあと、プログラムの終わり方が分かりにくい。「送信する」というアイコンと同様に「終了する」というアイコンを設定してもらった方がよいと思う。
415	1057	入力後の完了説明を明確にされたほうがよい。調査項目が多すぎる。
416	1057	時期的に、原油の高騰の折、マイカーの自粛の傾向にあるのか。長期的な取り組みが必要であるが、ある程度法的規制の必要。
417	1057	環境問題を考えるよい機会となった。
418	1057	自分の行動を見直す良い機会でした。
419	1057	公共交通機関がもっと便利に、そして車の乗降を含めて安全に利用できるように改善をして頂きたい
420	1057	これまで特に意識することなく車を使っていたが、意識してみると車を利用しなくてもよいことがあることがわかった。意識することは大事だと思う。
421	1057	テレビ等のマスメディアを活用し、温暖化やCO2削減についてさらに浸透をはかることが有効と思う。
422	1057	車利用を考える機会にはなりました。
423	1057	公共交通の利用を増やすには、もっと快適でないと利用者が増えないとおもう。クルマを使うリスクを、もっとアピールすることも必要かもしれない。
424	1057	ありがとうございました 車について考える機会になりました 郊外の不便な場所に住んでいる私としては、車は手放せません 今後の車はクリーンなものしか売らなければ良いと思います

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
425	1057	設問が実態に合わない部分があって回答がしにくい。 現に通勤に公共交通を利用している者にはあっては、変更する余地がないのに変更を求めている。
426	1057	今回の取り組みは、自動車使用者の意識改革には貢献したと思う
427	1057	取り組みそのものは大変良いと思います。 ただ、東京のようなところでは、公共交通機関中心であり、田舎だったら車がないと移動できません。 取組対象者に対し、一律な調査では田舎に住んでいる人には無意味かな、と感じました。(対象が都会のみなら良いと思います。)
428	1057	田舎に住んでいるので移動手段はクルマがなく、ついついクルマに頼ってしまう。交通の便のよい都会に住んでいる者にとっては、今回の取り組みは有意義であったと思います。
429	1057	アンケートの質問の仕方が、これでよい内容が疑問に思った。
430	1057	思ったより調査の間隔が短く感じた。もう少し余裕があった方が良いとは思いますが、人により長いと忘れてしまうかもしれない。
431	1057	個人に問題意識を持たせることも重要であるが、企業のマイカー通勤の抑制を強く促すことが最も重要ではないか。 企業の中には、マイカー通勤禁止になっているところもあると聞いている。
432	1057	公共輸送機関の少ない地域に住居があるので、全ての人が、同じ意見にはならないと考える。地域別での実施も考えるべきではないのか。
433	1057	設問と誘導の目的が自分には適合しているとは思えなかった。
434	1057	車利用は、意識して控えることが必要。月に1回程度のノーマイカーでの取り組みが望まれます。
435	1057	環境問題を考えるには良い機会でした。
436	1057	個々の実態に即した回答がしづらい内容が多かったように思った。
437	1057	気候変動が顕著になるなか、風水害による被害が増加している。これらの現象は地球温暖化と関係があることは、学問的に立証されています。二酸化炭素は、我々人類が酸素を吸ってはきだしている、これが地球を暖める効果を有している。化石燃料からもより以上排出(基本的認識を共有して、できることから国民の同意を得て大胆に取り組むことが必要。
438	1057	アンケートより実践が大事
439	1057	中国新聞の記事で広島市の市議員が新球場建設予定地を視察した時の記事には立腹した。
440	1057	環境に配慮する移動パターンが具体的に検証できて良かった。
441	1057	ノーマイカーのとりくみの意識向上が図られたと思います。
442	1057	なかなか、難しい問題です。 日々の通勤は、バイク&電車ですからかなり環境には優しくなっておりますが、休日になるとどうしても車の移動がすべてになりますので、その辺はこらえてもらいたいです。
443	1057	環境意識を高めることは、とてもいいことだと思う。
444	1057	この取り組みは環境を考えさせるよい機会になった。しかし、このアンケートだけで終わってしまったら、私たちの頭から「環境に対する考え」が風化してしまうと思うので、なんらかの取り組みを継続して行って欲しい。
445	1057	人それぞれのライフワーク中で、少しでも頭の隅にこの取り組みが記憶として残っていれば、微少ではあるがよい結果となって現れるのでは。
446	1057	アンケートの集約期間が短いので実態が現れないと思われる。 出来れば1ヶ月は必要では。
447	1057	改めて車の使い方を考えさせられました。
448	1057	私は当初予定者でなかったみたいですが、単身赴任者であり、広島から自宅(島根県漣摩郡)及び配偶者(島根県松江市)への交通機関は時間的(深夜移動等)、経済的(毎週どちらかに移動)な負担が大きく、他の方の足を引っ張ったように思っております。
449	1057	平日、休日タイプに分けない方が良い。平日クルマを利用する機会の無い者は休日にはどうしてもクルマを使いたくなる心理もある。
450	1057	地方都市で取り組みを進めるためには、公共交通の充実が絶対条件。 移動手段としてのクルマは他の移動手段に比べて利便性が高いことは確か。いかに公共交通へシフトさせるか知恵を絞らなければならない。 場合によっては都心部へのクルマの流入規制を行うことも考えなければならないと思う。 呼びかけだけでは現状を変えるのは不可能に近い。 ある程度の強制も必要かもしれない。
451	1057	設問に対する回答がしづらいところがあった。
452	1057	一人一人が、環境に対する問題意識を持つことが重要。
453	1057	各者の生活環境が違くと、全く考える次元が違う。レベルを合わせた者同士での質問をした方がよいと思う。
454	1057	車依存の現代社会において、車に頼らず生活するといった、急激な変革は難しいが、意識において少しでも車依存体質を脱却していければと思う。並びに、色々な方法で行動に移していきたいと思う。
455	1057	この調査内容の項目では上手く実態を反映できない場合がある。 もう少し、きめの細かい項目設定が必要と思われる
456	1057	現在居住している場所は、公共交通機関がなく、利用する場合は30分以上歩かなければならないこと及び老親の通院等で車を利用せざるを得ない環境にあるため、アンケートに記載するにあたり非常に心苦しかった。
457	1057	健康及び環境のことを考える良い機会になったと思います。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
458	1057	職員に意識を高めることになったと思う。今後の行政としてのとりくみに関して提案するアンケートがあってもいいと思う。
459	1057	地球温暖化防止のために個人で出来ることを意識する = 啓蒙という訴え方がもうすこしあってもよかったのでは。
460	1057	先日の「ノーマイカーデー」には職場の取組みもあったのでバスを利用したが、バスの車内は比較的すいているにもかかわらず、道路は普通よりも渋滞していて出勤によけいに時間がかかった。遅刻はしなかったものの、まさに正直者が「馬鹿を見る」感じで歯がゆい思いをした。今後もこうした取組みを続けるなら、公共交通利用者が「馬鹿を見」ないような取組みを行ってほしい。そうでなければこうした取組みに対する協力者はいなくなるのではないかな。
461	1057	忙しかったです。
462	1057	このような取り組みは必要ではあると考えるが、交通弱者(この場合の弱者とは、子供・老人ではなく、公共交通機関等不便者)に対して、自家用車は重要な生活手段であり、自己の生活利便性を犠牲にしてまで使用方法を少なくすることは考えていない。首都や、大都市で国会議員等政治家が電車やバスで移動しているのを見たことがない。本当に自家用車を規制するのであれば、例えば通勤時間帯は都市部にはよほどの理由が無い限り乗り入れ禁止措置をとり、公共交通機関の運賃を大幅に値下げする等の施策をしなければ浸透はしない。
463	1057	趣味以外の移動は、極力自転車か公共交通にします。
464	1057	なかなか便利なものを捨て去るのは、難しいことだと思う。最低限、都心部への移動は自家用車を使用させないような何らかの規制を行うべきではないか。公共交通機関がもっと便利になればと思うが、現状では難しいことから、車だけに依存させないような強制力のある施策が必要と思う。
465	1057	車と環境問題については、共通認識はあると思いますが、個別具体的にになると、難しい点もあると思います。
466	1057	1. 大都市と地方都市では元々公共交通機関の接続状況があまりにも違いすぎるため、取組みに疑問を感じた。 2. 解答欄に「電車・地下鉄」があるが、わずか0.3kmしか地下鉄のない都市では「電車」も満足に利用しにくい状態(都心なのに電車の路線が無い地域がある)なので、回答する際にむなしさを感じた。
467	1058	自転車、徒歩、バスなどの交通機関を利用する場合のネックを重点的に解消すべきだと思う。
468	1058	私のように年間走行キロの少ない者のデータは参考にならないと思います。一定量を超えて使用する者に社会的規制でガソリン等を配給制にしてはどうでしょう。たとえば、自家用乗用車は、一ヶ月100リットルまでとか、一リットルあたり200円まで価格を上げるとか、どちらにしても燃料の使用規制をしなければ公共交通への転換は困難でしょう。好きことを書かせて頂きました。
469	1058	環境問題について考えるいい機会になりました。
470	1058	どしどしアンケートをとってほしいが、イエス、ノー方式でお願いしたい。
471	1058	もう少しいろんな調査して電車とのバスの連絡とか、バス停での乗り換え時間など調査した上で、このような調査をした方がよい。
472	1058	子どもの頃からの環境教育にもっと取り組む必要があると考えます。柔らかな頭のうちに、リサイクル、CO2問題などを自分の頭で考え、体験してみることが、地球を救うことにつながります。そのためにも、大人が今回のような取組みを積み重ねることが必要ではないでしょうか。
473	1058	地方で交通機関を利用する場合、時間的な問題等(例えば待ち合わせ時間等)でクルマを利用せざるを得ません。しかし、クルマの利用が環境によくない、あるいは健康にもよくないと考えるのが常識と思いますが、利用せざるを得ないのが実態です。地方での交通機関の改善を徹底する必要があると思います。
474	1058	もっと行政が強制的に車の使用を限定するような施策をとらない限り、無理なことが多い。都会では、車をいらない生活ができるが、田舎ではほぼ不可能に近い。
475	1058	自宅が中山間地にあり、バス等の公共交通機関が不便なため外出時は必然的にクルマ使用とならざるを得ませんが、できるだけ多くの方が特に公共交通機関の便利がよい方は公共交通機関を利用されたいと思います。
476	1058	単身赴任者(赴任先クルマなし)での調査でしたので、広島市内を中心とした今回の行動調査は、少し無理があったように思います。住居地等を整理したうえで取組を検討してほしいと思います。
477	1058	身近な環境問題について、意識がめばえていいのではないのでしょうか。
478	1058	仕事、帰省等が出かける時は荷物があるので車が必要となっている。
479	1058	質問項目が自分職業とマッチしていない。職業別にアンケートをしてはどうでしょうか。
480	1059	・今回の活動は大変有意義な活動であったと思います。 ・今回の活動結果を分析いただき公共交通機関の更なる利便性のアップをお願いします。 (広島市郊外に住んでいると利便性・費用面からどうしても車に頼ってしまいがちです。)
481	1059	実際、車社会で車利用を控えるには公共の交通機関の利便性が良くないと車を控えるのは難しい。しかし、今回のアンケートは意識の高揚面からは大変良いと思います。

5.参加者コメント集  
(オ)自由意見

sq.	事業所 code	自由意見
482	1059	車から排出されているCO2がどのくらいか意識できて、温暖化防止の取組みが身近に感じられた。自分の行動も大いに関係していることもわかって今後の行動を考える機会にもなった。これと同時に、CO2をださない車の紹介とか、マイカー自粛以外に個人レベルで参加できる活動(あれば)の紹介などがあってもいいと思う。
483	1059	大変おもしろいと思った。
484	1059	この取組みに参加して環境に対して関心を持てたが、実際に車使用を少なくすることが難しいかった。どうしても、時間・便利さ等考えると車を使用してしまう。また、削減してもなかなか実感としてその効果がわからない面があるのではないかと感じた。
485	1059	車の仕様について考え直すいい機会となりました。
486	1059	自分の行動を意識するには良い機会であった。広く参加を求めることで、皆が少しずつでも改善していけると思う。一人が少なくても、多くの人を足し合わせることできっと大きな結果がでると思う
487	1059	車を使わないほうが、環境にとっても自分の体にとってもいいことは理解している。今回のことをきっかけにもう少し実践に心がけたい。
488	1059	都市部と田舎ではやり方が違うと思うが、意識の高揚としての意義はあったと思う。
489	1059	お疲れ様です。自分の行動を振り返るのに必要な機会になったと思います。
490	1059	このアンケートには関係ないと思いますが、もっと公共の交通機関を増やして欲しい。西区でバス停まで5分の場所に住んでいるが、通勤で7KMの距離を公共の交通機関では乗り換えを入れ70分かかるとはおかしい。もっと交通網を整備すべきである。住んでいる人が、毎日何処へ移動するか把握し、コンピュータでシミュレーションすれば、何処を整備していけば良いかわかると思う。
491	1059	なにげなく車を利用することがあったが環境にたいしての意識を持てた。
492	1059	今回の取り組みに関して、特定の人のみのアンケートで本当にマイカーの自粛がどれだけ実現の可能性あるのかは疑心暗鬼ですが、ぜひ効果のある提案をして頂きたいと思います。
493	1059	自身の行動を見つめ直す機会になったように思います。今後もこのような取り組みをもっと対象を広げても良いのではないかと思います。(コスト面もありますが)
494	1059	今の目いっぱい生活と、病人老人をかかえて、家は、山のとっぺんにあり、クルマなしでは、移動はできません。便利さを追求して、招いた不都合は、経済価値で相殺するよう、システム制度を変えていくべき。個人の努力では、限りがあります。環境を元に戻す費用を、商品価格に含めるべき。そうすれば、新たな技術開発が、環境コストの低い方向に、向かって進展していき、個人のニーズと調和する変革ができていくのでは。
495	1059	車社会となった現代、むずかしいことと思います。一人でも多くの方が今回の取り組みができればと思います。